YAMAHA

Marine

MarineJet

スーパージェット

FX

MJ-700SJ
MJ-700FX

サービスマニュアル

055066●

WWW.JET-STAR.JP

はじめに

本書は、ヤマハマリンジェットＭＪ－７００ＳＪ/ＦＸの「整備の手引き」として編集しました。
編集に当たり、イラストを多く取り入れ、主要部品の構造および点検・整備・分解・組立を分かりやすく説明してあります。
サービスに当たられる方は本書を熟読され、ＭＪ－７００ＳＪ/ＦＸの知識を少しでも多く理解した上で、より良いサービス活動をしていただくようにお願いします。
なお、本書は、マリンジェットの改良の為、予告なく内容を変更することがありますのでご了承ください。

ヤマハ発動機株式会社
マリン事業本部　舟艇事業部
国内営業部　サービス課

WWW.JET-STAR.JP

目　次

総　説 1 総説

仕　様 2 仕様

一般整備 3 一般整備

燃料系統 4 燃料系統

パワーユニット 5 パワーユニット

ジェットポンプユニット 6 ジェットポンプ

電　装 7 電装

艤装品 8 艤装品

トラブルシューティング 9 トラブルシューティング

WWW.JET-STAR.JP

このマニュアルの使い方

●本書では正しい取扱いおよび点検整備に関する必要な事項を、下記のシンボルマークで表示しています。

要点

正しい操作の仕方や点検整備上のポイントを示します。

注意

備品や商品に損傷を与えないための必要な事項を示します。

⚠注意

身体や生命に危害を与えないための必要な事項を示します。

JET STAR

シンボルマーク

①から⑨のシンボルマークは、各章の内容を示す見出しになっています。

①総説
②仕様
③一般整備
④燃料系統
⑤パワーユニット
⑥ジェットポンプユニット
⑦電装
⑧艤装品
⑨トラブルシューティング

⑩から⑮のシンボルマークは、指定データを示します。

⑩特殊工具
⑪潤滑剤
⑫エンジン回転数
⑬締付けトルク
⑭摩耗限度、隙間
⑮抵抗(Ω)、電圧(V)、電流(A)

分解図中の⑯から⑱の記号は、潤滑剤の等級と潤滑場所を示します。

⑯ヤマハ船外機オイルを塗布
⑰ヤマハマリングリースA(耐水グリース)を塗布
⑱ヤマハマリングリースD(耐水グリース)を塗布

分解図中の⑲から㉔の記号は、シール剤またはロック剤の等級と、それを塗布する場所を示します。

⑲ガスケットメーカを塗布
⑳ロックタイト No.271(赤色)を塗布
㉑ロックタイト No.242(青色)を塗布
㉒ロックタイト No.572を塗布
㉓シリコンシーラントを塗布
㉔ヤマハボンド No.4を塗布

要点

このマニュアル中で、どのような場合でも上記の記号が使われているわけではありません。

WWW.JET-STAR.JP

第1章 総 説

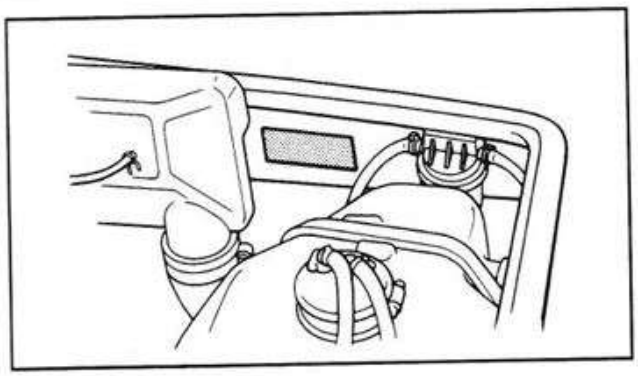
1．艇体・エンジン番号……1-1
(1) 艇体製造番号……1-1
(2) エンジン製造番号……1-1

2．整備上の注意事項……1-2
(1) ベアリングの組付け方……1-3
(2) オイルシールの組付け方……1-3

3．特殊工具……1-4
(1) 点検・調整用……1-4
(2) エンジン整備用……1-4
(3) ジェットポンプ整備用……1-4

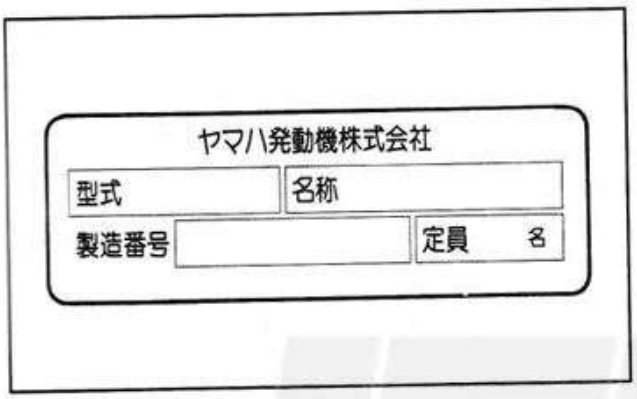
4．シール剤・潤滑油……1-4

JET STAR

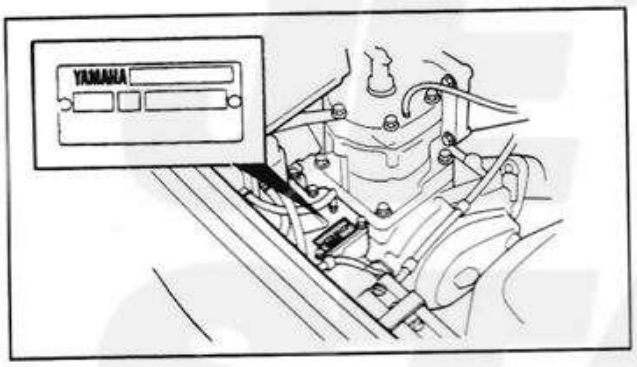


1. 艇体・エンジン番号

(1) 艇体製造番号
艇体製造番号は、エンジンルームの内側に取付けられたプレートに刻印してあります。



開始通し番号
ＧＨ７：100101～
ＦＸ１：0300101～



(2) エンジン製造番号
エンジン製造番号は、インテークマニホールドに取付けられたプレートに刻印してあります。

開始通し番号
６２Ｎ：000801～
６２Ｌ：000456～

WWW.JET-STAR.JP

2. 整備上の注意事項

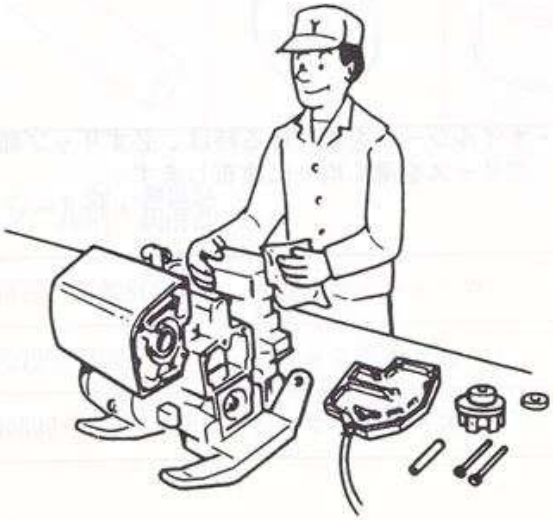
1. 火気厳禁
整備工場では火気を絶対に近づけないこと。

2. 正しい工具
部品に損傷を与えないように、特殊工具の必要な箇所の作業は必ず特殊工具を使用する。また、適切な工具や計器を使用し、適切な作業を行うこと。(スパナなどの使用はできるだけ避け、メガネやボックスレンチなどを使用すること。)

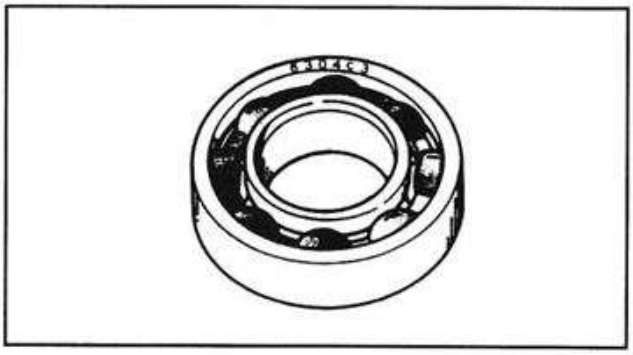
3. 消耗品
ガスケット(パッキン)、Oリング、コッターピン、サークリップ、ロックワッシャなどは新品と交換すること。

4. 純正部品
使用する部品や油脂類は必ずヤマハ純正部品、および推奨品を使用し、それ以外のものは使用しないこと。

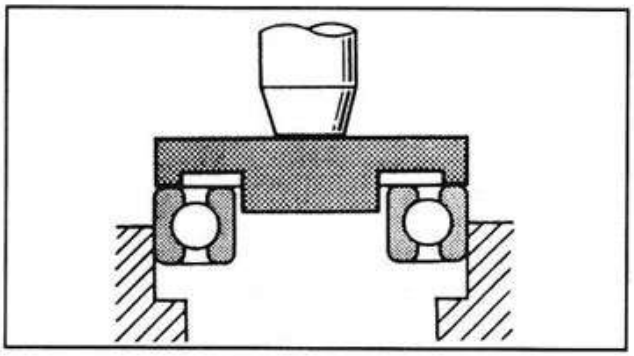
5. 分解、組立て上の注意
①分解を行なう場合、必要な部品は分解中に点検、測定をしてその記録を残し、組付け時の参考とする。
②各部品を混同、紛失しないように、各セクションごとに整理しておく。
③エンジン部品は、分解後、洗油で洗浄し、エアで吹いておく。
④組立ては、各部品の修正結果および分解前のデータを確認しながら作業を進める。
⑤組付け中の各部品にほこりや異物が付着しないようにする。
⑥各セクションごとに作業を確認し、組付けて行く。
⑦摺動部品には、指定オイルを塗布する。
⑧オイルシールを組付ける時には、外周部に指定の耐水グリースを塗布する。
⑨規定の締付けトルクを守ること。



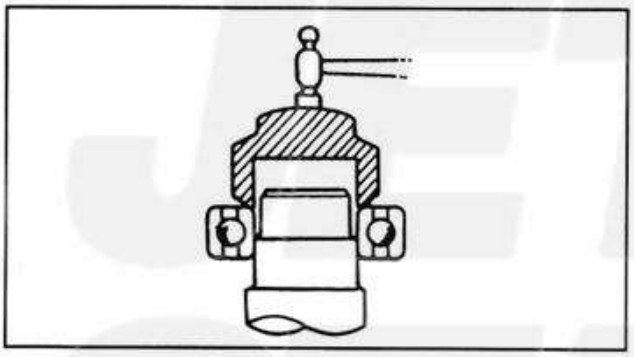
WWW.JET-STAR.JP



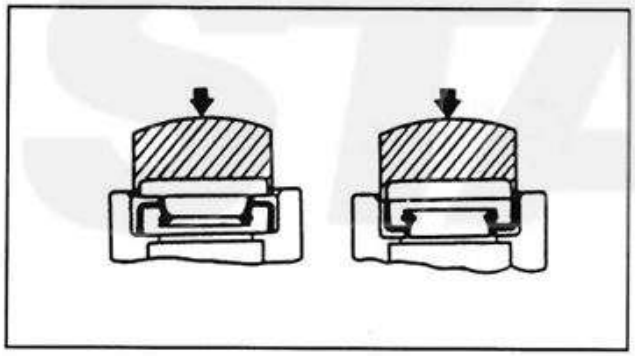
(1) **ベアリングの組付け方**
・ベアリングの組付け方法は、メーカー印、サイズ記号が刻印されている面を外側(組付け側)に向けます。



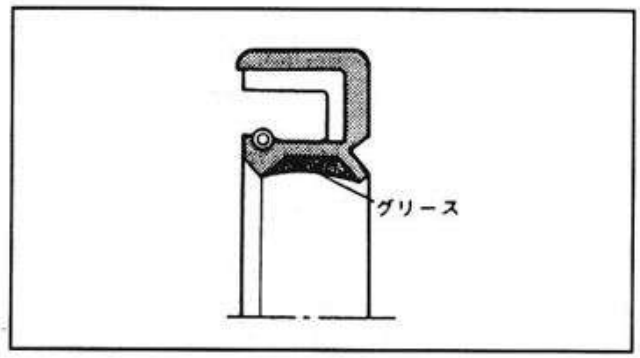
・ベアリングをケースなどに打込む時は、アウターレースに力を加え均等に打込みます。



・ベアリングをシャフトなどに打込む時は、インナーレースに力を加え均等に打込みます。



(2) **オイルシールの組付け方**
・オイルシールの組付け方向は、マニュアルの指示に従います。



・オイルシールを組付ける時は、必ずリップ部にグリースを薄く均一に塗布します。

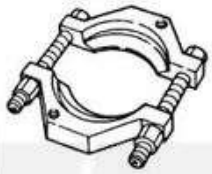
WWW.JET-STAR.JP

3. 特殊工具

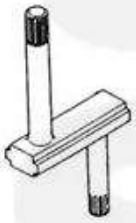
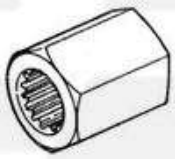
(1) 点検・調整用

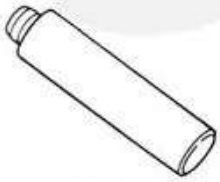
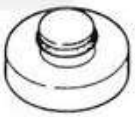
90890-01252	90890-03112	90890-06751	90890-06759	90890-06760

(2) エンジン整備用

90890-06521	90890-06522	90890-06534
		

(3) ジェットポンプ整備用

90890-06069	90890-06425	90890-06518	90890-06531	90890-06523
				

90890-06606	90890-06626	90890-06634	90890-06662
			

4. シール剤・潤滑油

90790-74028(25mℓ)	ガスケットメーカ	90890-6382E(1ℓ)	ヤマハ船外機スーパースペシャルオイル
90790-74004	ロックタイトセット	90890-6382H(0.4ℓ)	
90890-69911(250g)	ヤマハグリースA		

WWW.JET-STAR.JP

第2章　仕　　様

1．仕様諸元……2-1

2．サービスデータ……2-2
(1) エンジン……2-2
(2) 電装……2-4
(3) 締付けトルク規定値……2-5

3．パイプ通し図……2-6

4．ケーブル通し図／電気配線図……2-8

JET STAR

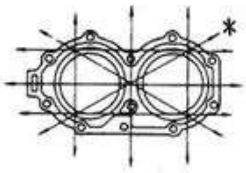
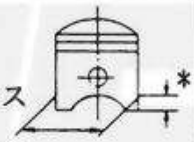
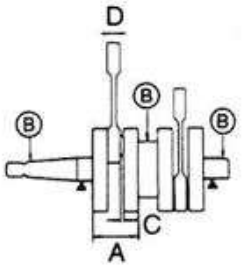
1. 仕様諸元

項目		サービスデータ	
		SJ	FX
艇型式		GH7	FX1
エンジン型式		62N	62L
主要寸法	全長(L_{OA})	2.24m	2.13m
	全幅(B_{OA})	0.68m	0.63m
	全高(D_{OA}))	0.66m	0.68m
	船の長さ(L_R)	2.06mm	2.03m
	船の幅(B_R)	0.79mm	0.61m
	船の深さ(D_R)	0.30mm	0.21m
乾燥重量(バッテリ、燃料を除く)		132kg	121kg
性能	定員	1名	1名
	最大速力	70.0km/h	75.0km/h
	静止スラスト	235kg	170kg
	最小回転半径	0m	0m
	呼称最大出力	63ps/6,300rpm	63/6,300rpm
	燃料消費量	26ℓ/h	26ℓ/h
	航行範囲(スロットル全開)	0.7h	0.5h
エンジン	エンジン種類	2サイクル	2サイクル
	シリンダ数	2	2
	総排気量	701cc	701cc
	ボア×ストローク	81mm×68mm	81mm×68mm
	圧縮比	7.2:1	7.2:1
	吸気方式	リードバルブ	リードバルブ
	キャブレタ種類	フロートレス	フロートレス
	キャブレタ数	1	1
	キャブレタスタート方式	チョーク式	チョーク式
	掃気方式	シュニーレ	シュニーレ
	潤滑方式	混合潤滑	混合潤滑
	冷却方式	水冷式	水冷式
	始動方式	電動スタータ	電動スタータ
	点火方式	CDI	CDI
	点火時期	BTDC15° ~21°	BTDC15° ~21°
	スパークプラグ	B8HS	B8HS
	バッテリ容量	12V-19AH	12V-19AH
	ライティングコイル	2~4A/5,500rpm	2~4A/5,500rpm
ジェットポンプ	推進方式	ジェットポンプ	ジェットポンプ
	ジェットポンプ種類	軸流一段	軸流一段
	インペラ回転方向	反時計回り	反時計回り
	伝達方式	エンジン直結	エンジン直結
	操舵角(ノズル)	18.5° ~24.5°	18.5° ~20.5°
燃料とオイル	燃料	レギュラーガソリン	レギュラーガソリン
	オイル	ヤマハ船外機スーパースペシャルオイル	ヤマハ船外機スーパースペシャルオイル
	混合比	50:1	50:1
	フュエルタンク容量	18ℓ	14ℓ
	リザーブ容量	5.5ℓ	3.6ℓ

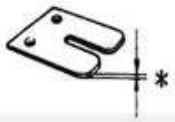
WWW.JET-STAR.JP

2. サービスデータ

(1) エンジン

項目		サービスデータ SJ	サービスデータ FX
圧縮圧力		9.4kg/cm²	9.4kg/cm²
シリンダヘッド	歪み限度  *ラインは直定規による測定位置を示します。	0.1mm	0.1mm
シリンダ	ボア径 円筒度 真円度	81.00～81.02mm 0.08mm 0.05mm	81.00～81.02mm 0.08mm 0.05mm
ピストン	ピストン径 *測定位置 ピストンクリアランス 摩耗限度 オフセット量(排気側) 	80.925～80.950mm 10mm 0.070～0.075mm 0.1mm 0.5mm	80.925～80.950mm 10mm 0.070～0.075mm 0.1mm 0.5mm
ピストンリング	形状 合口隙間（組付け状態） サイドクリアランス	キーストン B=1.2mm T=2.9mm 0.2～0.4mm 0.02～0.06mm	キーストン B=1.2mm T=2.9mm 0.2～0.4mm 0.02～0.06mm
ピストンピン	ピストンピン外径 摩耗限度	19.995～20.000mm 19.975mm	19.995～20.000mm 19.975mm
クランクシャフト	クランク幅 "A" 振れ限度 "B" コンロッド大端部隙間 "C" 小端部の振れ限度 "D" 	61.95～62.00mm 0.05mm 0.3～0.7mm 2.0mm	61.95～62.00mm 0.05mm 0.3～0.7mm 2.0mm

WWW.JET-STAR.JP

項目		サービスデータ	
		SJ	FX
キャブレタ	刻印	61×01	61×01
	メインノズル	φ3.2mm	φ3.2mm
	メインジェット2	#135	#135
	パイロットジェット	#115	#115
	低速スクリュ戻し	1-7/8±1/4	1-7/8±1/4
	スロットルバルブ	#120	#120
	バルブシート	φ1.5mm	φ1.5mm
	高速スクリュ戻し	1-5/8±1/4	1-5/8±1/4
	トローリングスピード	1,250±50rpm	1,250±50rpm
リードバルブ	厚さ*	0.2mm	0.2mm
	バルブリフト量	10.7～11.1mm	10.7～11.1mm
	ソリ限度 	0.2mm	0.2mm
ジェットポンプ	インペラ隙間	0.3～0.4mm	0.25～0.35mm
	インペラ隙間限度	0.6mm	0.6mm
	インペラシャフト振れ限度	0.3mm	0.3mm

WWW.JET-STAR.JP

電装

項目	サービスデータ	
	SJ	FX
イグニッションシステム： 点火方式 点火時期(1,200rpmの時) (5,500rpmの時)	CDIマグネト BTDC15° BTDC21°	CDIマグネト BTDC15° BTDC21°
CDIマグネト： 型式／メーカ パルサーコイル抵抗値（線色） チャージコイル抵抗値（線色）	F3T30572／三菱 12.6～15.4Ω(白/赤－黒) 328.5～401.5Ω(茶/白－黒)	F3T30575／三菱 12.6～15.4Ω(白/赤－黒) 328.5～401.5Ω(茶/白－黒)
CDIユニット： 刻印 型式／メーカ オーバーレボ限度 オーバーヒートレボコントロール	61X-00 F8T13174／三菱 7,200±200rpm 3,400±400rpm	61X-00 F8T13174／三菱 7,200±200rpm 3,400±400rpm
イグニッションコイル： 型式／メーカ 一次コイル抵抗値 二次コイル抵抗値	F6T53286／三菱 0.078～0.106Ω 3.5～4.7kΩ	F6T53295／三菱 0.078～0.106Ω 3.5～4.7kΩ
チャージングシステム： 方式 ライティングコイル抵抗値（線色）	フライホイールマグネト 0.81～0.99Ω(緑－緑)	フライホイールマグネト 0.81～0.99Ω(緑－緑)
レクチファイヤレギュレータ： 型式／メーカ レギュレータ電圧(25℃の時)	SH589-12/新電元 14.3～15.3V	SH589-12/新電元 14.3～15.3V
サーモセンサ： ON OFF	80±3℃ 70±7℃	80±3℃ 70±7℃
スタータモータ： 型式／メーカ ブラシ摩耗限度 コンミュテータアンダーカット深さ コンミュテータ外径	SM13237/ミツバ 6.5mm 0.2～0.7mm 27～28mm	SM13237/ミツバ 6.5mm 0.2～0.7mm 27～28mm
ヒューズ：	10A	10A

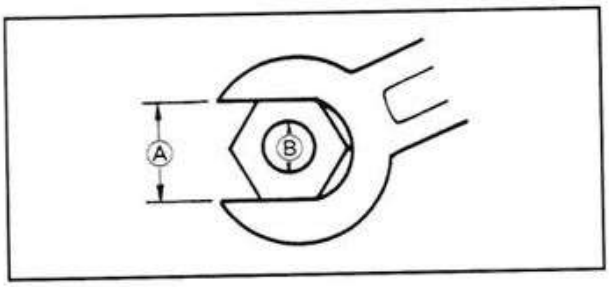
WWW.JET-STAR.JP

(3) 締付けトルク規定値

項目		サイズ	個数	モデル名	締付けトルク kgf・m (Nm)	
エンジン	シリンダヘッド	M8	10		1回目	1.5 (15)
					2回目	3.0 (30)
	シリンダボディ	M10	6		1回目	2.3 (23)
					2回目	4.0 (40)
	マフラステー	M10	5		1回目	0.4 (4)
					2回目	4.0 (40)
	マフラ1	M8	8		1回目	1.5 (15)
					2回目	3.0 (30)
	マフラ2	M10	3		1回目	2.8 (28)
					2回目	5.3 (53)
	マウントブラケット	M10	7		1回目	2.3 (23)
					2回目	4.7 (47)
	クランクケース	M8	8		1回目	1.5 (15)
					2回目	2.8 (28)
	キャブレタカバー	M5	4			0.2 (2)
	マウントボルト	M8	4			1.6 (16)
	スパークプラグ	M14	2			2.0 (20)
	電装ボックス	M6	2	SJ		0.5 (5)
		M8	3	FX		
	スタータモータ端子ナット	M6	1			0.5 (5)
	フライホイールボルト	M10	1			6.5 (65)
ジェットユニット	マウントボルト	M10	4	SJ	1回目	1.7 (17)
					2回目	3.4 (34)
		M8	4	FX	1回目	0.8 (8)
					2回目	1.6 (16)
	インペラ (逆ネジ)	M20	1			1.8 (18)
	カップリング	M24	1			3.7 (37)
	ベアリングハウジング	M8	3			1.6 (16)
	ハウジング	M6	4	SJ		1.0 (10)
		M8	4	FX		1.6 (16)

一般トルク規定値

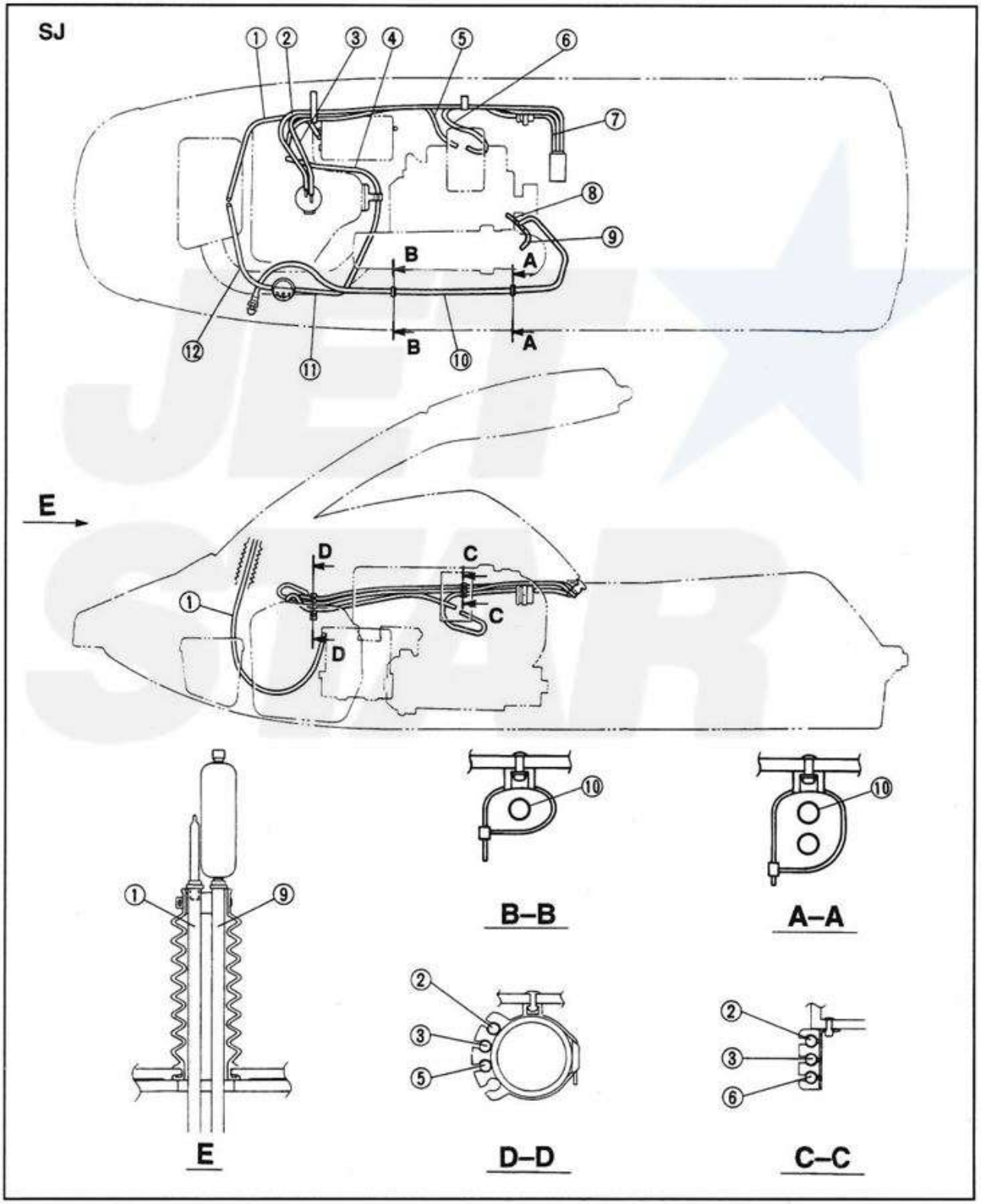
A (ナット)	B (ボルト)	一般トルク規定値 kgf・m (Nm)
8mm	M5	0.5 (5)
10mm	M6	0.8 (8)
12mm	M8	1.8 (18)
14mm	M10	3.6 (36)
17mm	M12	4.3 (43)



WWW.JET-STAR.JP

3. パイプ通し図

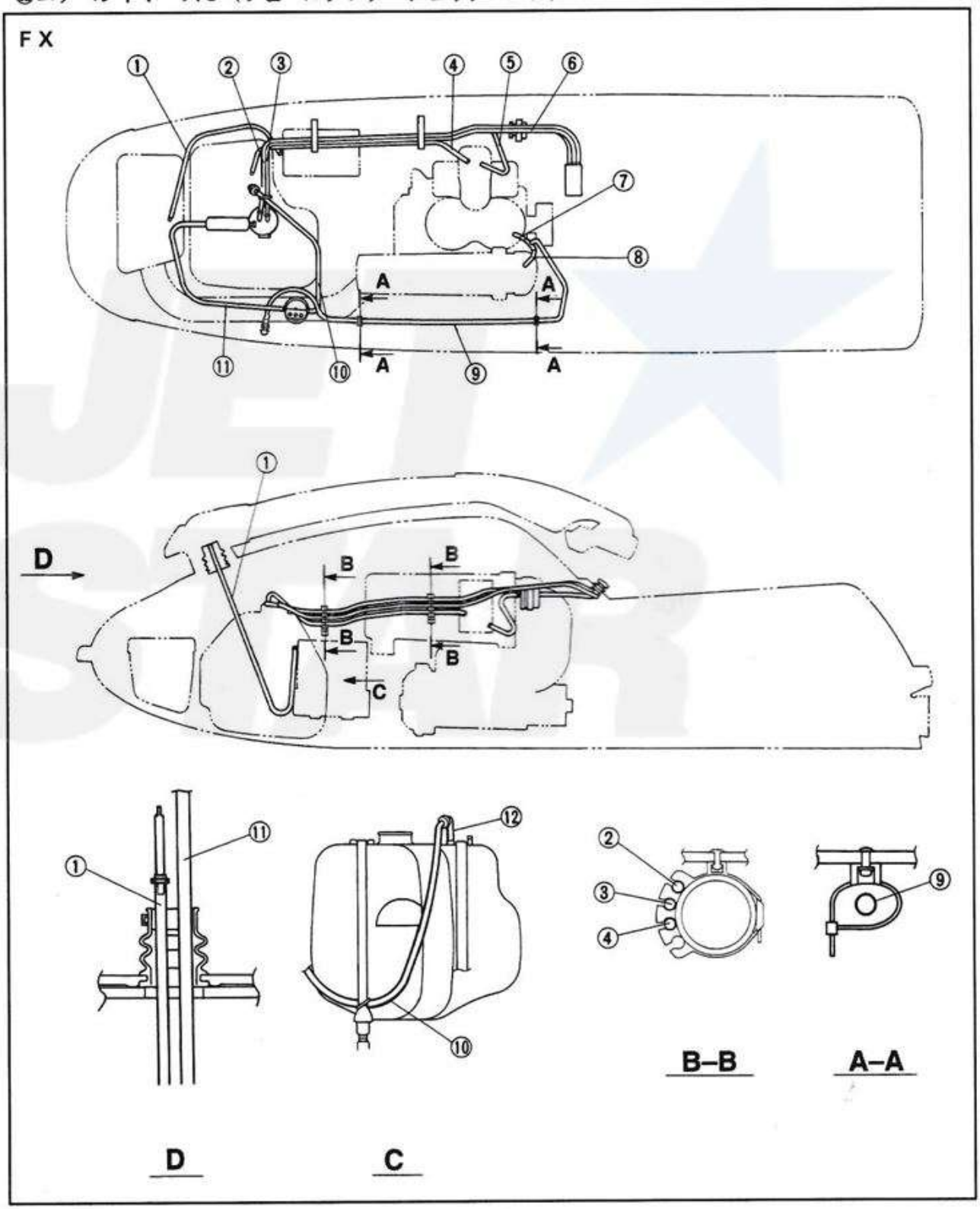
①バッテリブリーザホース
②フュエルホース２（RES：フュエルタンク～フュエルコック）
③フュエルホース１（ON：フュエルタンク～フュエルコック）
④エアベントホース１（フュエルタンク～チェックバルブ）
⑤フュエルホース５（リターン）
⑥フュエルホース４（フィルタ～キャブレタ）
⑦フュエルホース３（OUT：フュエルコック～フィルタ）
⑧冷却水ホース１（シリンダヘッド～ジョイント）
⑨冷却水ホース２（ジョイント～マフラ）
⑩パイロットウォータホース
⑪エアベントホース２（チェックバルブ～ウォータセパレータ）
⑫エアベントホース３（ウォータセパレータ～ベンチレーションパイプ）



WWW.JET-STAR.JP

パイプ通し図

①バッテリブリーザホース
②フュエルホース２（RES：フュエルタンク～フュエルコック）
③フュエルホース１（ON：フュエルタンク～フュエルコック）
④フュエルホース５（リターン）
⑤フュエルホース４（フィルタ～キャブレタ）
⑥フュエルホース３（OUT：フュエルコック～フィルタ）
⑦冷却水ホース１（シリンダヘッド～ジョイント）
⑧冷却水ホース２（ジョイント～マフラ）
⑨パイロットウォータホース
⑩エアベントホース２（チェックバルブ～ウォータセパレータ）
⑪エアベントホース３（ウォータセパレータ～ベンチレーションパイプ）
⑫エアベントホース１（フュエルタンク～チェックバルブ）

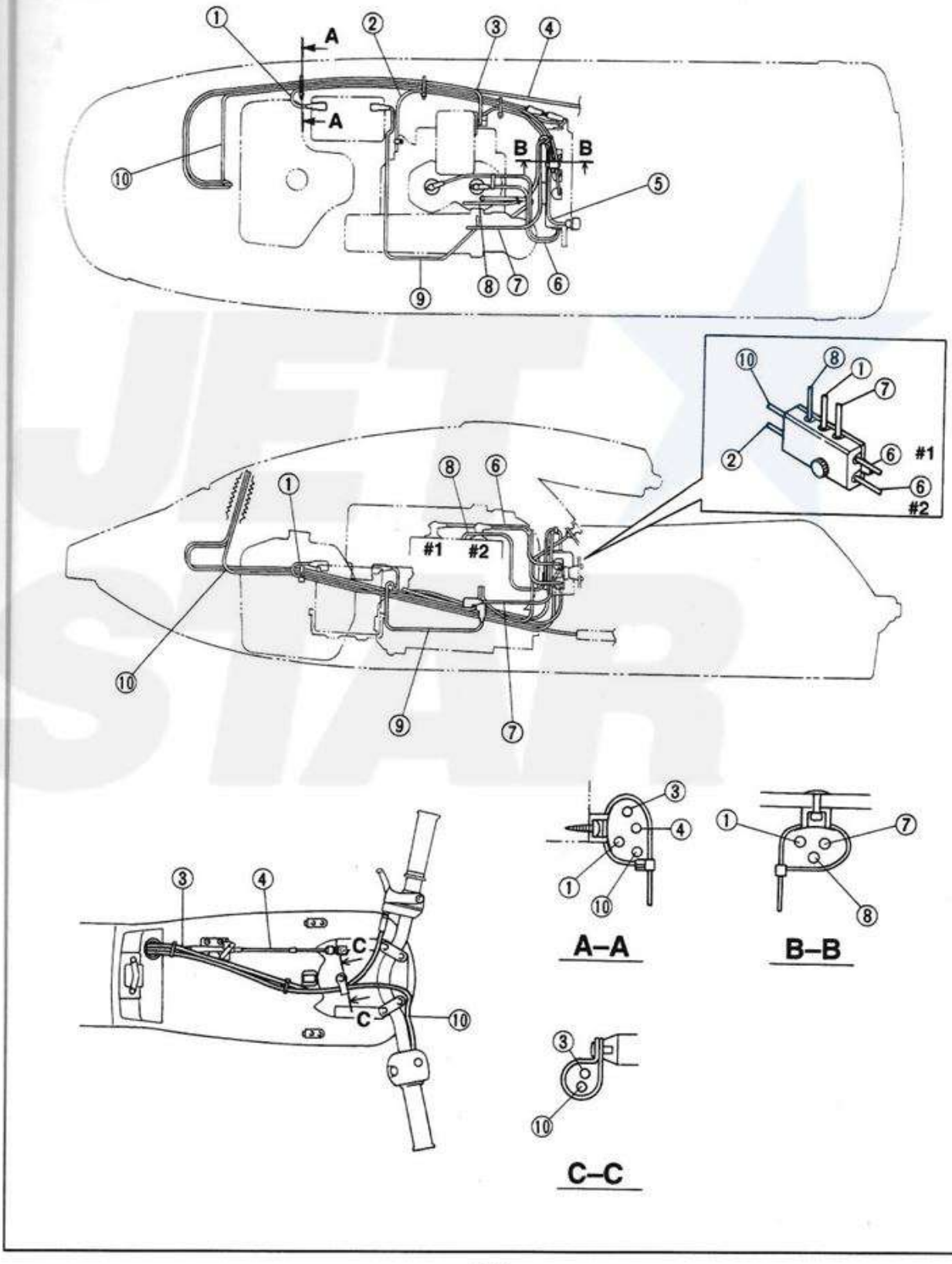


WWW.JET-STAR.JP

4. ケーブル通し図/電気配線図

①バッテリ⊕リード線
②フライホイールマグネトリード線
③スロットルケーブル
④ステアリングケーブル
⑤チョークケーブル
⑥ハイテンションコード
⑦スタータモータ⊕リード線
⑧サーモセンサリード線
⑨バッテリ⊖リード線
⑩ハンドルスイッチリード線

SJ



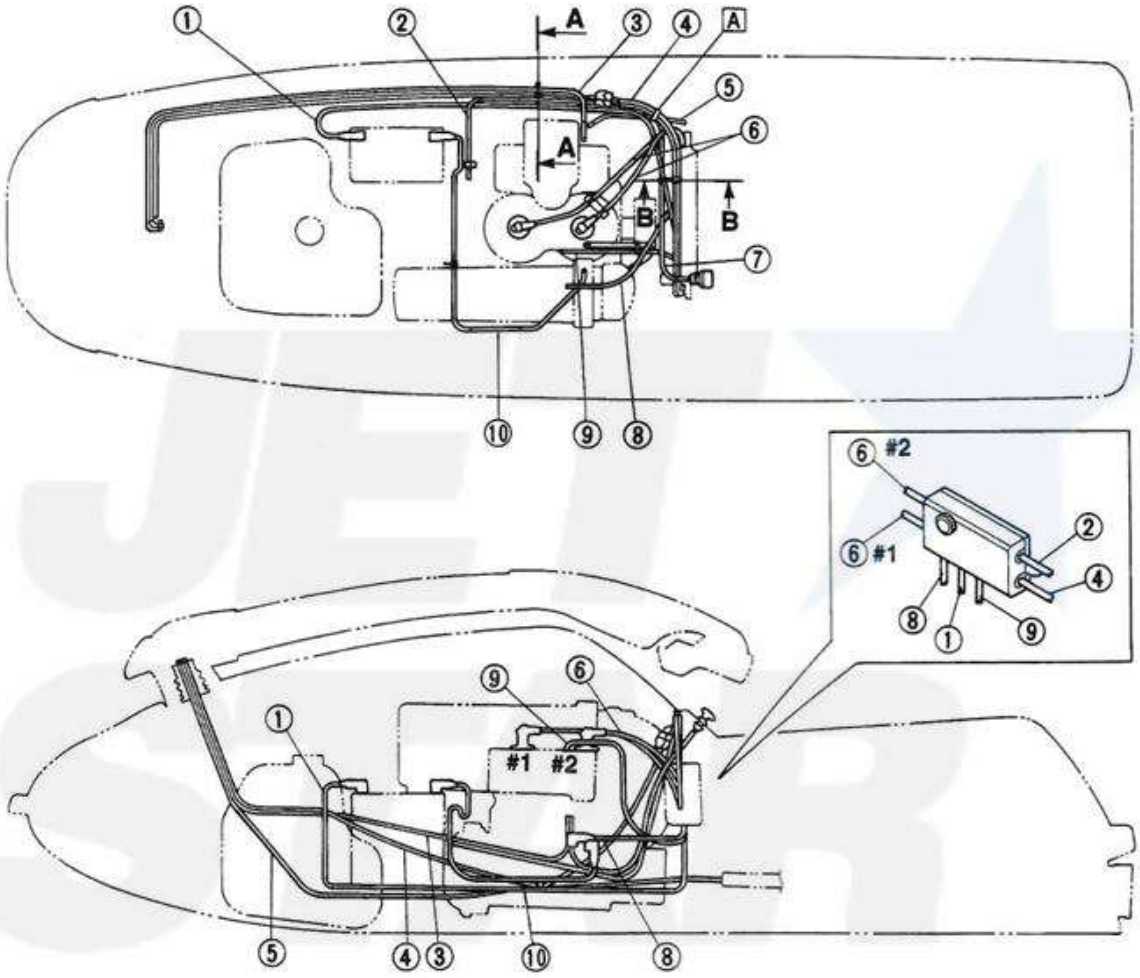
WWW.JET-STAR.JP

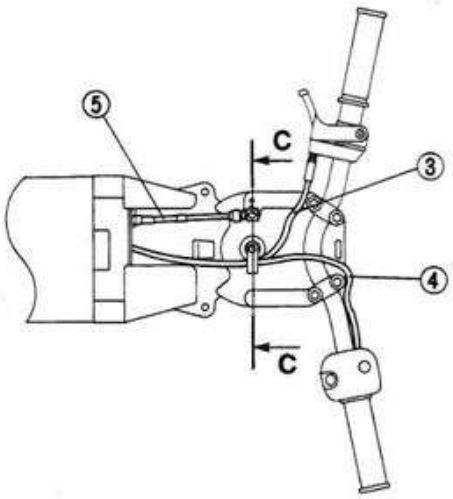
ケーブル通し図/電気配線図

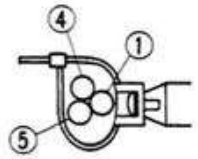
①バッテリ⊕リード線
②フライホイールマグネトリード線
③スロットルケーブル
④ハンドルスイッチリード線
⑤ステアリングケーブル
⑥ハイテンションコード
⑦チョークケーブル
⑧スタータモータ⊕リード線
⑨サーモセンサリード
⑩バッテリ⊖リード線

Ⓐチョークケーブル，ハンドルスイッチリード線，バッテリ⊕リード線及びフライホイールマグネトリード線をバンドでクランプする。

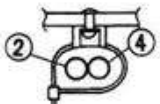
FX



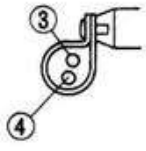




A–A



B–B



C–C

WWW.JET-STAR.JP

第3章　一般整備

1．定期点検……3-1

2．整備前の準備……3-2

3．トローリングスピードの調整……3-3

4．燃料系統の点検……3-4
(1) フュエルフィルタ……3-4
(2) ウォータセパレータ……3-5
(3) チェックバルブ……3-5
(4) フュエルフィラ……3-5

5．スロットルレバーの調整……3-6

6．チョークケーブルの調整……3-7

7．ステアリングシステムの点検と調整……3-8
(1) ステアリングコラム……3-8
(2) ステアリングポール……3-9
(3) ステアリングケーブル……3-10

8．ステアリングノズル角度の調整……3-11

9．インペラの点検……3-13
(1) インペラ……3-13
(2) カップリングラバー……3-14

10．ライドプレート角度の調整……3-15

11．電装系統の点検……3-16
(1) 電気配線……3-16
(2) スタータスイッチ／エンジンストップスイッチ……3-16
(3) バッテリ……3-17
(4) スパークプラグ……3-19
(5) 圧縮圧力の点検……3-21

12．艤装品の点検と調整……3-22
(1) エンジンフードラッチ……3-22
(2) シールラバー……3-22
(3) マウントブラケット……3-22
(4) ビルジストレーナ……3-22

13．給脂箇所……3-23

WWW.JET-STAR.JP

1. 定期点検

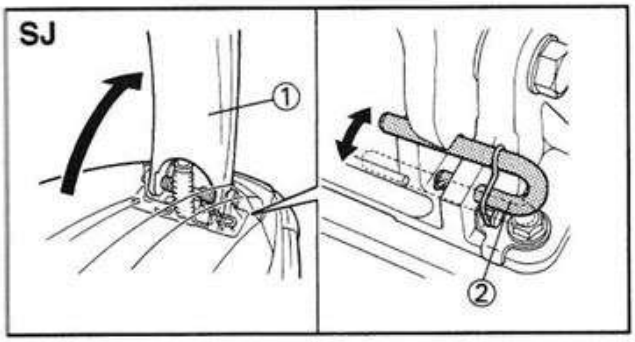
〈整備間隔表〉

次の表は、一般的な整備を受ける時期の間隔の目安となるものです。
使用状況によって整備の間隔は変わります。

区分	点検箇所	初回（時間目）			毎回（時間毎）	
		10	50	100	100	200
エンジン	ボルトとナットの締付け	○		○	○	
	歪み、亀裂、摩耗	○				○
	スパークプラグの状態、ギャップの清掃	○	○	○	○	
	アライメント					○
キャブレタ	トローリングスピードの調整	○		○	○	
	混合比の調整	○		○	○	
燃料系統	フュエルタンクの清掃と点検					○
	フュエルフィルタの清掃と点検	○	○	○	○	
	フュエルフィルタの交換					○
	フュエルフィラキャップの点検			○	○	
	燃料経路の点検			○	○	
	チェックバルブの点検			○	○	
操作系統	スロットルレバーの調整			○	○	
	チョークケーブルの調整			○	○	
	ステアリングケーブルの調整			○	○	
ドライブ系統	インペラ点検		○	○	○	
	インペラと インペラハウジングの隙間の点検			○	○	
	カップリングラバーの点検					○
電装系統	配線の点検	○	○	○	○	
	スタータスイッチの点検	○	○	○	○	
	エンジンストップスイッチの点検	○	○	○	○	
	スタータモータの動き			○	○	
	バッテリの整備	○	○	○	○	
艤装品	ボルトとナットの締付け	○		○	○	
	損傷の点検	○	○	○	○	
	ハッチロックの点検	○		○	○	
	防水用ラバーの点検	○		○	○	
	ステアリングポールの点検	○		○	○	
	ステアリングコラムの点検	○		○	○	
潤滑	キャブレタスロットルシャフト			○	○	
	スロットルケーブル			○	○	
	チョークノブシャフト			○	○	
	チョークケーブル			○	○	
	ステアリングコラムピボットシャフト			○	○	
	ステアリングピボットシャフト			○	○	
	ステアリングノズルピボットボルト			○	○	
	ステアリングケーブル			○	○	
	ボールジョイント			○	○	
	ベアリングハウジング	○*1		○*2	○*2	

*1：グリース注入量 20～22cc　*2：グリース注入量 3～5cc

WWW.JET-STAR.JP



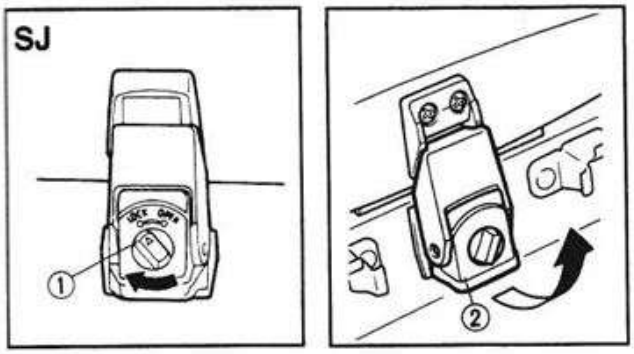
2. 整備前の準備

S J

1. 支える
・ステアリングポール

要点

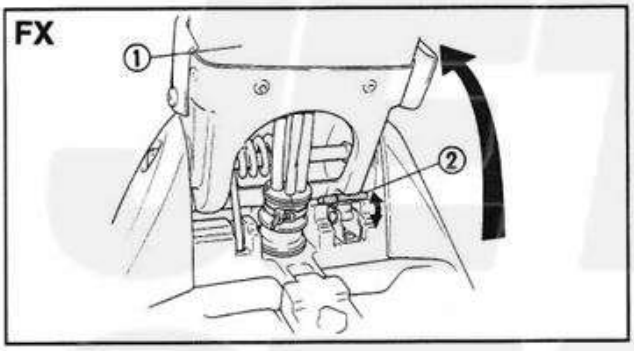
ステアリングポール①を持ち上げ、ロックピン②で固定します。



2. 取外し
・エンジンハッチ

要点

ラッチノブ①を "OPEN" 位置回します。次にラッチフック②を引上げ、エンジンハッチを取外します。

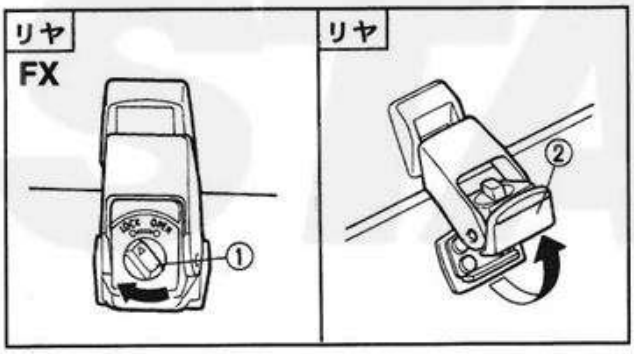


F X

1. 支える
・ステアリングポール

要点

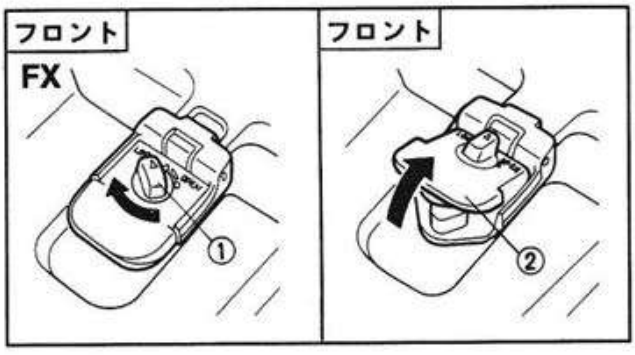
ステアリングポール①を持ち上げ、ロックピン②で固定します。



2. 取外し
・エンジンハッチ

要点

前後のラッチノブ①を "OPEN" 位置回します。最初にリヤのラッチフック②を引上げ、次にフロントのラッチフック②を引上げます。それから、エンジンハッチの取っ手をつかみエンジンハッチを持ち上げ後側に取外します。

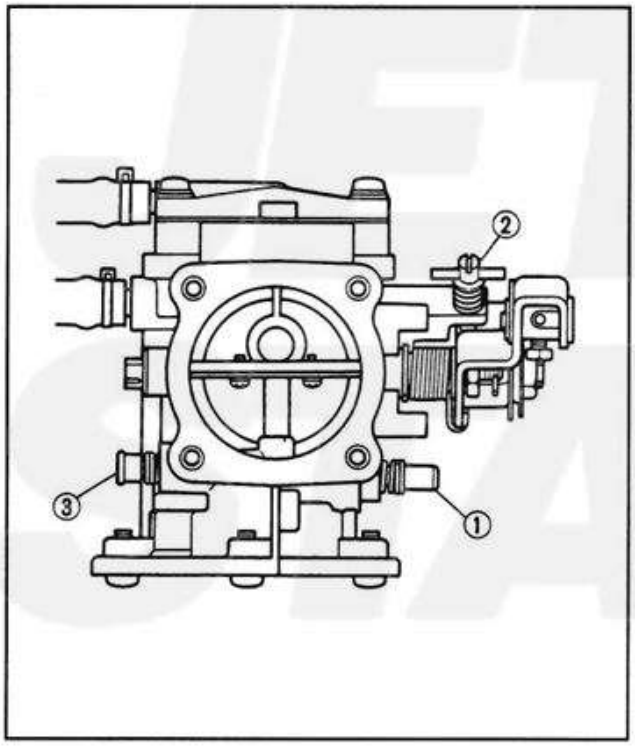


WWW.JET-STAR.JP

3. トローリングスピードの調整

1. 点検
・トローリングスピード
規定値でない場合→調整。

点検手順(水上)
・エンジンを始動させ数分間暖機運転をする。 ・エンジンタコメータのセンサを、ハイテンションコードに取付ける。
エンジンタコメータ 90890-06760
・トローリングスピードを測定する。
トローリングスピード 1,250±50rpm



2. 調整
・トローリングスピード

調整手順	
・低速スクリュ①を、座面に軽く当たるまで締込む。 ・低速スクリュ①を、規定回転戻す。	
低速スクリュ 1-7/8±1/4回転戻し	
・エンジンを始動させ数分間暖機運転をする。 ・スロットルストップスクリュ②を締込むか、戻すかしてトローリングスピードが規定値になるように調整する。	
締込む	トローリンクスピードが上がる。
戻す	トローリングスピードが下がる。

3. 調整
・高速スクリュ

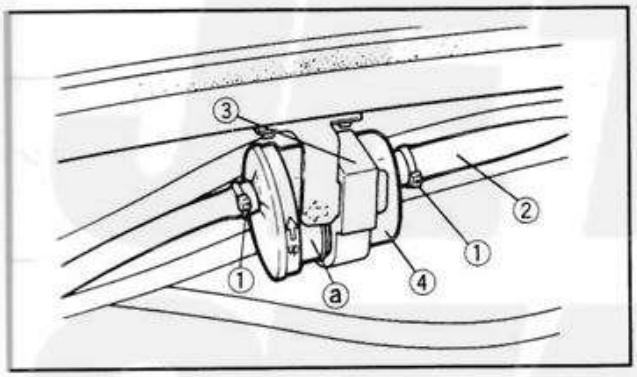
調整手順	
・高速スクリュ③を、座面に軽く当たるまで締込む。 ・高速スクリュ③を、規定回転戻す。	
高速スクリュ 1-5/8±1/4回転戻し	

WWW.JET-STAR.JP

4. 燃料系統の点検

⚠注意

- 燃料系統の修理をするときは、エンジンを止めフュエルコックを "OFF" にし、フュエルフィラキャップを緩めます。
- ガソリンによる火災の危険を防ぐため、タバコは絶対に吸わないこと。また、裸火、火花にも気を付けます。
- 燃料系統の部品を取外すときは布を当て、エンジンルーム内に燃料がこぼれないように注意します。



(1) フュエルフィルタ

1. 取外し
   - ホースタイ①
   - ホース②
   - ホルダ③
   - フュエルフィルタAss'y④

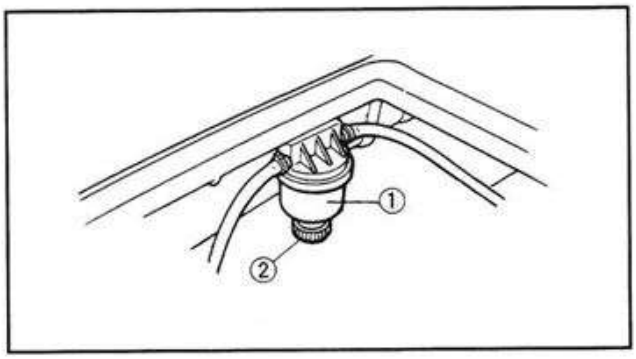
2. 点検
   - フィルタエレメント
     詰まり→フィルタAss'yで交換。
   - フィルタボディ
     亀裂／損傷→フィルタAss'yで交換。
   - フィルタAss'y
     水アカ詰まり→フィルタAss'yで交換し、フュエルタンクを点検。

3. 組立
   - ホルダにフィルタAss'yを組付ける。
   - フィルタAss'yにフュエルホースを接続し、新しいホースタイで締める。
   - ブラケットにホルダを組付ける。

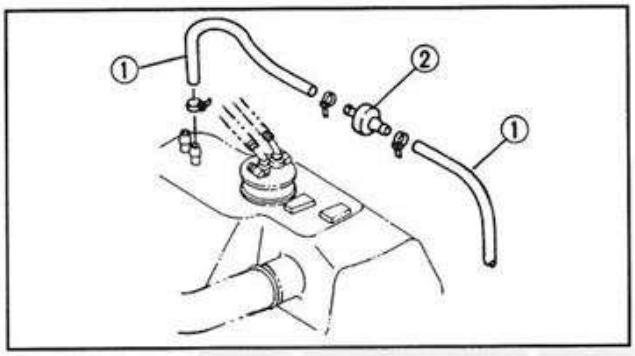
注意

- 矢印を上側に向けてフィルタAss'yを組付けます。
- ホースタイは、新しいものを使います。

WWW.JET-STAR.JP

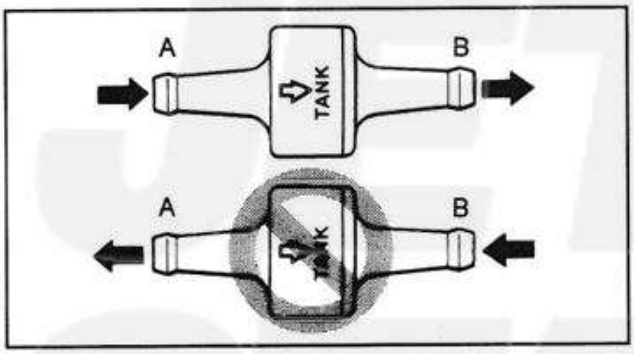


(2) ウォータセパレータ
1. 点検
・セパレータボディ①
亀裂／損傷→セパレータAss'yで交換。
・水アカ詰まり→ドレンスクリュ②を外して、水アカを抜く。



(3) チェックバルブ
1. 取外し
・ブリーザホース①

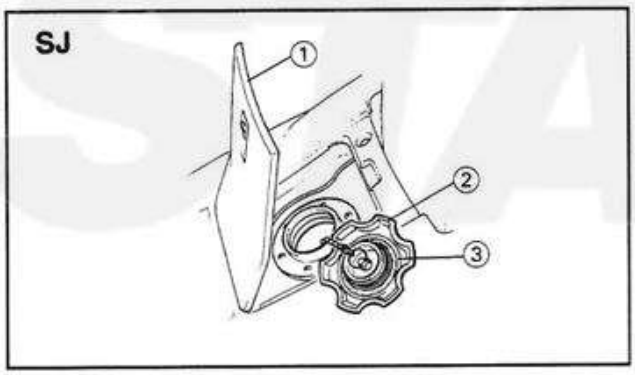
2. 点検
・チェックバルブ②
AからBへ流入→OK。
BからAへ流入→交換。



3. 組付
・ブリーザホース①

注意
- チェックバルブの矢印の向きをフュエルタンク側にします。
- ホースタイは、新しいものを使います。

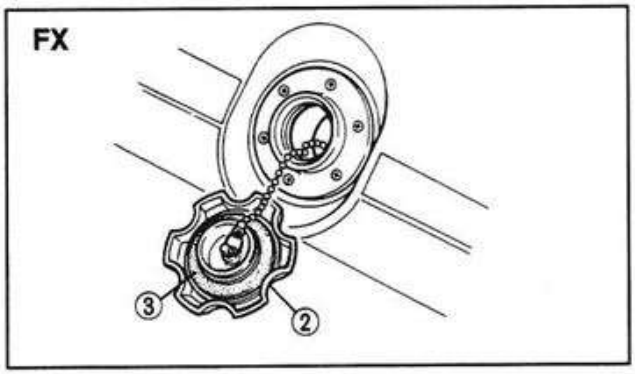
SJ



(4) フュエルフィラ
1. 取外し
・フィラリッド①(SJ)
・フィラキャップ②

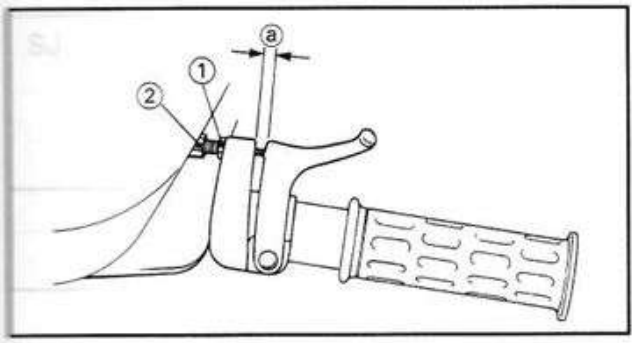
2. 点検
・フィラキャップ
亀裂／損傷→交換。
・シールラバー③
摩耗／亀裂→交換。
・ホースバンド(フュエルフィラ後部)
緩み→締付け。

FX



3. 組付
・フィラキャップ
・フィラリッド(SJ)

WWW.JET-STAR.JP



5. スロットルレバーの調整

要点

スロットルレバーの遊びを調整する前に、トローリングスピードを調整しておきます。

1. 測定
・スロットルレバーの遊びⓐ
規定値でない場合→調整。

	スロットルレバーの遊び **7～10mm**

2. 調整
・スロットルレバーの遊び

調整手順
・ロックナット①を緩める。
・アジャスタ②を規定値になるまで締込む、または緩める。

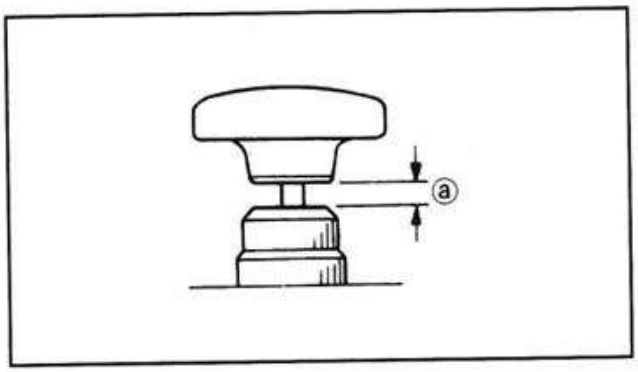
締込む	**遊びが増える。**
緩める	**遊びが減る。**

・ロックナットを締める。

⚠注意

スロットルレバーの遊びを調整後、ハンドルバーを左右に動かし、トローリングスピードが規定値より高くなっていないことを確認します。

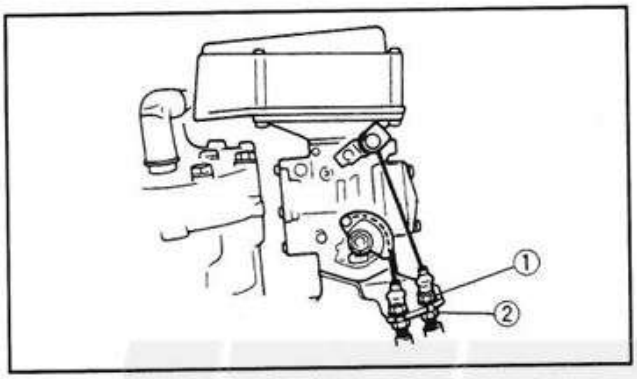
WWW.JET-STAR.JP



6. チョークケーブルの調整

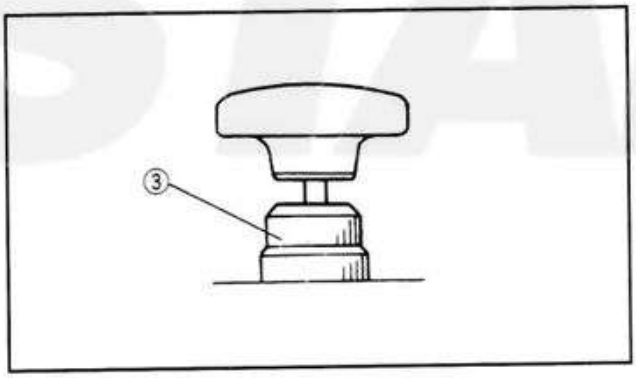
1. 測定
・チョークケーブルの遊びⓐ
規定値でない場合→調整。

	チョークケーブルの遊び 1～6mm



2. 調整
・チョークケーブルの遊び

調整手順 ・ロックナット①を緩める。 ・アジャスタ②を規定値になるまで締込む、または緩める。	
締込む	遊びが増える。
緩める	遊びが減る。
・ロックナットを締める。	
	ロックナット 0.9kgf・m (9Nm)

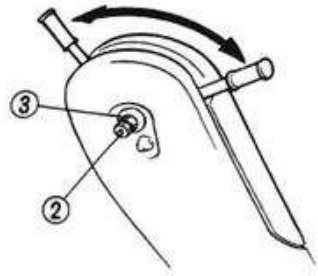


3. 点検
・チョークノブを手前に引く
チョークノブが自動的に戻る→調整。

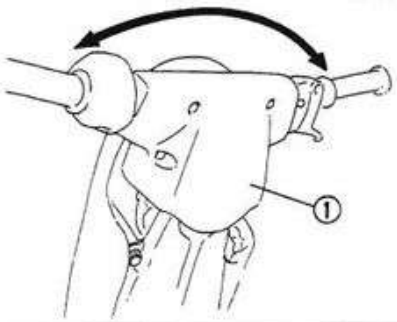
4. 調整
・アジャストナット③
自動的に戻らないように締込む。

WWW.JET-STAR.JP

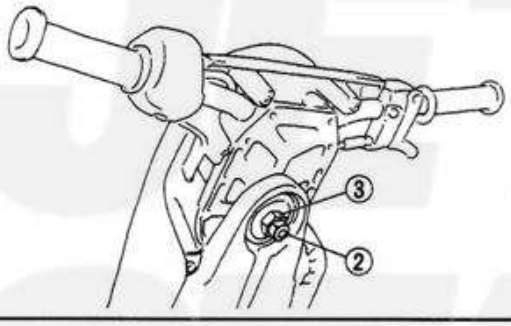
SJ



FX



FX



7. ステアリングシステムの点検と調整

(1) ステアリングコラム

1. 点検

・ステアリングコラムの作動
左右にハンドルバーを切って、スムーズに動くか、引っ掛かりがないか点検します。
引っ掛かり→調整。

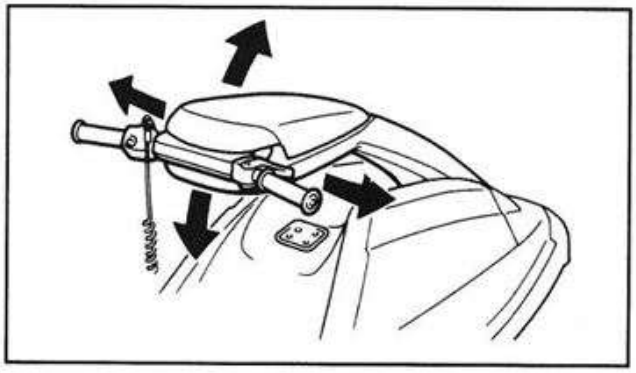
調整手順
- ハンドルロワカバー①を取外す。(FX)
- ロックナット②を緩める。
- 希望するステアリング感が得られるまでアジャストナット③を締込む、または緩める。
- アジャストナットをスパナで固定してロックナットを締付ける。

	ロックナット 2.9kgf・m (29Nm)

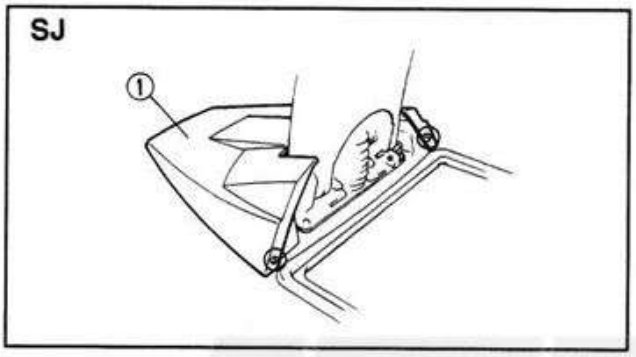
- ハンドルロワカバーを組付ける。(FX)

WWW.JET-STAR.JP

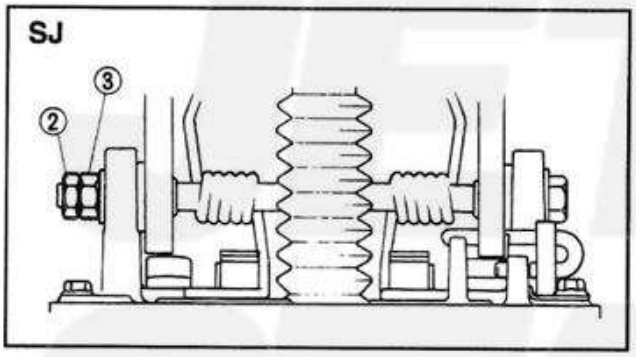
ステアリングシステムの点検と調整



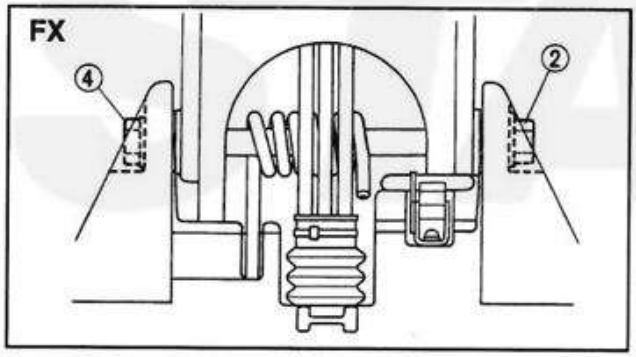
SJ



SJ



FX



(2) ステアリングポール

1. 点検

・ステアリングポールの作動
上下にステアリングポールを動かし、スムースに動くか、引っ掛かりがないか点検します。
引っ掛かり→調整。

調整手順

・バウカバー①を取外す。(SJ)
・ロックナット②とアジャストナット③(SJ)またはシャフトボルト④(FX)を緩める。
・アジャストナット(SJ)またはシャフトボルト(FX)を締付ける。

アジャストナット(SJ)
1.5kgf・m (15Nm)
シャフトボルト(FX)
1.5kgf・m (15Nm)

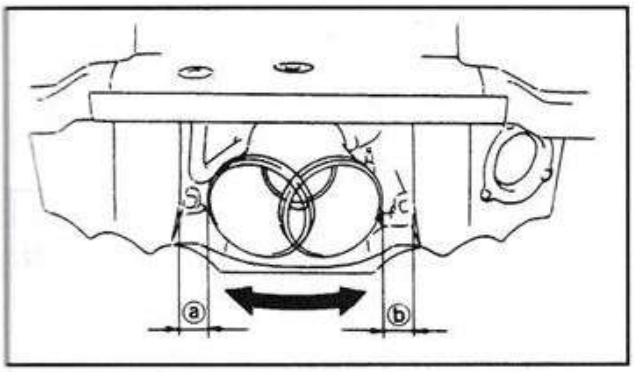
・アジャストナット(SJ)またはシャフトボルト(FX)をスパナで固定しロックナットを締付ける。

ロックナット
7.0kgf・m (70Nm)

・バウカバーを組付ける。(SJ)

WWW.JET-STAR.JP

ステアリングシステムの点検と調整

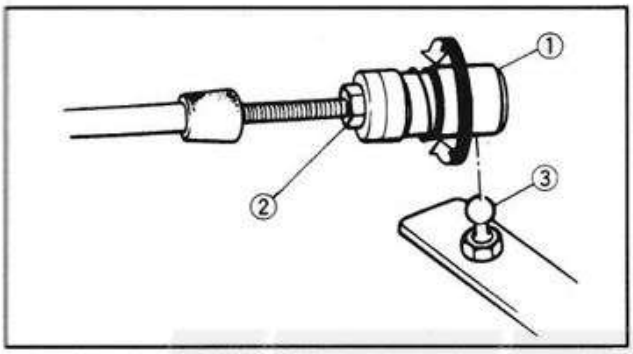


(3) ステアリングケーブル

1. 点検

・ステアリングノズルの隙間ⓐ, ⓑ

点検手順
- ハンドルバーを左右それぞれいっぱいに切る。
- 隙間ⓐ, ⓑを測定する。
- もし、ⓐ, ⓑの隙間が異なっていたら、同じになるように調整する。



2. 調整

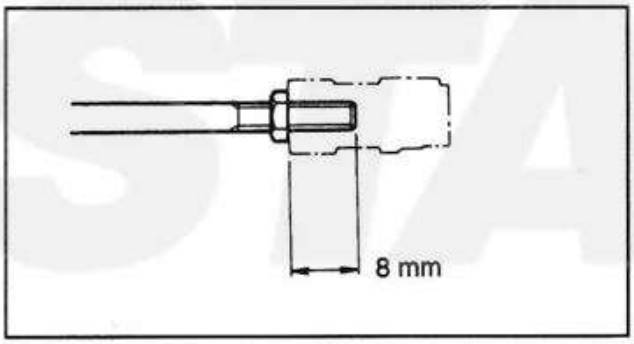
・ケーブルジョイント①(ハンドル側)

調整手順
- ボールジョイント③からケーブルジョイント①を外す。
- ロックナット②を緩める。
- ジョイント①を回して隙間を調整する。

締込む	ⓐの隙間が増える。
緩める	ⓑの隙間が増える。

- ロックナットを締め、ケーブルジョイントを接続する。

ロックナット
0.3kgf・m (3Nm)



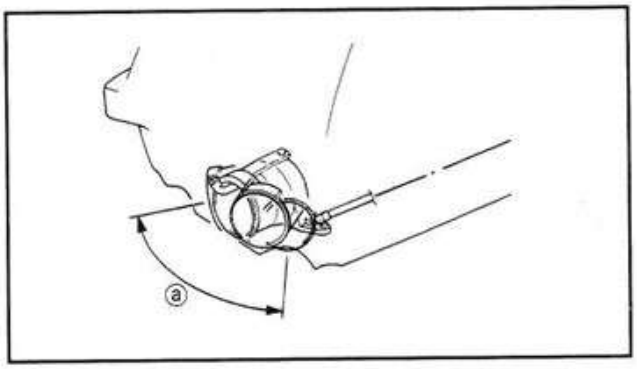
⚠注意

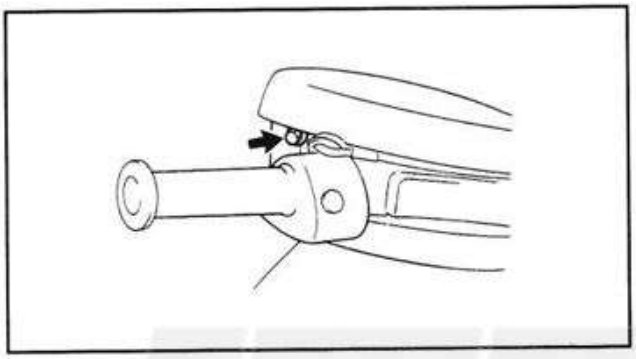
ケーブルジョイントは8㎜以上締込みます。

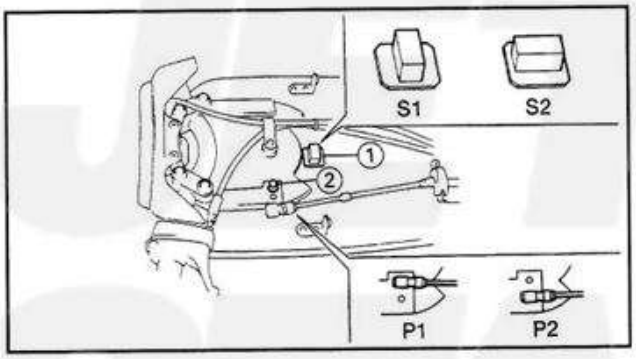
要点

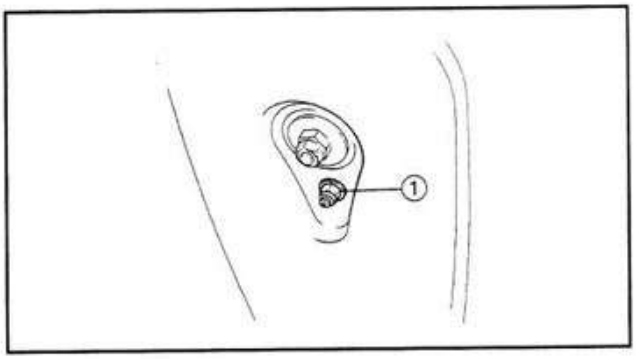
もし、ハンドルレバー側のケーブルジョイントだけで正しく調整できない場合は、ステアリングノズル側で調整します。

WWW.JET-STAR.JP









8. ステアリングノズル角度の調整

SJ

1. 調整

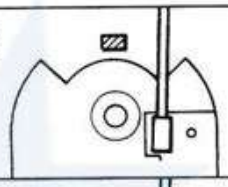
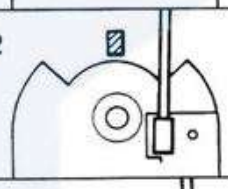
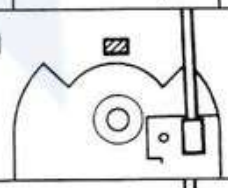
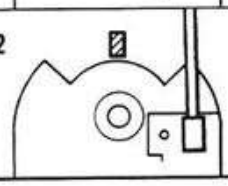
・ステアリングノズル角度ⓐ

調整手順

・2本のボルトを緩めステアリングパッドを取外す。

・ステアリングケーブルジョイントを取外す。

・好みのステアリングノズル角度を下記の表より選ぶ。

ノズル角度	ハンドルストッパ①及びステアリングケーブルピボットボルト②の位置
18.5°	
20.5°	
22.5°	
24.5°	

・ステアリングケーブルピボットボルトを締付ける。

注意

ボルトにロックタイトNo.242(青色)を塗布します。

ステアリングケーブルピボットボルト
0.7kgf・m (7Nm)

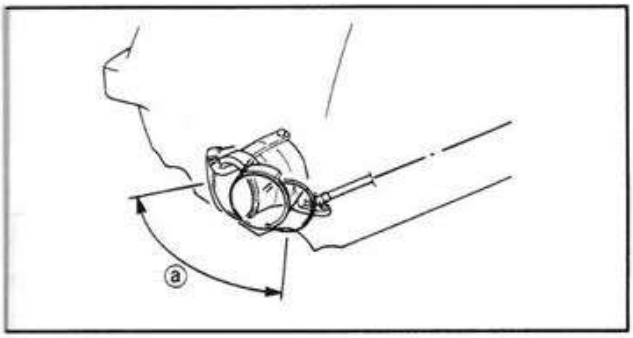
・ハンドルストッパナット①を締付ける。

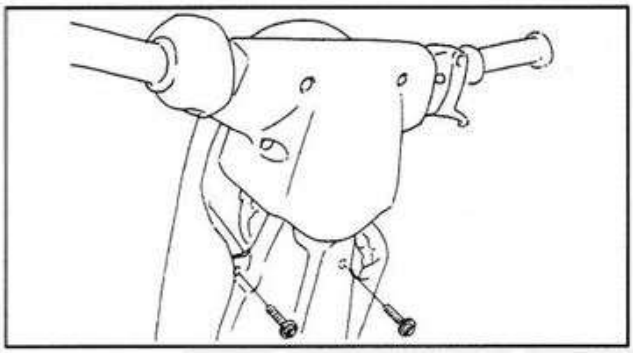
ハンドルストッパナット
3.2kgf・m (32Nm)

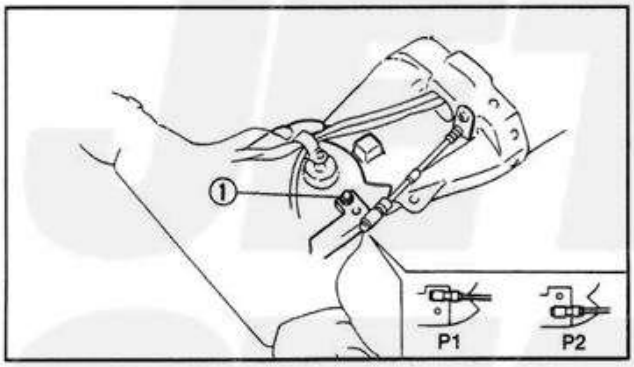
・ステアリングケーブルジョイントを組付ける。

WWW.JET-STAR.JP

ステアリングノズル角度の調整







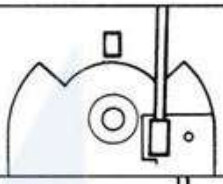
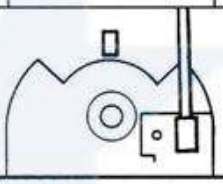
FX

1. 調整

・ステアリングノズル角度ⓐ

調整手順

- ２本のボルトを緩めステアリングパッドを取外す。
- ステアリングケーブルジョイントを取外す。
- 好みのステアリングノズル角度を下記の表より選ぶ。

ノズル角度	ステアリングケーブルピボットボルトの①の位置
18.5°	 P1
20.5°	 P2

- ステアリングケーブルピボットボルトを締付ける。

注意

ボルトにロックタイトNo. 242(青色)を塗布します。

ステアリングケーブルピボットボルト
0.7kgf・m (7Nm)

- ステアリングケーブルジョイントを組付ける。

WWW.JET-STAR.JP

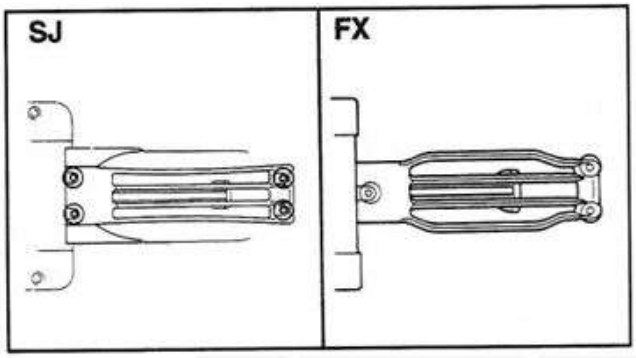
9. インペラの点検

(1) インペラ

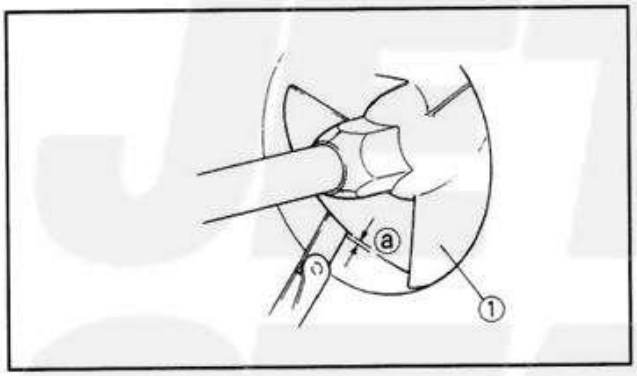
1. 取外し
・バッテリ
3-17ページを参照。

⚠注意

・バッテリを取外す時は、最初に ⊖リード線線より外します。
・インペラの整備中に艇を傾けると、バッテリ液がこぼれる場合があるのでバッテリを外しておきます。また必要であればその間にバッテリを充電しておきます。



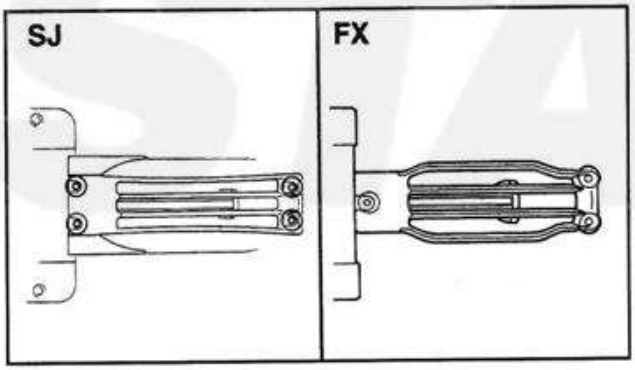
2. 取外し
・ボルト
・インテークスクリーン



3. 点検
・インペラ①
摩耗／損傷→交換。
かき傷／切傷→やすりを掛ける／磨く。

4. 測定
・インペラの隙間ⓐ
規定値以上の場合→交換。
全部で4カ所を測定する。

インペラの隙間限度
0.6mm



5. 組付
・インテークスクリーン
・ボルト

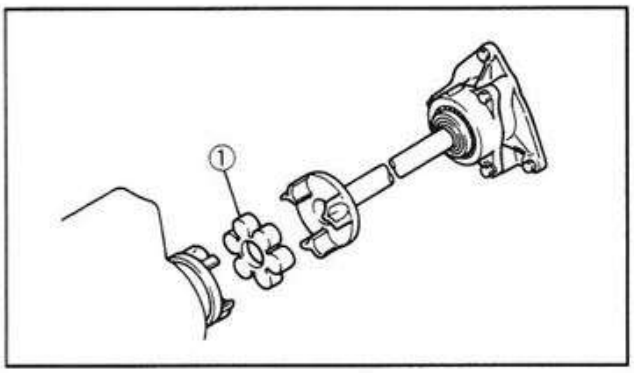
注意

ボルトにロックタイトNo. 242 (青色) を塗布します。

ボルト
0.5kgf・m (5Nm)

6. 組付
・バッテリ
3-18ページを参照。

WWW.JET-STAR.JP



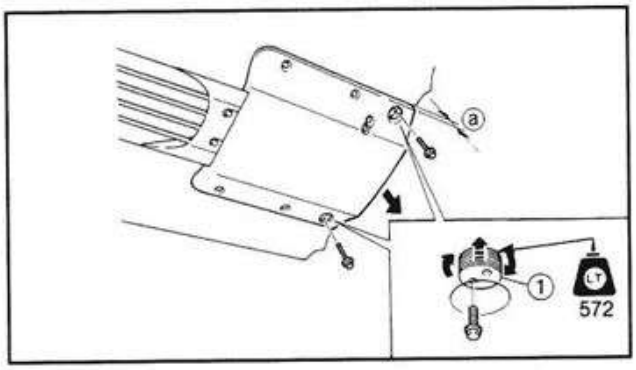
(2) カップリングラバー

1. 取外し
・エンジンユニット
「第5章　パワーユニット」を参照。

2. 点検
・カップリングラバー①
摩耗／亀裂→交換。

3. 組付と調整
「第5章　パワーユニット」を参照。

WWW.JET-STAR.JP



10. ライドプレート角度の調整

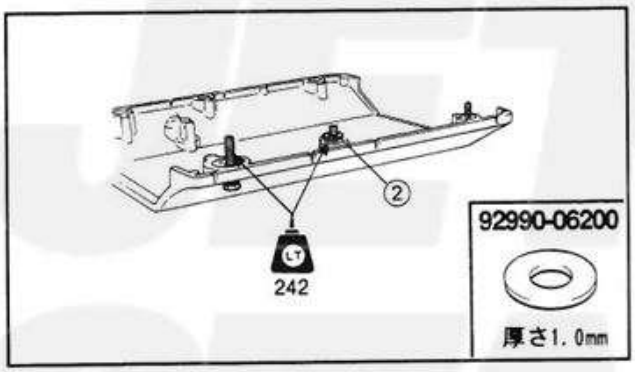
SJ

1. 調整

・ライドプレート角度

調整手順 ・6本のボルトを緩めライドプレートを取外す。 ・ジャッキボルト①を回す。
注意 ジャッキボルトを組付ける前にロックタイトNo. 572を塗布します。
要点 ライドプレート後端の高さⓐはジャッキボルト1回転につき1㎜変わります。
・ライドプレート後端の高さを好みの高さにする為にシム②追加する。

ライドプレート後端の高さ	シム枚数
0～1. 0mm	不要
1. 5～2. 0mm	取付前にシム1枚追加
2. 5～3. 0mm	取付前にシム2枚追加

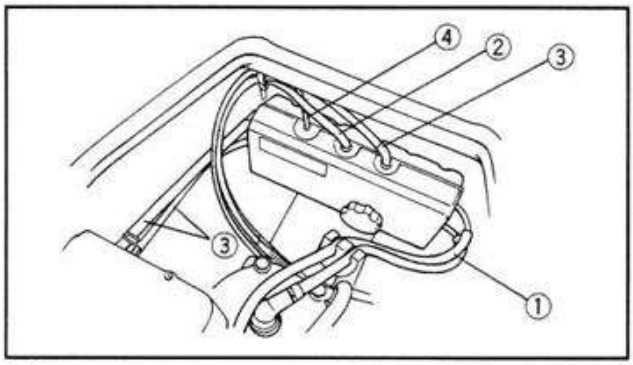


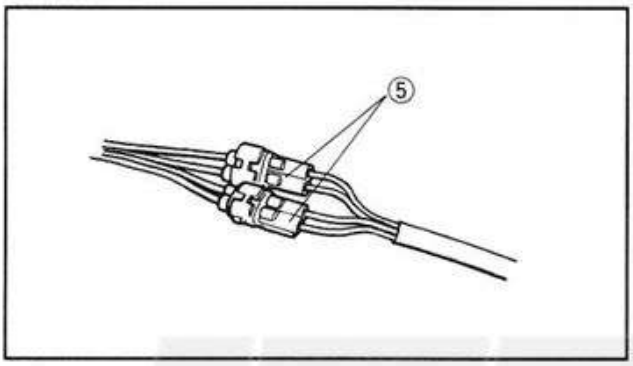
注意 シムは2枚以上使用しないでください。
・ライドプレートを6本のボルトで組付ける。
注意 ボルトにロックタイトNo. 242(青色)を塗布します。

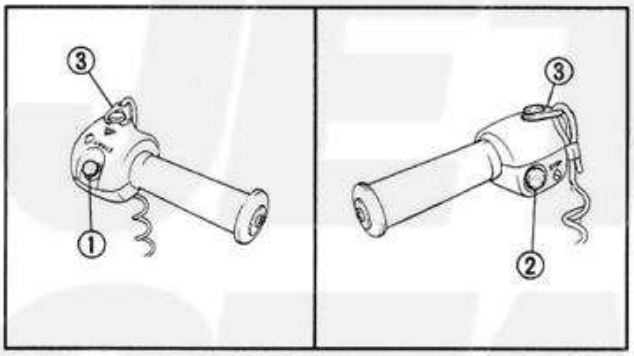
ボルト
0. 8kgf・m (8Nm)

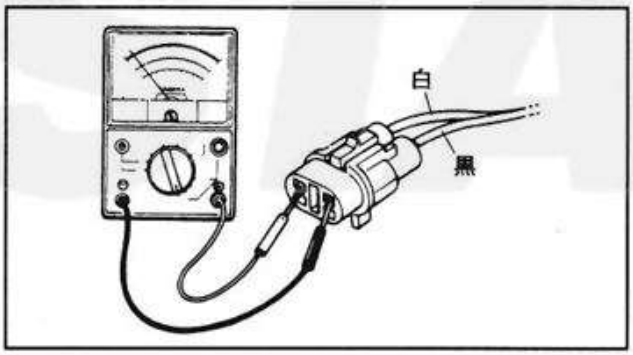
※FXはライドプレート角度の調整はできません。

WWW.JET-STAR.JP









11. 電装系統の点検

(1) 電気配線

1. 点検
- ハイテンションコード①
- バッテリリード線②
- エクステンションリード線③, ④
  亀裂／破損→交換。
- カプラ⑤
  緩み／損傷→交換。
- アース接続(端子は電装ボックスの中)
  腐食→清掃。
  緩み→締付け。

(2) スタータスイッチ／エンジンストップスイッチ

1. 点検
- スタータスイッチ①
- エンジンストップスイッチ②
- ロックプレート③

要点

ロックプレートを外している間は、スタータとストップスイッチの回路はオープン状態(∞Ω)です。ロックプレートをスイッチボックスに取付けて、次の手順で点検をします。

点検手順

- カプラを外し、ポケットテスタ(Ω×1にセット)のテスタ棒をスイッチ側のカプラに接続する。

スタータスイッチ(白いカプラ)
- スイッチを押して、導通を確認する。
  規定値でない場合→交換。

	押す	導通あり(0Ω)
	はなす	導通なし(∞Ω)

ストップスイッチ(黒いカプラ)
- スイッチを押して、導通を確認する。
  規定値でない場合→交換。

	押す	導通あり(0Ω)
	はなす	導通なし(∞Ω)

WWW.JET-STAR.JP

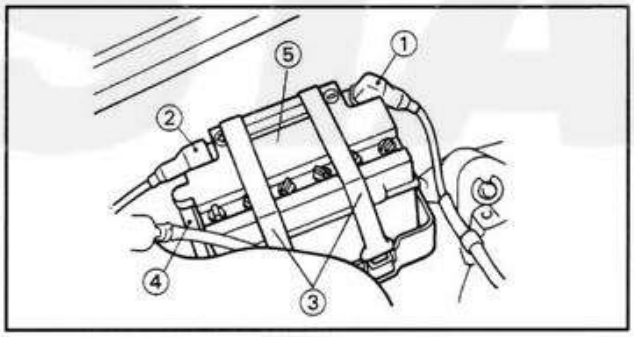
(3) バッテリ

注意

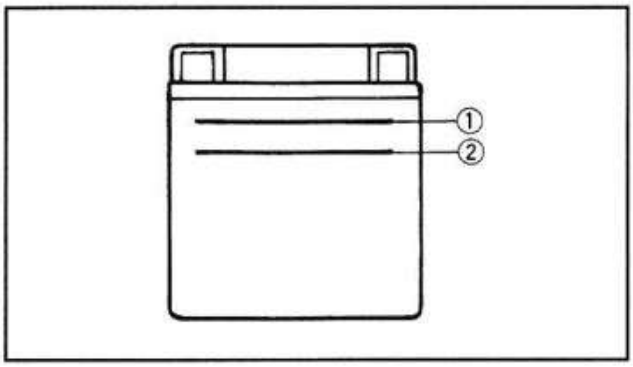
- バッテリを横向きに置かないでください。
- 充電時やバッテリ液補充時は、必ずバッテリを取外します。
- バッテリを点検するときは、ブリーザホースがバッテリに接続しているか、ブリーザホースが折れ曲がったり挟まったりしていないか確認します。

⚠注意

- バッテリの電解液には有毒で危険性のある希硫酸が含まれています。皮膚や衣服などにつかないようにします。
  解毒法：皮膚－水で洗い流す。
  体内－大量の水か牛乳を飲み、次にマグネシア乳か攪拌した卵または植物性油を飲み、すぐに医療手当を受ける。
  目　－15分間、水で洗い流した後、すぐに医療手当を受ける。
- バッテリは爆発性の高い水素ガスを発生する為、火花、裸火、タバコ等を近づけないようにします。
- 充電するときや室内で作業するときは、換気をしてください。
- バッテリの近くで作業をするときは、常に目を保護してください。
- バッテリは、子供の手が届かない所に保管します。



1. 取外し
- ⊕リード線①
- ⊖リード線②
- バンド③
- ブリーザホース④
- バッテリ⑤

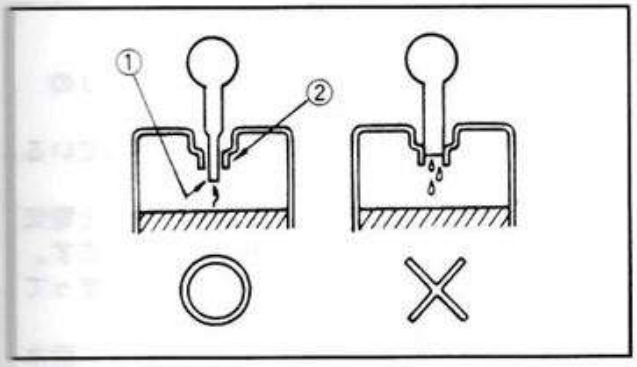


2. 点検
- バッテリ液量
  バッテリ液量が少ない→蒸留水を補充する。
  液量がアッパ①とロワ②のレベルマークの間になるように注入する。

注意

通常の水道水にはバッテリに有害なミネラルなどが含まれている為、必ず蒸留水を使用します。

WWW.JET-STAR.JP

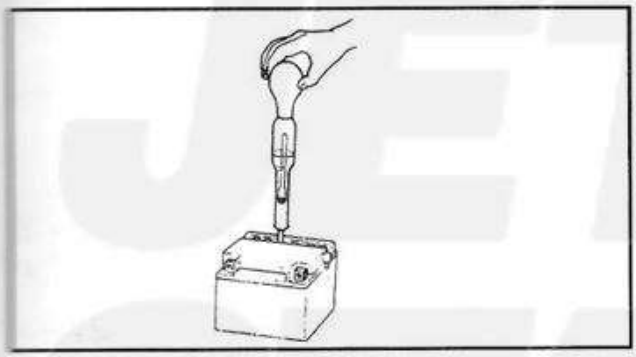


補充手順
・プライヤーを使って、各フィラキャップを外す。
・ジョグを使って、蒸留水を補充する。

要点

・直径が5㎜以下の口がついた酸用のジョグかビンを使用します。
ジョグの口が大きすぎるときは、先が細くなったじょうご等を使用します。
・補充時は、フィラの開口部を完全に閉じないで空気やガスが抜けるようにしておきます。

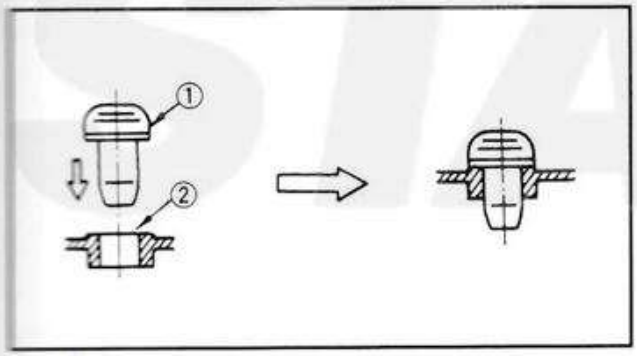
・蒸留水がアッパレベルまで補充したら、バッテリを20分間そのままにしておき、液面が下がっていたら、同じ蒸留水を再びアッパレベルまで補充する。



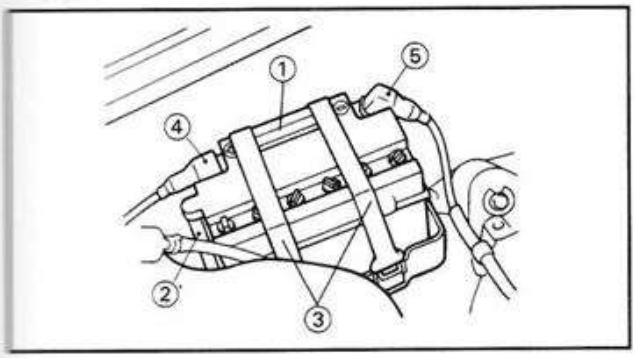
・酸用のジョグ①
・フィラ開口部②

3. 点検
・バッテリ液の比重
規定値でない場合→充電。

比重(20℃)
1.28
充電電流
1.9A×10時間



4. 充電後、フィラキャップをフィラ開口部にしっかりと押込む。
・フィラキャップ①
・フィラ開口部②
バッテリケースに酸が付いたら、洗い流し、よく拭き、乾いてから取付けること。

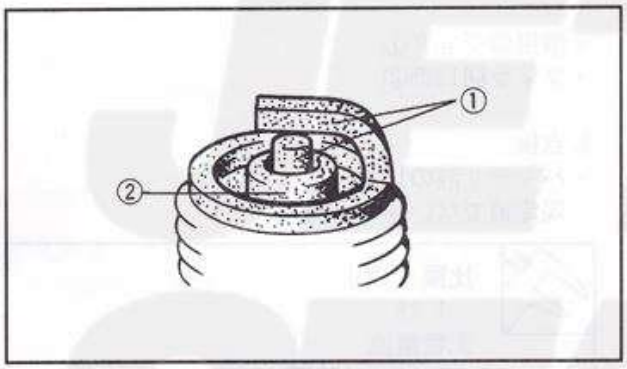


5. 組付
・バッテリ①
・ブリーザホース②
・バンド③
・⊕リード線④
・⊖リード線⑤

WWW.JET-STAR.JP

注意

- 最初にプラスの赤いリード線をバッテリの ⊕ の端子に接続します。
- バッテリのリード線が正しく接続されていることを確認します。
  もし、リード線が逆に接続されていると電気系統に大きな損傷が生じることがあります。
- ブリーザパイプが正しく接続され、詰まっていないか確認します。
- 端子の腐食を最小限にするため、端子に耐水グリースを塗布します。



(4) スパークプラグ

1. 取外し
・スパークプラグ

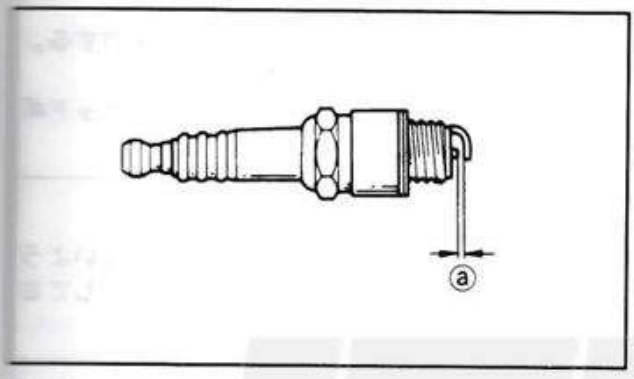
2. 点検
・電極①
摩耗／損傷→交換。
・絶縁ガイシの色②
正常の状態はキツネ色。
明らかに違う色→エンジンの調子を確認。
白色：燃料比が薄い
・フィルタ、ジェットの詰まり
・エアの漏れ
・セッティング不良
黒色：燃料が濃い
・電気系統の故障
・オイル量の過多
・スパークプラグの欠陥

3. 清掃
・スパークプラグ
プラグクリーナまたは、ワイヤブラシを使ってスパークプラグを清掃する。

WWW.JET-STAR.JP

4. 点検
・スパークプラグのタイプ
適当でない→交換。

標準スパークプラグ
NGK-B8HS



5. 測定
・スパークプラグギャップⓐ
規定値でない場合→調整／交換。
シクネスゲージを使用。

スパークプラグギャップ
0.6～0.7mm

6. 締付け
・スパークプラグ

要点

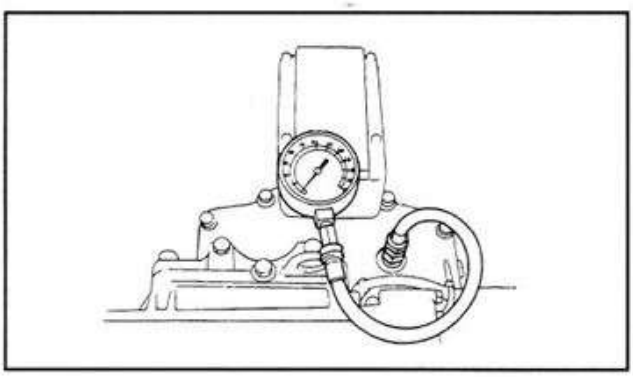
スパークプラグを組付ける前に、ガスケットとプラグの表面をきれいにします。
また、ネジ部の焼付きを防ぐためにスパークプラグのネジ部に耐焼付剤を薄く塗ると効果的です。

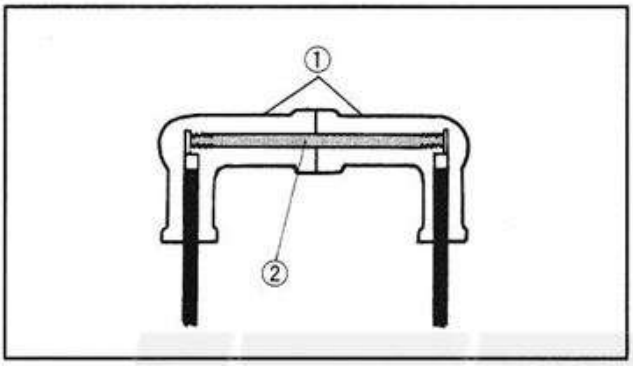
スパークプラグ
2.0kgf・m (20Nm)

要点

スパークプラグを締付けるときにトルクレンチがない場合のトルク値の目安は、手で締付けた後、さらに1/4回転から1/2回転締込むぐらいですが、できるだけすぐにトルクレンチを使い、正しいトルク値でスパークプラグを締付けます。

WWW.JET-STAR.JP





(5) 圧縮圧力の点検

1. 点検

・圧縮圧力
規定値以下の場合→点検。

	圧縮圧力 9.4kg/cm² (940kPa)

点検手順(水上)
・エンジンを始動させ数分間暖機運転をする。
・フュエルコックを "OFF" にする。
・シリンダヘッドの締付けトルクを確認する。
・両方のスパークプラグを取外す。
・両方のプラグキャップ①を、M6のスタッドボルト②で接続する。

⚠注意

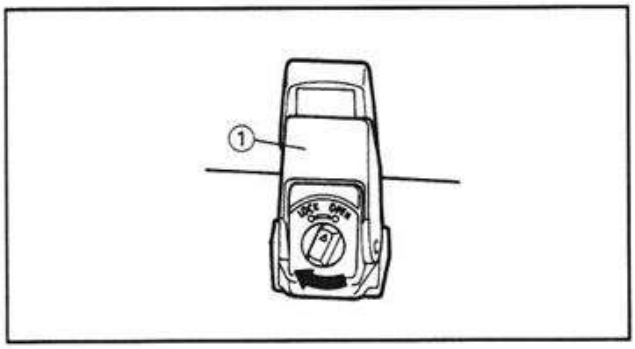
クランキングの際、スパークが発生しないように、必ずハイテンションコードをアースしておきます。

・スパークプラグ孔にコンプレッションゲージをセットする。

	コンプレッションゲージ 90890-06751

・スロットルを全開にして、スタータモータでエンジンをクランキングし、コンプレッションゲージの最高指示値を読みとる。

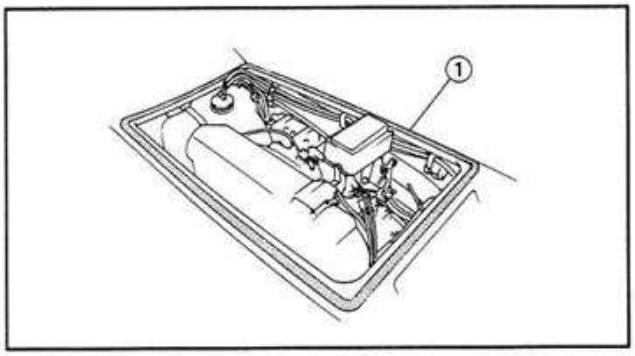
WWW.JET-STAR.JP



12. 艤装品の点検と調整

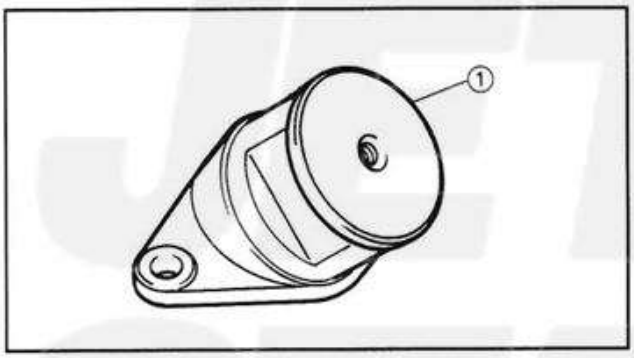
(1) エンジンハッチラッチ

1. 点検
・ラッチフック①
摩耗／欠陥→交換。



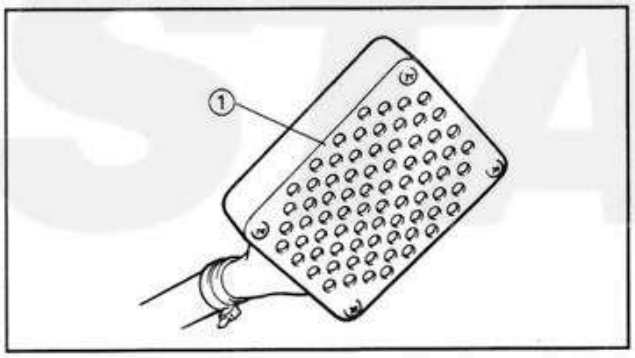
(2) シールラバー

1. 点検
・シールラバー①
摩耗／亀裂→交換。



(3) マウントブラケット

1. 点検
・マウントブラケット①
亀裂／剥離→交換。



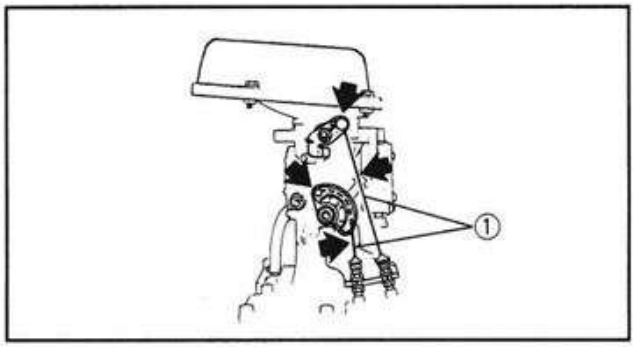
(4) ビルジストレーナ

1. 取外し
・ビルジストレーナ①
（カップリングの下）

取外し手順
・カップリングカバーを取外す。
・ストレーナホルダからビルジストレーナを取外す。

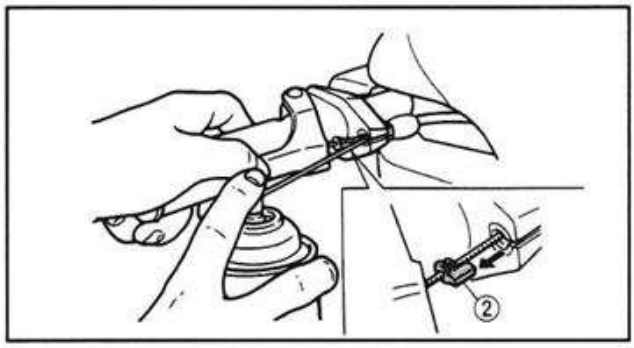
2. 点検
・ストレーナ
詰まり→清掃。
亀裂／損傷→交換。

WWW.JET-STAR.JP



13. 給脂箇所

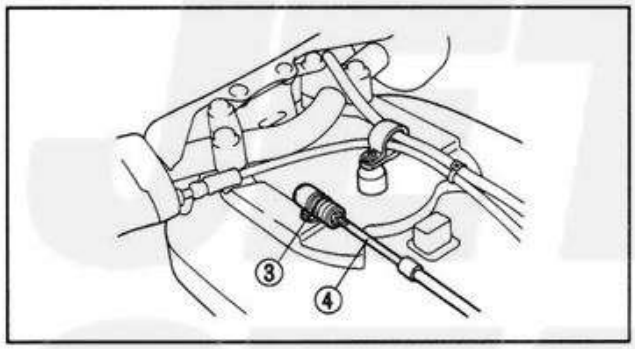
1. 耐水グリースを塗布
・エンジンコントロールケーブル①



・スロットケーブルの内側

要点

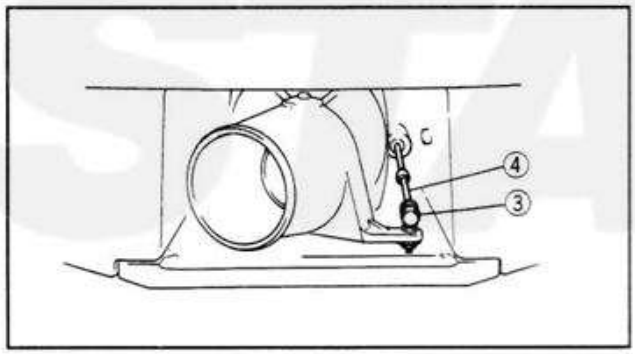
・スロットルレバーを引いて、シール②を外します。
・アウターケーブル内に防錆スプレーを吹付けます。

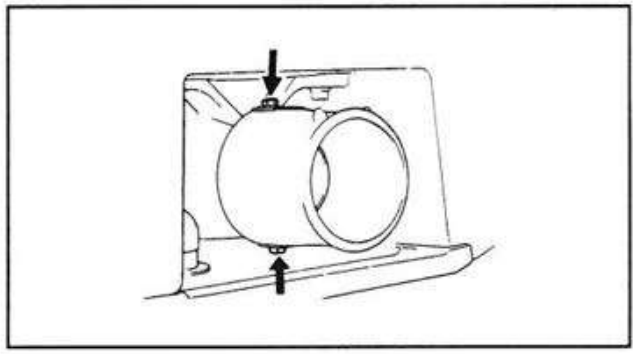


・ケーブルジョイント③
・ステアリングケーブル④

要点

ケーブルジョイントを外し、グリースを少量塗布します。

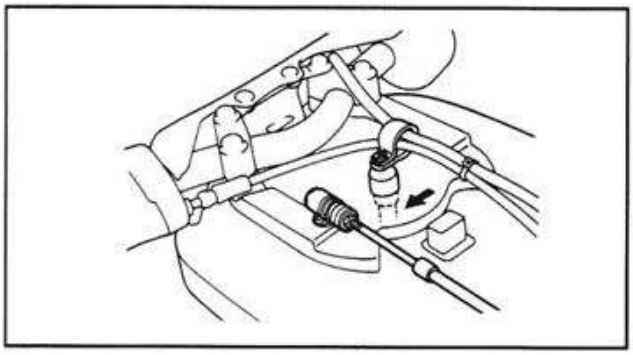




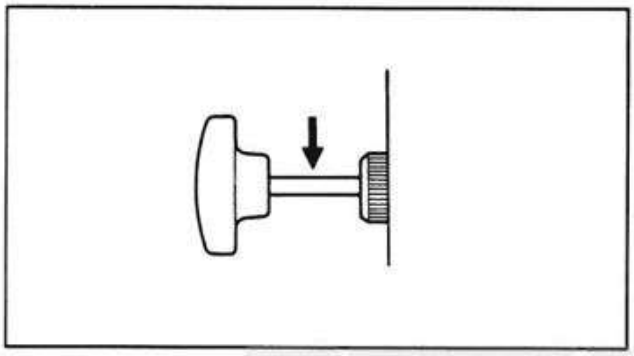
・ステアリングノズルピボットシャフト

WWW.JET-STAR.JP

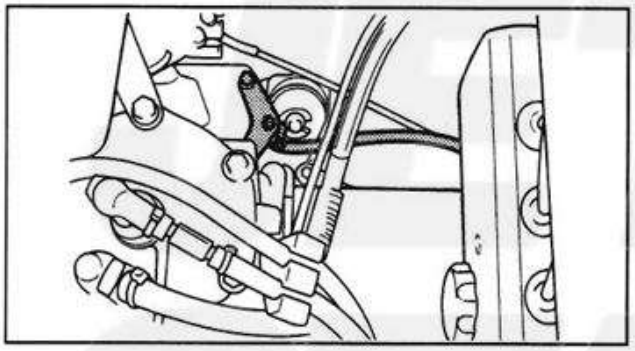
給脂箇所



・ステアリングコラムピボットシャフト



・チョークノブシャフト



・ベアリングハウジング

要点

- **ニップルから耐水グリースをベアリングハウジングに注入します。**
- **ホースやジョイントに損傷を与えるので、グリースの注入はゆっくり、ていねいに行います。**

注入量は3-1ページを参照。

WWW.JET-STAR.JP

第4章　燃料系統

1．燃料系統図……4-1

2．燃料系統……4-3
(1) 取外し前の準備……4-3
(2) 点検……4-5
フュエルフィラ，フュエルフィルタ，チェックバルブ……4-5
フュエルコック……4-5
フュエルタンク……4-5
フュエルホース……4-6
(3) 組付……4-6

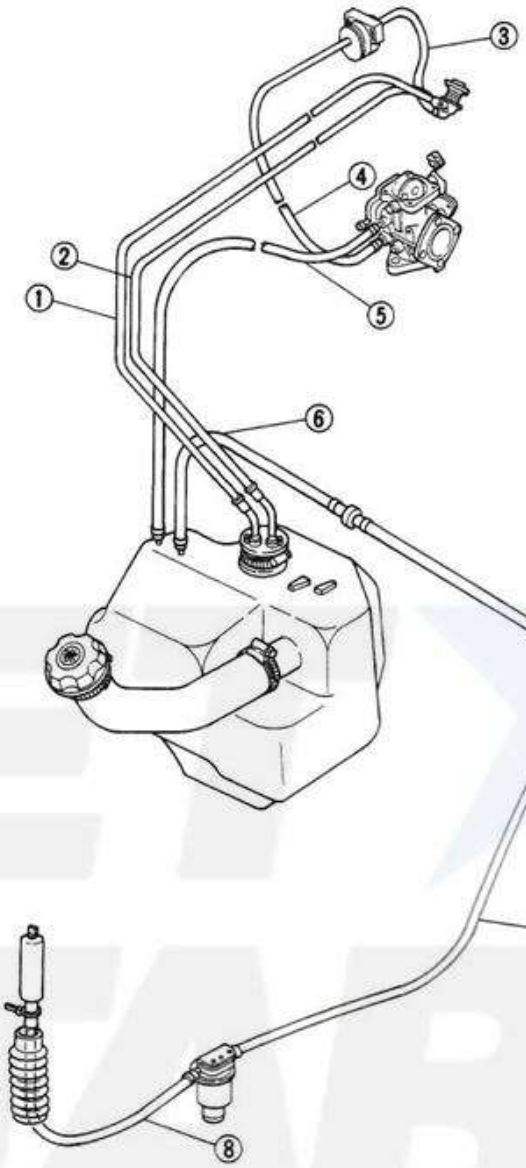
3．キャブレタ……4-9
(1) 取外し前の準備……4-9
(2) 点検……4-10
(3) 組付……4-12

JET STAR

燃料系統図

1. 燃料系統図

SJ

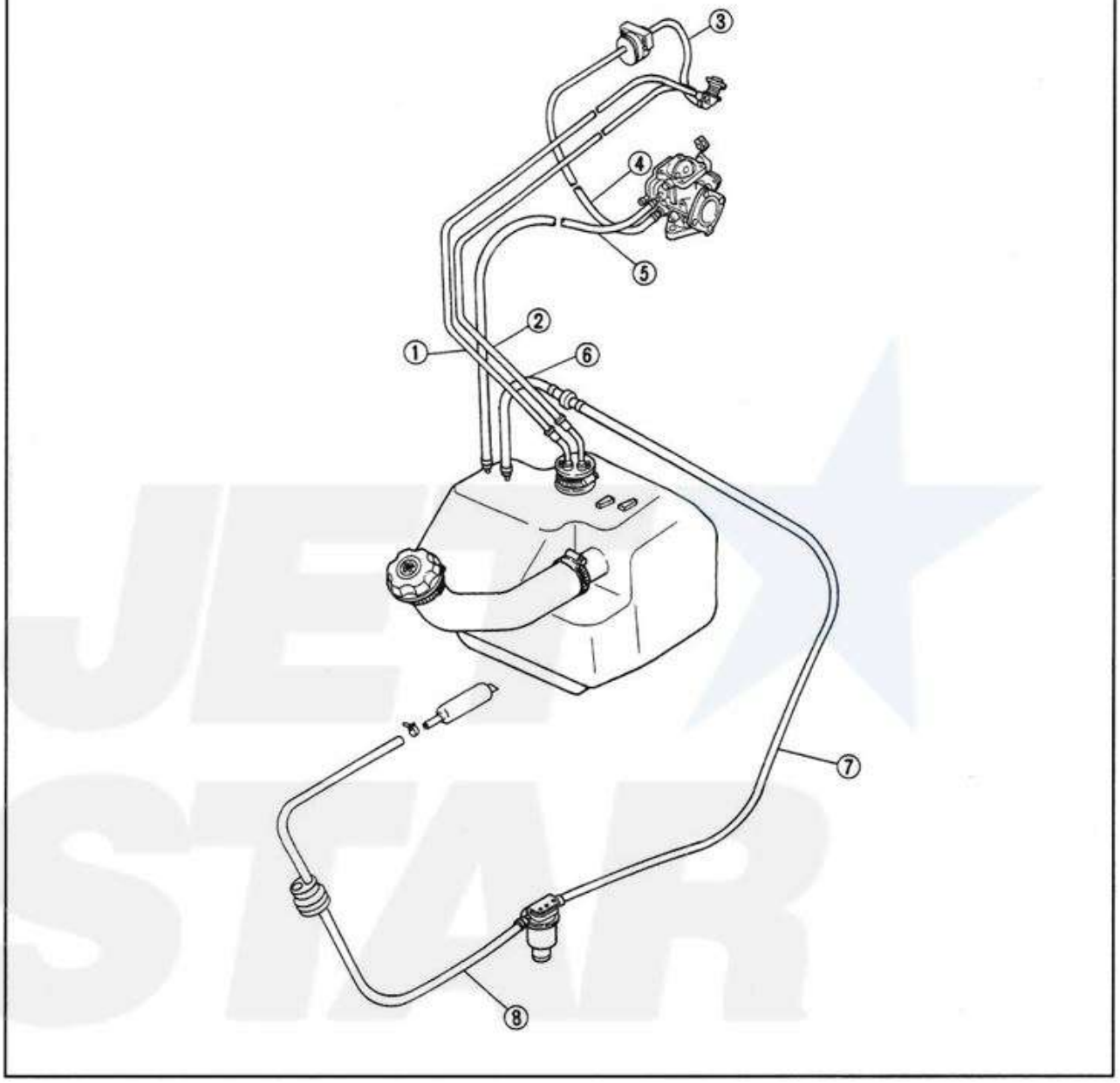


No.	部品名	長さ	マーク
①	フュエルタンク ON →フュエルコック ON	1,010㎜	ONの文字
②	フュエルタンク RES→フュエルコック RES	1,010㎜	RESの文字
③	フュエルコック OUT→フュエルフィルタ IN	210㎜	OUTの文字
④	フュエルフィルタ OUT→キャブレタカバー	320㎜	赤いライン
⑤	キャブレタリターン→フュエルタンク	550㎜	赤いライン
⑥	フュエルタンク→チェックバルブ	100㎜	青のホース
⑦	チェックバルブ→ウォータセパレータ	900㎜	青のホース
⑧	ウォータセパレータ→ベンチレーションパイプ	450㎜	青のホース

WWW.JET-STAR.JP

燃料系統図

FX



No.	部品名	長さ	マーク
①	フュエルタンク ON →フュエルコック ON	1,010mm	ONの文字
②	フュエルタンク RES→フュエルコック RES	1,010mm	RESの文字
③	フュエルコック OUT→フュエルフィルタ IN	140mm	OUTの文字
④	フュエルフィルタ OUT→キャブレタカバー	370mm	赤いライン
⑤	キャブレタリターン→フュエルタンク	550mm	赤いライン
⑥	フュエルタンク→チェックバルブ	40mm	青のホース
⑦	チェックバルブ→ウォータセパレータ	900mm	青のホース
⑧	ウォータセパレータ→ベンチレーションパイプ	550mm	青のホース

WWW.JET-STAR.JP

2. 燃料系統

(1) 取外し前の準備

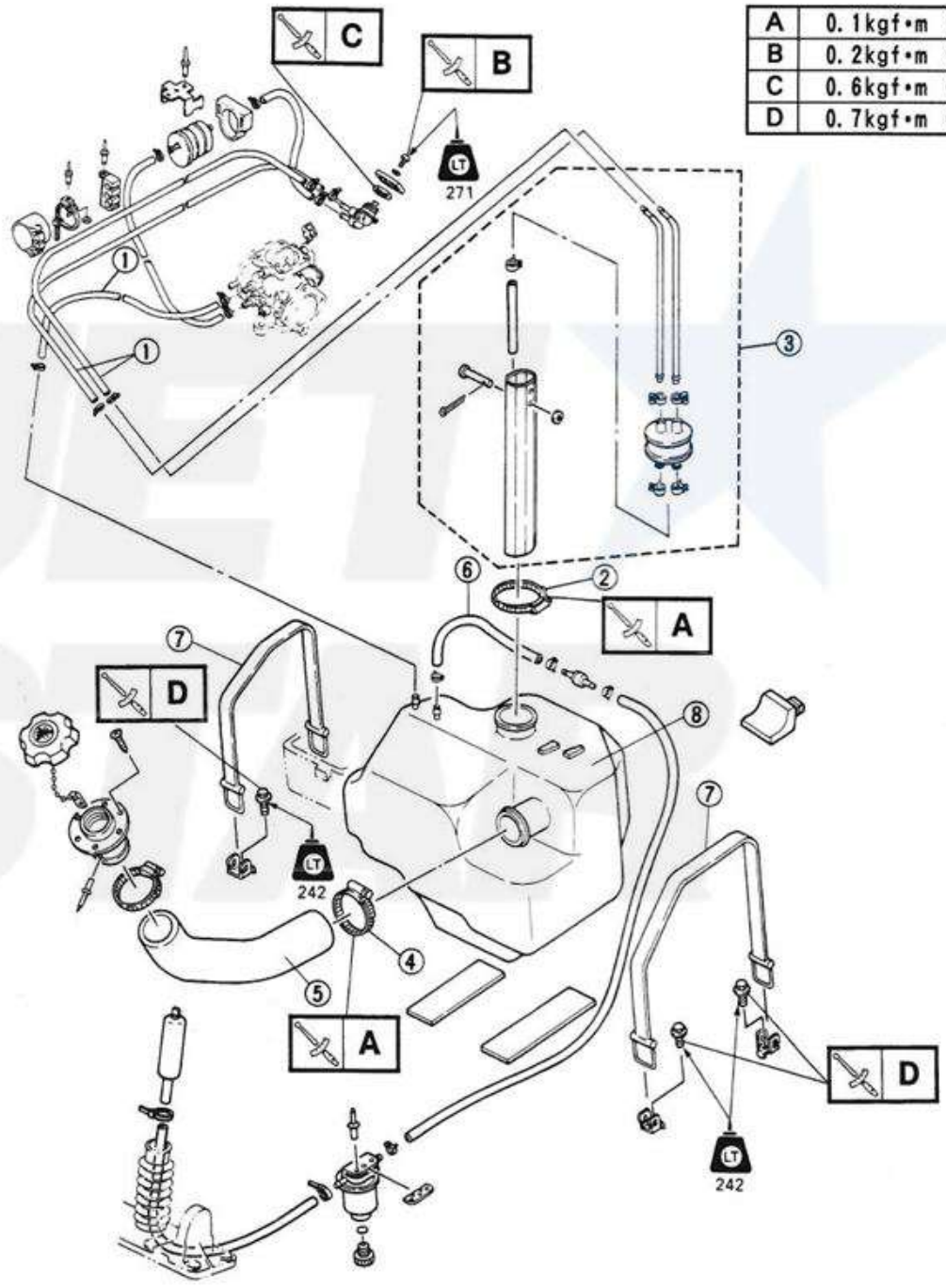
⚠注意

ガソリンは可燃性、爆発性が高いので、特に注意をして取扱います。

・ステアリングポールを持ち上げて固定する。
・エンジンハッチを取外す。
・フュエルコックを“OFF”にする。
・フュエルフィラーキャップを緩める。
・バッテリを取外す。

SJ

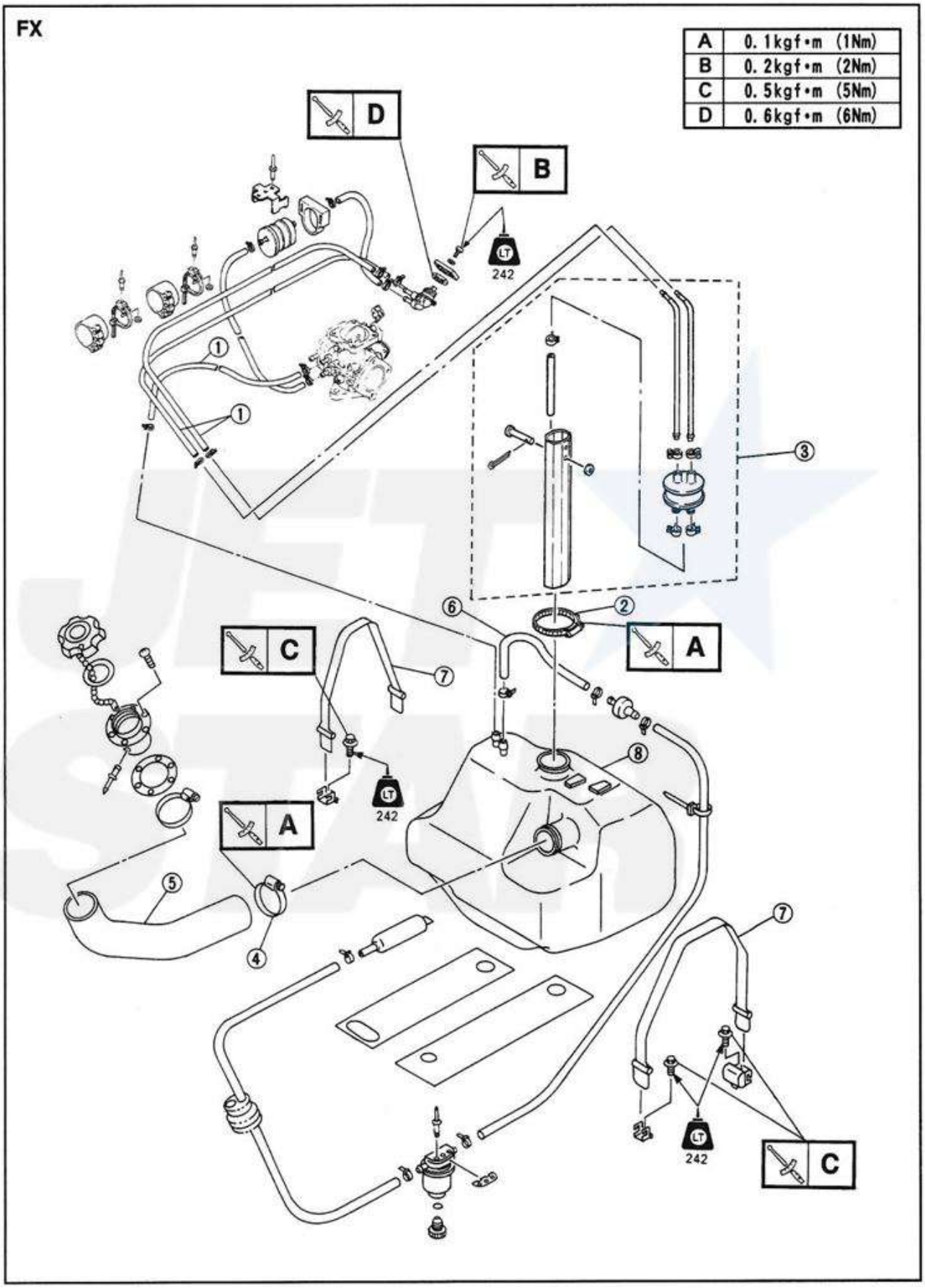
A	0.1kgf・m (1Nm)
B	0.2kgf・m (2Nm)
C	0.6kgf・m (6Nm)
D	0.7kgf・m (7Nm)



WWW.JET-STAR.JP

FX

A	0.1kgf•m (1Nm)
B	0.2kgf•m (2Nm)
C	0.5kgf•m (5Nm)
D	0.6kgf•m (6Nm)



WWW.JET-STAR.JP

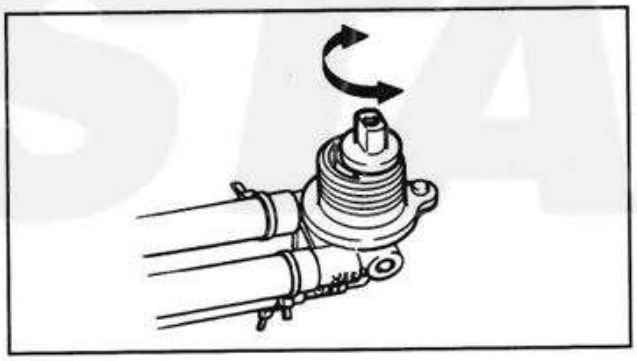
〈取外しの範囲〉①フュエルタンクの取外し

区　分	No.	部　品　名	個数	備　　考
①	1	フュエルホース	3	
	2	クランプ	1	スクリュを緩める。
	3	パイプジョイントAss'y	1	ガソリンを抜く。
	4	クランプ	1	スクリュを緩める。
	5	フュエルフィルタ	1	
	6	ブリーザホース	1	
	7	バンド	2	
	8	フュエルタンク	1	

(2) 点検

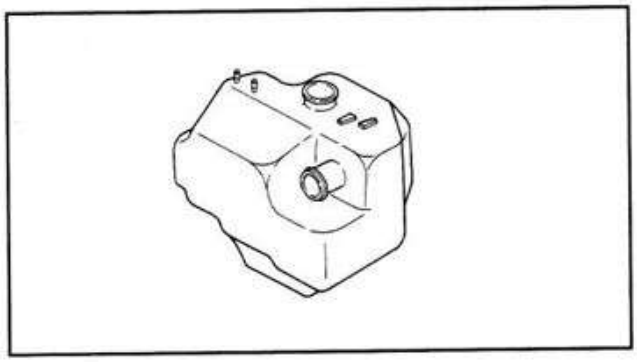
フュエルフィラ、フュエルフィルタ、チェックバルブ

1. 点検
・フュエルフィラ
・フュエルフィルタ
・チェックバルブ
3-4～3-5ページを参照。



フュエルコック

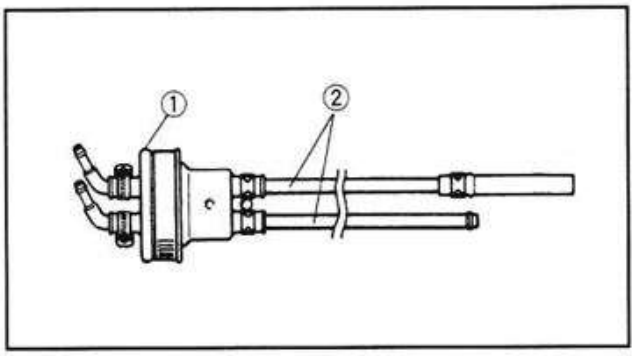
1. 点検
・フュエルコック
スムースに動かない→交換。
詰まり→清掃。



フュエルタンク

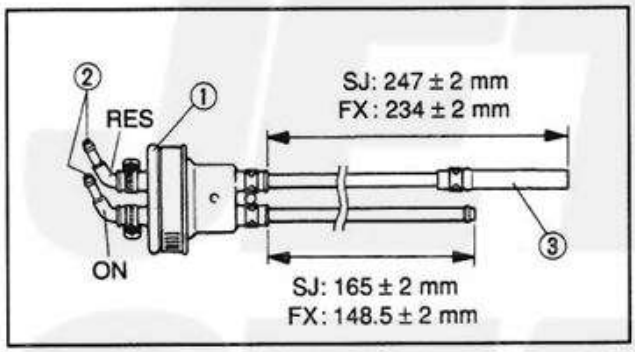
1. 点検
・フュエルタンク
亀裂／損傷→交換。

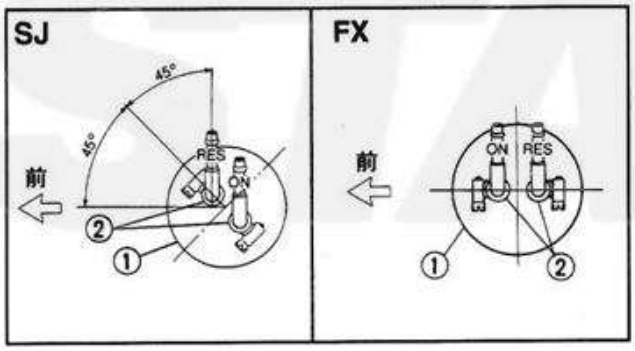
WWW.JET-STAR.JP

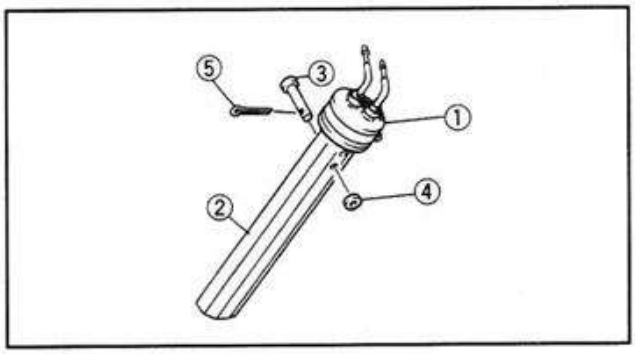


2. 点検
・パイプジョイント①
摩耗／亀裂→交換。
・パイプ②
曲がり／損傷→交換。
汚れ→清掃。

フュエルホース
1. 点検
・フュエルホース
摩耗／亀裂→交換。







(3) 組付

⚠注意

フュエルホースの取回しとクランプを確実に行なわないと、燃料漏れや燃料詰まりをおこし、たいへん危険です。

1. 組付
・パイプジョイント①
・パイプ②
・ホース③

要点

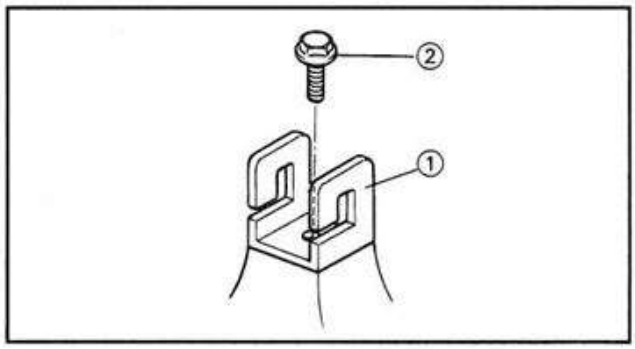
・ホース③は "RES" パイプ側に接続します。
・イラストのようにして、パイプ②をパイプジョイント①に組付けます。

2. 組付
・パイプジョイントAss'y①
・スリーブ②
・ピン③
・ワッシャ④
・コッタピン⑤

要点

コッタピンは、新しいものを使います。

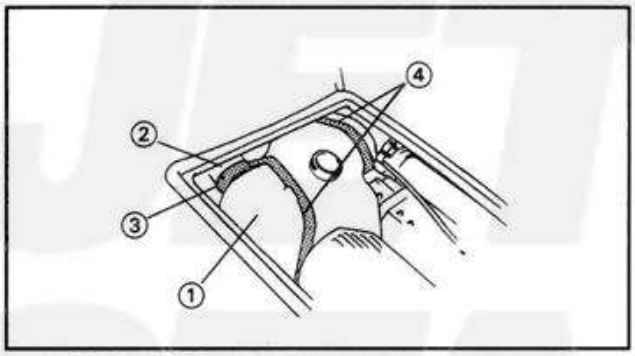
WWW.JET-STAR.JP



3. 組付
・フック①
・ボルト②

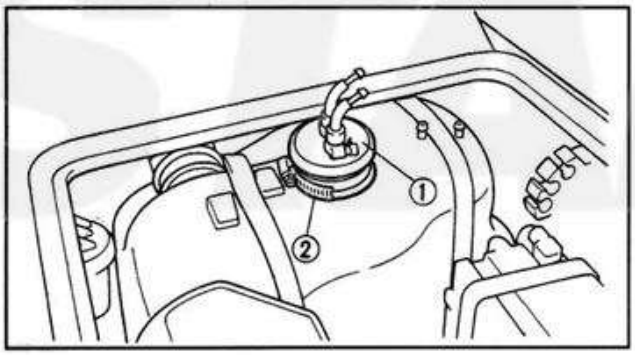
注意
ボルトにロックタイトNo. 242(青色)を塗布します。

ボルト
ＳＪ：0.7kgf・m (7Nm)
ＦＸ：0.5kgf・m (5Nm)



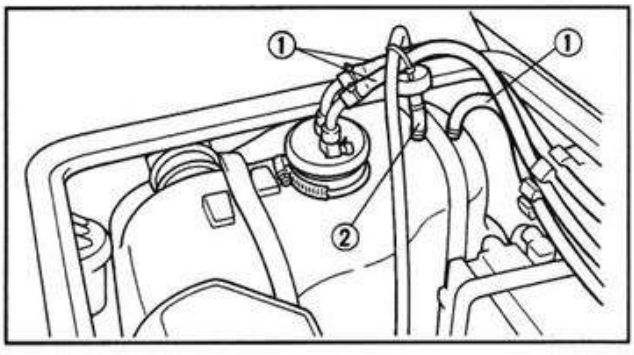
4. 組付
・フュエルタンク①
・フュエルフィラ②
・クランプ③
・バンド④

クランプ
0.1kgf・m (1Nm)



5. 組付
・パイプジョイントAss'y①
・クランプ②

クランプ
0.1kgf・m (1Nm)



6. 接続
・フュエルホース①
・エアベントホース②
4-1ページ(ＳＪ)または、4-2ページ(ＦＸ)を参照。

注意
ホースタイは、新しいものを使います。

WWW.JET-STAR.JP

WWW.JET-STAR.JP

3. キャブレタ

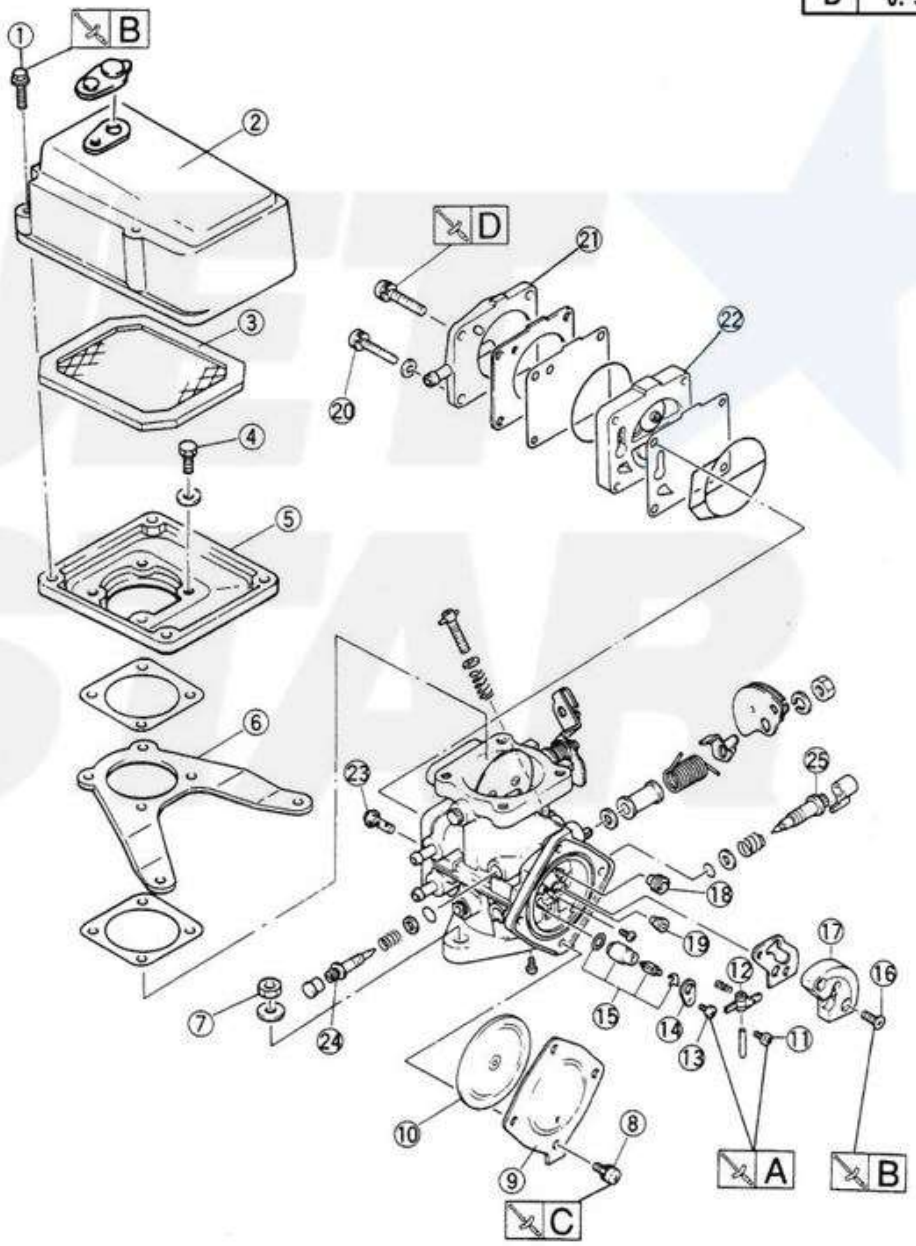
(1) 取外し前の準備

・フュエルコックを "OFF" にする。
・フュエルホースを取外す。
・スロットルケーブルをキャブレタ側で取外す。
・チョークケーブルをキャブレタ側で取外す。

注意

インテークマニホールドの中にスクリュやワッシャを落とさないように注意します。

A	0.1kgf・m (1Nm)
B	0.2kgf・m (2Nm)
C	0.4kgf・m (4Nm)
D	0.5kgf・m (5Nm)

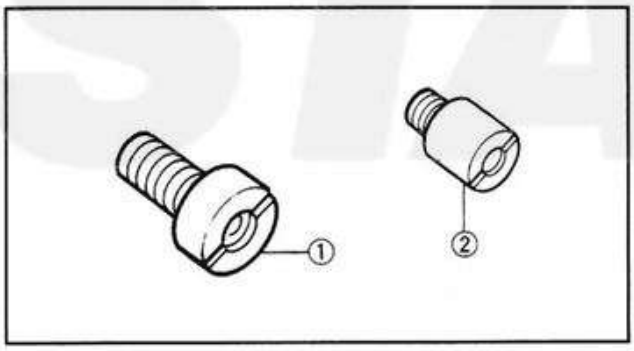


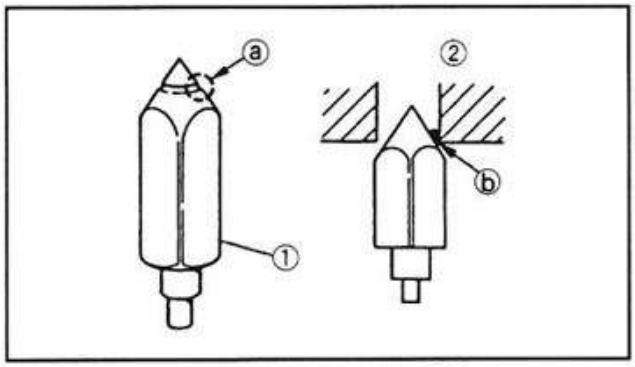
WWW.JET-STAR.JP

キャブレタ

〈取外しの範囲〉①キャブレタの取外し　②キャブレタの分解

区　分	No.	部　品　名	個数	備　考
①	1	ボルト	4	
	2	カバー1	1	
	3	フレームアレスタ	1	
	4	ボルト	4	
	5	カバー2	1	
	6	プレート	1	
	7	ナット	2	
	8	スクリュ	4	
	9	カバー3	1	
	10	ダイヤフラムAss'y	1	
②	11	スクリュ	1	
	12	フロートアーム	1	
	13	スクリュ	1	
	14	プレート	1	
	15	ニードルバルブAss'y	1	
	16	スクリュ	2	
	17	ボディAss'y	1	
	18	メインジェット	1	
	19	パイロットジェット	1	
	20	スクリュ	4	
	21	ポンプカバー	1	
	22	ダイヤフラムボディAss'y	1	
	23	フィルタ	1	
	24	高速スクリュ	1	
	25	低速スクリュ	1	





(2) 点検

1. 点検
・キャブレタボディ
・メインジェット①
・パイロットジェット②
詰まり→清掃。

要点

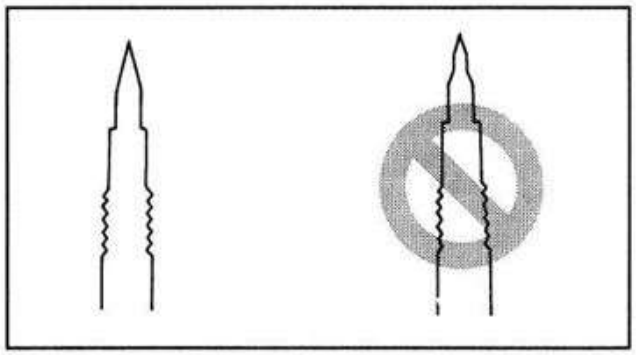
・清掃には洗油を使い、ジェット類の通路などは圧縮空気を使います。
・針金などを使い清掃しないでください。

2. 点検
・ニードルバルブ①
・バルブシート②
段付き摩耗ⓐ→交換。
ゴミⓑ→清掃。

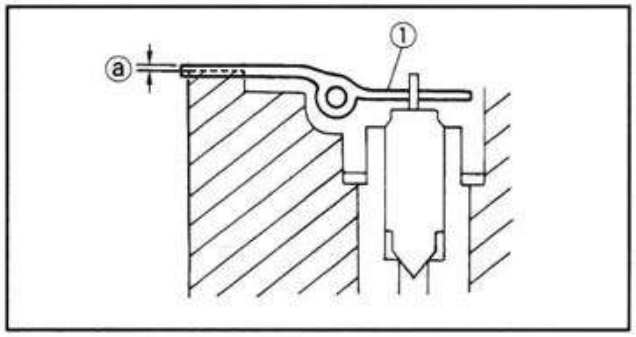
要点

ニードルバルブとバルブシートは、セットで交換します。

WWW.JET-STAR.JP

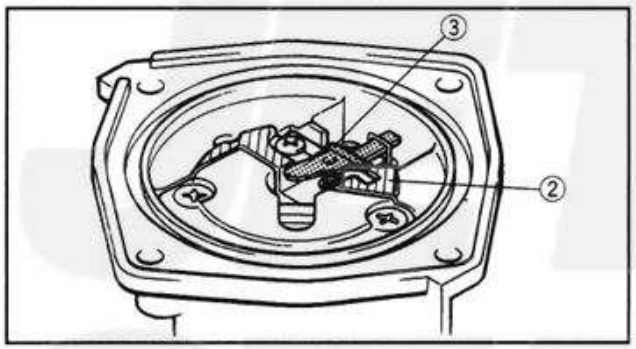


3. 点検
・高速スクリュ
・低速スクリュ
曲がり／摩耗→交換。



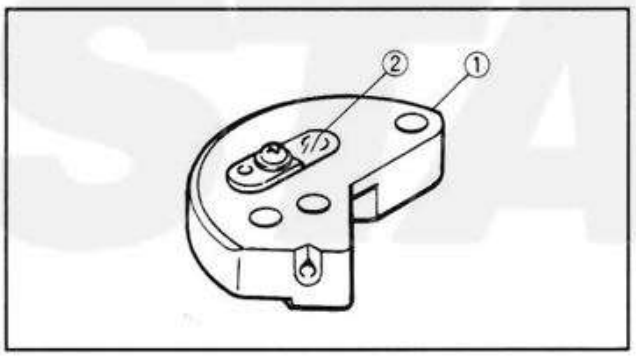
4. 点検
・フロートアーム①
曲がり／損傷→修理または交換。
・フロートアーム高さⓐ
キャブレタボディ②の面から、フロートアーム③の上面までの高さを測定する。

フロートアーム高さ
0～0.2mm

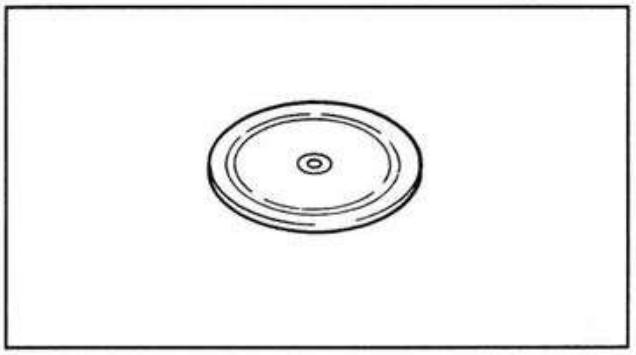


要点

フロートアームはニードルバルブに軽く乗っている状態にし、ニードルバルブを圧迫しないようします。

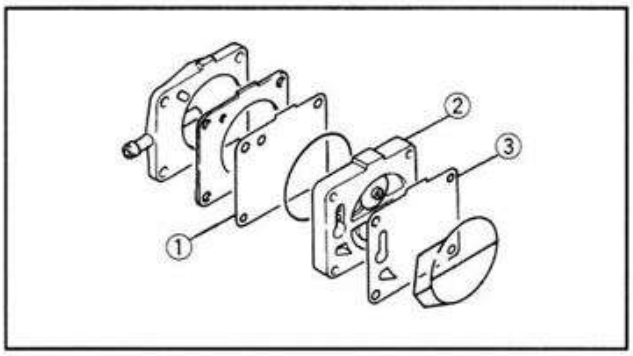


5. 点検
・ボディAss'y①
詰まり→清掃。
・バルブ②
損傷→交換。

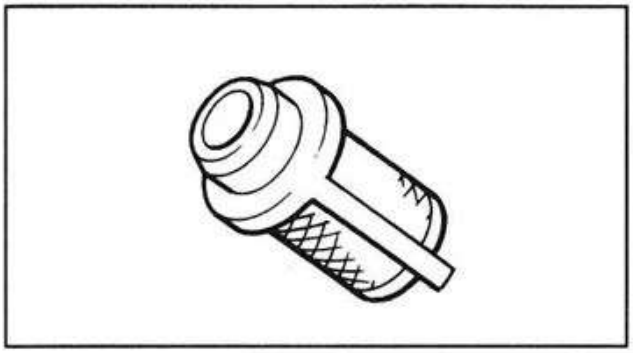


6. 点検
・ダイヤフラムAss'y
損傷→交換。

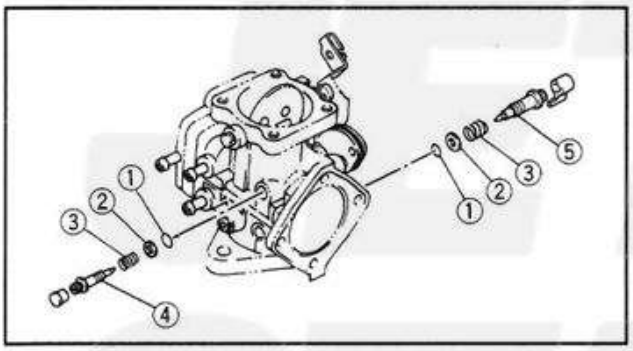
WWW.JET-STAR.JP



7. 点検
・ダイヤフラム1①
・ダイヤフラムボディAss'y②
・ダイヤフラム2③
損傷→交換。



8. 点検
・フィルタ
詰まり→清掃。
損傷→交換。



(3) 組付
1. 組付
・Oリング①
・ガスケット②
・スプリング③
・高速スクリュ④
・低速スクリュ⑤

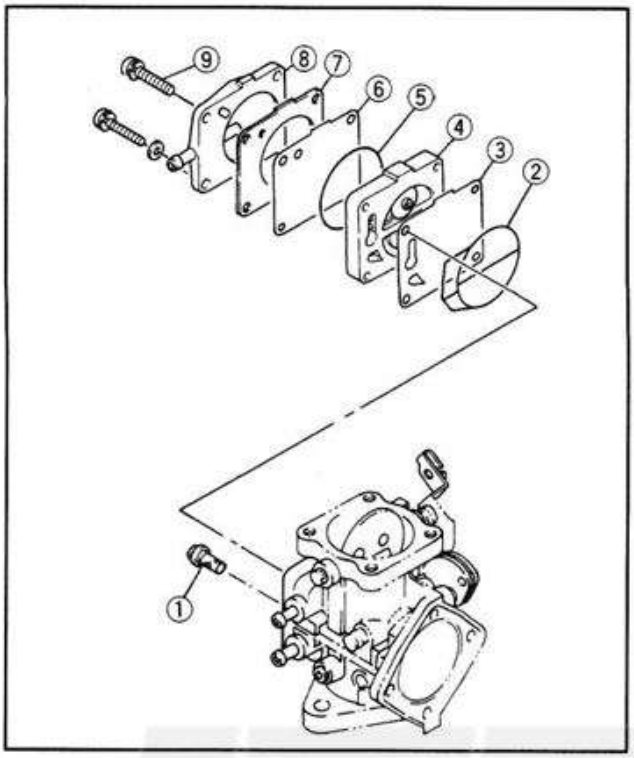
要点

Oリングとガスケットは、新しいものを使います。

組付け手順
・スクリュ④と⑤を座面に軽く当たるまで締込む。
・スクリュを規定回転戻す。

高速スクリュ
1-5/8±1/4回転戻し
低速スクリュ
1-7/8±1/4回転戻し

WWW.JET-STAR.JP

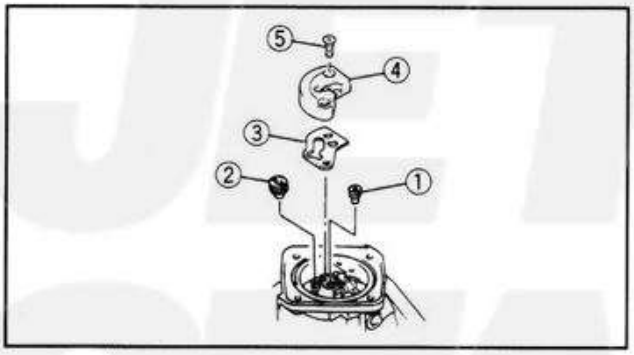


2. 組付
・フィルタ①
・Oリング②
・ダイヤフラム2③
・ダイヤフラムボディAss'y④
・Oリング⑤
・ダイヤフラム1⑥
・フュエルポンプガスケット⑦
・ポンプカバー⑧
・スクリュ⑨

要点

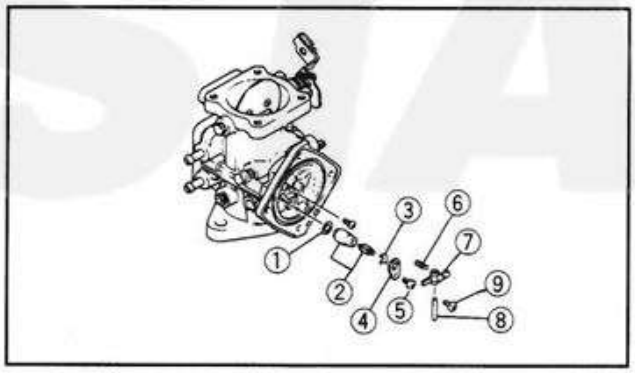
・Oリングとガスケットは、新しいものを使います。
・スクリュは対角線に締付けます。

スクリュ
0.5kgf・m (5Nm)



3. 組付
・パイロットジェット①
・メインジェット②
・ガスケット③
・ボディAss'y④
・スクリュ⑤

スクリュ
0.2kgf・m (2Nm)



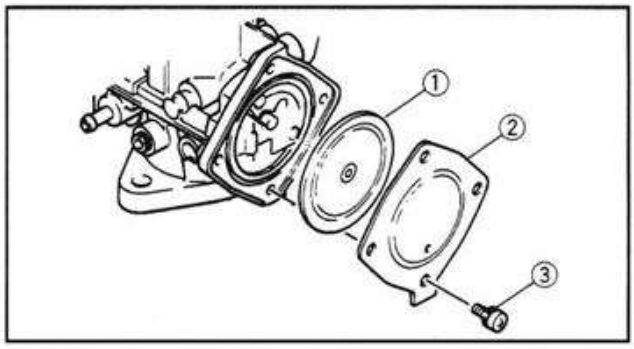
4. 組付
・Oリング①
・ニードルバルブAss'y②
・クリップ③
・プレート④
・スクリュ⑤
・スプリング⑥
・フロートアーム⑦
・ピン⑧
・スクリュ⑨

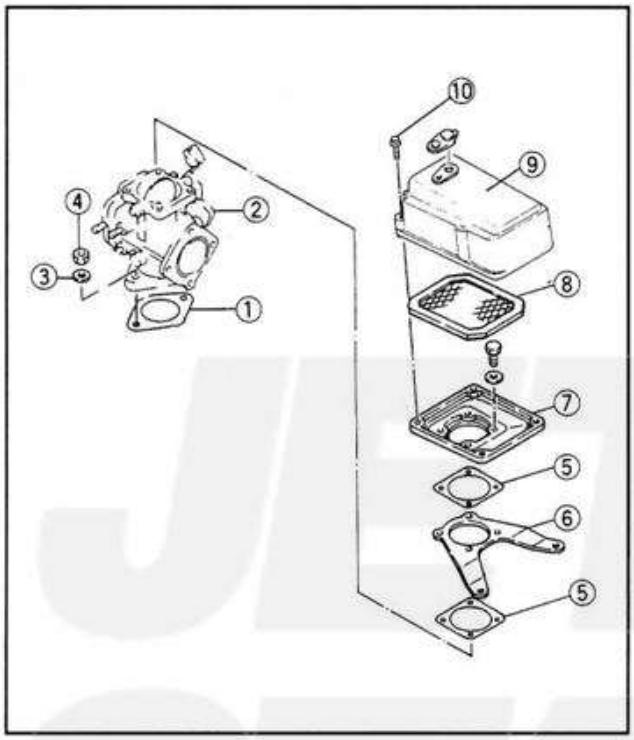
要点

・Oリングは、新しいものを使います。
・フロートアームがスムースに動くことを確認します。

スクリュ(プレート)
0.1kgf・m (1Nm)
スクリュ(ピン)
0.1kgf・m (1Nm)

WWW.JET-STAR.JP





5. 組付
・ダイヤフラムAss' y①
・カバー3②
・スクリュ③

要点

スクリュは対角線に締付けます。

スクリュ
0.4kgf・m (4Nm)

6. 組付
・ガスケット①
・キャブレタ②
・ワッシャ③
・ナット④
・ガスケット⑤
・プレート⑥
・カバー2⑦
・フレームアレスタ⑧
・カバー1⑨
・ボルト⑩

要点

ボルトは対角線に締付けます。

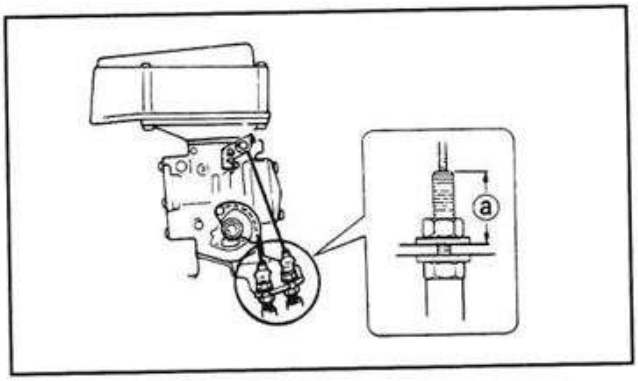
ボルト(プレート)
1回目：1.5kgf・m (15Nm)
2回目：3.0kgf・m (30Nm)
ボルト(カバー1)
0.2kgf・m (2Nm)

7. 組付
・フュエルホース
・ホースタイ
4-1ページ(ＳＪ)または4-2ページ(ＦＸ)を参照。

注意

ホースタイは、新しいものを使います。

WWW.JET-STAR.JP



8. 組付
・スロットルケーブル
・チョークケーブル

9. 調整
・ケーブルガイド取付け位置ⓐ
（スロットルとチョークケーブル）
規定値でない場合→調整。

ケーブルガイドの取付け位置
（ケーブルガイドの上端とプレート上面の寸法）
17mm

10. 締付
・ケーブルガイドナット
（スロットルとチョークケーブル）

ケーブルガイドナット
0.9kgf•m (9Nm)

11. 調整
・スロットルレバーの遊び
・チョークケーブルの遊び
3-6～7ページを参照。

JET STAR

WWW.JET-STAR.JP

第5章　パワーユニット

1．リードバルブ／シリンダヘッド／シリンダ／ピストン……5-1
(1)取外し前の準備……5-1
(2)作業上の注意……5-2
(3)取外し……5-2
(4)点検……5-5
リードバルブ……5-5
シリンダヘッド……5-6
シリンダ……5-6
ピストン……5-7
ピストンリング……5-8
ピストンピンとベアリング……5-9
(5)組付……5-10
ピストン……5-10
リードバルブ……5-11
シリンダヘッドとシリンダ……5-11
マフラ……5-12
インテークマニホールド……5-16

2．エンジンユニット／中間シャフト／ハウジング……5-17
(1)取外し前の準備……5-17
(2)作業上の注意……5-18
(3)取外し……5-18
(4)点検……5-21
(5)組付……5-22

3．フライホイールマグネト／クランクケース／クランクシャフト……5-29
(1)取外し前の準備……5-29
(2)作業上の注意……5-30
(3)取外し……5-30
(4)点検……5-32
クランクシャフト……5-32
クランクケース……5-33
アイドルギヤAss'y……5-33
フライホイールマグネト……5-33
(5)組付……5-33

WWW.JET-STAR.JP

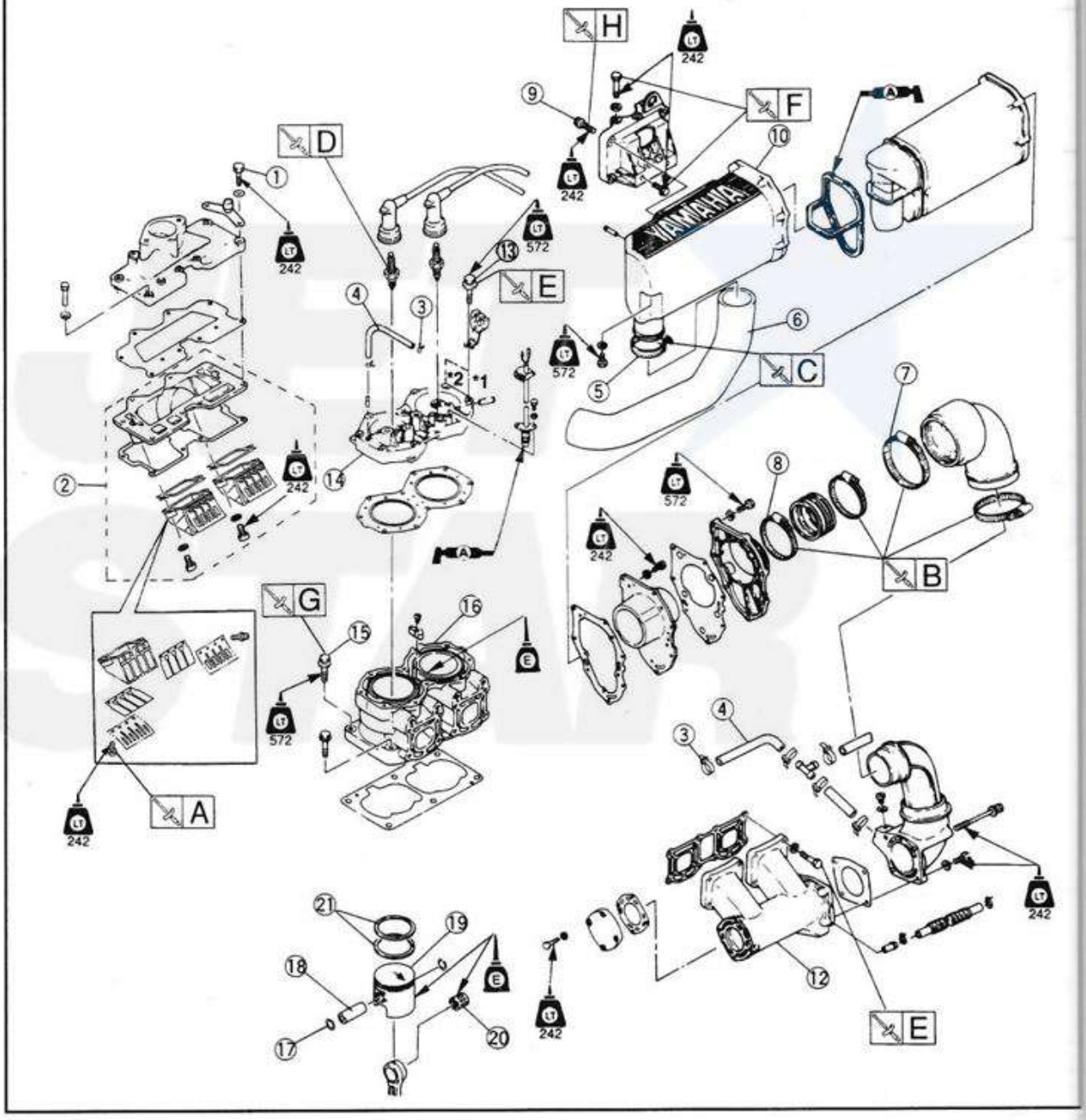
1. リードバルブ/シリンダヘッド/シリンダ/ピストン

(1) 取外し前の準備

・フュエルコックを“OFF”にする。
・キャブレタを取外す。
・ステアリングポールを持ち上げ固定する。
・エンジンハッチを取外す。

A	0.1kgf・m (1Nm)	E	1回目	1.5kgf・m (15Nm)	G	1回目	2.3kgf・m (23Nm)
B	0.2kgf・m (2Nm)		2回目	3.0kgf・m (30Nm)		2回目	4.0kgf・m (40Nm)
C	0.4kgf・m (4Nm)	F	1回目	0.4kgf・m (4Nm)	H	1回目	2.8kgf・m (28Nm)
D	2.0kgf・m (20Nm)		2回目	4.0kgf・m (40Nm)		2回目	5.3kgf・m (53Nm)

***1: SJ**
***2: FX**



WWW.JET-STAR.JP

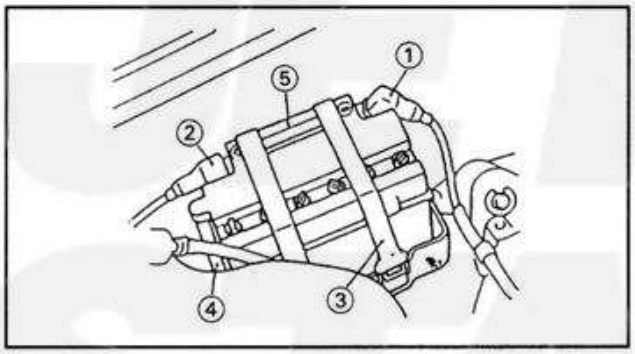
エンジンユニット/中間シャフト/ハウジング

(2)作業上の注意

・整備する前に、各部品を清掃し、クランクケース内に異物が入らないようにする。

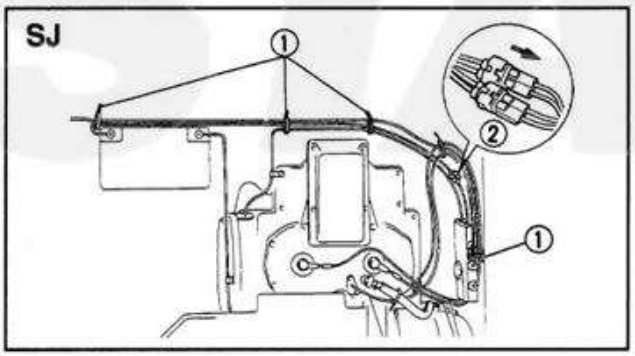
〈取外しの範囲〉 ①エンジンの取外し ②中間シャフトとベアリングの取外し

区分	No.	部品名	個数	備考
①	1	ボルト	2	
	2	プレート	1	
	3	ボルト	2	
	4	カップリングカバー	1	
	5	ボルト	4	
②	6	エンジンユニット	1	(3)取外しを参照。
	7	カップリングラバー	1	
	8	ボルト	3	
	9	ハウジング	1	
	10	リングナット	1	
	11	カップリング	1	
	12	ワッシャ	1	
	13	シャフト	1	
	14	オイルシール	3	
	15	ベアリング	1	

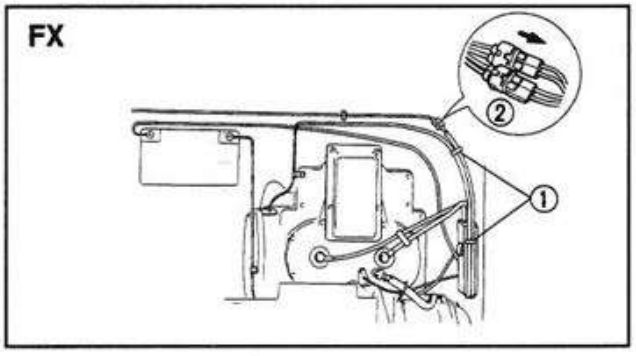


(3)取外し

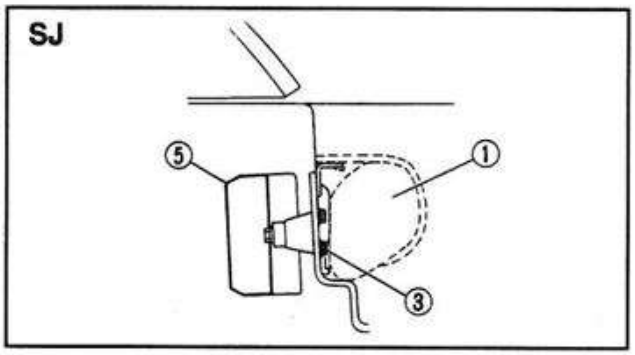
1. 取外し
・⊖リード線①
・⊕リード線②
・バンド③
・ブリーザホース④
・バッテリ⑤



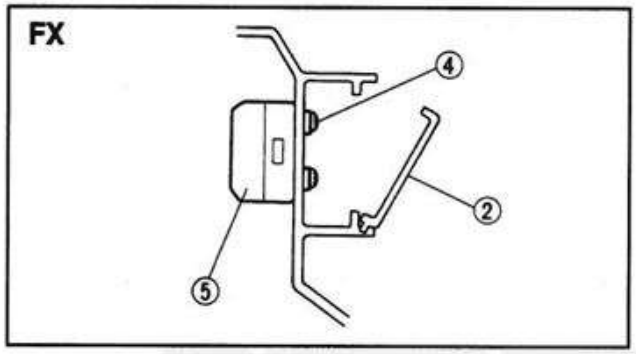
2. 取外し
・ワイヤクランプ①
・カプラ②

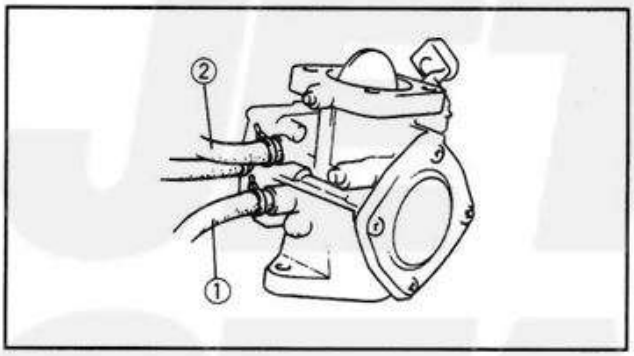


WWW.JET-STAR.JP

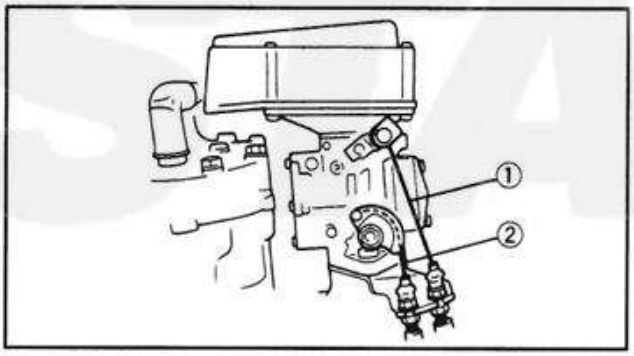


3. 取外し
・ケース①(ＳＪ)
・リッド②(ＦＸ)
・ボルト③(ＳＪ)
・スクリュ④(ＦＸ)
・電装ボックス⑤

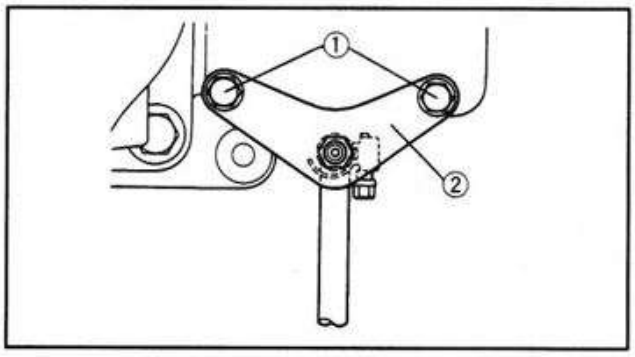




4. 取外し(抜く)
・フュエルホース①
・フュエルホース(リターン)②

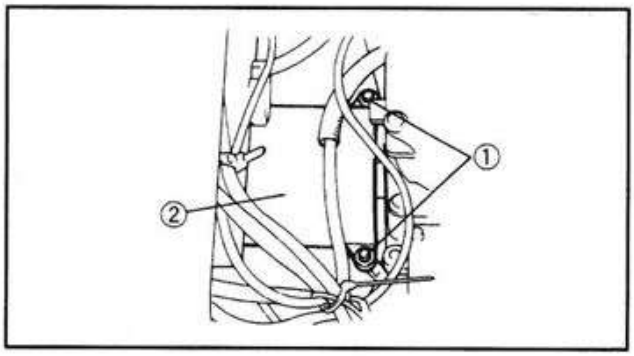


5. 取外し
・チョークケーブル①
・スロットルケーブル②

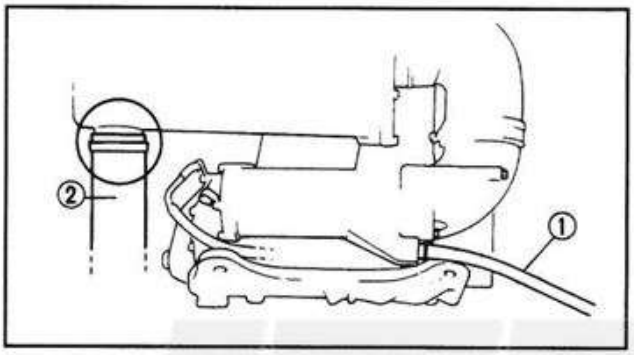


6. 取外し
・ボルト①
・プレート②

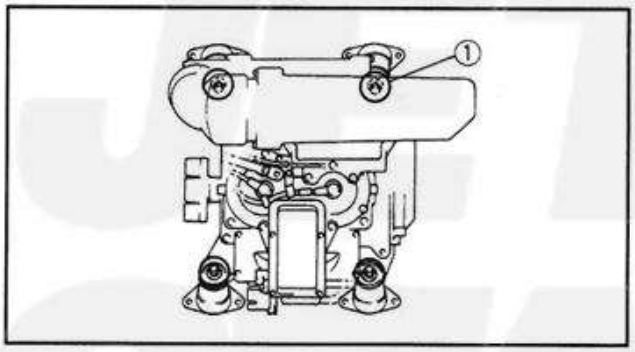
WWW.JET-STAR.JP



7. 取外し
・ボルト①
・カップリングカバー②



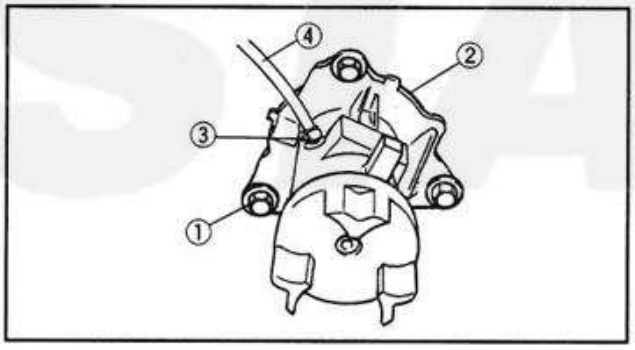
8. 取外し(抜く)
・冷却水ホース①
・エキゾーストホース②



9. 取外し
・エンジン取付けボルト①
・エンジンユニット
・電装ボックス

要点

エンジンの再組立やカップリング調整を容易にする為に、エンジン取付けボルトを取外す前にエンジン取付けシムに印を付けておきます。

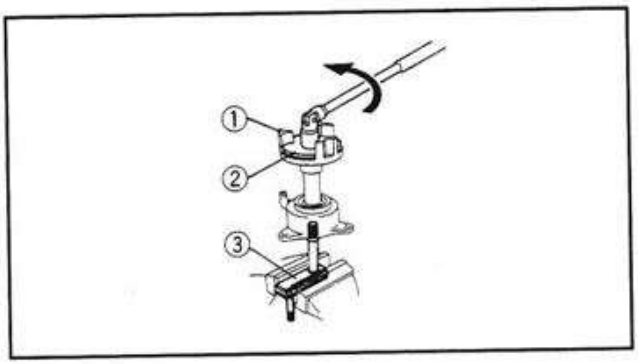


10. 取外し
・カップリングラバー
・ボルト①
・ハウジング②
・クランプ③
・ホース④

要点

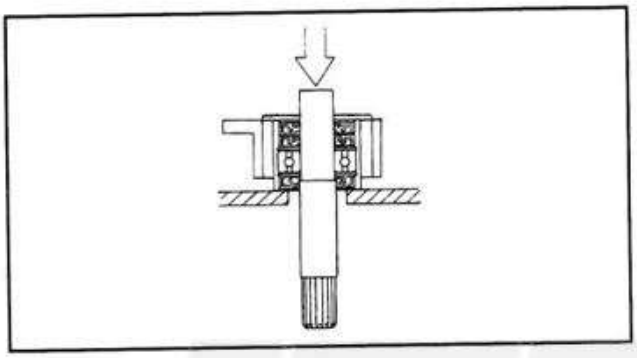
エンジンの再組立やカップリング調整を容易にする為に、ハウジング取付ボルトを取外す前にハウジング取付シムに印を付けておきます。

WWW.JET-STAR.JP



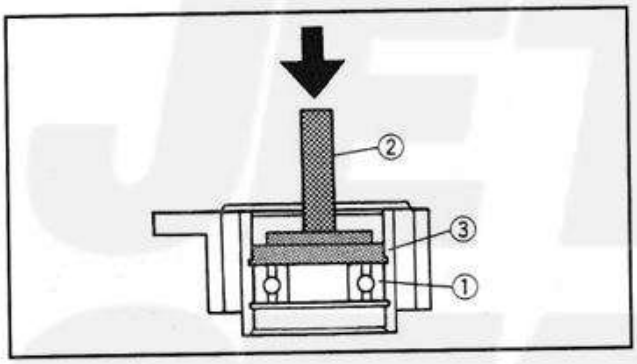
11. 取外し
・リングナット
・カップリング①
・ワッシャ

カプラレンチ②
90890-06425
シャフトホルダ③
90890-06069



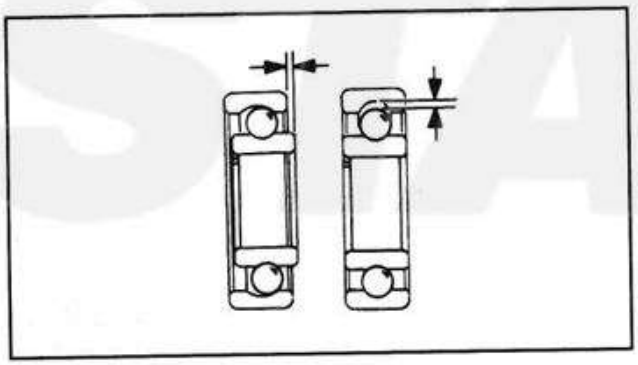
12. 取外し
・シャフト
・オイルシール
・クリップ

要点
取外しにはプレスを使います。

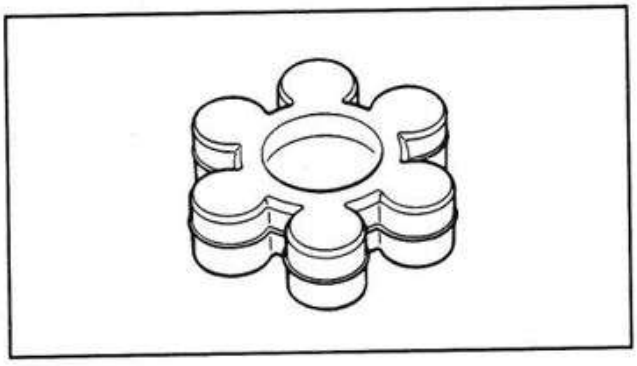


13. 取外し
・ベアリング①

ドライバロッド②
90890-06606
ベアリングアウタレースアタッチメント③
90890-06626



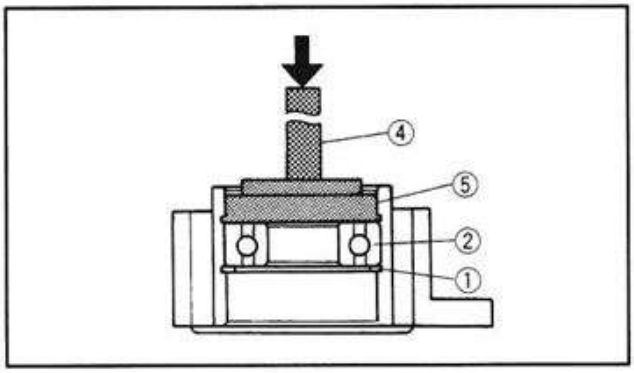
(4) 点検
1. 点検
・ベアリング
インナレースを指で回転させる。
ガタ/焼付き→交換。
・シャフト
くぼみ/損傷→交換。
・ホース
摩耗/亀裂→交換。



2. 点検
・カップリングフランジ
・カップリングラバー
摩耗/損傷→交換。

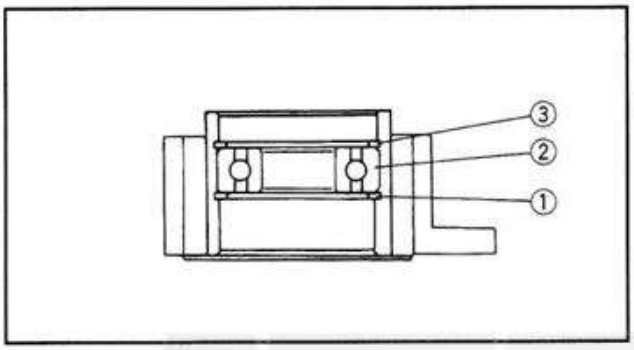
3. 点検
・マウントブラケット
3-22ページを参照。

WWW.JET-STAR.JP

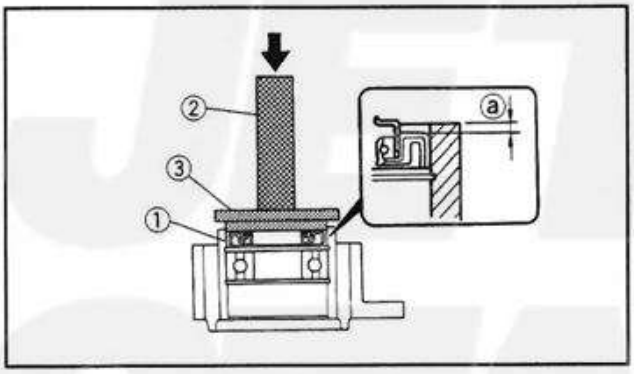


(5) 組付
1. 組付
・クリップ①
・ベアリング②
・クリップ③

ドライバロッド④
90890-06606
ベアリングアウタレースアタッチメント⑤
90890-06626



要点
ベアリングに耐水グリースを塗布します。

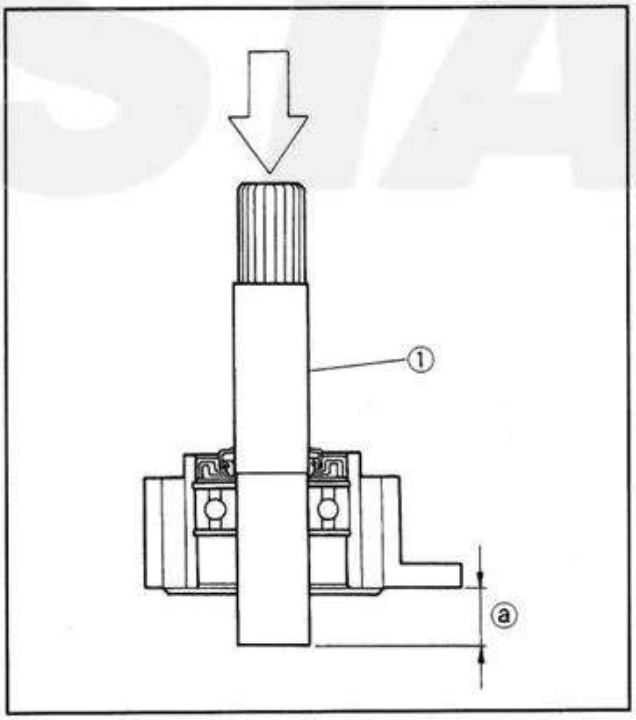


2. 組付
・オイルシール(T=10mm)①

寸法ⓐ
4.8～5.2mm

ドライバロッド②
90890-06606
ベアリングアウタレースアタッチメント③
90890-06626

要点
・オイルシールを組付ける前に、クリップの内径部に耐水グリースを塗布します。
・オイルシールは、新しいものを使います。
・オイルシールは、製品番号が外側になるように組付けます。

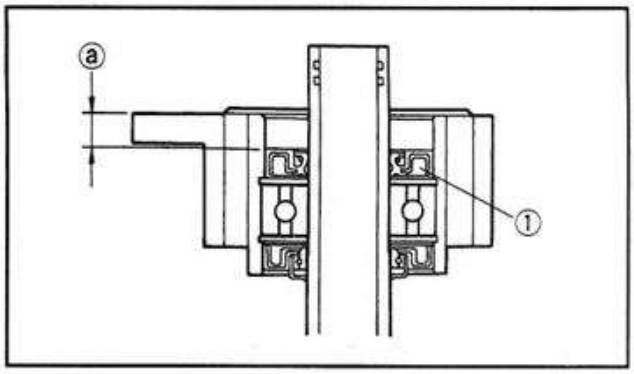


3. 組付
・シャフト①

要点
シャフトを組付けるときは、オイルシールのリップ部に耐水グリースを塗布します。

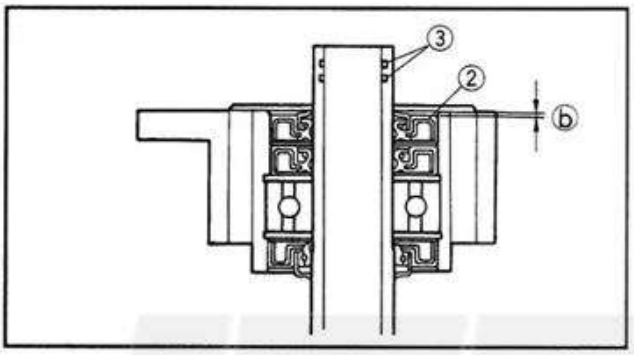
寸法ⓐ
19.5～20.5mm

WWW.JET-STAR.JP



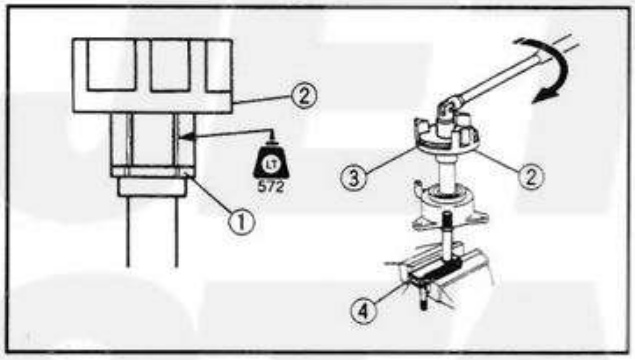
4. 組付
・オイルシール(T=8mm)①
・オイルシール(T=10mm)②
・Oリング③

寸法ⓐ
10.3～10.7mm
寸法ⓑ
1.6～2.0mm



要点

- オイルシール①を組み付ける前に、クリップの内径部耐水グリースを塗布します。
- 組付けにはプレスを使います。
- オイルシールとOリングは、新しいものを使います。
- 組付けるときは、オイルシールのリップ部とOリングに耐水グリースを塗布します。
- オイルシールは製品番号が外側になるように組付けます。



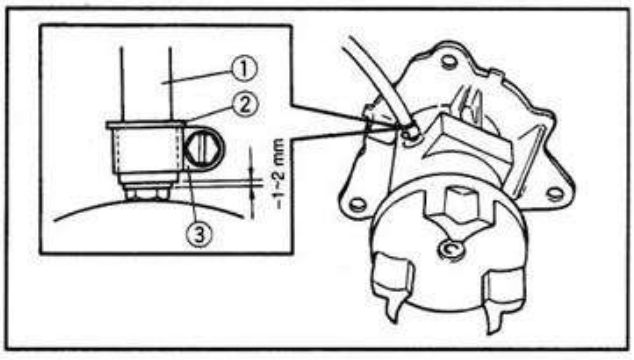
5. 組付
・ワッシャ①
・カップリング②

カプラレンチ③
90890-06425
シャフトホルダ④
90890-06069

注意

ボルトにロックタイトNo. 572を塗布します。

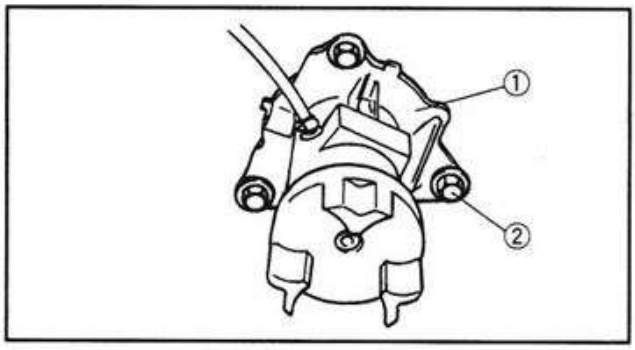
カップリング
3.6kgf・m (36Nm)



6. 組付
・ホース①
・ブッシング②
・クランプ③

クランプ
0.2kgf・m (2Nm)

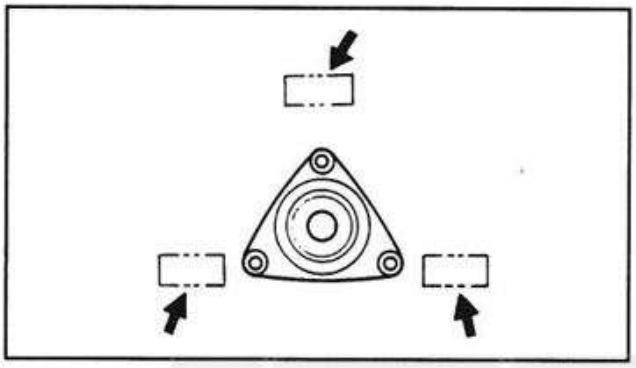
WWW.JET-STAR.JP



7. 組付
・ノックピン
・シム
・ハウジング①
・ボルト②

要点

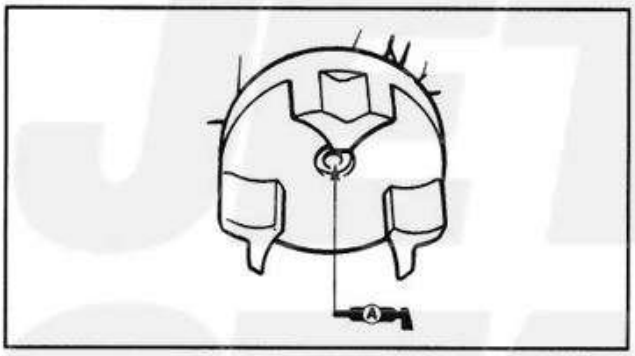
取外しのときに印をしたシムを、元の位置に取付けます。



注意

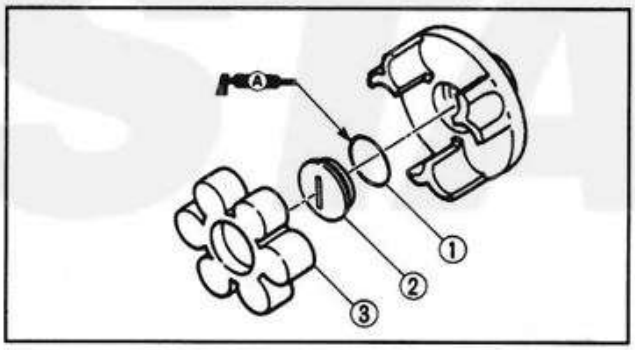
・ハウジングの接合面をシリコンでシールします。
・ボルトにロックタイトNo. 242 (青色) を塗布します。

ボルト
1. 6kgf・m (16Nm)



8. 充填
・耐水グリース(ヤマハマリングリースA)

グリース充填量
8cc



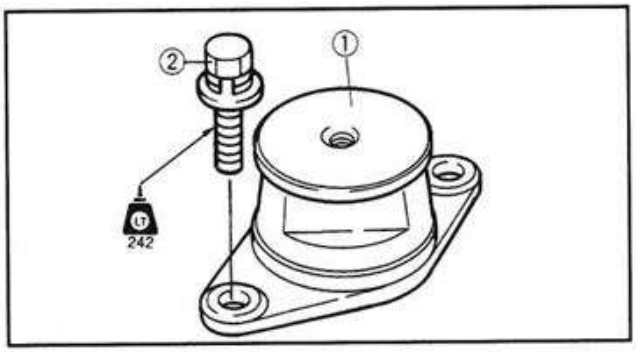
9. 組付
・Oリング①
・リングナット②
・カップリングラバー③

要点

・Oリングは、新しいものを使います。
・Oリングに耐水グリースを塗布します。

リングナット
0. 2kgf・m (2Nm)

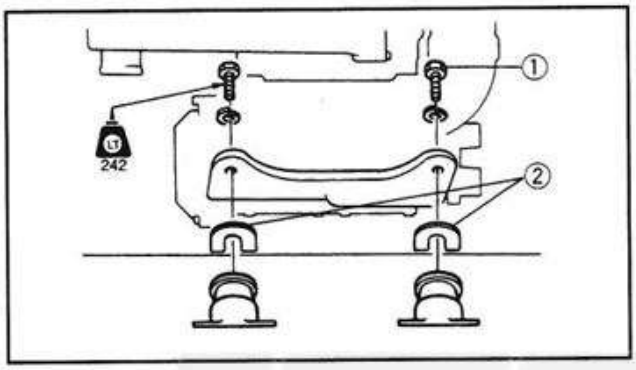
WWW.JET-STAR.JP



10. 組付
・マウントブラケット①
・ボルト②

注意
ボルトにロックタイトNo. 242(青色)を塗布します。

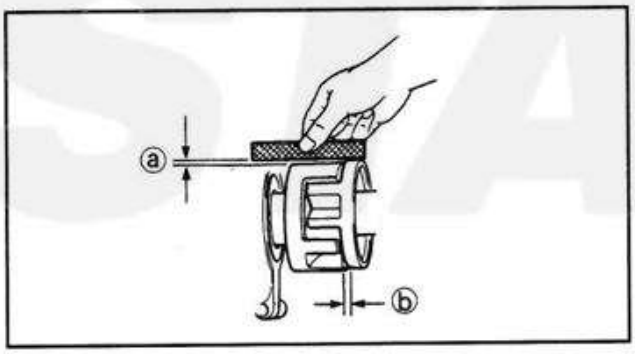
ボルト
1.6kgf・m (16Nm)



11. 組付
・エンジンユニット
・エンジン取付けボルト①
・シム②

注意
ボルトにロックタイトNo. 242(青色)を塗布します。

要点
・ボルトは仮締めします。
・取外しのときに印をしたシムを、元の位置に取付けます。

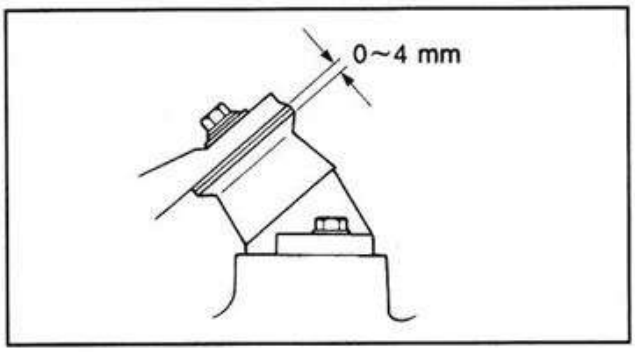


12. 測定
・隙間ⓐ
・隙間ⓑ
規定値でない場合→シムで調整。

要点
直定規とシクネスゲージを使用します。

隙間ⓐ
0～0.5mm
隙間ⓑ
2～4mm

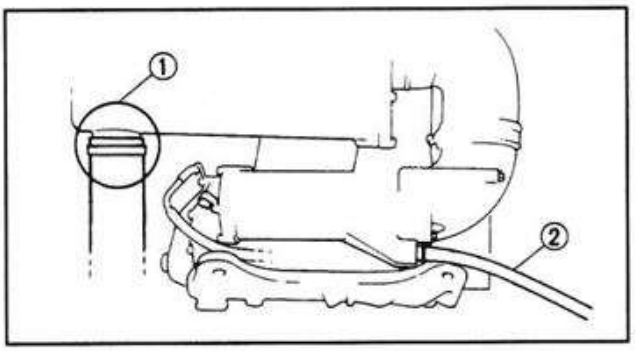
WWW.JET-STAR.JP



13. 締付
・エンジン取付けボルト

	エンジン取付けボルト 1.6kgf・m (16Nm)

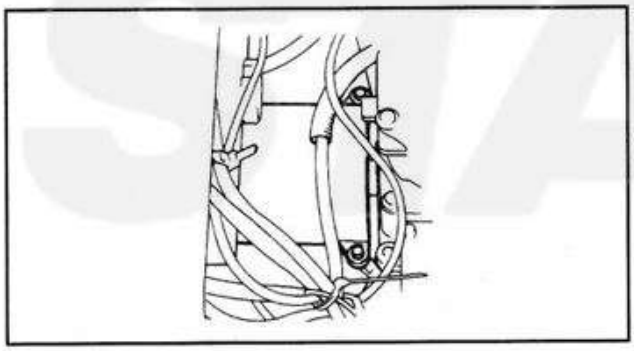
注意
0~4mm厚のシムを使います。



14. 接続
・エキゾーストホース①
・冷却水ホース②

	クランプ 0.4kgf・m (4Nm)

要点
冷却水ホースをカップリングシャフトの下に通し、ジョイントに接続します。

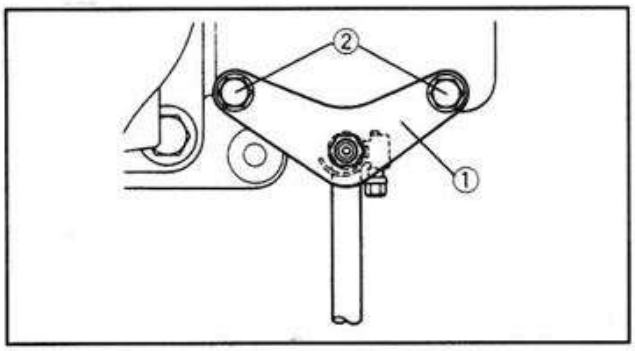


15. 組付
・カップリングカバー
・カラー
・ボルト

要点
ボルトにロックタイトNo.242(青色)を塗布します。

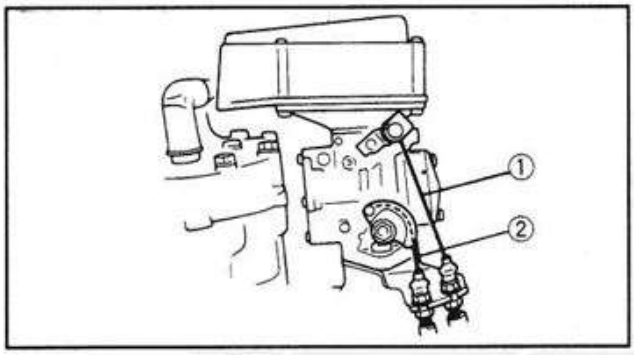
	ボルト 0.7kgf・m (7Nm)

WWW.JET-STAR.JP



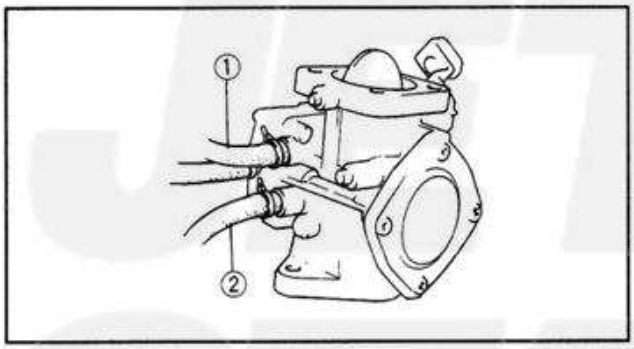
16. 組付
・プレート①
・ボルト②

注意
ボルトにロックタイトNo. 242(青色)を塗布します。



17. 接続
・チョークケーブル①
・スロットケーブル②
4-15ページを参照。

18. 調整
・チョークケーブル①
・スロットルケーブル②
3-6~7ページを参照。

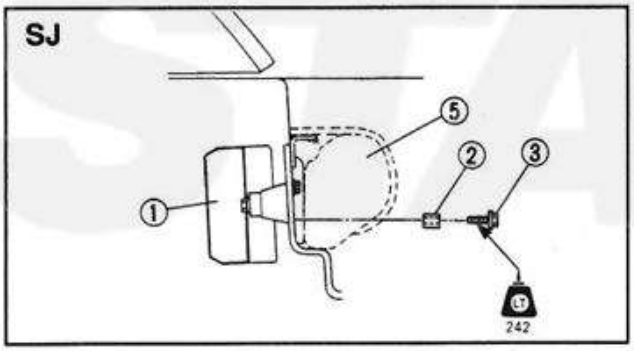


19. 接続
・フュエルホース(リターン)①
・フュエルホース②

20. 締付
・ホースタイ

注意
ホースタイは、新しいものを使います。

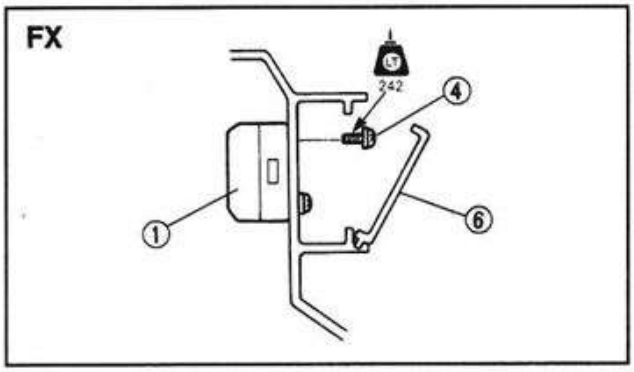
SJ



21. 組付
・電装ボックス①
・カラー②(SJ)
・ボルト③(SJ)
・スクリュ④(FX)
・ケース⑤(SJ)
・リッド⑥(FX)

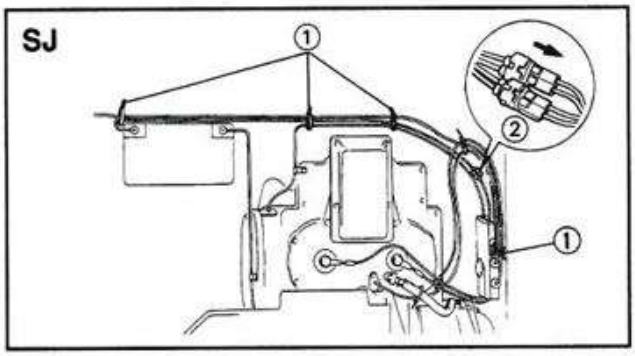
注意
ボルト(SJ)またはスクリュ(FX)にロックタイトNo. 242(青色)を塗布します。

FX

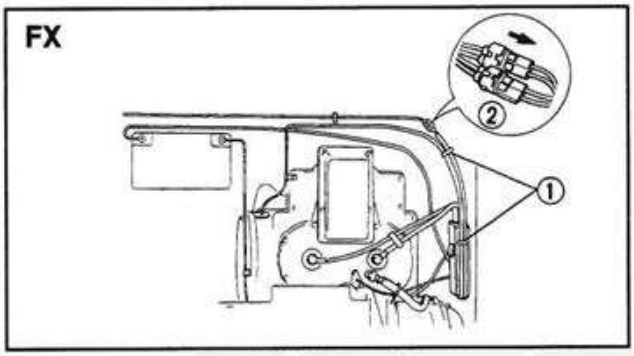


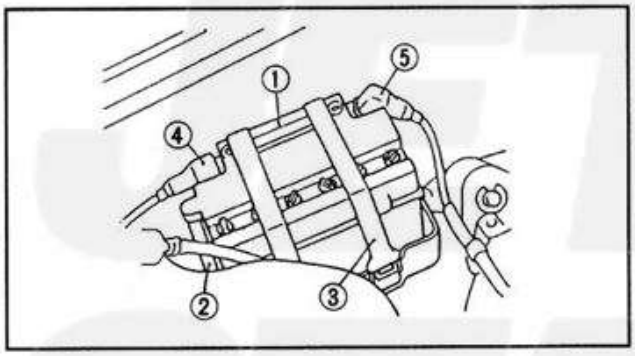
ボルト(SJ)
0.5kgf・m (5Nm)
スクリュ(FX)
0.5kgf・m (5Nm)

WWW.JET-STAR.JP



22. 接続
・ワイヤクランプ①
・カプラ②





23. 組付
・バッテリ①
・ブリーザホース②
・バンド③
・⊕リード線④
・⊖リード線⑤

WWW.JET-STAR.JP

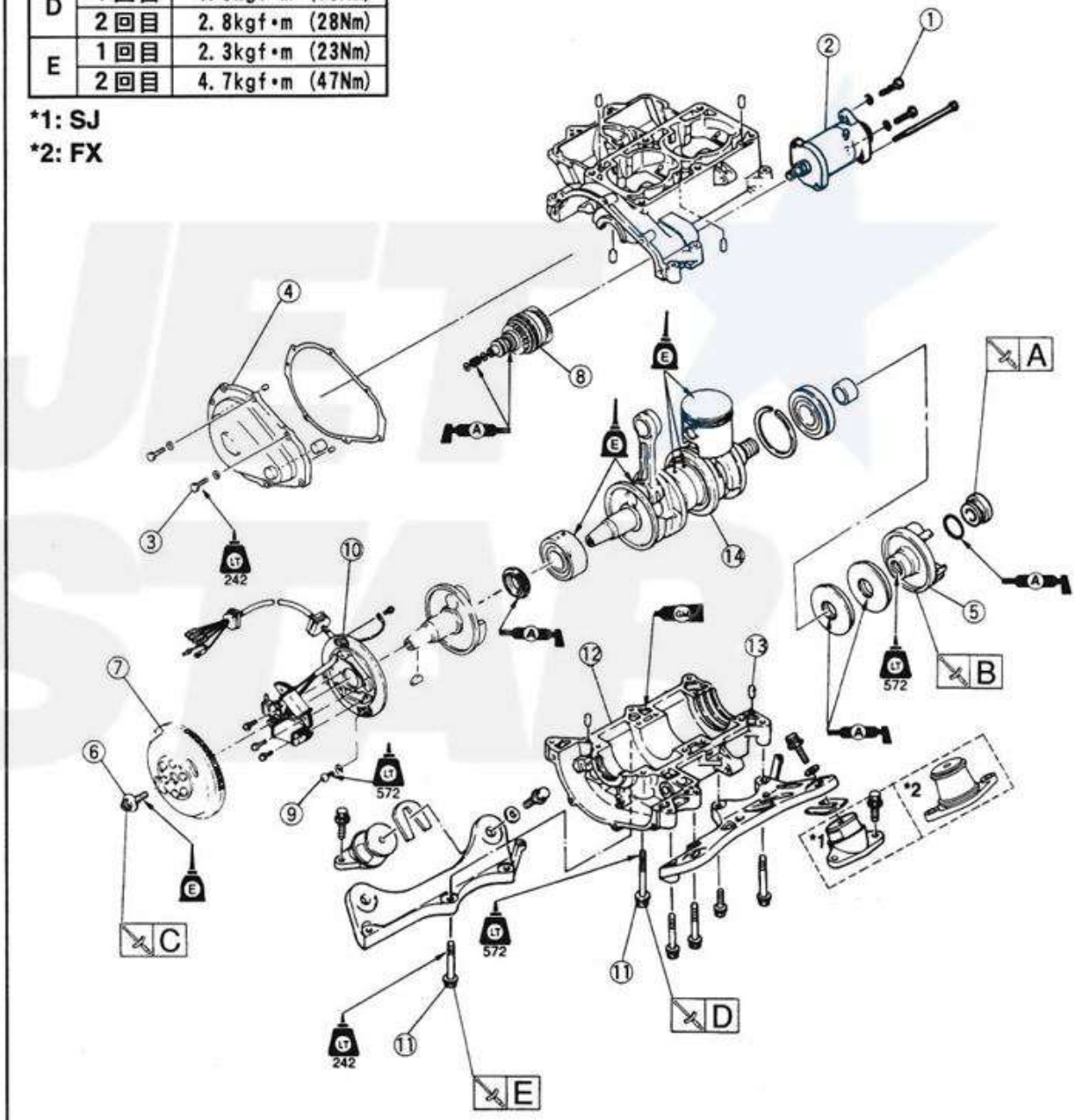
3. フライホイールマグネト/クランクケース/クランクシャフト

(1) 取外し前の準備

・エンジンユニットを取外す。
・次の部品を取外す。
- ・マフラ1, 2
- ・マフラステー
- ・シリンダヘッド
- ・シリンダ
- ・ピストン
- ・キャブレタ
- ・インテークマニホールド

A	0.2kgf・m (2Nm)	
B	3.7kgf・m (37Nm)	
C	6.5kgf・m (65Nm)	
D	1回目	1.5kgf・m (15Nm)
	2回目	2.8kgf・m (28Nm)
E	1回目	2.3kgf・m (23Nm)
	2回目	4.7kgf・m (47Nm)

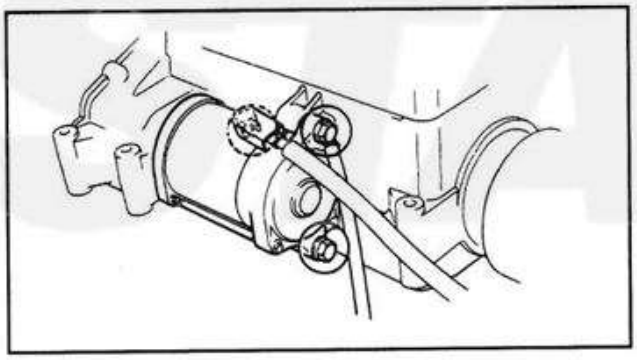
*1: SJ
*2: FX



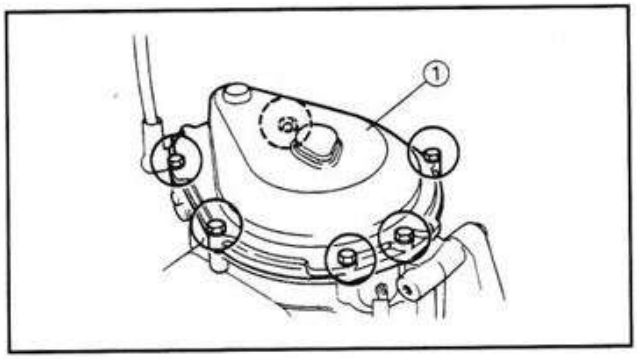
WWW.JET-STAR.JP

(2) 作業上の注意
・整備する前に、エンジンを清掃する。
〈取外しの範囲〉①スタータモータの取外し ②ベースAss'yの取外し
③クランクケースの分解 ④クランクシャフトの取外し

区分	No.	部品名	個数	備考
①	1	ボルト	2	
	2	スタータモータ	1	
	3	ボルト	7	
	4	フライホイールカバー	1	
	5	カップリングフランジ	1	
②③④	6	ボルト	1	
	7	フライホイールマグネト	1	
	8	アイドルギヤAss'y	1	(3)取外しを参照。
	9	スクリュ	2	
	10	ベースAss'y	1	
	11	ボルト	15	
	12	クランクケースAss'y	1	
	13	ノックピン	4	
	14	クランクシャフト	1	

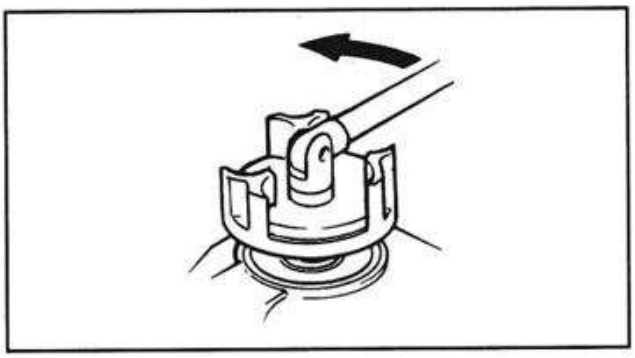


(3) 取外し
1. 取外し
・バッテリリード線
・ボルト
・スタータモータ



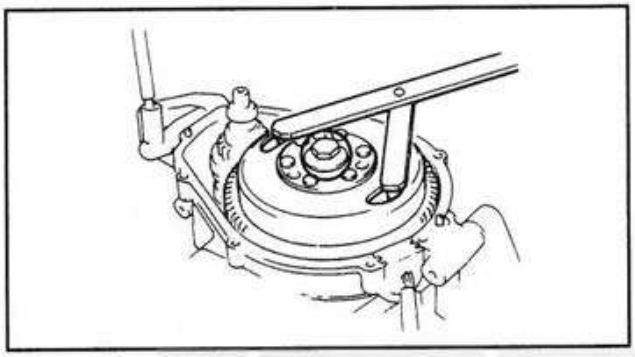
2. 取外し
・フライホイールカバー①

WWW.JET-STAR.JP



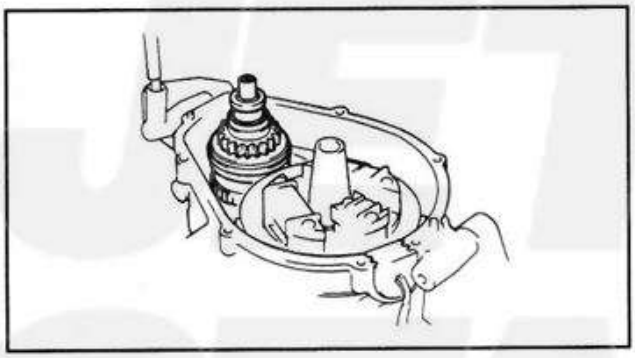
3. 取外し
・リングナット
・カップリングフランジ

	カプラレンチ 90890-06425 フライホイールホルダ 90890-06522

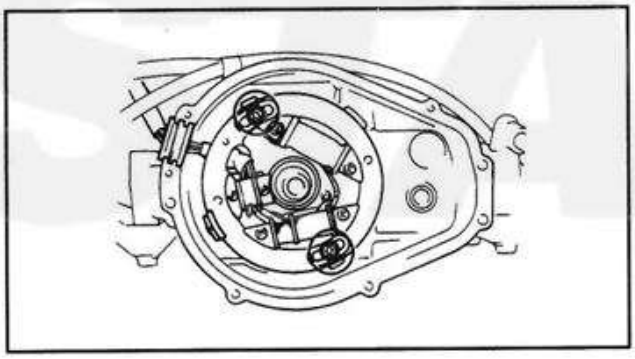


4. 取外し
・ボルト
・フライホイールマグネト

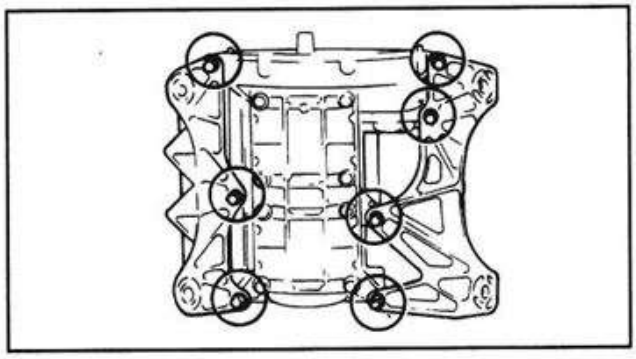
	フライホイールホルダ 90890-06522 フライホイールプーラ 90890-06521



5. 取外し
・アイドルギヤAss'y

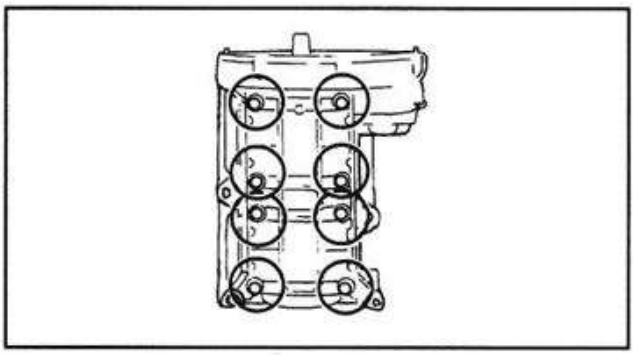


6. 取外し
・スクリュ
・ベースAss'y

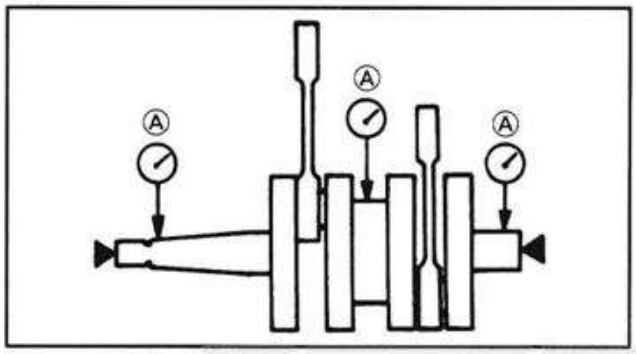


7. 取外し
・ボルト
・エンジン取付けブラケット

WWW.JET-STAR.JP

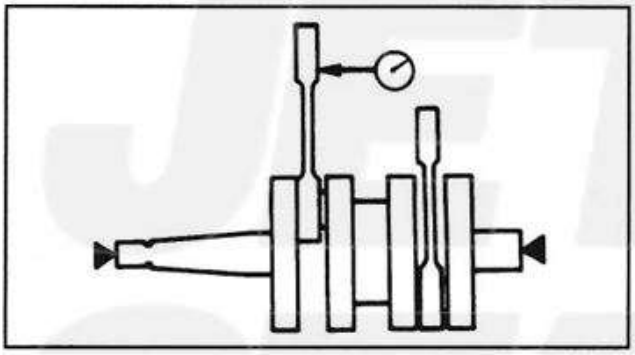


8. 取外し
・ボルト
・クランクケース
・クランクシャフトAss'y



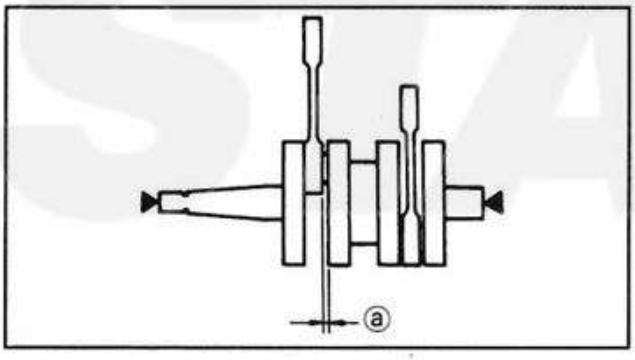
(4) 点検
クランクシャフト
1. 測定
・振れⒶ
Vブロックとダイヤルゲージを使用。
規定値でない場合→交換。

	振れ限度 0.05mm



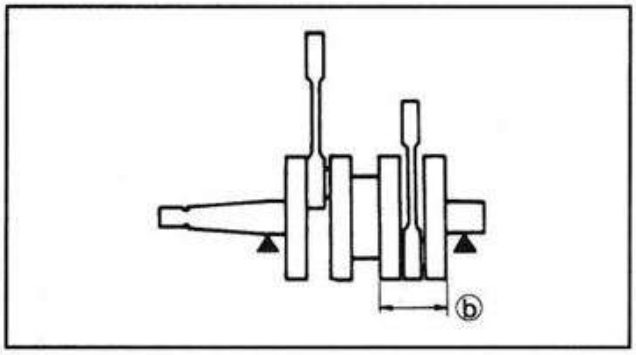
2. 測定
・小端部の振れ
ダイヤルゲージを使用。
規定値でない場合→交換。

	小端部の振れ限度 2.0mm



3. 測定
・コンロッド大端部隙間ⓐ
シクネスゲージを使用。
規定値でない場合→交換。

	コンロッド大端部隙間 0.3～0.7mm



4. 測定
・クランク幅ⓑ
規定値でない場合→交換。

	クランク幅 61.95～62.00mm

WWW.JET-STAR.JP

5. 点検
・クランクシャフトベアリング
くぼみ/損傷→交換。

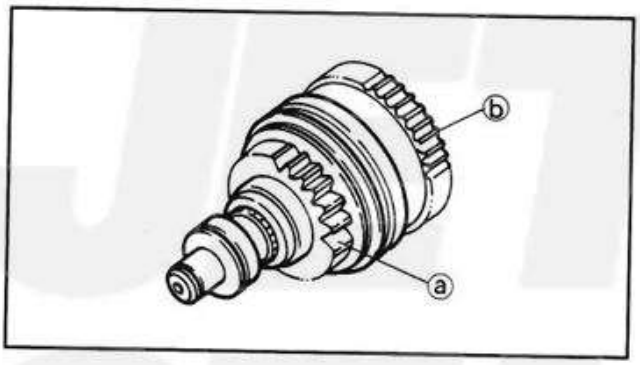
要点

錆が出ないようにベアリングを点検したら、すぐに潤滑油を塗布します。

6. 点検
・クランクシャフトオイルシール
摩耗/損傷→交換。

クランクケース

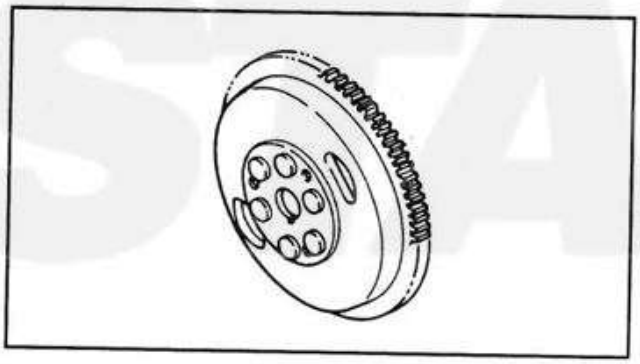
1. 点検
・接合面
かき傷→交換。
・クランクケース
亀裂/損傷→交換。



アイドルギヤAss'y

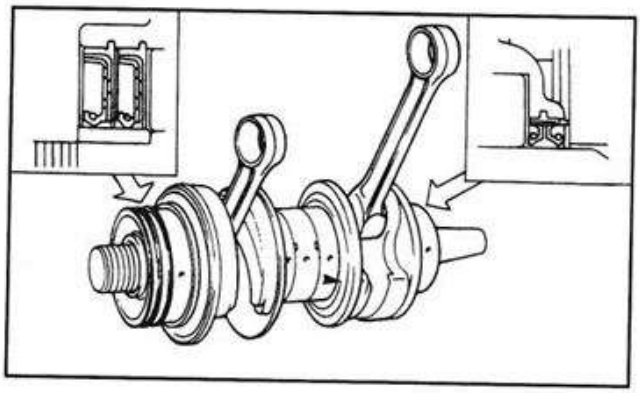
1. 点検
・ピニオンギヤⓐ
・インナギヤⓑ
摩耗/損傷→交換。

2. 確認
・クラッチの作動
スムースに動かない→交換。



フライホイールマグネト

1. 点検
・フライホイールギヤ
摩耗/損傷→交換。



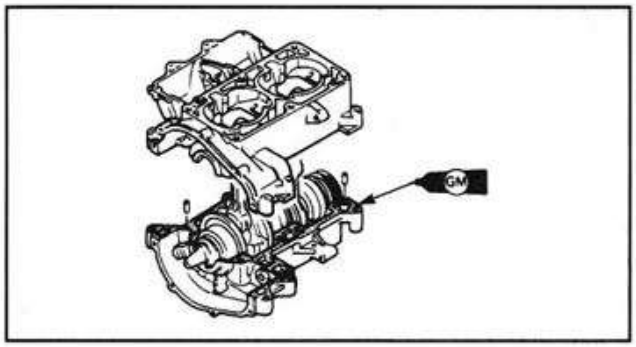
(5) 組付

1. 組付
・クランクシャフトAss'y
・オイルシール

注意

・クランクシャフトとコネクティングロッドのベアリングに、ヤマハ船外機オイルを塗布します。
・オイルシールのリップ部に耐水グリースを塗布します。

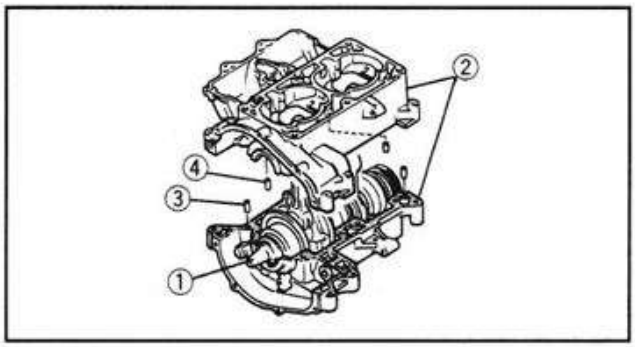
WWW.JET-STAR.JP



2. 塗布
・ガスケットメーカ
クランクケースの接合面に塗布。

要点

ガスケットメーカを塗布する前に、クランクケースの接合面を清掃します。



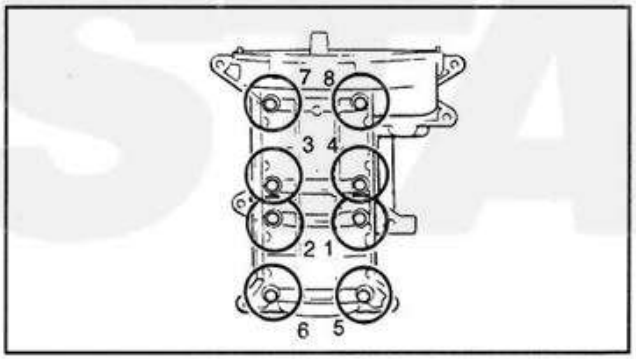
3. 組付
・クランクシャフトAss'y①
・クランクケース②
・ノックピン③
・ピン④

要点

組付け後、クランクシャフトがスムースに動くことを確認します。

注意

・クランクケース本体の溝に、ベアリングの位置決めピンが合うようにします。
・ベアリングクリップの開き部分がクランクケースの接合面に合わないようにします。



4. 組付
・ボルト

要点

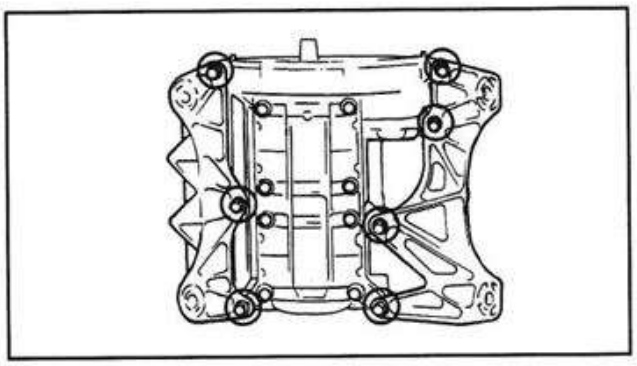
ボルトを番号順に2回に分けて締付けます。

注意

ボルトにロックタイトNo. 572を塗布します。

ボルト
1回目：1.5kgf・m (15Nm)
2回目：2.8kgf・m (28Nm)

WWW.JET-STAR.JP



5. 組付
・エンジン取付けブラケット
・ボルト

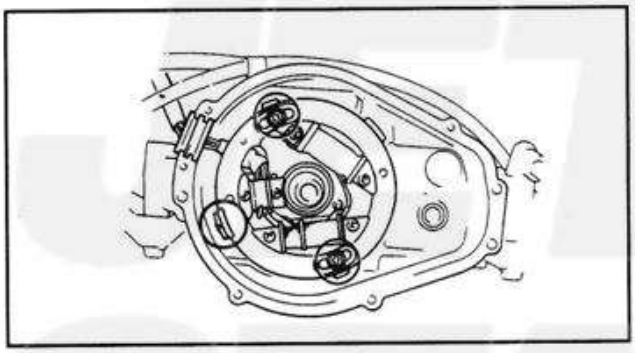
要点

ボルトは２回に分けて締付けます。

注意

ボルトにロックタイトNo. 242(青色)を塗布します。

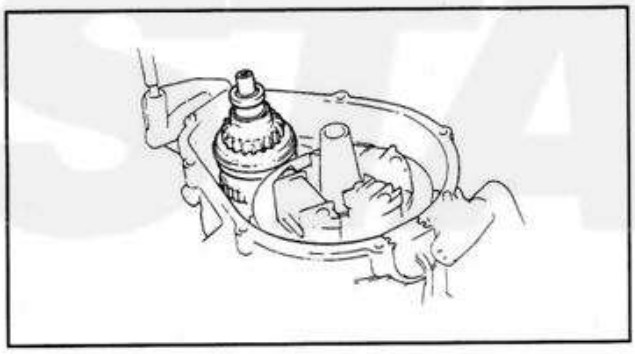
ボルト
1回目：2.3kgf•m (23Nm)
2回目：4.7kgf•m (47Nm)



6. 組付
・ベースAss'y
・スクリュ

注意

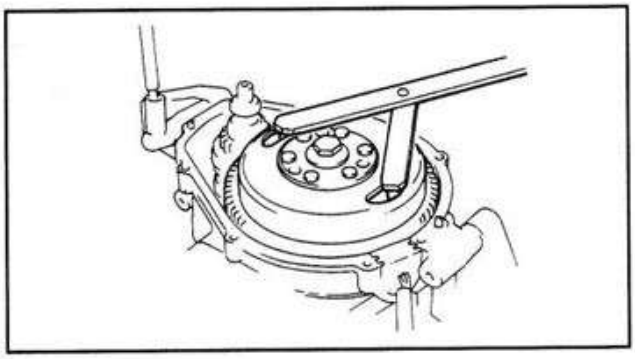
・クランクケースのポンチマークと、ベースAss'yのポンチマークを合わせます。
・スクリュにロックタイトNo. 572を塗布します。



7. 組付
・アイドルギヤAss'y

要点

ギヤに耐水グリースを塗布します。



8. 組付
・半月キー
・フライホイールマグネト
・ボルト

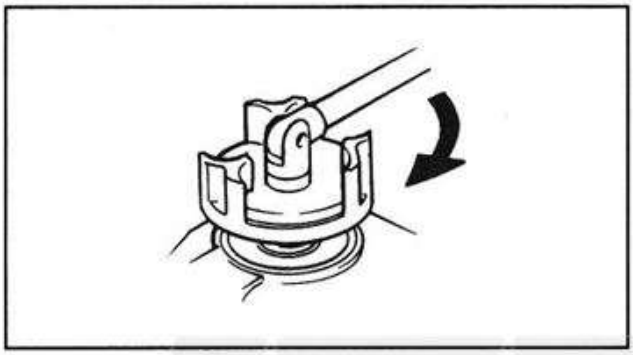
フライホイールホルダ
90890-06522

WWW.JET-STAR.JP

要点

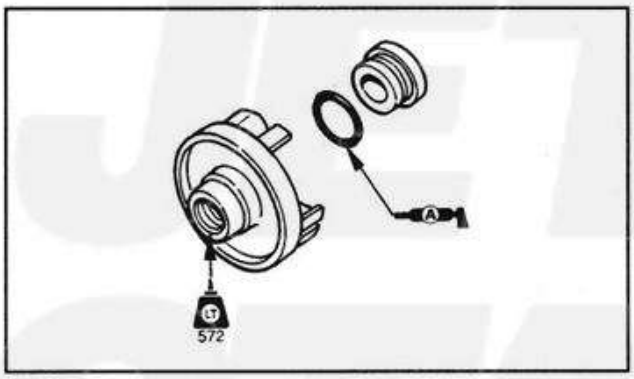
- フライホイールマグネトを取付けるとき、半月キーがクランクシャフトのキー溝に正しく取付いていることを確認します。
- ボルトのネジ部と座面に、ヤマハ船外機オイルを塗布します。

ボルト
6.5kgf•m (65Nm)



9. 組付
- カップリングフランジ
- Oリング
- リングナット

カプラレンチ
90890-06425
フライホイールホルダ
90890-06522



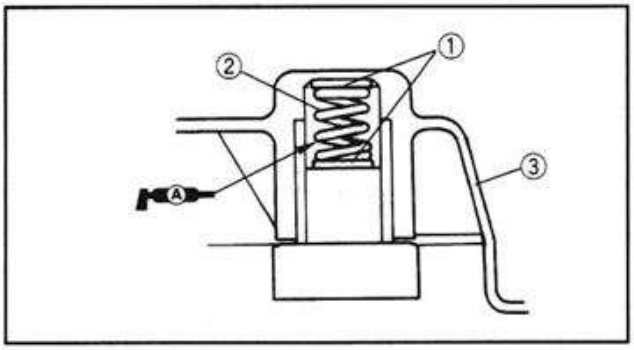
要点

- Oリングは、新しいものを使います。
- Oリングに耐水グリースを塗布します。

注意

カップリングフランジにロックタイトNo. 572を塗布します。

カップリングフランジ
3.7kgf•m (37Nm)
リングナット
0.2kgf•m (2Nm)

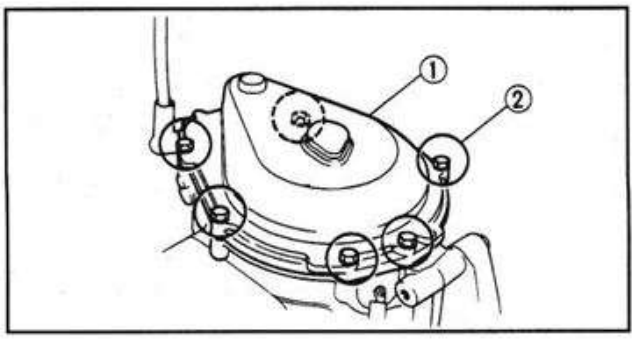


10. 組付
- ワッシャ①
- スプリング②
- フライホイールカバー③

要点

フライホイールカバーの溝に耐水グリースを充填します。

WWW.JET-STAR.JP



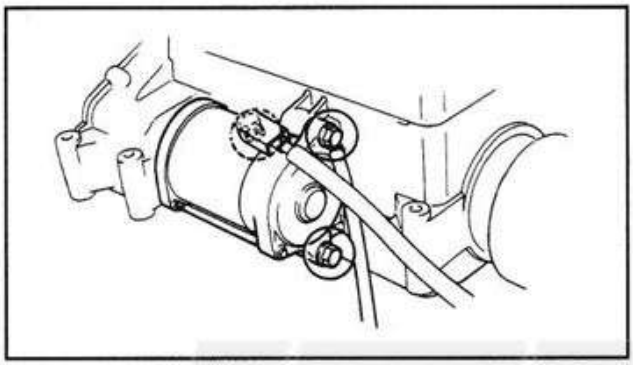
11. 組付
・ガスケット
・フライホイールカバー①
・ボルト②

要点

ガスケットは、新しいものを使います。

注意

ボルトにロックタイトNo. 242(青色)を塗布します。



12. 組付
・スタータモータ
・ボルト
・⊕リード線

要点

オイルシールに耐水グリースを塗布します。

	⊕リード線ナット **0.5kgf・m (5Nm)**

WWW.JET-STAR.JP

第6章　ジェットポンプユニット

1．ジェットポンプ……6-1
(1) 取外し前の準備……6-1
(2) 取外し……6-3
ジェットポンプユニット……6-3
インペラ……6-4
ドライブシャフト……6-4
ベアリング……6-4
(3) 点検……6-5
(4) 組付……6-5

2．ビルジシステム……6-11
(1) 取外し前の準備……6-11
(2) 点検……6-13
(3) 組付……6-13

WWW.JET-STAR.JP

ジェットポンプ

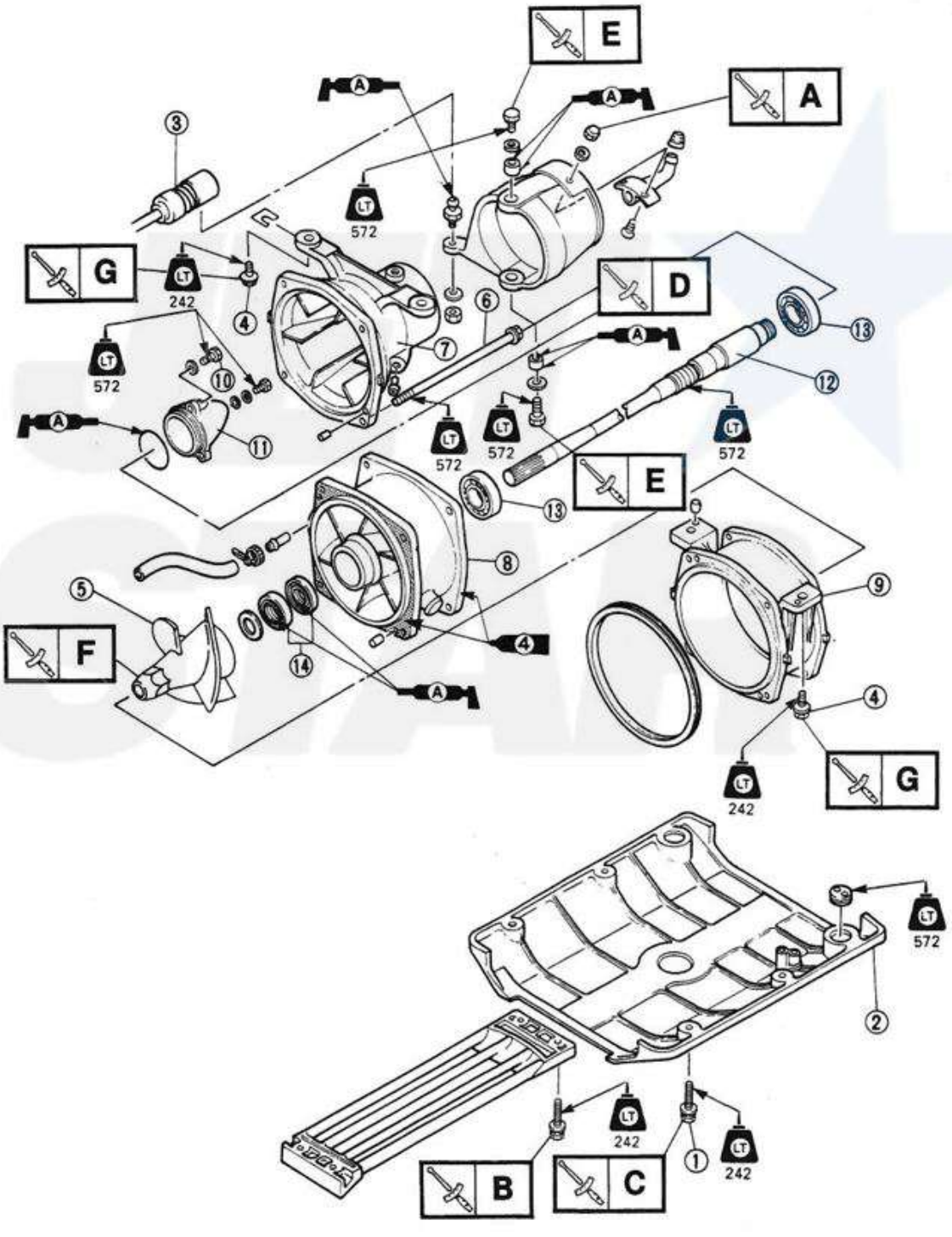
1. ジェットポンプ

(1) 取外し前の準備

・フュエルコックを "OFF" にする。
・バッテリを取外す。

A	0.1kgf・m (1Nm)	
B	0.5kgf・m (5Nm)	
C	0.8kgf・m (8Nm)	
D	1.0kgf・m (10Nm)	
E	1.6kgf・m (16Nm)	
F	1.8kgf・m (18Nm)	
G	1回目	1.7kgf・m (17Nm)
	2回目	3.4kgf・m (34Nm)

SJ

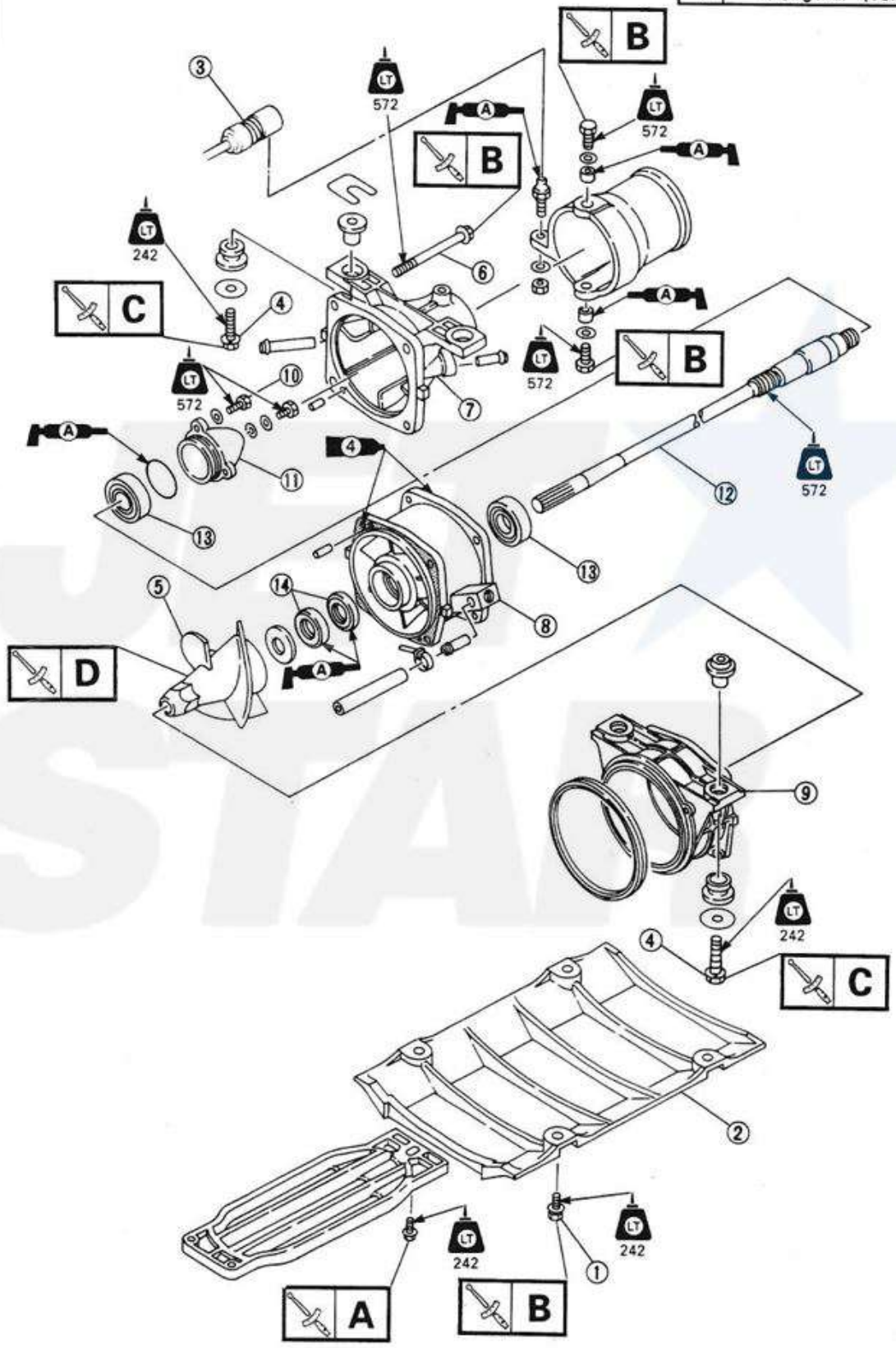


WWW.JET-STAR.JP

ジェットポンプ

FX

A	0.5kgf•m (5Nm)	
B	1.6kgf•m (16Nm)	
C	1回目	0.8kgf•m (8Nm)
	2回目	1.6kgf•m (16Nm)
D	1.8kgf•m (18Nm)	

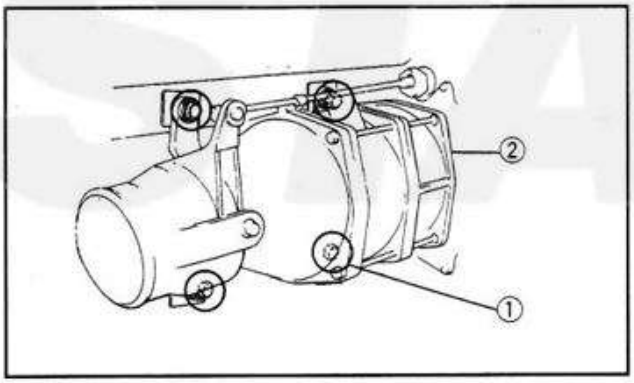


WWW.JET-STAR.JP

ジェットポンプ

〈取外しの範囲〉①ジェットポンプの取外し ②インペラの取外し
③ドライブシャフトベアリングの取外し

区分	No.	部品名	個数	備考
① ② ③	1	ボルト	4	
	2	ライドプレート	1	
	3	ケーブルジョイント	1	ケーブルジョイントを取外す。
	4	ボルト	4	
	5	インペラ	1	(2)取外しを参照。
	6	ボルト	4	
	7	ノズル	1	
	8	ダクト	1	
	9	ハウジング	1	
	10	ボルト	3	
	11	キャップ	1	
	12	ドライブシャフト	1	(2)取外しを参照。
	13	ベアリング	2	
	14	オイルシール	2	

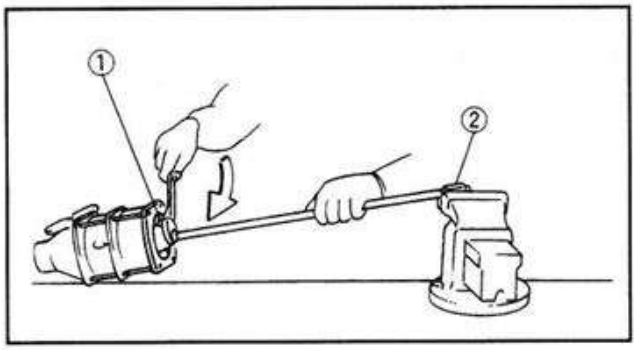


(2)取外し
ジェットポンプユニット
1. 取外し
・ボルト①
・ノックピン
・ジェットポンプユニット

要点

・再組立てが容易に行えるように、取付けボルトを取外す前にジェットポンプ取付けシムに印を付けておきます。
・ジェットポンプユニットを取外す場合は、まずジェットポンプユニット取付けボルト4本を取外します。次にジェットポンプユニットを持上げて(艇体が逆さまになっている場合)ノックピンより取外してから、後方にまっすぐ引出します。

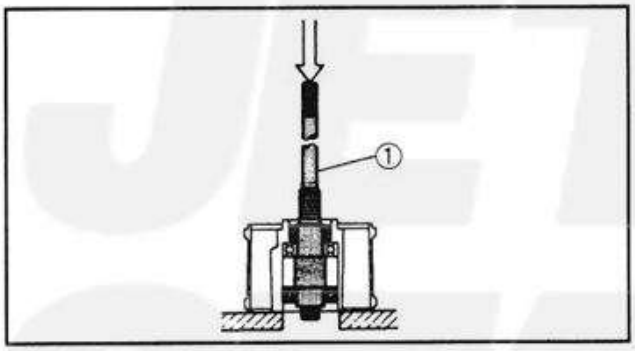
WWW.JET-STAR.JP



インペラ
1. 取外し
・インペラ①

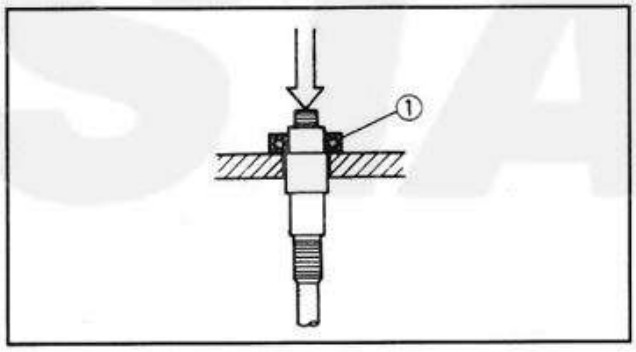
	ドライブシャフトホルダ② 90890-06518

要点
インペラは逆ネジです。インペラを時計方向に回し、緩めます。



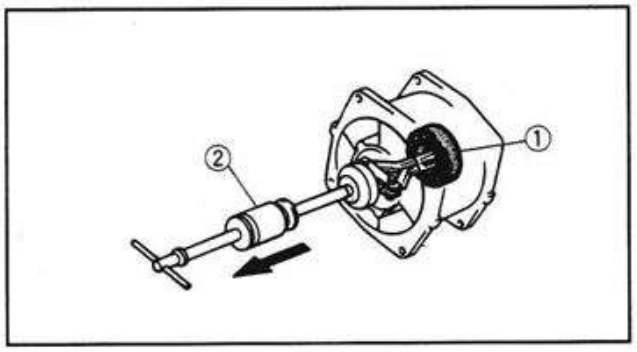
ドライブシャフト
1. 取外し
・ドライブシャフトとベアリング(リヤ)①

要点
取外しにはプレスを使います。



ベアリング
1. 取外し
・ベアリング(リヤ)①

要点
取外しにはプレスを使います。

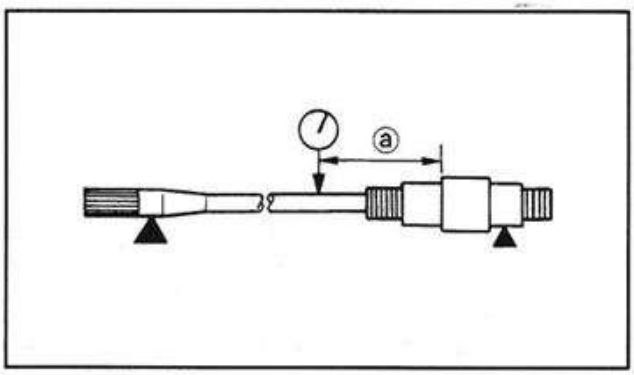


2. 取外し
・ベアリング(フロント)①

	スライドハンマセット② 90890-06523 90890-06531

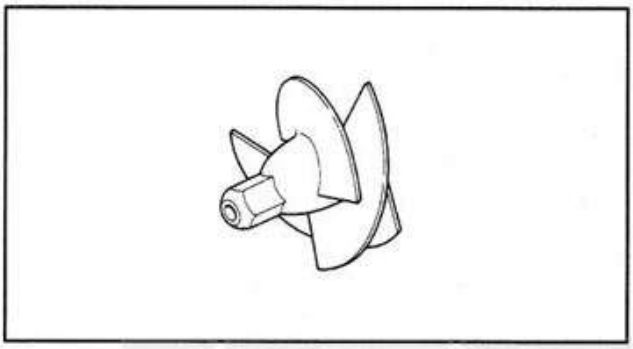
WWW.JET-STAR.JP

ジェットポンプ

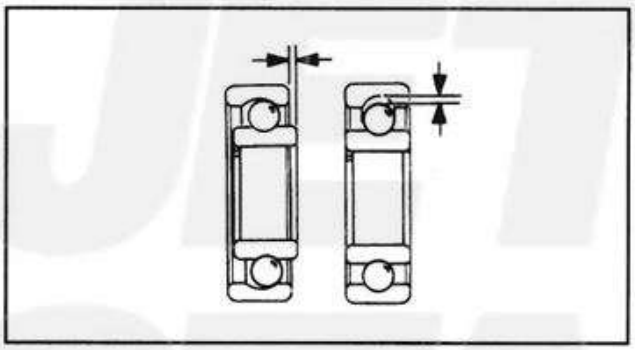


(3) 点検
1. 測定
・ドライブシャフトの振れ
Vブロックとダイヤルゲージを使用。
規定値でない場合→交換。

測定位置ⓐ
SJ：350mm
FX：300mm
揺れ限度
0.3mm

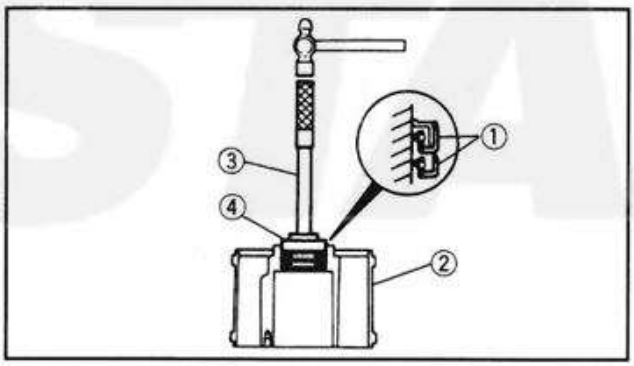


2. 点検
・インペラ
3-13ページを参照。



3. 点検
・ベアリング(フロント,リヤ)
インナレースを指で回転させる。
ガタ／焼付き→交換。

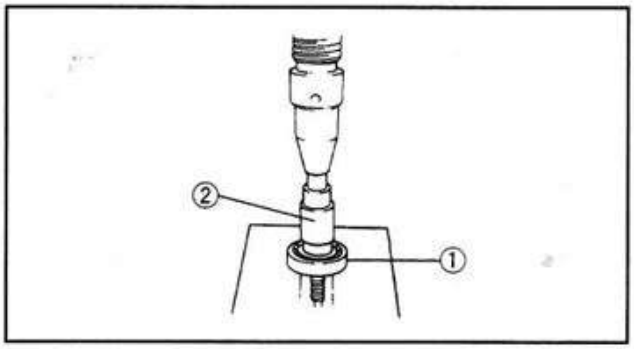
(4) 組付
1. 組付
・オイルシール①
・ダクト②へ組付。



ドライバロッド③
90890-06606
ボールベアリングアタッチメント④
90890-06634

要点

・オイルシールは、新しいものを使います。
・オイルシールは製品番号が外側になるように組付けます。

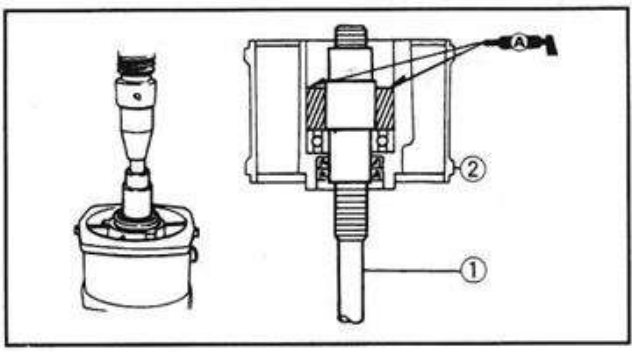


2. 組付
・ベアリング(フロント)①
・ドライブシャフト②へ組付。

要点

・組付けにはプレスを使います。
・ベアリングは製品番号が外側になるように組付けます。

WWW.JET-STAR.JP



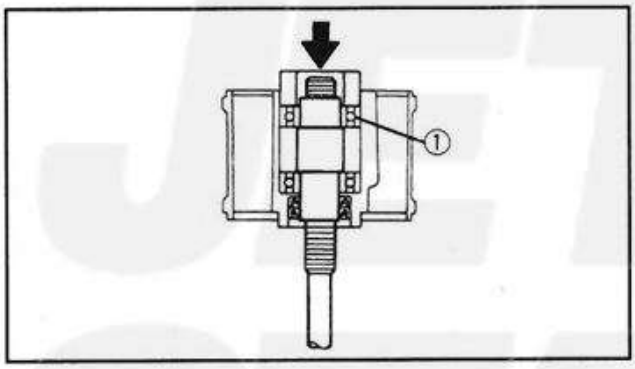
3. 組付
・ドライブシャフト①
・ダクト②へ組付。

要点

・組付けるときは、ベアリングとオイルシールのリップ部に耐水グリースを塗布します。
・組付けにはプレスを使います。

4. 充填
・耐水グリース(ヤマハマリングリースA)
ドライブシャフトとダクトの間に充填する。

グリース充填量
24cc

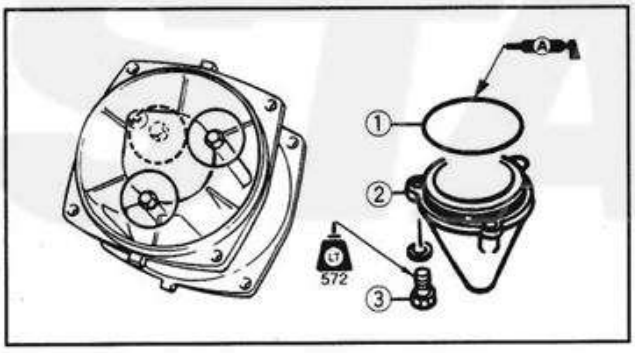


5. 組付
・ベアリング(リヤ)①

ベアリングインナレースアタッチメント
90890-06662

要点

・組付けにはプレスを使います。
・ベアリングは製品番号が外側になるように組付けます。



6. 組付
・Oリング①
・キャップ②
・ボルト③

要点

・Oリングは、新しいものを使います。
・Oリングに耐水グリースを塗布します。

注意

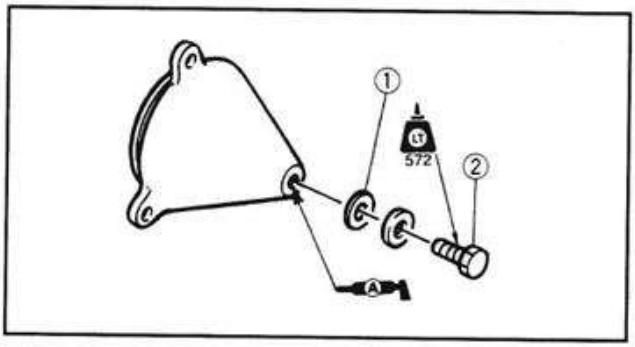
ボルトにロックタイトNo. 572を塗布します。

WWW.JET-STAR.JP

ジェットポンプ

7. 充填
・耐水グリース(ヤマハマリングリースA)
キャップ内に充填する。

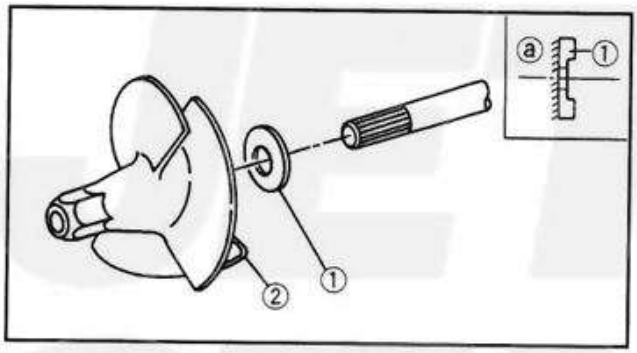
グリース充填量
21cc



8. 組付
・ガスケット①
・ボルト②

要点
ガスケットは、新しいものを使います。

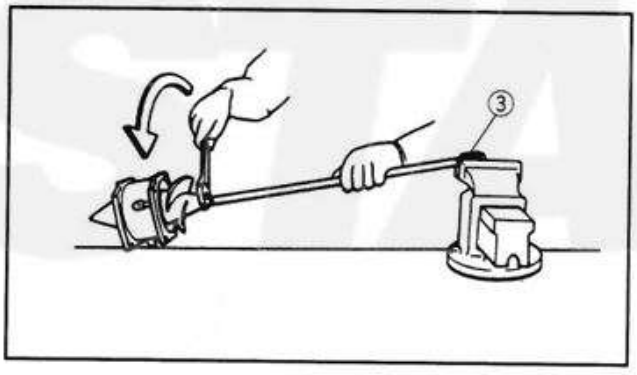
注意
ボルトにロックタイトNo. 572を塗布します。



9. 組付
・ワッシャ①
・インペラ②

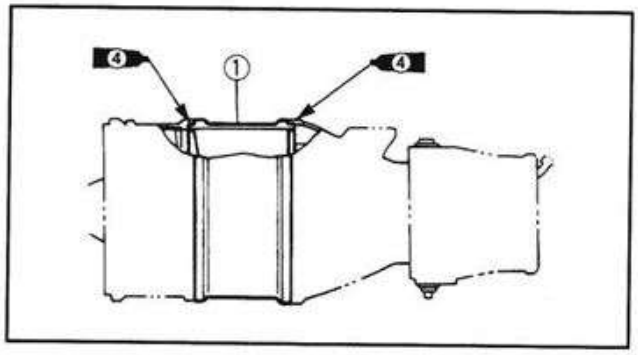
ドライブシャフトホルダ③
90890-06518

要点
・ワッシャの平らな面ⓐをインペラ側にします。
・オイルシールに耐水グリースを塗布します。
・インペラは逆ネジです。インペラを反時計方向に回し、締付けます。



注意
ボルトにロックタイトNo. 572を塗布します。

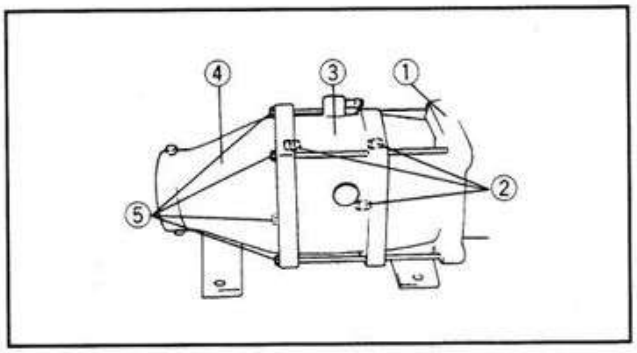
インペラ
1.8kgf・m (18Nm)



10. 塗布
・ヤマハボンドNo. 4
ダクト①の接続面に塗布。

要点
ボンドを塗布する前にハウジング、ダクト、ノズルの接続面をきれいにします。

WWW.JET-STAR.JP

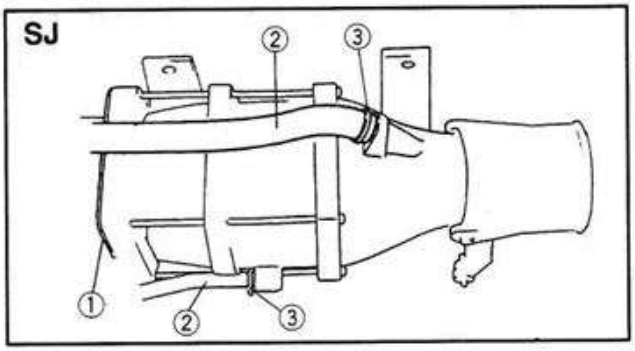


11. 組付
- ハウジング①
- ピン②
- ダクト③
- ノズル④
- ボルト⑤

要点

ボルトは仮締めします。

SJ

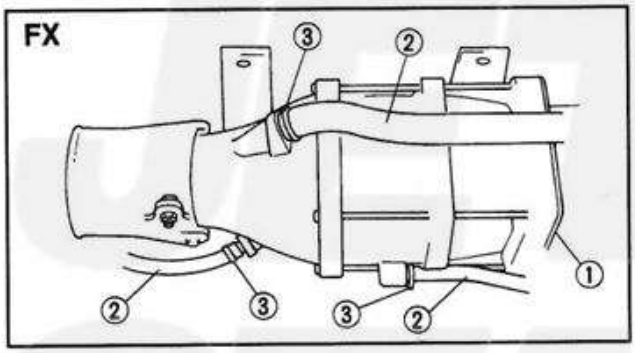


注意

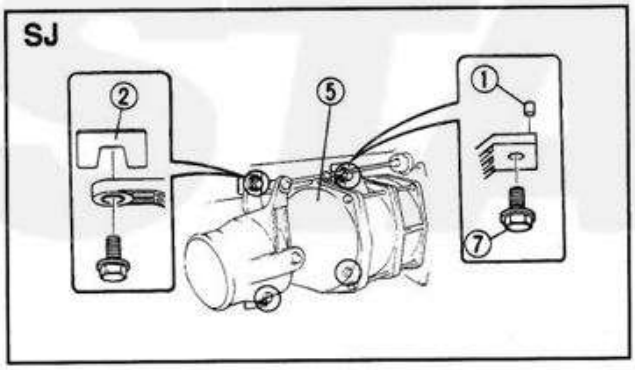
ボルトにロックタイトNo. 572を塗布します。

12. 組付
- パッキン①
- ホース②
- クランプ③

FX



SJ

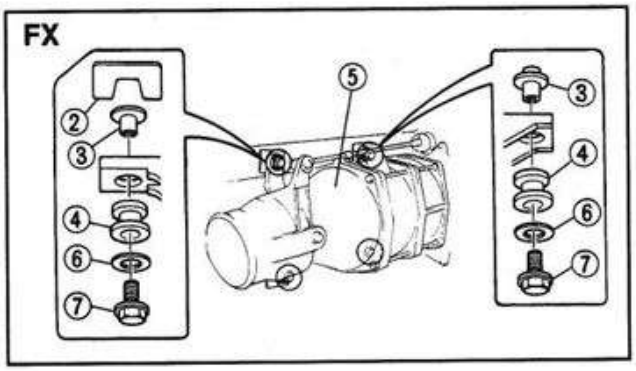


13. 組付
- ノックピン①
- シム②
- カラー③(FX)
- グロメット④(FX)
- ジェットポンプユニット⑤
- ワッシャ⑥(FX)
- ボルト⑦

要点

- **ドライブシャフトのスプラインに耐水グリースを塗布します。**
- **ドライブシャフトのスプラインと中間シャフトのスプラインをかみ合わせます。**
- **ジェットポンプのノックピンをハルの孔に合わせます。**
- **取外す前に付けた印に合わせ、シムを元の位置にして取付けます。(オリジナルシム厚は取付けボルトの後ろ側に示されています。)**

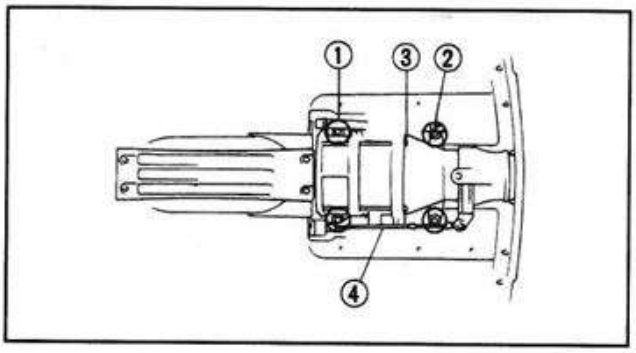
FX



注意

ボルトにロックタイトNo. 242(青色)を塗布します。

WWW.JET-STAR.JP



14. 締付け
・ボルト①
・ボルト②
・ボルト③

要点

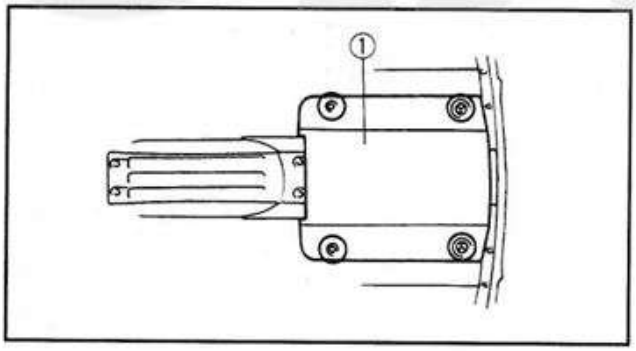
最初に前側２本のボルト①を１回目のトルク値で締付け、それから後側２本のボルト②を１回目のトルク値で締付けます。次に４本の通しボルト③を規定のトルク値で締付けます。そして前側２本のボルトを２回目のトルク値で締付け最後に後側２本のボルトを２回目のトルク値で締付けます。

ボルト①、②
ＳＪ：
1回目：1.7kgf・m (17Nm)
2回目：3.4kgf・m (34Nm)
ＦＸ：
1回目：0.8kgf・m (8Nm)
2回目：1.6kgf・m (16Nm)
ボルト③
ＳＪ：
1.0kgf・m (10Nm)
ＦＸ：
1.6kgf・m (16Nm)

15. 接続
・ステアリングケーブル④

要点

ケーブルジョイントに耐水グリースを塗布します。



16. 組付
・ライドプレート①
・ボルト

注意

ボルトにロックタイトNo.242(青色)を塗布します。

ボルト(ライドプレート)
ＳＪ：
0.8kgf・m (8Nm)
ＦＸ：
1.6kgf・m (16Nm)

WWW.JET-STAR.JP

ジェットポンプ

JET STAR

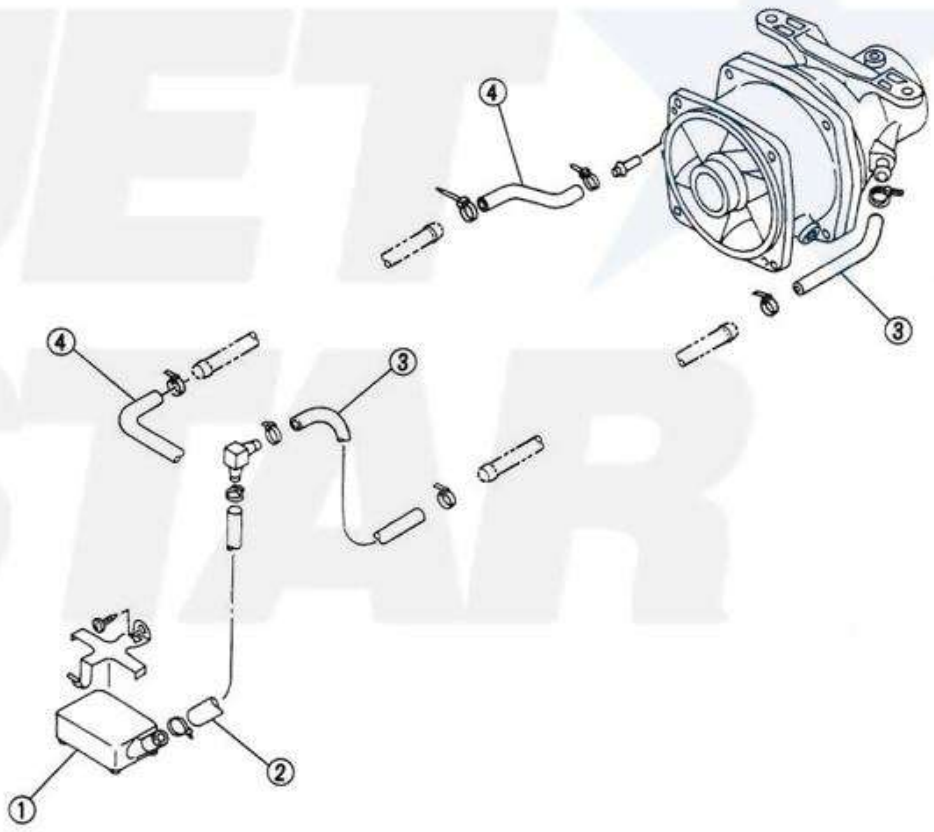
WWW.JET-STAR.JP

2. ビルジシステム

(1) 取外し前の準備

・ガソリンを抜く。
・バッテリを取外す。
・ライドプレートを取外す。

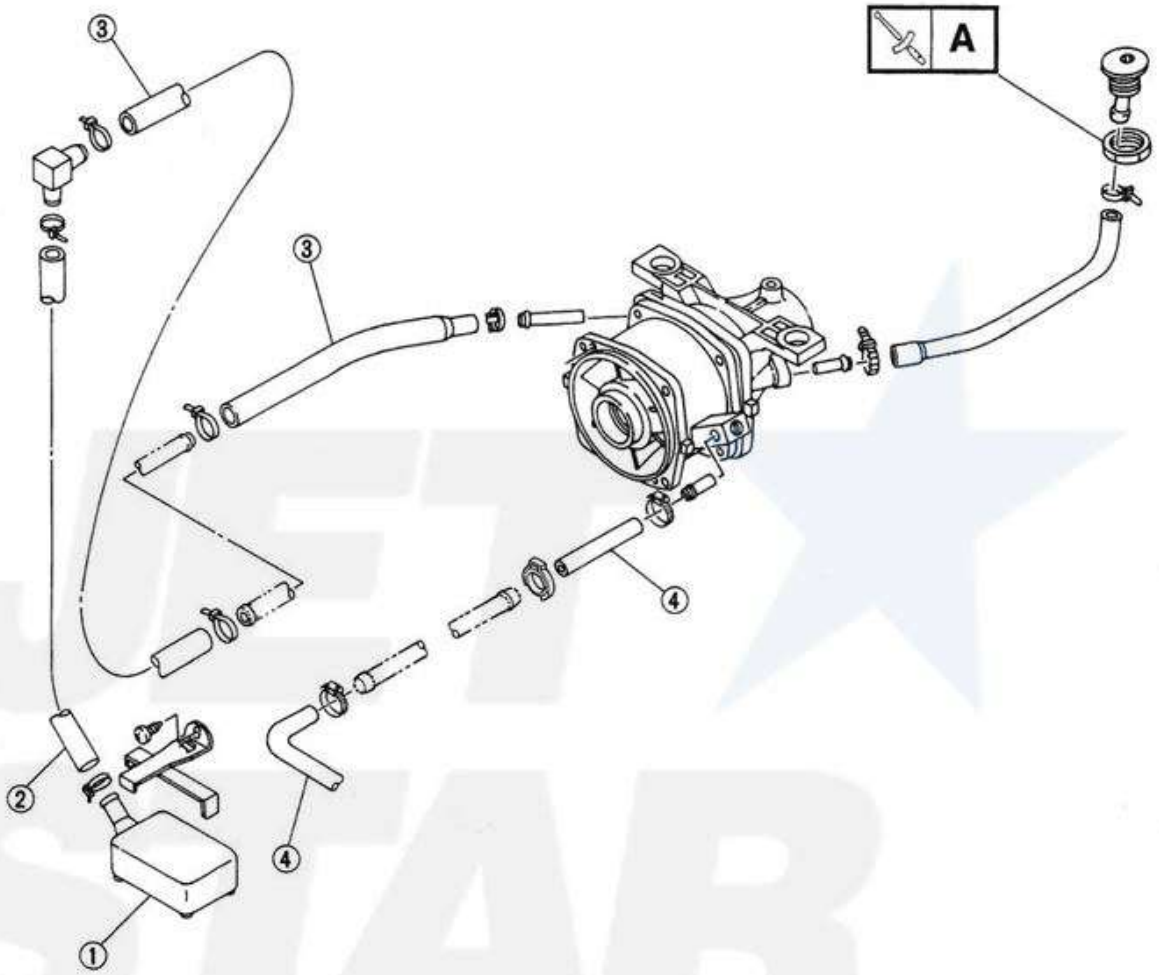
SJ



WWW.JET-STAR.JP

FX

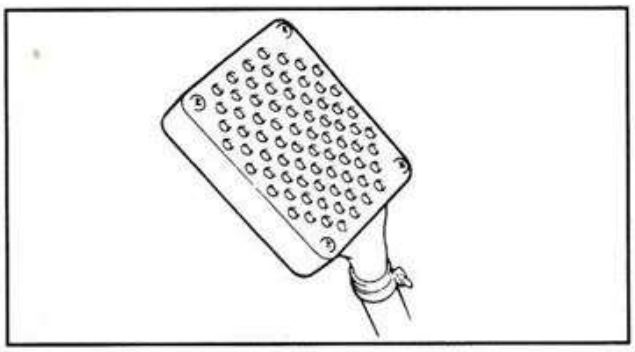
A	0.6kgf・m (6Nm)



〈取外しの範囲〉①ビルジストレーナの取外し ②冷却水ホースの取外し

区分	No.	部品名	個数	備考
①	1	ビルジストレーナ	1	
	2	ホース	1	ホースタイを取外す。
	3	ホース	2	ホースタイを取外す。
②	4	ホース	2	ホースタイを取外す。

WWW.JET-STAR.JP



(2) 点検
1. 点検
・ビルジストレーナ
3-22ページを参照。

2. 点検
・ホース
・コネクタ
摩耗／亀裂→交換。

(3) 組付
「分解図」を参照。

要点

ホースを組付けるとき、ホースタイは新しいものを使います。

WWW.JET-STAR.JP

第7章 電　装

1．電装系統……7-1
(1)配線図……7-3
(2)電気配線……7-4
(3)スタータスイッチ／エンジンストップスイッチ……7-4
(4)バッテリ……7-4
(5)スパークプラグ……7-4
(6)サーモスイッチ……7-4
(7)ヒューズ……7-5
(8)電装ボックス……7-5
(9)スタータリレー……7-5
(10)レクチファイヤレギュレータ……7-6
(11)イグニッションコイル……7-6
(12)ＣＤＩユニット……7-8
(13)ベース Ass'y……7-9

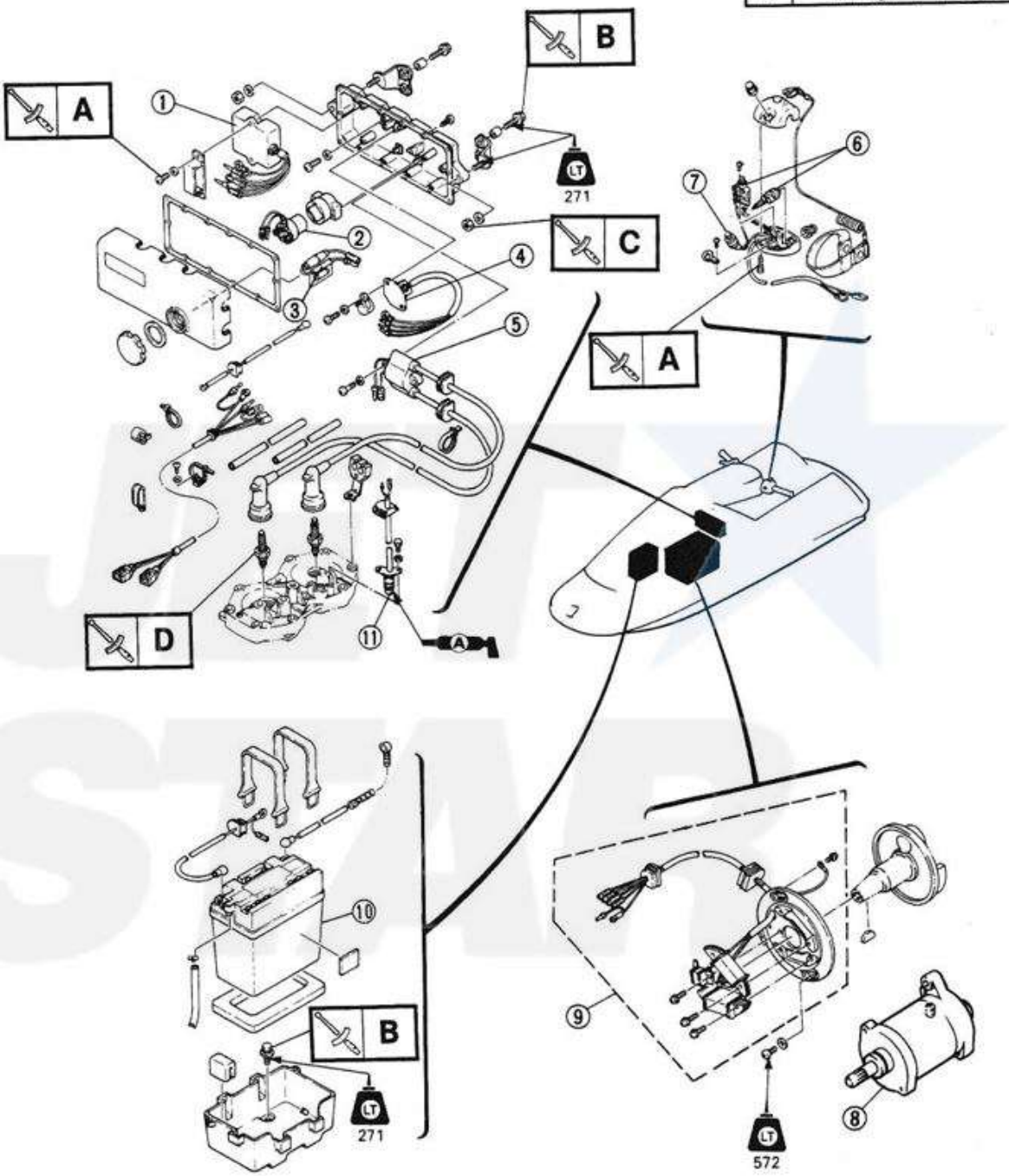
2．スタータモータ……7-10
(1)取外し……7-10
(2)分解……7-10
(3)点検……7-11
(4)組立……7-13
(5)組付……7-13

WWW.JET-STAR.JP

1. 電装系統

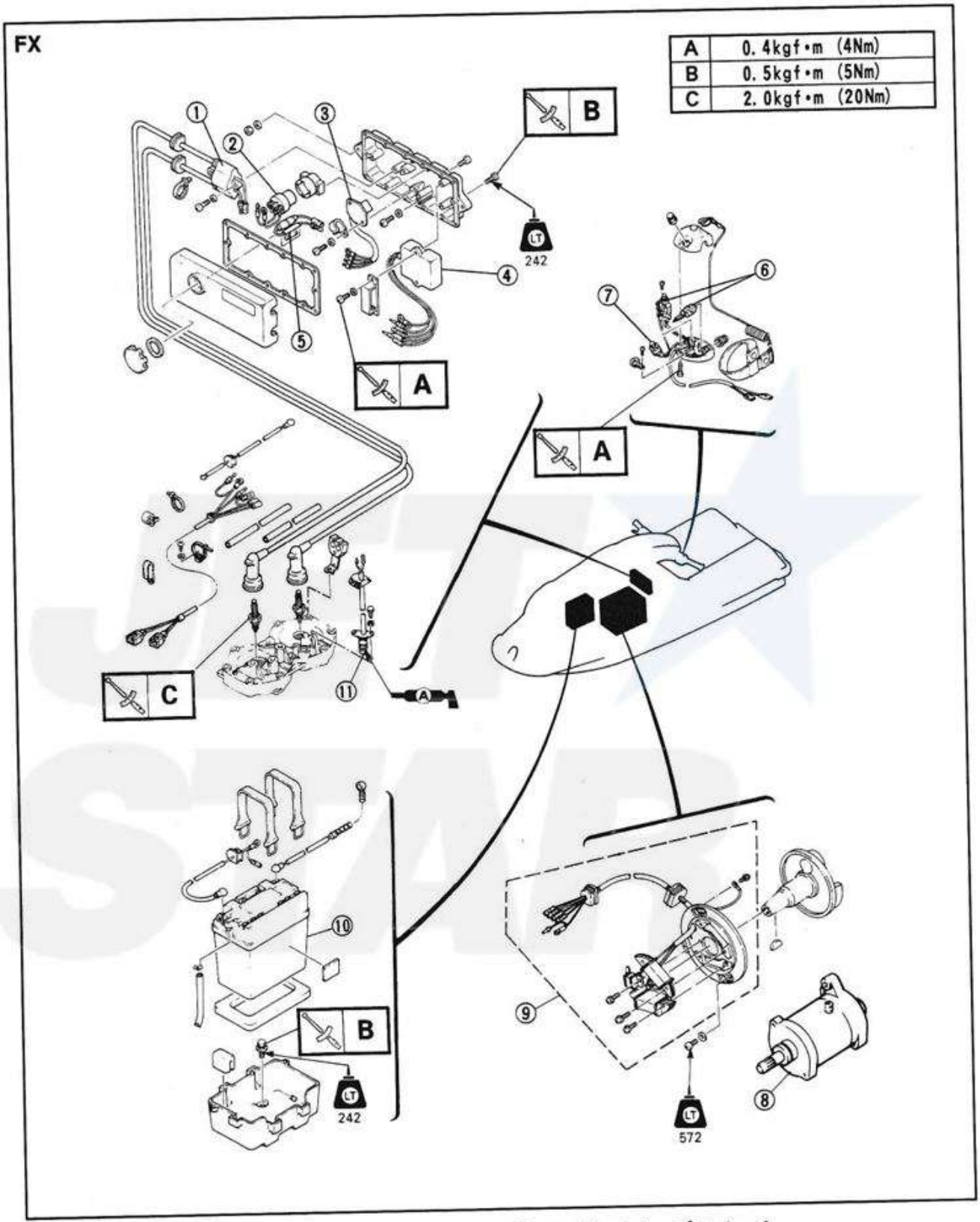
SJ

A	0.4kgf・m (4Nm)
B	0.5kgf・m (5Nm)
C	1.3kgf・m (13Nm)
D	2.0kgf・m (20Nm)



①ＣＤＩユニット
②スタータリレー
③ヒューズ
④レクチファイヤレギュレータ
⑤イグニッションコイル
⑥エンジンストップスイッチ
⑦スタータスイッチ
⑧スタータモータ
⑨マグネトベース Ass'y
⑩バッテリ

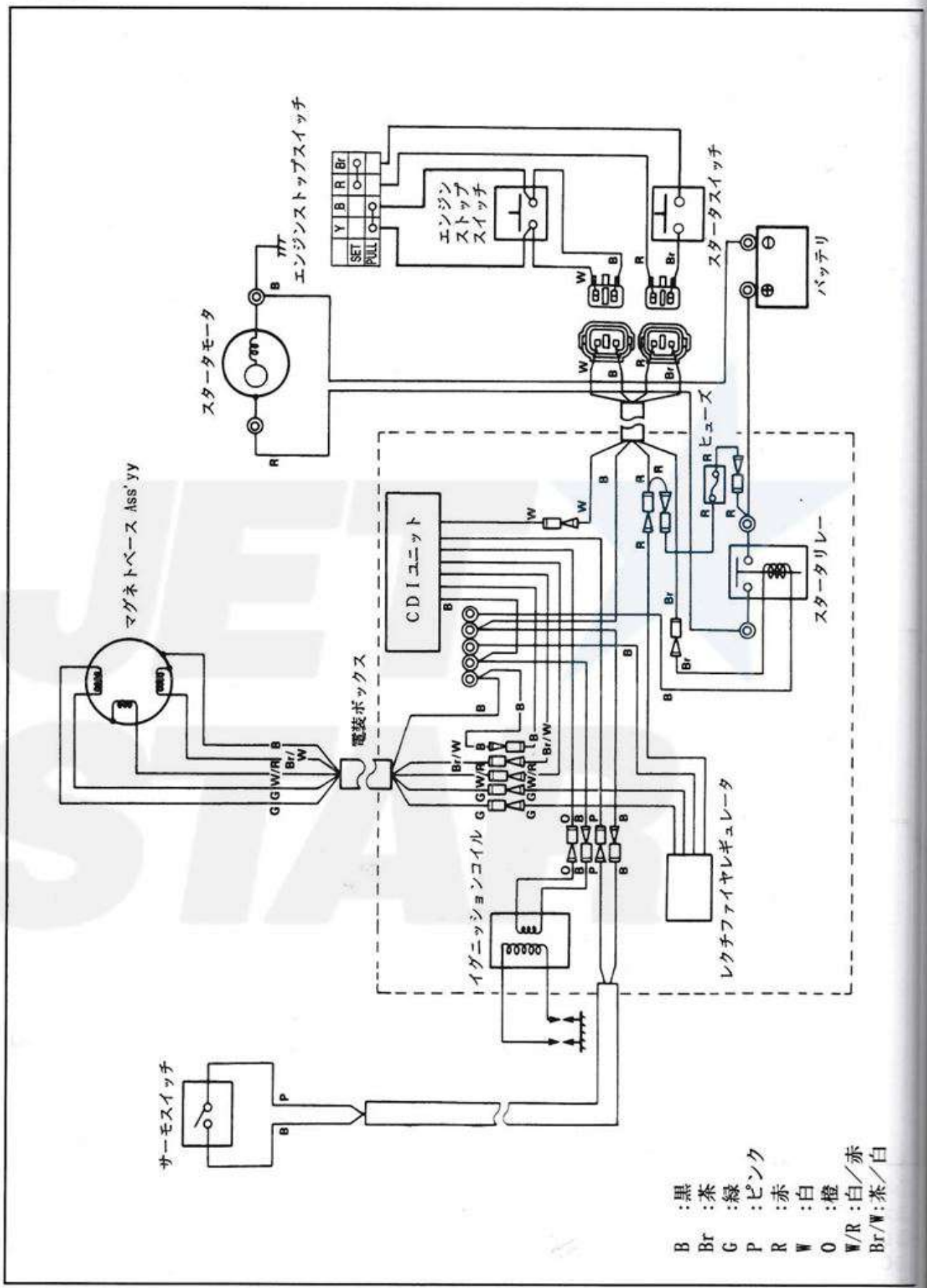
WWW.JET-STAR.JP



①イグニッションコイル
②スタータリレー
③レクチファイヤレギュレータ
④ＣＤＩユニット
⑤イグニッションコイル
⑥エンジンストップスイッチ
⑦スタータスイッチ
⑧スタータモータ
⑨マグネトベース Ass'y
⑩バッテリ

WWW.JET-STAR.JP

(1) 配線図



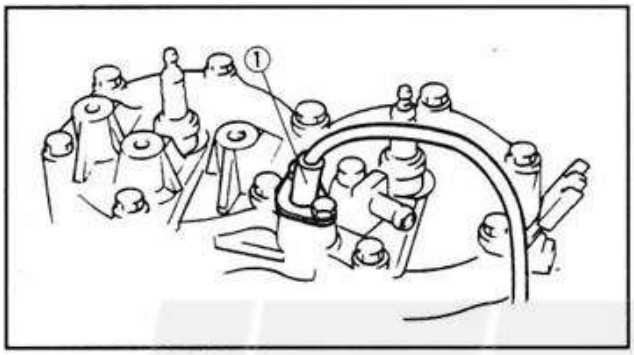
WWW.JET-STAR.JP

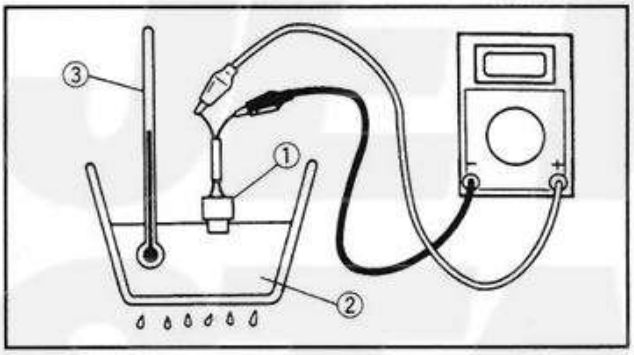
(2) 電気配線
・3-16ページを参照。

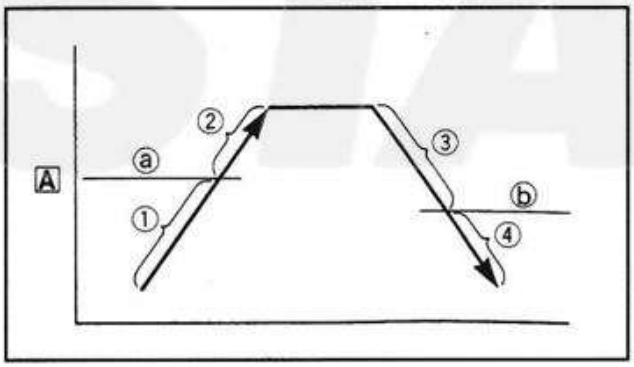
(3) スタータスイッチ／エンジンストップスイッチ
・3-16ページを参照。

(4) バッテリ
・3-17～19ページを参照。

(5) スパークプラグ
・3-19～20ページを参照。







(6) サーモスイッチ
1. 点検
・サーモスイッチ①
欠陥→交換。

点検手順
- サーモスイッチを取外す。
- ポケットテスタ(Ω×1)をサーモスイッチのリード線に接続する。
- サーモスイッチ①を、冷却水②に浸す。
- サーモスイッチの導通を確認する。
  冷却水を加熱し、温度計③で温度を記録する。

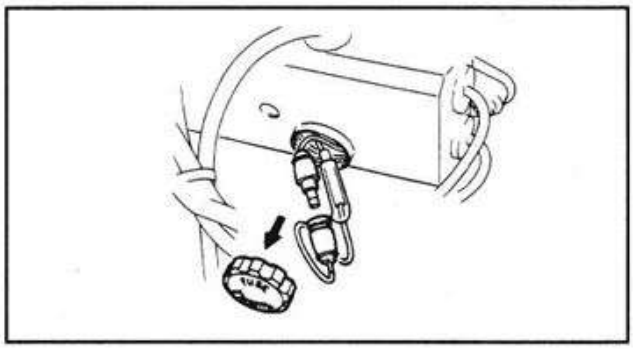
テストステップ	冷却水温度 A	導 通
1	80℃±3℃以下	×
2	80℃±3℃以上	○
3	80℃±3℃～70℃±7℃	○
4	70℃±7℃以下	×

テスト1，2：加熱テスト
テスト3，4：冷却テスト
○：導通　　×：導通なし

注意

サーモスイッチの取扱いには充分注意します。強いショックを与えたり、落としたりしてはいけません。もし、落としたら交換します。

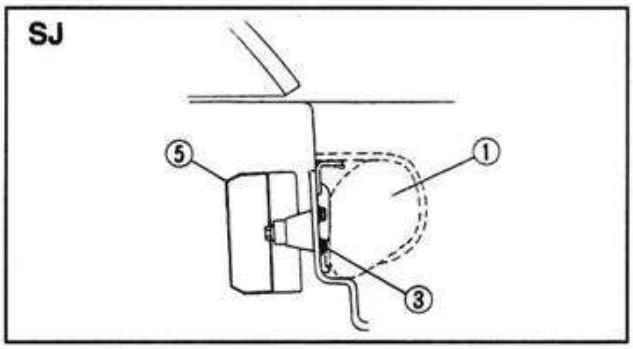
WWW.JET-STAR.JP



(7) ヒューズ
1. 点検
・ヒューズ
ヒューズ切れ→交換。

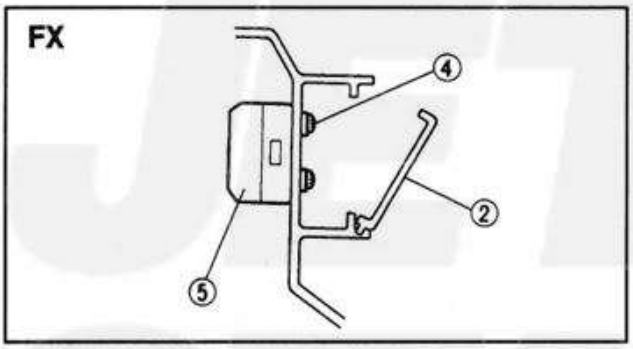
	ヒューズ容量 10A

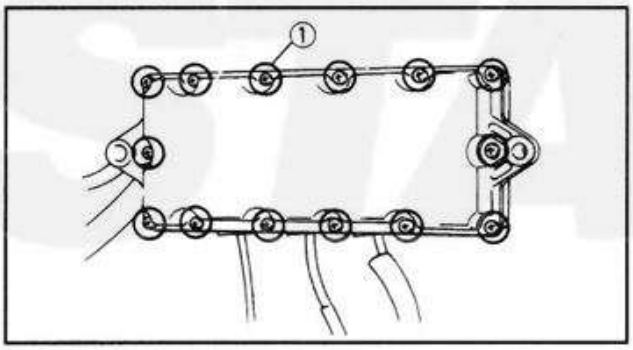
SJ



(8) 電装ボックス
1. 取外し
・ケース①(SJ)
・リッド②(FX)
・ボルト③ (SJ)
・スクリュ④(FX)
・電装ボックス⑤

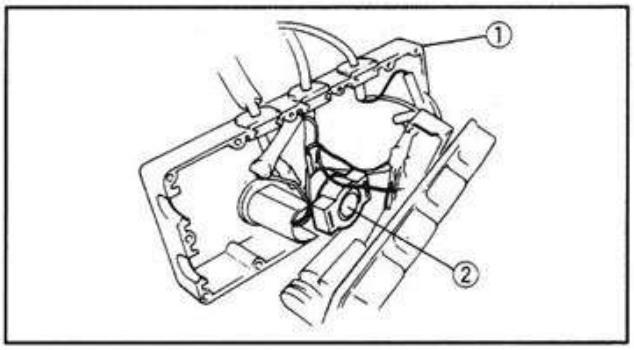
FX





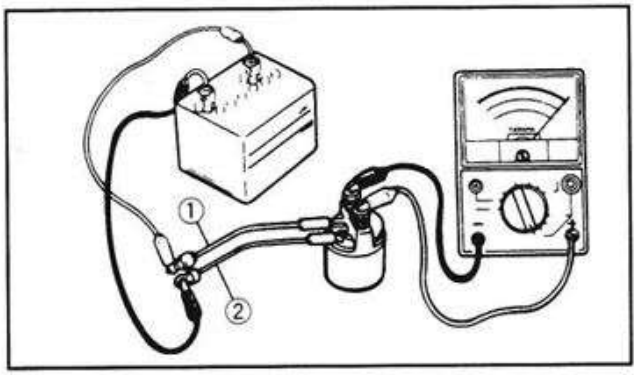
2. 取外し
・スクリュ①

3. 点検
・電装ボックス
亀裂／損傷→交換。



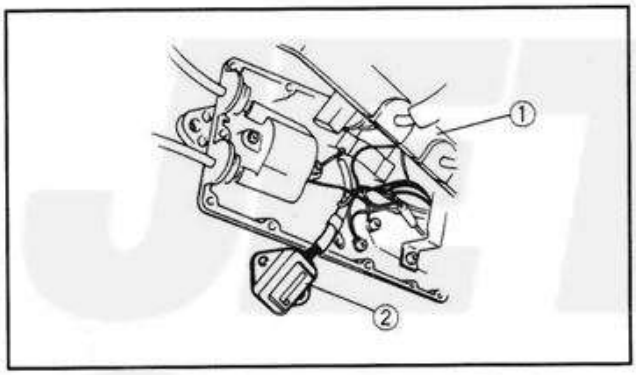
(9) スタータリレー
1. 取外し
・電装ボックス①
・スタータリレー②

WWW.JET-STAR.JP



2. 点検：
・スタータリレー

点検手順 ・リレーの端子にテスタを接続する。 ・リレーを12Vのバッテリに接続する。
①茶リード線→バッテリ ⊕端子 ②黒リード線→バッテリ ⊖端子
リレーは作動するがテスタの針が動かない場合／リレーは作動せずテスタの針も動かない場合→交換。



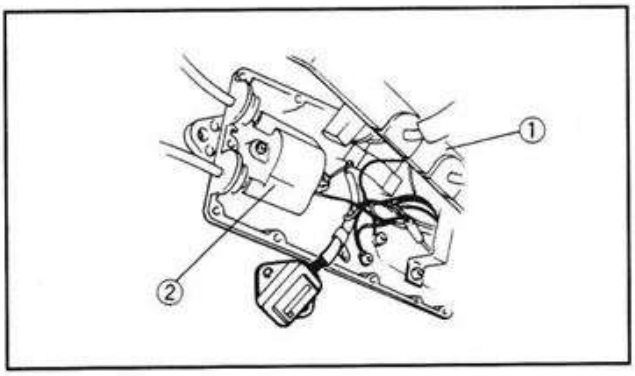
(10) レクチファイヤレギュレータ
1. 取外し
・電装ボックス①
・レクチファイヤレギュレータ②
2. 測定
・レクチファイヤレギュレータ端子間の抵抗値
規定値でない場合→交換。
下表を参照。

	テスタレンジ Ω × 1 k

単位：kΩ

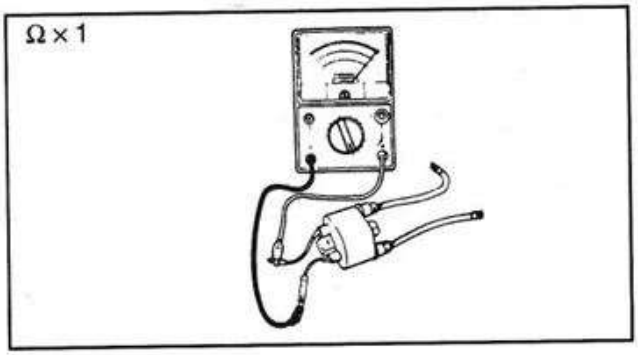
⊖ \ ⊕	赤	黒	緑1	緑2
赤		∞	∞	∞
黒	2～20		1～10	1～10
緑1	1～10	2～15		3～30
緑2	1～10	2～15	3～30	

∞：導通なし



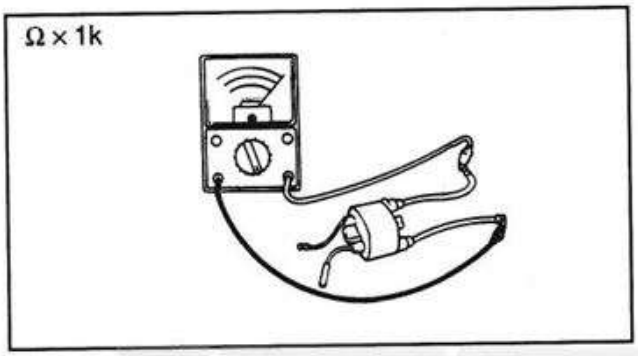
(11) イグニッションコイル
1. 取外し
・電装ボックス①
・イグニッションコイル②

WWW.JET-STAR.JP



2. 測定：
・一次コイル抵抗値
規定値でない場合→交換。

一次コイル抵抗値
(橙－黒間)
0.078～0.106Ω (温度20℃)

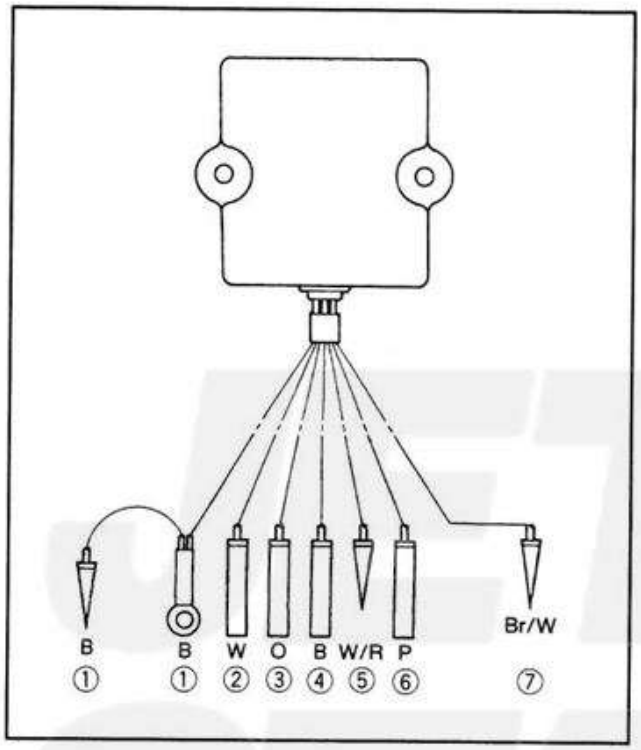


3. 測定
・二次コイル抵抗値
規定値でない場合→交換。

二次コイル抵抗値
(ハイテンションコード)
3.5～4.7kΩ (温度20℃)

WWW.JET-STAR.JP

(12) ＣＤＩユニット
1. 取外し
・電装ボックス
・ＣＤＩユニット



2. 測定
・ＣＤＩユニット端子間の抵抗値
規定値でない場合→交換。
下表を参照。

テスタレンジ
Ω×1k

B :黒
W :白
O :橙
W/R :白/赤
P :桃
Br/W:茶/白

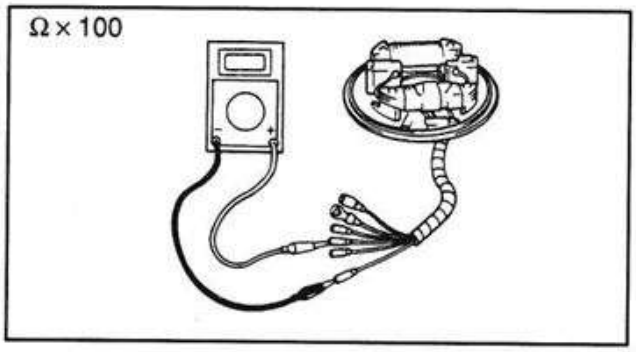
∞ : 導通なし
● : 針は一度振れ、元の位置に戻る。

単位：kΩ

テスタ⊕ / テスタ⊖		① B	② W	③ O	④ B	⑤ W/R	⑥ P	⑦ Br/W
①	B		20^{+20}_{-10}	●	0	300^{+300}_{-150}	7±4	4±2
②	W	∞		∞	∞	∞	∞	∞
③	O	●	●		●	●	●	●
④	B	0	20^{+20}_{-10}	●		300^{+300}_{-150}	7±4	4±2
⑤	W/R	18^{+18}_{-9}	100^{+100}_{-50}	●	18^{+18}_{-9}		20^{+20}_{-10}	35^{+35}_{-18}
⑥	P	∞	∞	●	∞	∞		∞
⑦	Br/W	40^{+40}_{-20}	30^{+30}_{-15}	●	40^{+40}_{-20}	500^{+500}_{-250}	100^{+100}_{-50}	

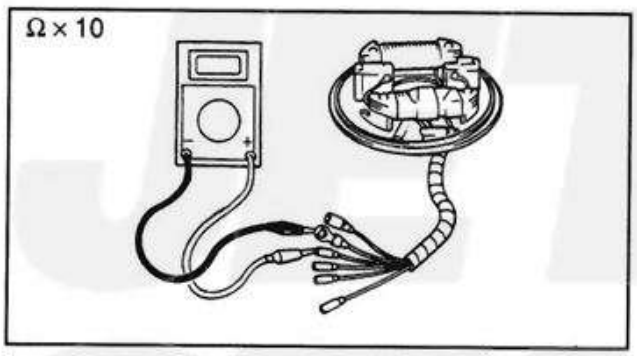
WWW.JET-STAR.JP

(13) ベースAss'y
1. 取外し
・電装ボックス
・ベースAss'yリード線



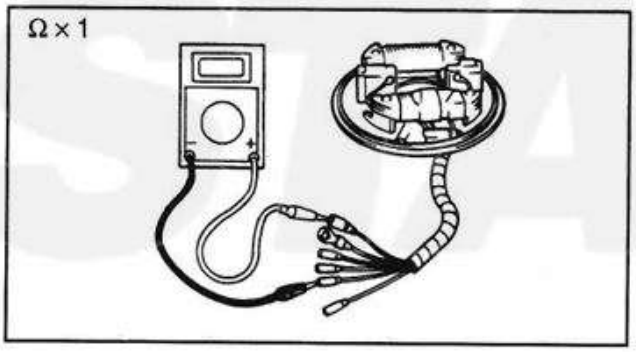
2. 測定
・チャージコイル抵抗値
規定値でない場合→交換。

チャージコイル抵抗値
(茶－黒間)
328.5～401.5Ω (温度20℃)



3. 測定
・パルサコイル抵抗値
規定値でない場合→交換。

パルサコイル抵抗値
(白/赤－黒間)
12.6～15.4Ω (温度20℃)

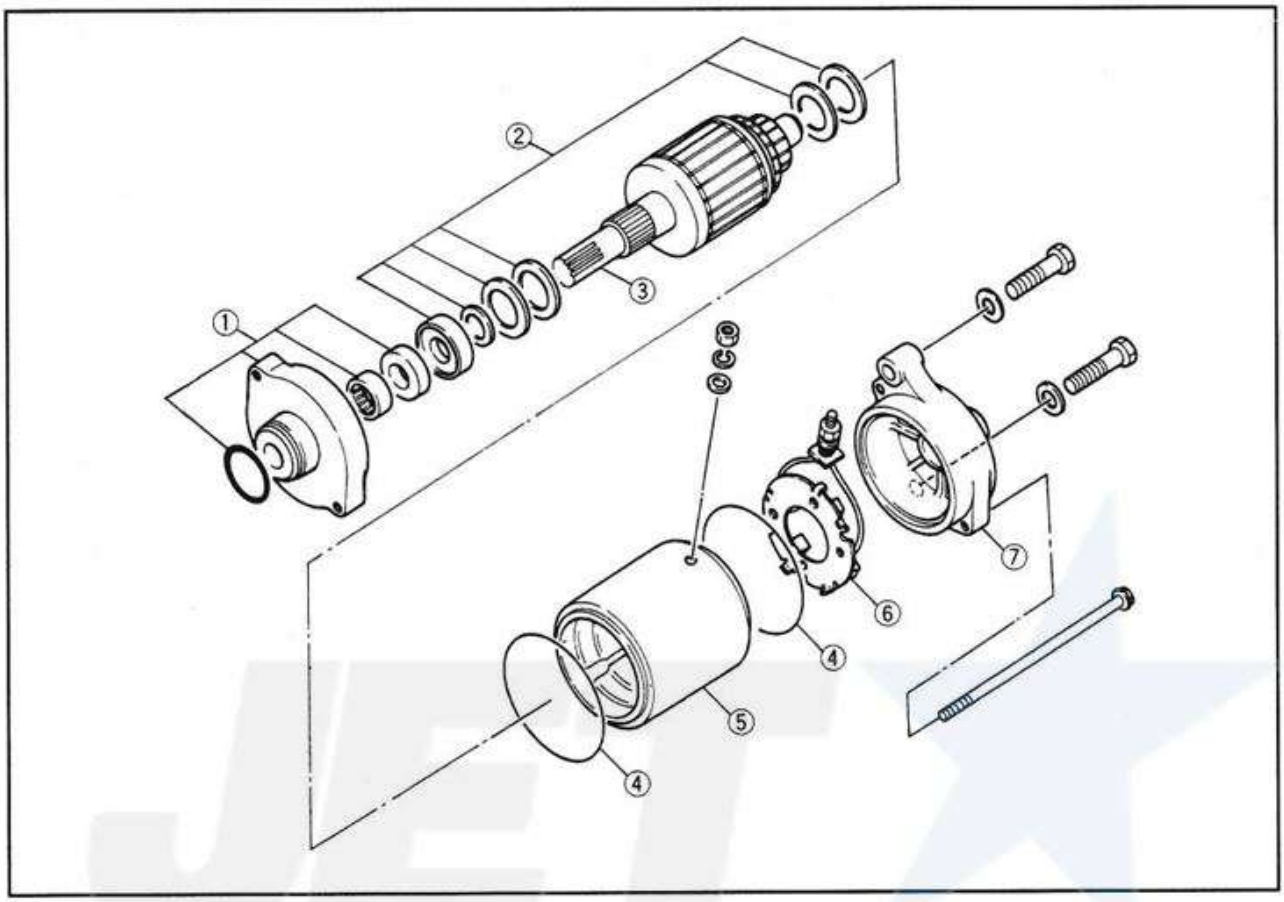


4. 測定
・ライティングコイル抵抗値
規定値でない場合→交換。

ライティングコイル抵抗値
(緑－緑間)
0.81～0.99Ω (温度20℃)

WWW.JET-STAR.JP

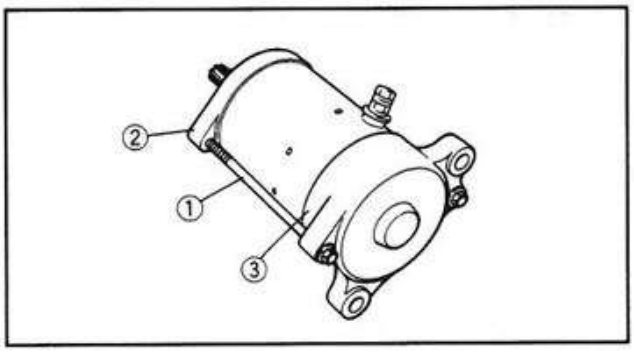
2. スタータモータ



①フロントブラケットAss'y
②ワッシャキット
③アーマチュアAss'y
④ガスケット
⑤ヨークAss'y
⑥ブラシホルダAss'y
⑦リヤブラケットAss'y

(1) 取外し

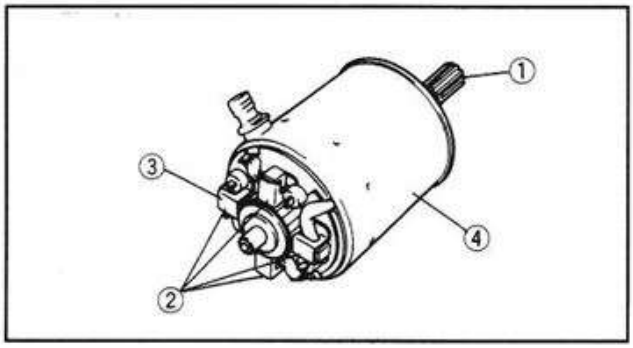
1. 取外し
・スタータモータ
5-30ページを参照。



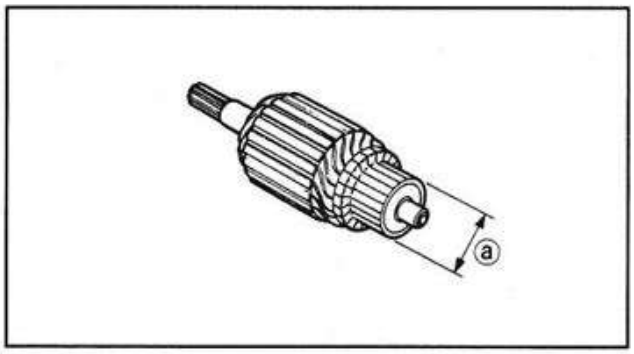
(2) 分解

1. 取外し
・通しボルト①
・フロントブラケット②
・リヤブラケット③

WWW.JET-STAR.JP

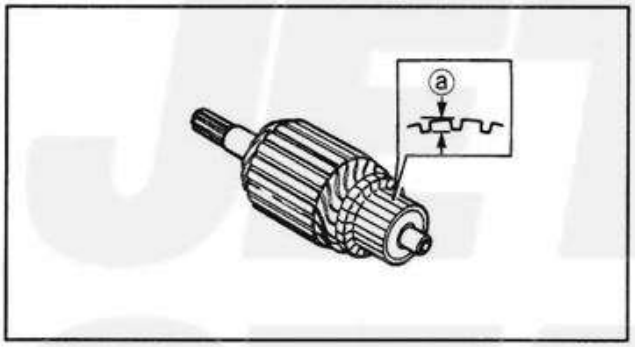


2. 取外し
・アーマチュア①
・ブラシ②
・ブラシホルダ③
・ヨークAss' y④



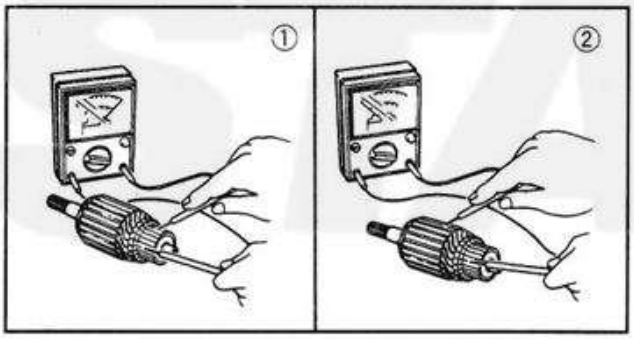
(3) 点検
1. 点検
・コンミュテータ
汚れ→＃600のサンドペーパーで磨く。
2. 測定
・コンミュテータの直径ⓐ
規定値でない場合→交換。

直径摩耗限度
27mm



3. 測定
・コンミュテータのアンダーカットの深さⓐ
規定値でない場合→アンダーカットの深さが規定値になるまで切込む。

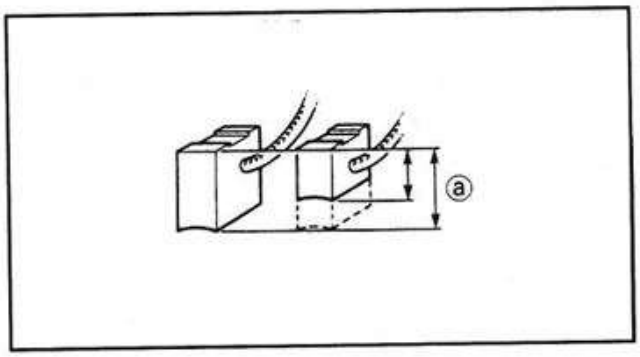
アンダーカット深さ
0.2～0.7mm



4. 点検
・アーマチュアコイル
欠陥→交換。

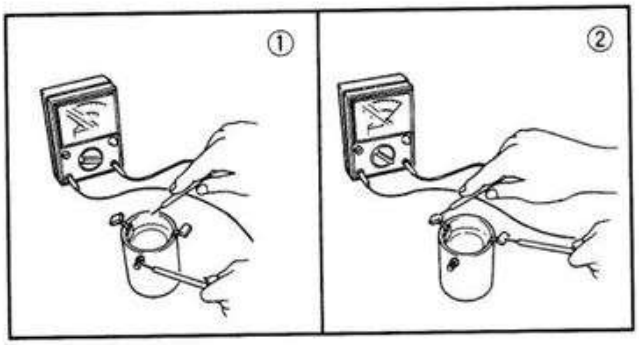
点検手順
・ポケットテスタのテスタ棒を、コンミュテータの各セグメント(図①)に接続する。
導通なし→交換。
・ポケットテスタの一方のテスタ棒をコアに、もう一方をコンミュテータのセグメント(図②)に接続する。
導通→交換。

WWW.JET-STAR.JP



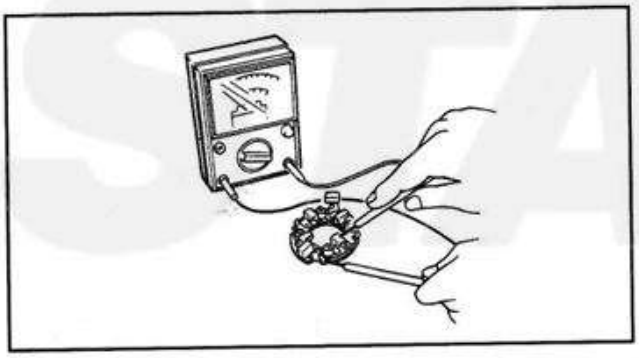
5. 測定
・ブラシの長さ ⓐ
規定値でない場合→交換。

ブラシ摩耗限度
6.5mm



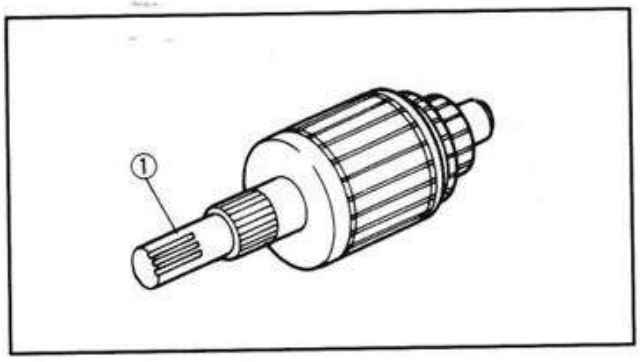
6. 点検
・フィールドコイル
欠陥→交換。

点検手順
・ポケットテスタの一方のテスタ棒を ⊕ 端子に、もう一方をスタータボディ(図①)に接続する。
導通→交換。
・ポケットテスタのテスタ棒を、コンミュテータの各セグメント(図②)に接続する。
導通なし→交換。



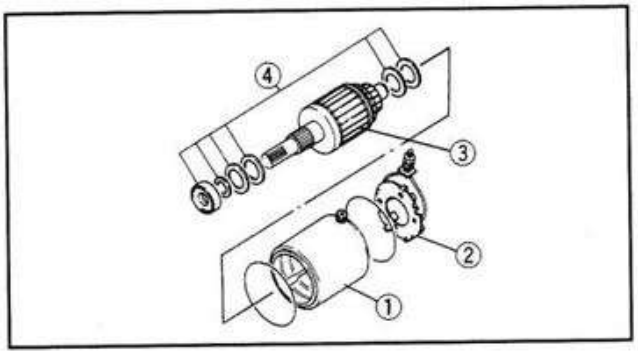
7. 点検
・ブラシホルダ
欠陥→交換。

点検手順
・ポケットテスタの一方のテスタ棒をブラシホルダベースに、もう一方をアースに接続する
導通→交換。



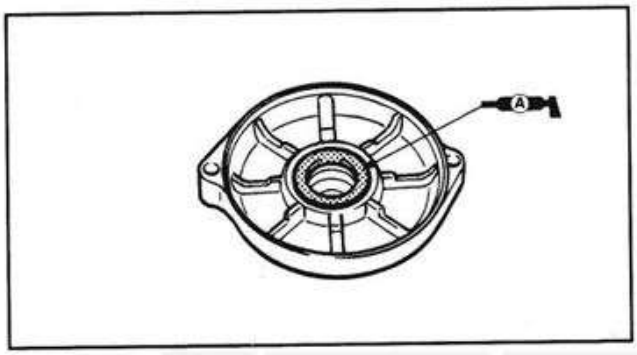
8. 点検
・ピニオン①
摩耗／損傷→交換。
・オイルシール
欠陥→交換。

WWW.JET-STAR.JP

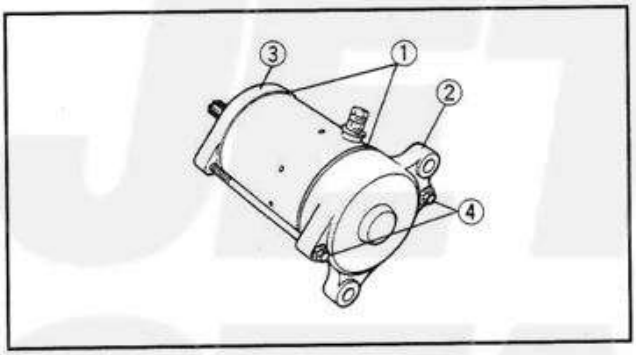


(4)組立

1. 組付
 ・ヨークAss'y①
 ・ブラシホルダ②
 ・アーマチュア③
 ・ワッシャキット④



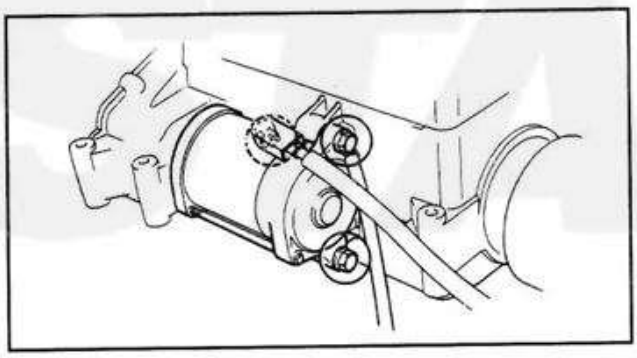
2. 塗布
 ・耐水グリース（ヤマハマリングリースA）
 フロントブラケットのオイルシールリップ部へ塗布。



3. 組付
 ・ガスケット①
 ・リヤブラケット②
 ・フロントブラケット③
 ・通しボルト④

要点

フロントブラケットの合いマークとヨークAss'yの合いマークを合わせます。



(5)組付

1. 組付
 ・スタータモータAss'y
 ・ボルト
 ・⊕リード線

要点

オイルシールに耐水グリースを塗布します。

⊕端子ナット
0.5kgf・m (5Nm)

WWW.JET-STAR.JP

第8章　艤　装　品

1．エキゾーストシステム……8-1
(1)取外し前の準備……8-1
(2)点検……8-2
(3)組付……8-2

2．ステアリングシステム……8-3
(1)取外し前の準備(ＳＪ)……8-3
(2)取外し前の準備(ＦＸ)……8-5
(3)点検……8-7
(4)組付(ＳＪ)……8-8
(5)組付(ＦＸ)……8-13

3．ステアリングケーブル／スロットルケーブル／チョークケーブル……8-19
(1)取外し前の準備……8-19
(2)取外し……8-23
(3)点検……8-23
(4)組付……8-24
ステアリングケーブル……8-24
スロットルケーブル……8-26
チョークケーブル……8-27

4．ガンネル／マット……8-29
(1)点検……8-33
(2)組付(ＳＪ)……8-33
(3)組付(ＦＸ)……8-35

5．エンジンハッチ……8-39
(1)取外し前の準備……8-39
(2)点検……8-43
(3)組付(ＳＪ)……8-43
(4)組付(ＦＸ)……8-45

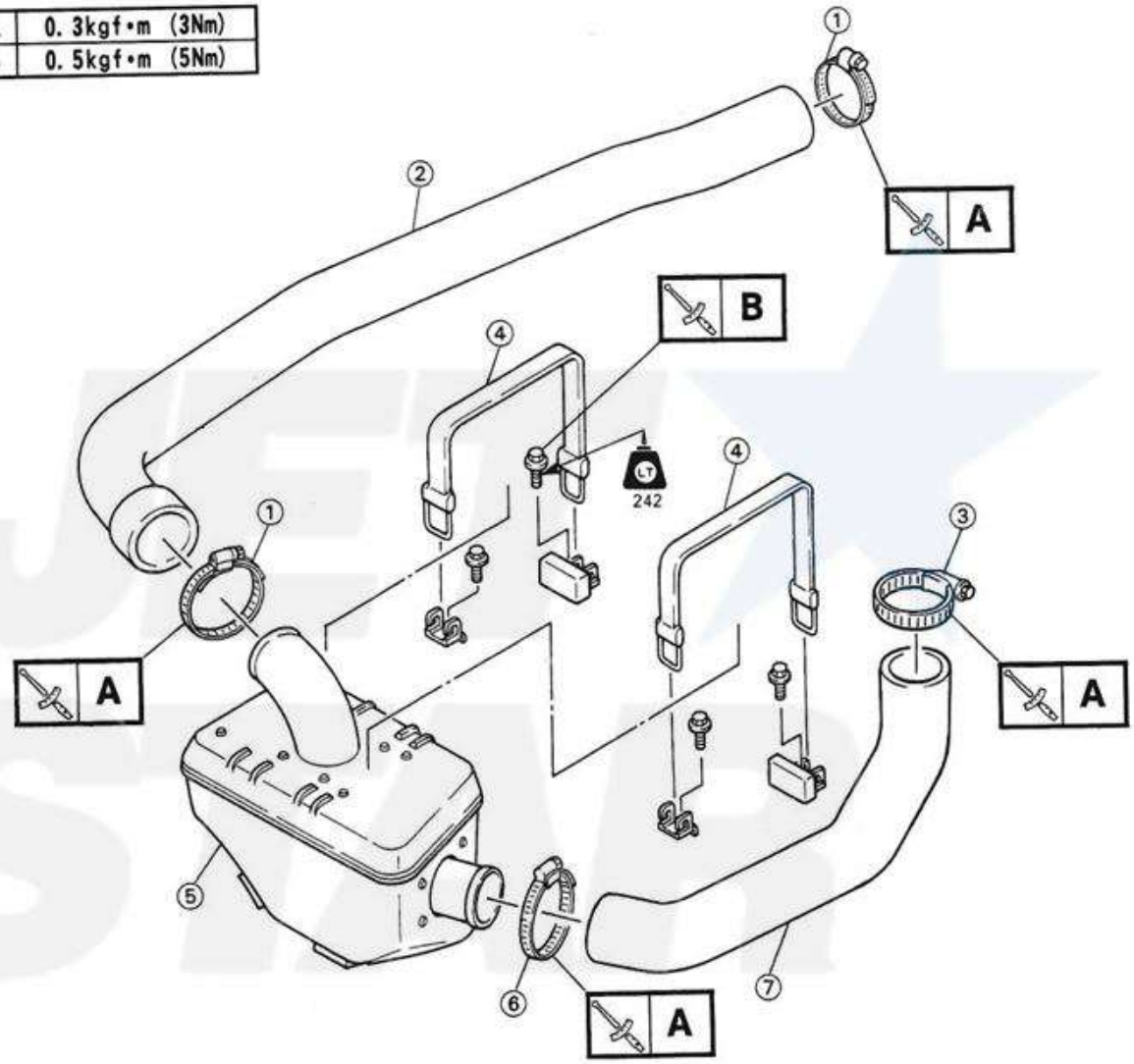
WWW.JET-STAR.JP

1. エキゾーストシステム

(1) 取外し前の準備

- フュエルコックを "OFF" にする。
- ステアリングポールを持ち上げ固定する。
- 次の部品を取外す。
  - エンジンハッチ
  - バッテリ
  - フュエルタンク

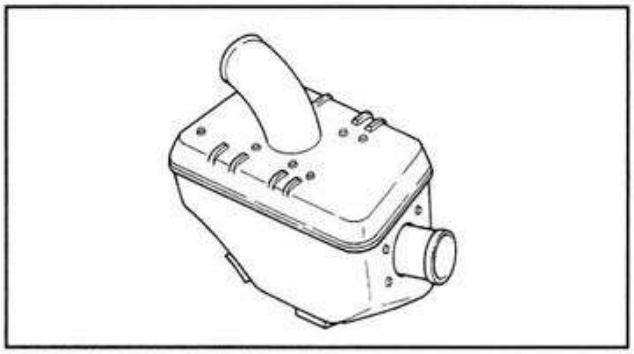
A	0.3kgf・m (3Nm)
B	0.5kgf・m (5Nm)



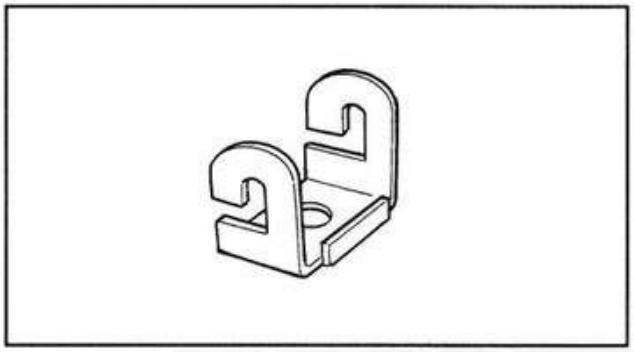
〈取外しの範囲〉①ウォータロックの取外し

区分	No.	部品名	個数	備考
①	1	クランプ	2	スクリュを緩める。
	2	ホース	1	
	3	クランプ	1	スクリュを緩める。
	4	バンド	2	
	5	ウォータロック	1	
	6	クランプ	1	スクリュを緩める。
	7	ホース	1	

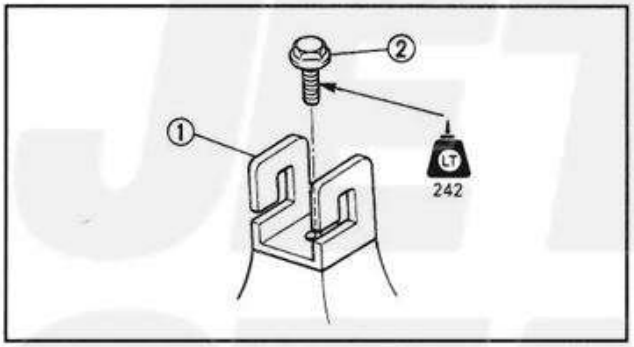
WWW.JET-STAR.JP



(2) 点検
1. 点検
・ウォータロック
亀裂／漏れ→交換。
・ホース
亀裂／摩耗／焼け→交換。
・クランプ
摩耗→交換。
・バンド
亀裂→交換。



2. 点検
・フック
摩耗／損傷→交換。

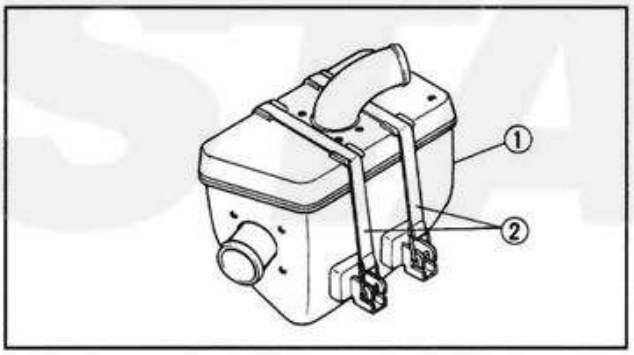


(3) 組付
1. 組付
・フック①
・ボルト②

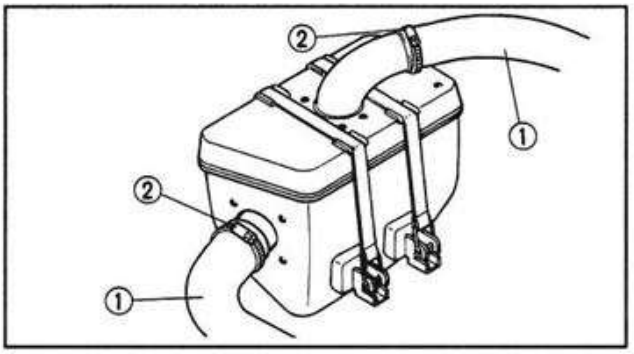
注意

ボルトにロックタイトNo. 242(青色)を塗布します。

ボルト
0.5kgf・m (5Nm)



2. 組付
・ウォータロック①
・バンド②



3. 組付
・ホース①
・クランプ②

クランプ
0.3kgf・m (3Nm)

WWW.JET-STAR.JP

2. ステアリングシステム

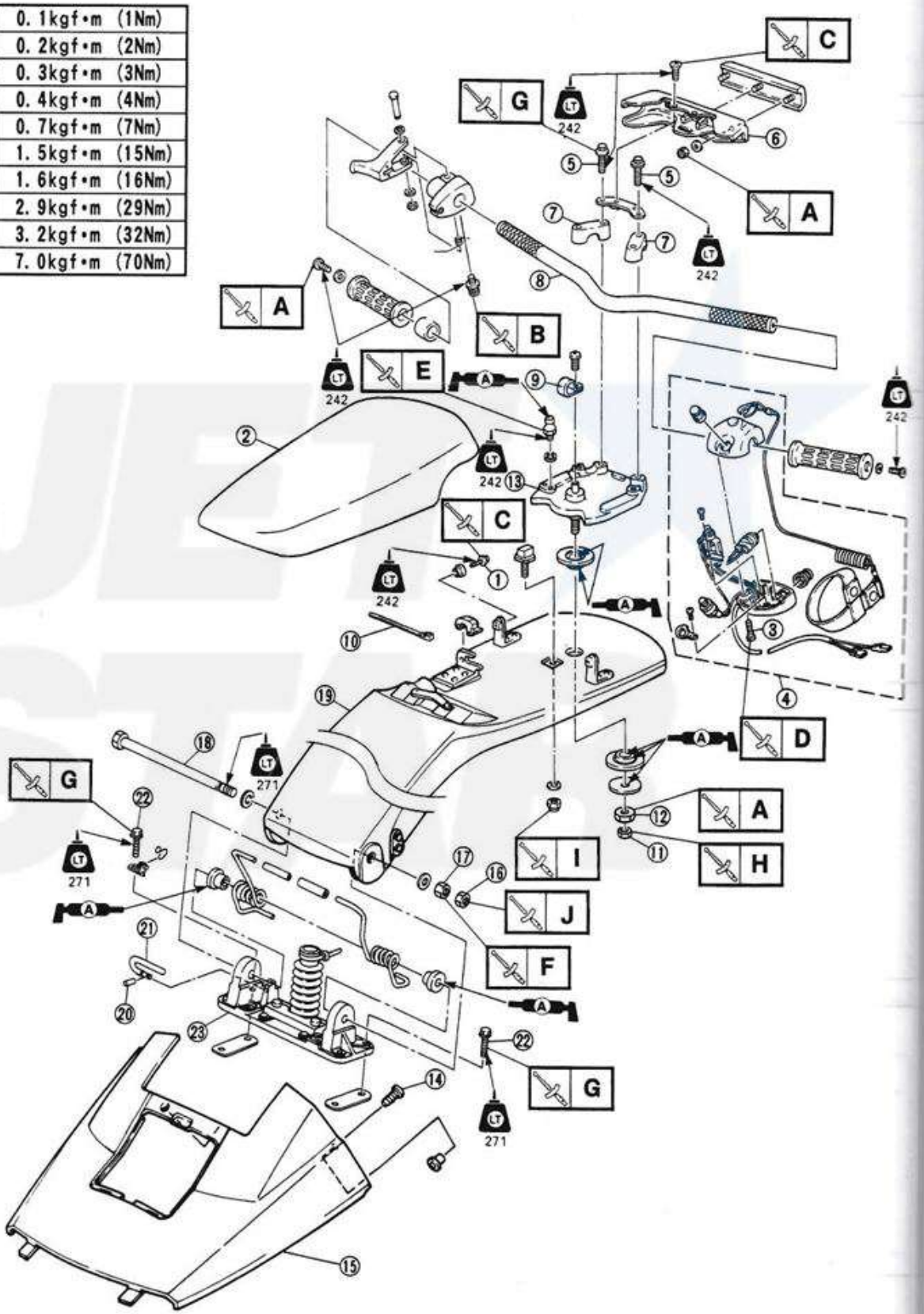
(1) 取外し前の準備(SJ)

・ステアリングポールを持ち上げ固定する。

・エンジンハッチを取外す。

SJ

A	0.1kgf・m (1Nm)
B	0.2kgf・m (2Nm)
C	0.3kgf・m (3Nm)
D	0.4kgf・m (4Nm)
E	0.7kgf・m (7Nm)
F	1.5kgf・m (15Nm)
G	1.6kgf・m (16Nm)
H	2.9kgf・m (29Nm)
I	3.2kgf・m (32Nm)
J	7.0kgf・m (70Nm)



WWW.JET-STAR.JP

ステアリングシステム

〈取外しの範囲〉①ハンドルバーの取外し　②ハンドルコラムの取外し
③ステアリングポールの取外し　④ポールピボットの取外し

(S J)

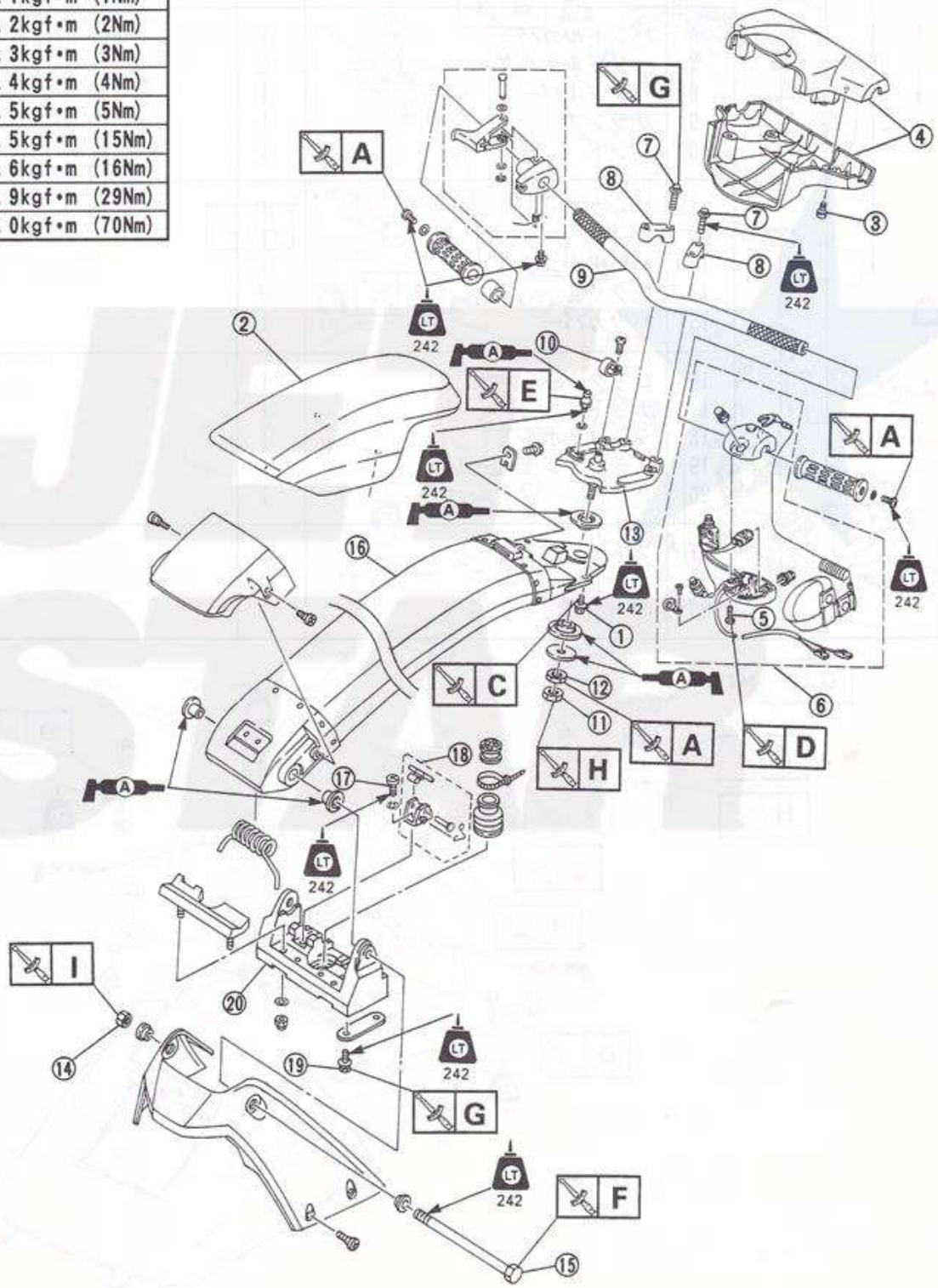
区分	No.	部品名	個数	備考
①	1	ボルト	2	
	2	ステアリングパッド	1	
	3	スクリュ	2	
	4	ハンドルスイッチAss'y	1	
	5	ボルト	4	
②	6	ハンドルカバー	1	
	7	ハンドルホルダ	2	
	8	ハンドルバー	1	
③	9	クランプ	1	
	10	バンド	1	
④	11	ロックナット	1	
	12	ナット	1	
	13	ハンドルコラム	1	
	14	スクリュ	2	
	15	バウカバー	1	
	16	ロックナット	1	
	17	ナット	1	
	18	シャフトボルト	1	
	19	ステアリングポール	1	
	20	ピン	1	
	21	ストッパピン	1	
	22	ボルト	4	
	23	ポールピボット	1	

WWW.JET-STAR.JP

(2) 取外し前の準備（F X）
- フュエルコックを “OFF” にする。
- ステアリングポールを持ち上げ固定する。
- 次の部品を取外す。
  - エンジンハッチ
  - バッテリ
  - フュエルタンク

FX

A	0.1kgf•m (1Nm)
B	0.2kgf•m (2Nm)
C	0.3kgf•m (3Nm)
D	0.4kgf•m (4Nm)
E	0.5kgf•m (5Nm)
F	1.5kgf•m (15Nm)
G	1.6kgf•m (16Nm)
H	2.9kgf•m (29Nm)
I	7.0kgf•m (70Nm)



WWW.JET-STAR.JP

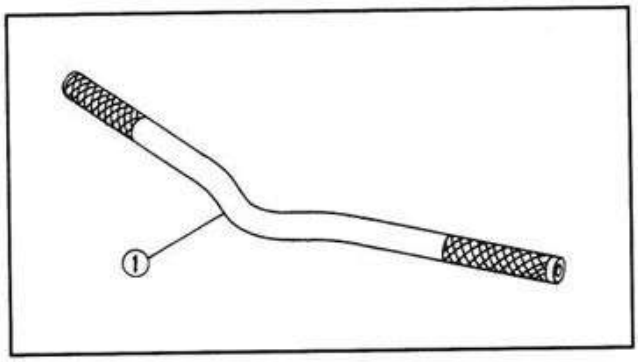
ステアリングシステム

〈取外しの範囲〉①ハンドルバーの取外し　②ハンドルコラムの取外し
③ステアリングポールの取外し　④ポールピボットの取外し

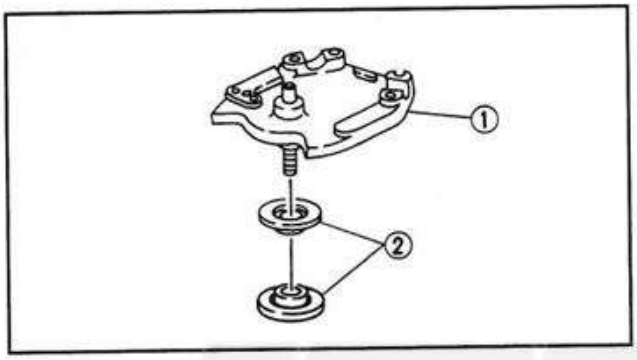
(FX)

区分	No.	部品名	個数	備考
①	1	ボルト	2	
	2	ステアリングパッド	1	
	3	スクリュ	4	
	4	ハンドルカバー	2	
	5	スクリュ	2	
② ③	6	ハンドルスイッチAss'y	1	
	7	ボルト	4	
	8	ハンドルホルダ	2	
	9	ハンドルバー	1	
	10	クランプ	1	
④	11	ロックナット	1	
	12	ナット	1	
	13	ハンドルコラム	1	
	14	ロックナット	1	
	15	シャフトボルト	1	
	16	ステアリングポール	1	
	17	スクリュ	2	
	18	ストッパピンAss'y	1	
	19	ボルト	4	
	20	ポールピボット	1	

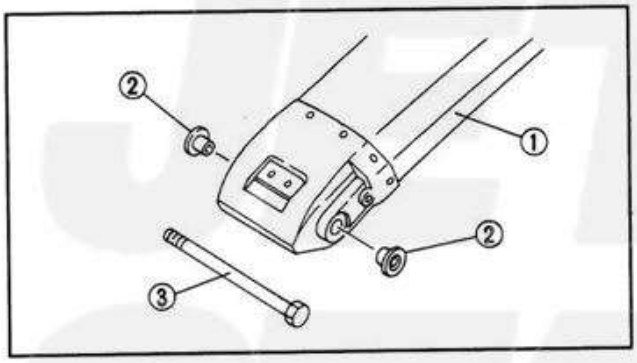
WWW.JET-STAR.JP



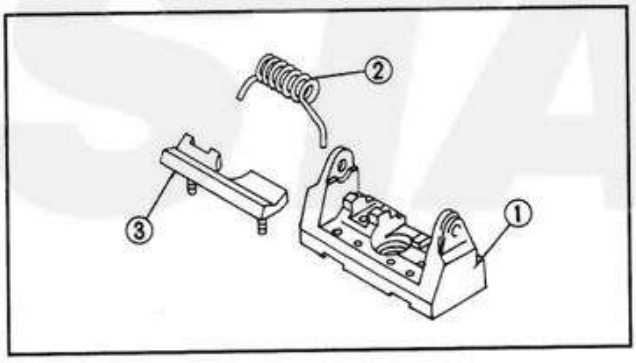
(3) 点検
1. 点検
・ハンドルバー①
曲がり／損傷→交換。



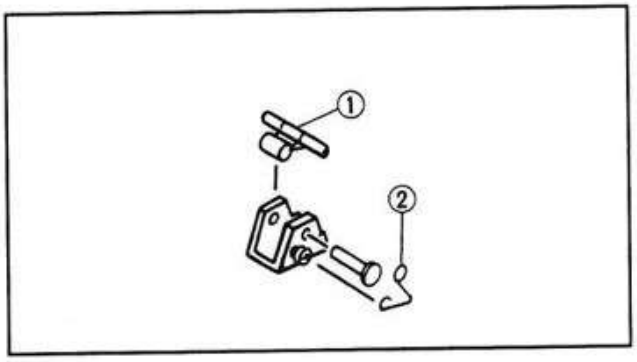
2. 点検
・ハンドルコラム①
・カラー②
摩耗／損傷→交換。



3. 点検
・ステアリングポール①
・ブッシュ②
・シャフトボルト③
亀裂／摩耗／損傷／曲がり→交換。

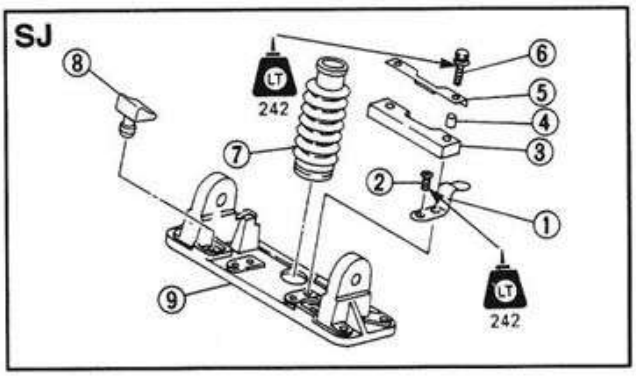


4. 点検
・ポールピボット①
・ピボットスプリング②
・ストッパラバー③
亀裂／摩耗／損傷／曲がり→交換。



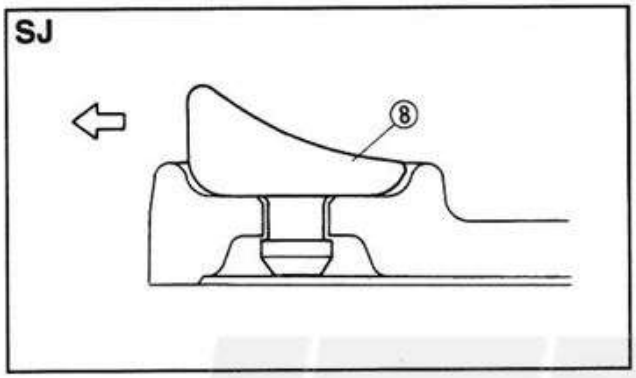
5. 点検
・ストッパピン①
・スプリング②
摩耗／損傷／曲がり→交換。

WWW.JET-STAR.JP



(4)組付(S J)

1. 組付
・ストッパ①
・スクリュ②
・ダンパ③
・カラー④
・ブラケット⑤
・ボルト⑥
・グロメット⑦
・ストッパラバー⑧
ポールピボット⑨に組付。



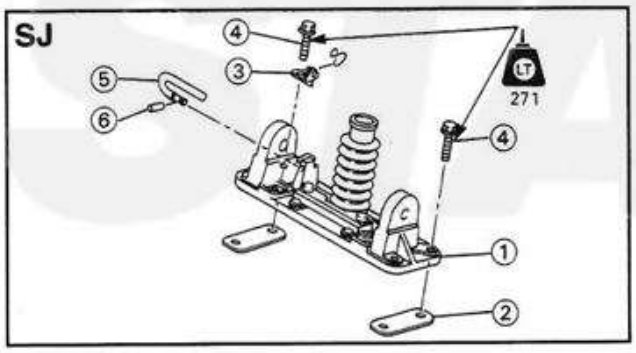
要点

ストッパラバー⑧は図のように組付けます。

注意

スクリュにロックタイトNo. 242 (青色) を塗布します。

スクリュ
0. 6kgf・m (6Nm)
ボルト
0. 6kgf・m (6Nm)



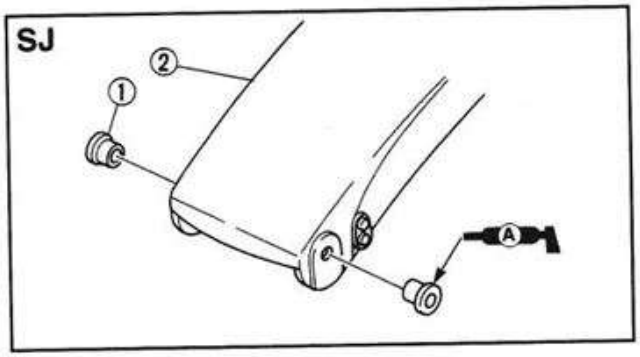
2. 組付
・ポールピボット①
・プレート②
・ホルダ③
・ボルト④
・ストッパピン⑤
・ピン⑥

注意

ボルトにロックタイトNo. 271 (赤色) を塗布します。

ボルト
1. 6kgf・m (16Nm)

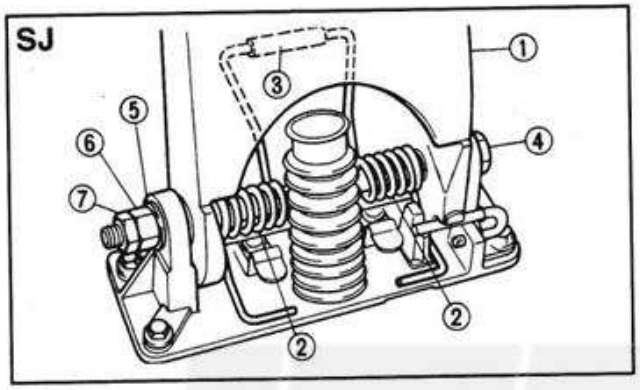
WWW.JET-STAR.JP



3. 組付
・ブッシュ①
ステアリングポール②に組付。

要点

ブッシュの内周及び座面に耐水グリースを塗布します。



4. 組付
・ステアリングポール①
・ピボットスプリング②
・スプリングコネクタ
・バッファチューブ③
・シャフトボルト④
・ワッシャ⑤
・ナット⑥
・ロックナット⑦

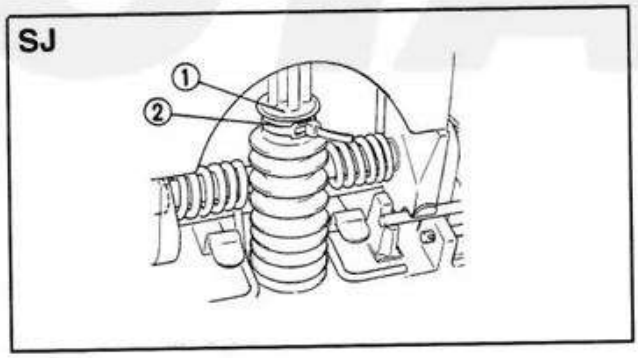
注意

シャフトボルトにロックタイトNo. 271 (赤色)を塗布します。

要点

ナットをスパナで固定してロックナットを締付けます。

ナット
1. 5kgf•m (15Nm)
ロックナット
7. 0kgf•m (70Nm)



5. 組付
・ステアリングケーブル
・スロットルケーブル
・ハンドルスイッチリード線
・エアベントホース
・パッキン①
・クランプ②

要点

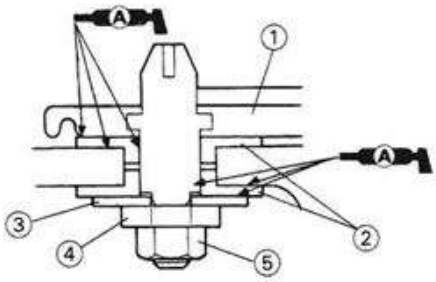
ステアリングケーブル，スロットルケーブル及びハンドルスイッチリード線をステアリングポールの通路に通します。

WWW.JET-STAR.JP

SJ

6. 組付
・バウカバー①
・カラー
・スクリュ②

SJ



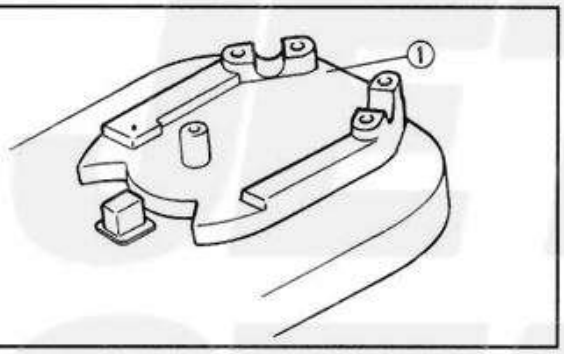
7. 組付
・ハンドルコラム①
・カラー②
・ワッシャ③
・ナット④
・ロックナット⑤

要点

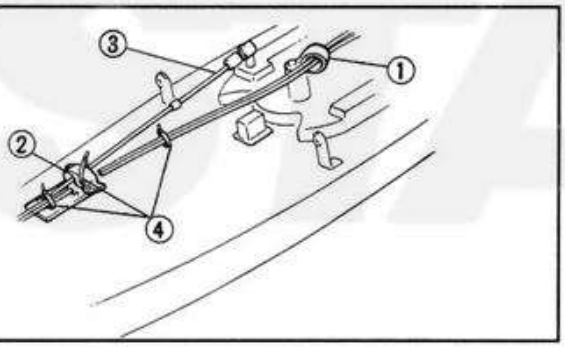
・ハンドルコラムのピボット部に耐水グリースを塗布します。
・ナットをスパナで固定しロックナットを締付けます。

ナット
0.1kgf・m (1Nm)
ロックナット
2.9kgf・m (29Nm)

SJ



SJ

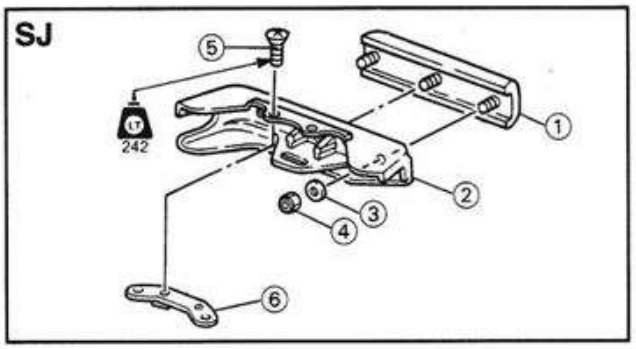


8. 組付
・クランプ①
・ケーブルクランプ②
・ステアリングケーブル③
・バンド④

要点

・ステアリングケーブルのケーブルジョイントに耐水グリースを塗布します。
・スロットルケーブルとハンドルスイッチリード線をクランプに通します。

WWW.JET-STAR.JP

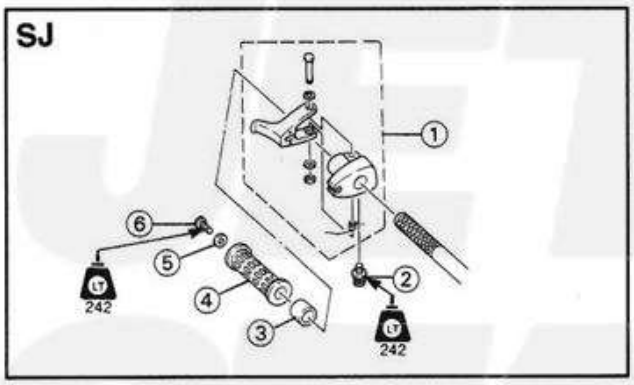


9. 組付
- パッド①
- ハンドルカバー②
- ワッシャ③
- ナット④
- スクリュ⑤
- プレート⑥

注意

スクリュにロックタイトNo. 242(青色)を塗布します。

ナット
0.1kgf・m (1Nm)
スクリュ
0.3kgf・m (3Nm)

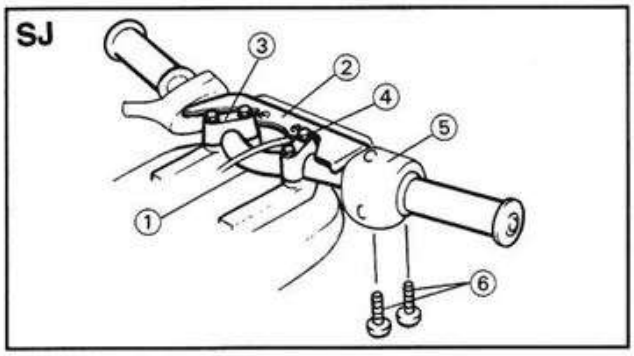


10. 組付
- スロットルレバーAss'y①
- スクリュ②
- カラー③
- ハンドルグリップ(左右)④
- ワッシャ⑤
- スクリュ⑥

注意

- スクリュにロックタイトNo. 242(青色)を塗布します。
- ハンドルバーとハンドルグリップの内周に接着剤を塗布します。

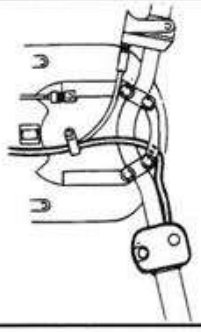
スクリュ(スロットルレバーAss'y)
0.2kgf・m (2Nm)
スクリュ(ハンドルグリップ)
0.1kgf・m (1Nm)



11. 組付
- ハンドルバー①
- ハンドルカバー②
- ハンドルホルダ③
- ボルト④
- ハンドルスイッチAss'y⑤
- スクリュ⑥

WWW.JET-STAR.JP

SJ



注意

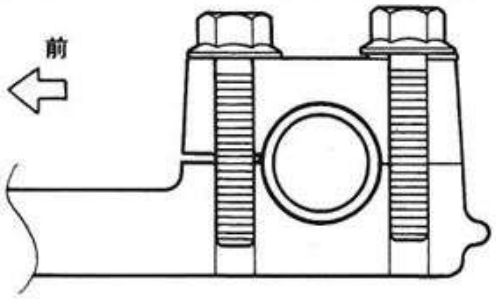
- ボルトにロックタイトNo. 242 (青色) を塗布します。
- 最初にハンドルホルダの後側のボルトを締付け、次に前側のボルトを締付けます。

要点

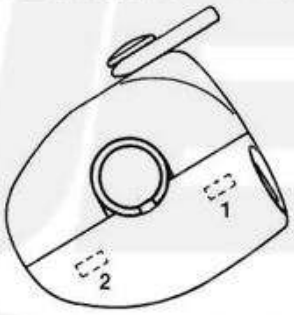
ハンドルスイッチリード線をプレートとハンドルバーの間に通します。

ボルト (ハンドルホルダ)
1. 6kgf・m (16Nm)

SJ



SJ

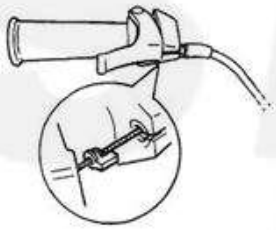


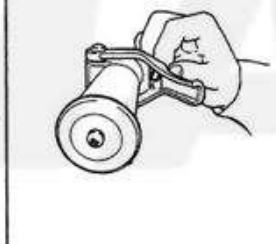
要点

最初にハンドルスイッチAss'yのエンジンストップスイッチ側のスクリュを締付け、次にスタータスイッチ側のスクリュを締付けます。

スクリュ
0. 4kgf・m (4Nm)

SJ



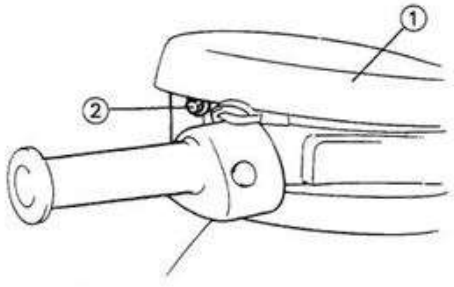


12. 接続
- スロットルケーブル

13. 調整
- スロットルケーブルの遊び
  3-7ページを参照。

14. 組付
- ステアリングパッド①
- カラー
- ボルト②

SJ

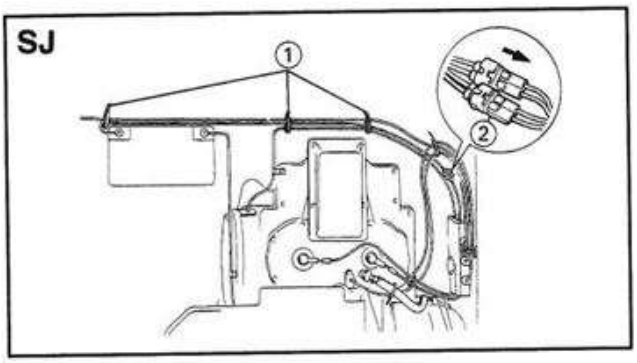


注意

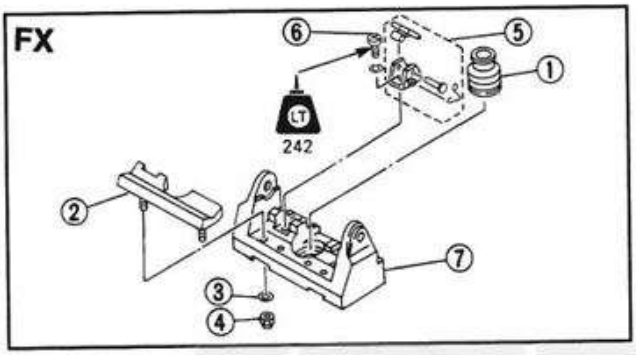
ボルトにロックタイトNo. 242 (青色) を塗布します。

ボルト
0. 3kgf・m (3Nm)

WWW.JET-STAR.JP



15. 組付
・ワイヤクランプ①
・カプラ②

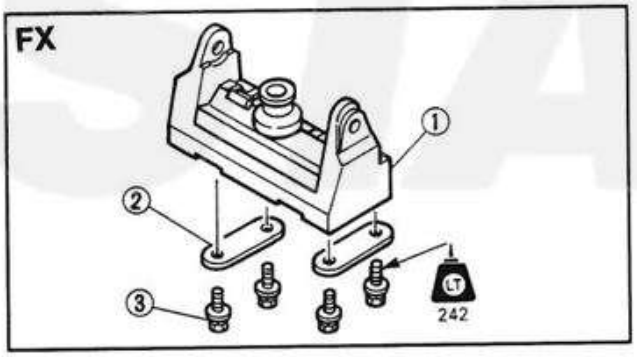


(5) 組付(F X)
1. 組付
・グロメット①
・ストッパラバー②
・ワッシャ③
・ナット④
・ストッパピンAss' y⑤
ポールピボット⑦に組付。

注意

スクリュにロックタイトNo. 242(青色)を塗布します。

スクリュ
0. 3kgf・m (3Nm)



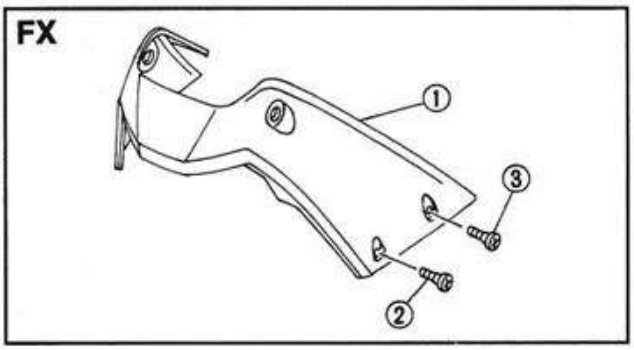
2. 組付
・ポールピボット①
・プレート②
・ボルト③

注意

ボルトにロックタイトNo. 242(青色)を塗布します。

ボルト
1. 6kgf・m (16Nm)

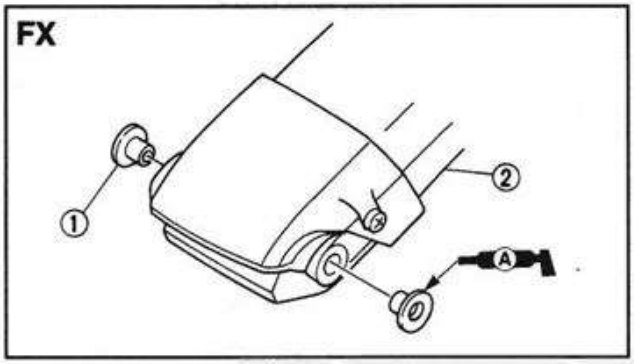
WWW.JET-STAR.JP



3. 組付
・ピボットカバー①
・スクリュ(L=18mm)②
・スクリュ(L=20mm)③

要点

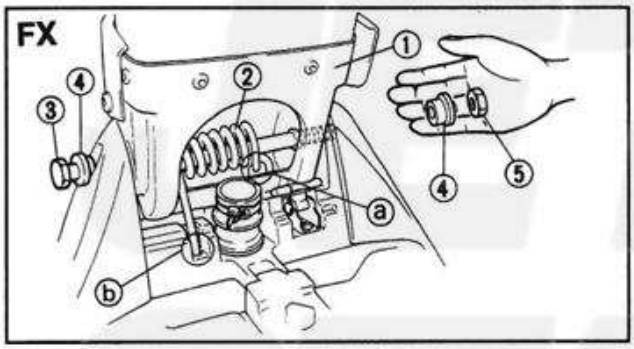
スクリュを仮締めします。



4. 組付
・ブッシュ①
ステアリングポール②に組付。

要点

ブッシュの内周及び座面に耐水グリースを塗布します。



5. 組付
・ステアリングポール①
・ピボットスプリング②
・シャフトボルト③
・カラー④
・ロックナット⑤

注意

シャフトボルトにロックタイトNo. 242(青色)を塗布します。

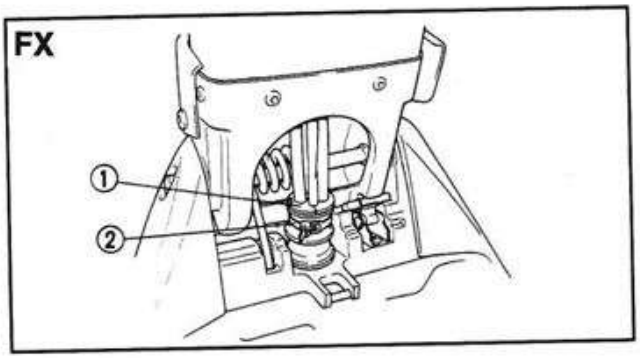
要点

・ピボットスプリングの一方の先端がステアリングポールの孔ⓐに、もう一方の先端がポールピボットの孔ⓑに組付いている事を確認します。それから、シャフトボルトを組付けて締め付けます。
・シャフトボルトをスパナで固定しロックナットを締付けます。

シャフトボルト
1.5kgf・m (15Nm)
ロックナット
7.0kgf・m (70Nm)

6. 締付
・スクリュ(ピボットカバー)

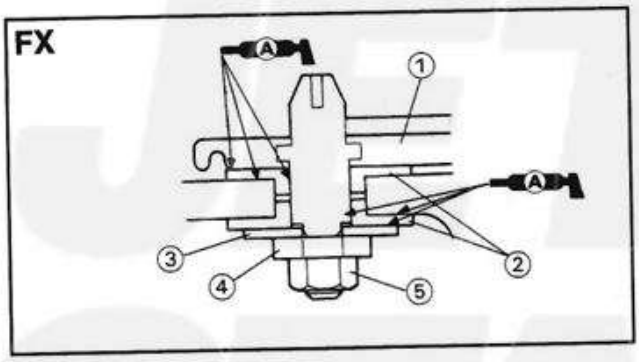
WWW.JET-STAR.JP

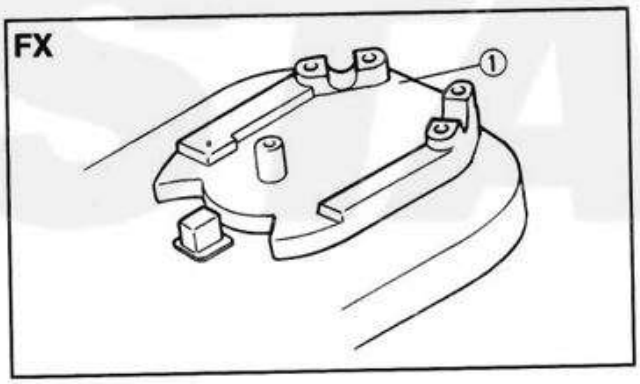


7. 組付
・ステアリングケーブル
・スロットルケーブル
・ハンドルスイッチリード線
・エアベントホース
・パッキン①
・クランプ②

要点

ステアリングケーブル，スロットルケーブル及びハンドルスイッチリード線をステアリングボールの通路に通します。





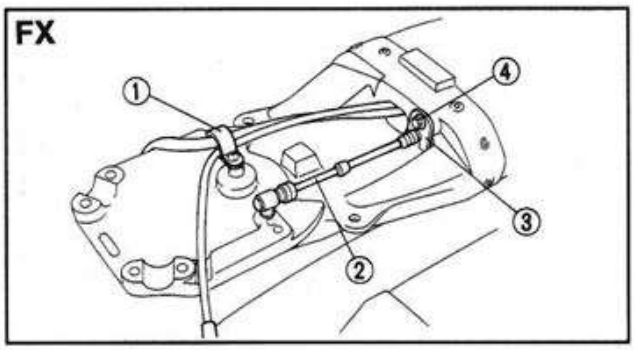
8. 組付
・ハンドルコラム①
・カラー②
・ワッシャ③
・ナット④
・ロックナット⑤

要点

・ハンドルコラムのピボット部に耐水グリースを塗布します。
・ナットをスパナで固定しロックナットを締付けます。

ナット
0.1kgf・m (1Nm)
ロックナット
2.9kgf・m (29Nm)

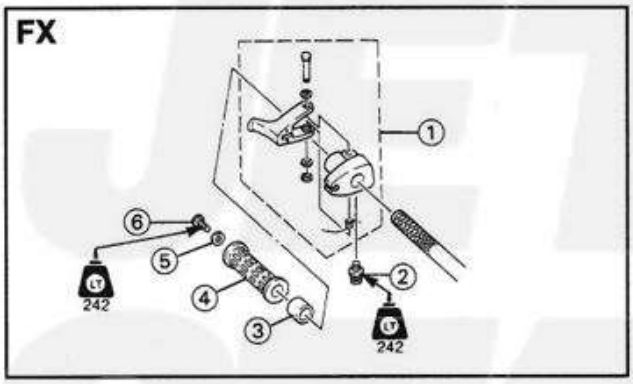
WWW.JET-STAR.JP



9. 組付
・クランプ①
・ステアリングケーブル②
・ケーブルストッパ③
・ボルト④

要点

・ステアリングケーブルのケーブルジョイントに耐水グリースを塗布します。
・スロットルケーブル及びハンドルスイッチリード線をクランプに通します。

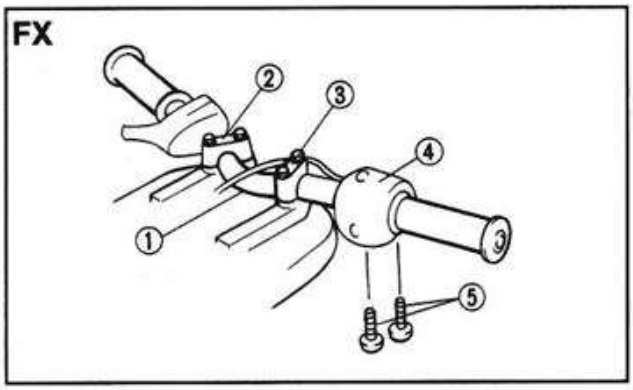


10. 組付
・スロットルレバーAss'y①
・スクリュ②
・カラー③
・ハンドルグリップ(左右)④
・ワッシャ⑤
・スクリュ⑥

注意

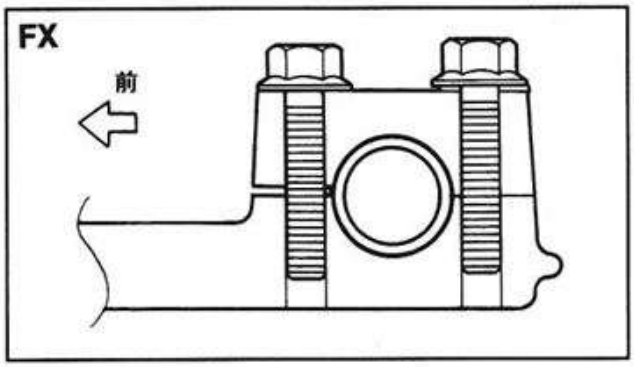
・スクリュにロックタイトNo. 242(青色)を塗布します。
・ハンドルレバーとハンドルグリップの内周に接着剤を塗布します。

スクリュ(スロットルレバーAss'y)
0.2kgf・m (2Nm)
スクリュ(ハンドルグリップ)
0.1kgf・m (1Nm)



11. 組付
・ハンドルバー①
・ハンドルホルダ②
・ボルト③
・ハンドルスイッチAss'y④
・スクリュ⑤

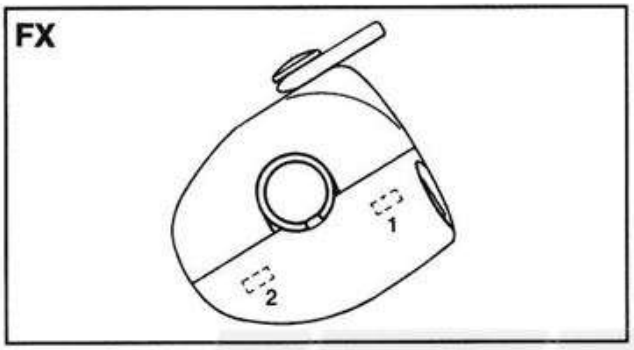
WWW.JET-STAR.JP



注意

- ボルトにロックタイトNo. 242(青色)を塗布します。
- 最初にハンドルホルダの後側のボルトを締付け、次に前側のボルトを締付けます。

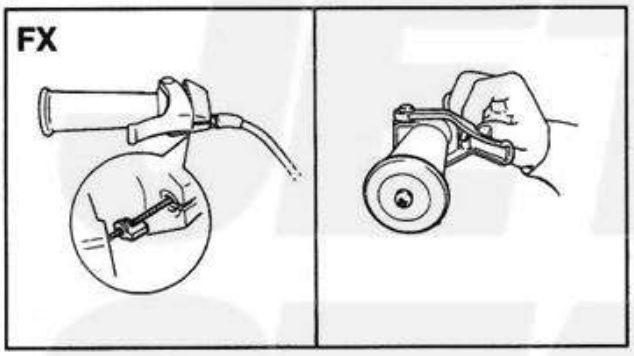
ボルト(ハンドルホルダ)
1.6kgf・m (16Nm)



要点

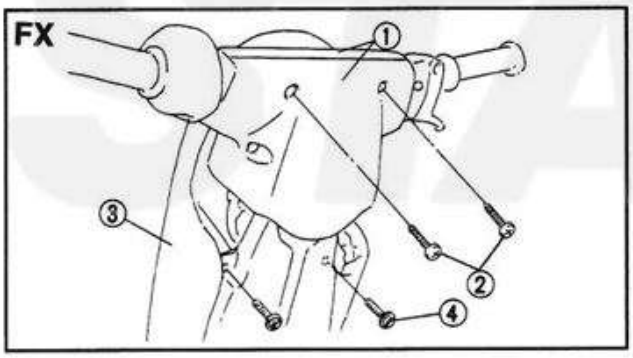
- 最初にハンドルスイッチAss'yのエンジンストップスイッチ側のスクリュを締付け、次にスタータスイッチ側のスクリュを締付けます

スクリュ
0.4kgf・m (4Nm)

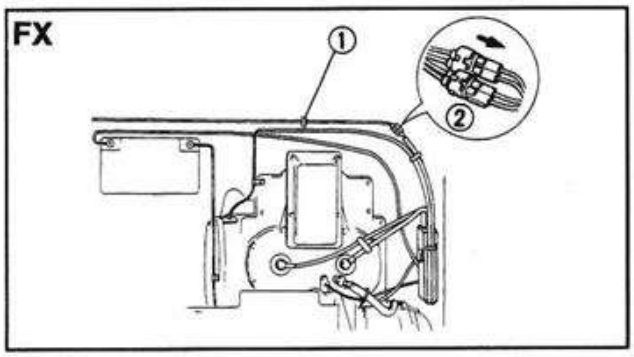


12. 接続
・スロットルケーブル

13. 調整
・スロットルレバーの遊び
3-7ページを参照。



14. 組付
・ハンドルカバー①
・スクリュ②
・ステアリングパッド③
・ボルト④



15. 組付
・ワイヤクランプ①
・カプラ②

WWW.JET-STAR.JP

WWW.JET-STAR.JP

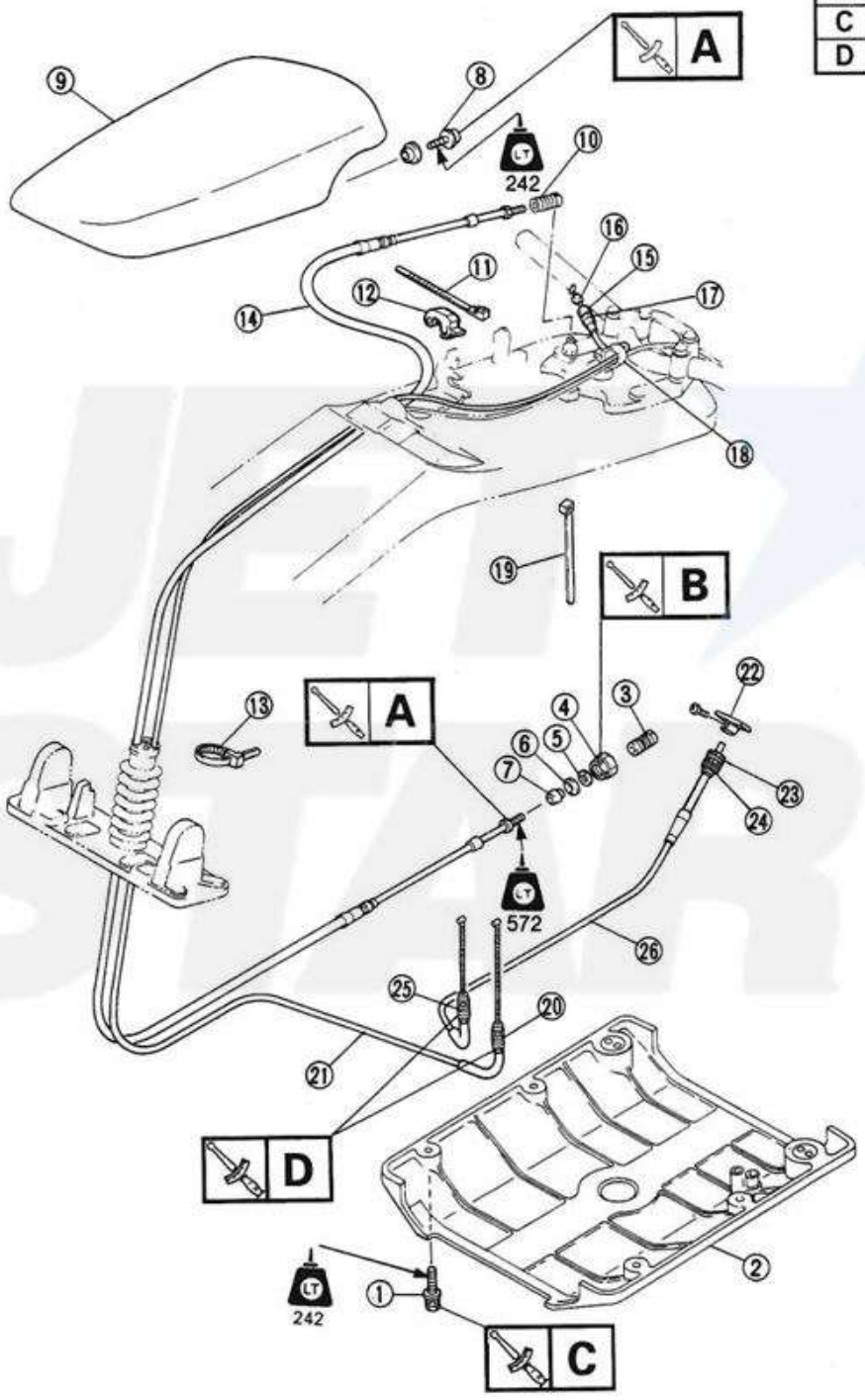
3. ステアリングケーブル/スロットルケーブル/チョークケーブル

(1) 取外し前の準備

- ステアリングポールを持ち上げ固定する。
- エンジンハッチを取外す。
- ガソリンを抜く。
- バッテリリード線を取外す。

SJ

A	0.3kgf・m (3Nm)
B	0.5kgf・m (5Nm)
C	0.8kgf・m (8Nm)
D	0.9kgf・m (9Nm)



WWW.JET-STAR.JP

ステアリングケーブル/スロットルケーブル/チョークケーブル

〈取外しの範囲〉①ステアリングケーブルの取外し ②スロットルケーブルの取外し
③チョークケーブルの取外し

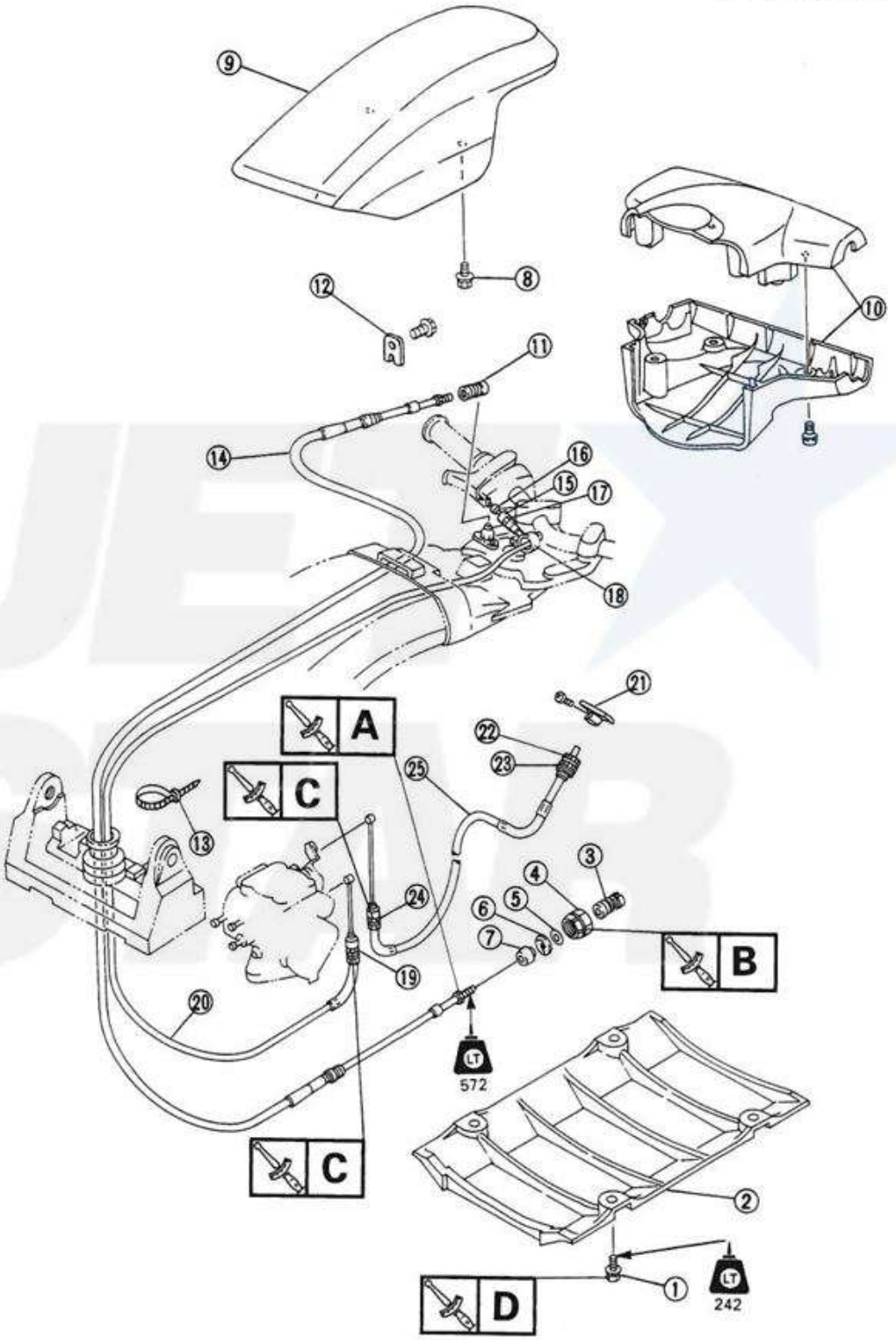
(S J)

区分	No.	部品名	個数	備考
①	1	ボルト	6	取外す。 (2)取外しを参照。
	2	ライドプレート	1	
	3	ケーブルジョイント	1	
	4	キャップ	1	
	5	ワッシャ	1	
① ②	6	ストッパ	1	
	7	シール	1	
	8	ボルト	2	
	9	ステアリングパッド	1	
	10	ケーブルジョイント	1	取外す。
① ②	11	バンド	2	
	12	ケーブルクランプ	1	
	13	クランプ	1	
	14	ステアリングケーブル	1	
	15	ロックナット	1	
②	16	シール	1	
	17	アジャスタ	1	
	18	クランプ	1	
	19	バンド	1	
	20	ロックナット	1	
③	21	スロットルケーブル	1	
	22	チョークノブ	1	
	23	アジャスタ	1	
	24	ロックナット	1	
	25	ロックナット	1	
③	26	チョークケーブル	1	

WWW.JET-STAR.JP

FX

A	0.3kgf・m (3Nm)
B	0.5kgf・m (5Nm)
C	0.9kgf・m (9Nm)
D	1.6kgf・m (16Nm)



WWW.JET-STAR.JP

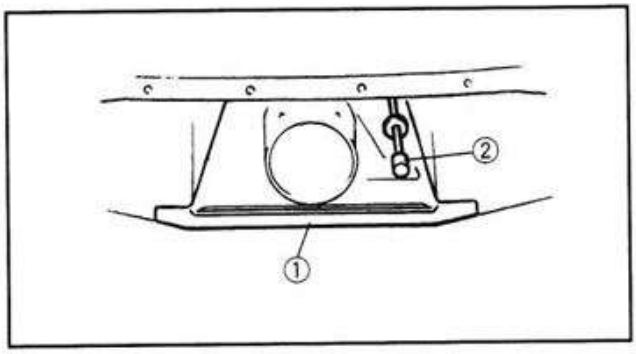
ステアリングケーブル/スロットルケーブル/チョークケーブル

〈取外しの範囲〉①ステアリングケーブルの取外し ②スロットルケーブルの取外し
③チョークケーブルの取外し

(FX)

区　分	No.	部品名	個数	備　考
	1	ボルト	4	取外す。 (2)取外しを参照。
	2	ライドプレート	1	
	3	ケーブルジョイント	1	
	4	キャップ	1	
	5	ワッシャ	1	
	6	ストッパ	1	
	7	シール	1	
	8	ボルト	2	
	9	ステアリングパッド	1	
	10	ハンドルカバー	2	
	11	ケーブルジョイント	1	取外す。
	12	ケーブルストッパ	1	
	13	クランプ	1	
	14	ステアリングケーブル	1	
	15	ロックナット	1	
	16	シール	1	
	17	アジャスタ	1	
	18	クランプ	1	
	19	ロックナット	1	
	20	スロットルケーブル	1	
	21	チョークノブ	1	
	22	アジャスタ	1	
	23	ロックナット	1	
	24	ロックナット	1	
	25	チョークケーブル	1	

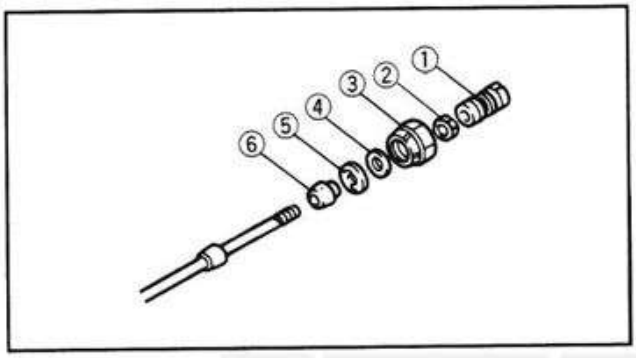
WWW.JET-STAR.JP



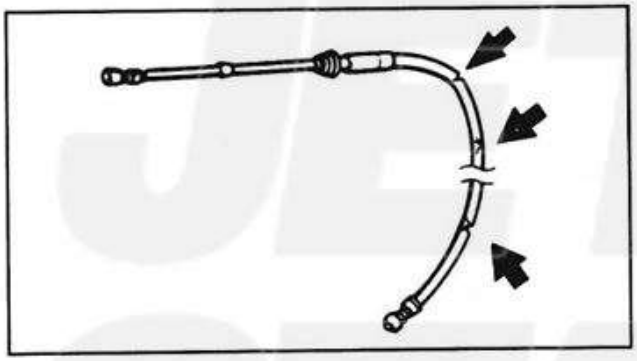
(2) 取外し
1. 取外し
・ライドプレート①
6-1ページ(ＳＪ)または6-2ページ(ＦＸ)を参照。
2. 取外し
・ケーブルジョイント②

要点

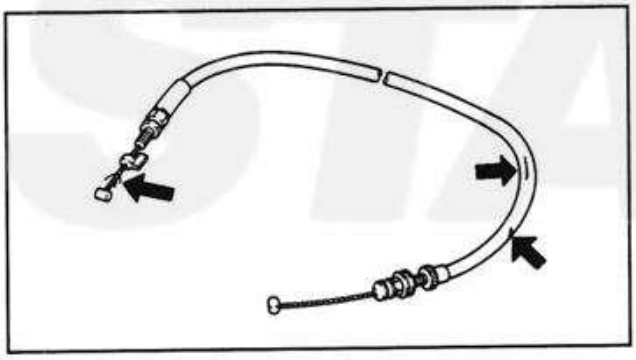
アウタスリーブをスライドさせ、ケーブルジョイントを取外します。



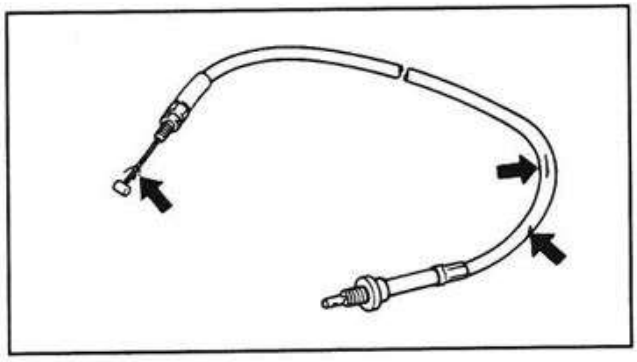
3. 取外し
・ケーブルジョイント①
・ロックナット②
・キャップ③
・ワッシャ④
・ストッパ⑤
・シール⑥



(3) 点検
1. 点検
・ステアリングケーブル
よじれ/こすれ/固着→交換。



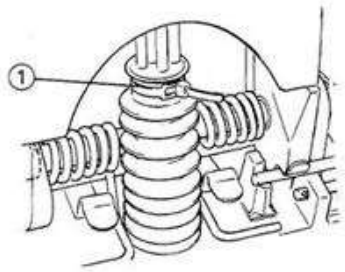
2. 点検
・スロットルケーブル
よじれ/こすれ/固着→交換。



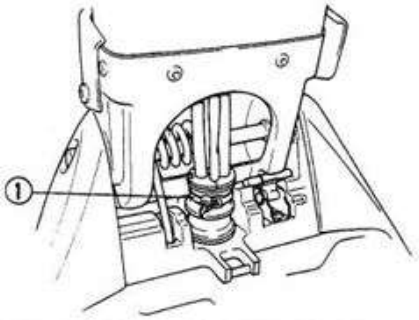
3. 点検
・チョークケーブル
よじれ/こすれ/固着→交換。

WWW.JET-STAR.JP

SJ



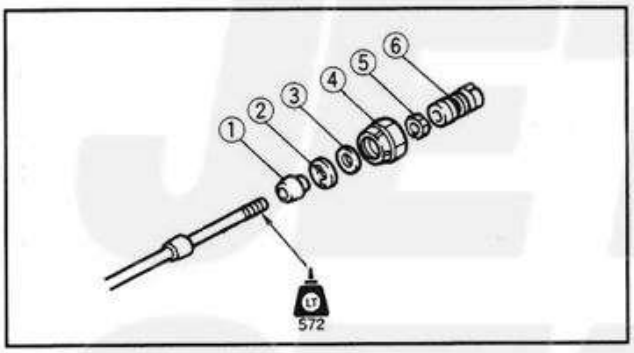
FX



(4) 組付

ステアリングケーブル

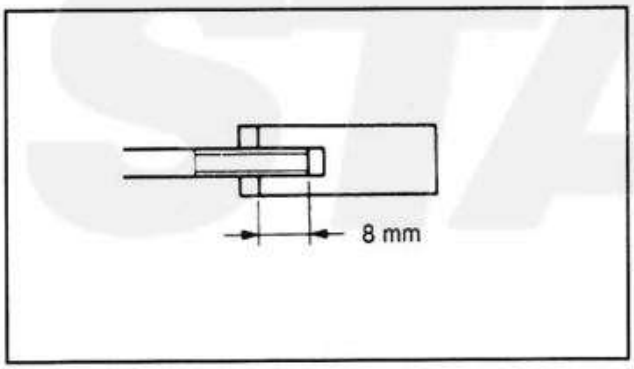
1. 組付
・ステアリングケーブル
・クランプ①



2. 組付(ノズル側)
・シール①
・ストッパ②
・ワッシャ③
・キャップ④
・ロックナット⑤
・ケーブルジョイント⑥

⚠注意

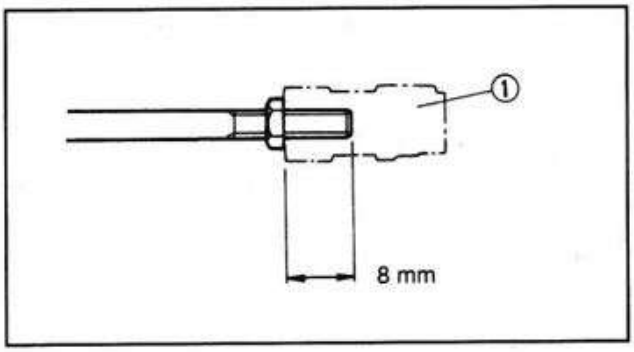
ケーブルジョイントは8㎜以上締込みます。



注意

ロックナットとケーブルジョイントにロックタイトNo. 572を塗布します。

キャップ
0.5kgf・m (5Nm)
ロックナット
0.3kgf・m (3Nm)

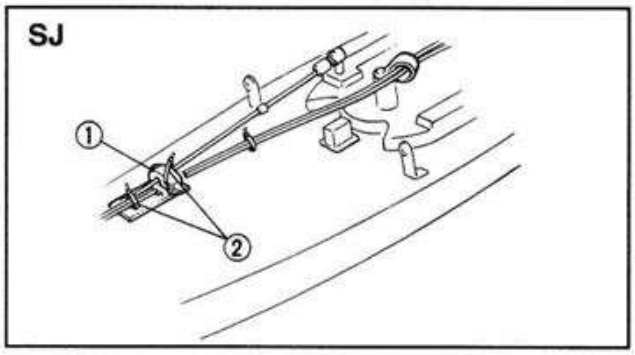


3. 組付
・ケーブルジョイント①(ハンドル側)

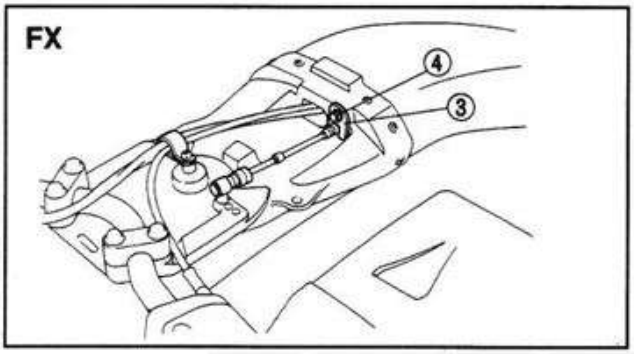
⚠注意

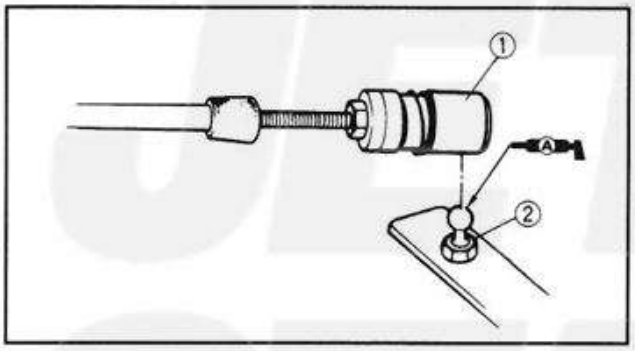
ケーブルジョイントは8㎜以上締込みます。

WWW.JET-STAR.JP



4. 組付
・ケーブルクランプ①(ＳＪ)
・バンド②(ＳＪ)
・ケーブルストッパ③(ＦＸ)
・ボルト④(ＦＸ)

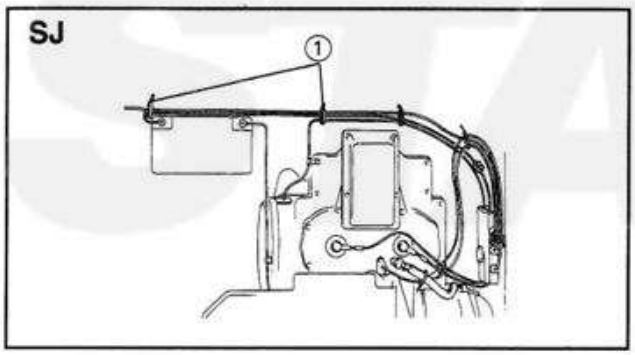




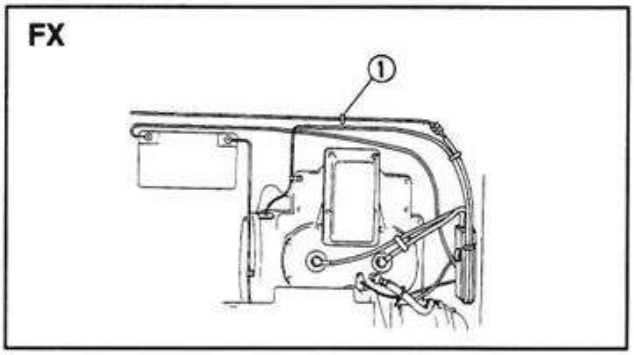
5. 接続
・ケーブルジョイント①

要点

ケーブルジョイントとステアリングケーブルに耐水グリースを塗布します。



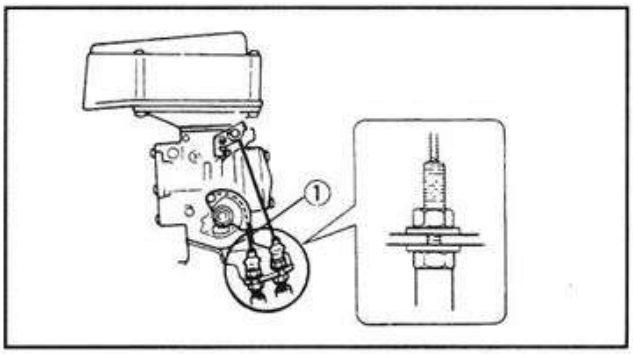
6. 接続
・クランプ①



WWW.JET-STAR.JP

7. 調整
・ステアリングケーブル
3－10ページを参照。

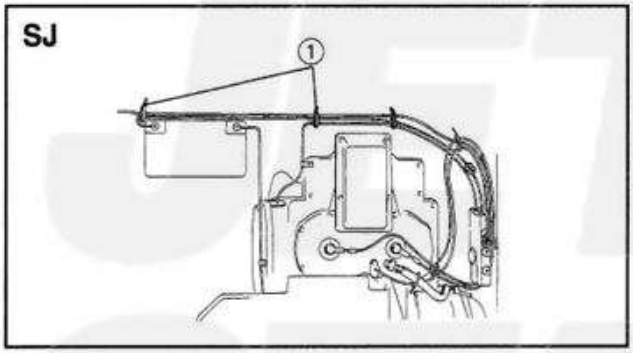
8. 組付
・ハンドルカバー（ＦＸ）
・ステアリングパッド
8-12ページ（ＳＪ）または8-17ページ（ＦＸ）を参照。



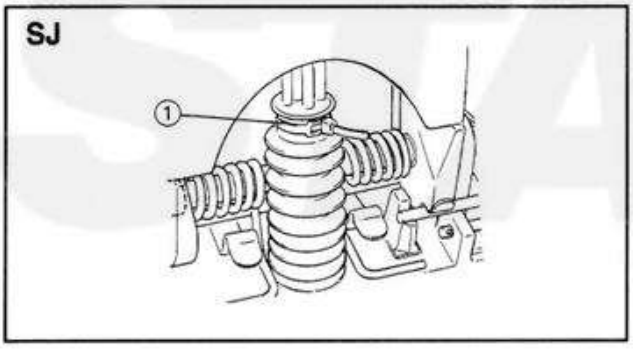
9. 組付
・ライドプレート
6-9ページを参照。

スロットルケーブル

1. 組付
・スロットルケーブル①
4-15ページを参照。



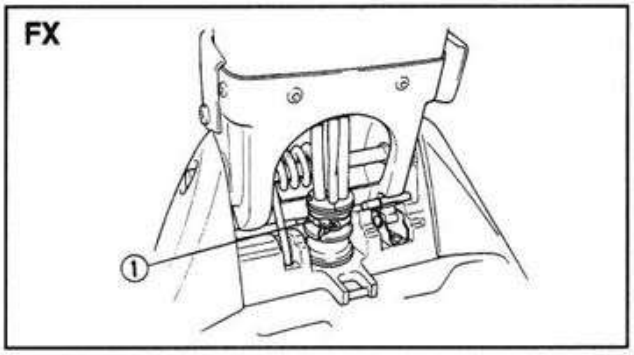
2. 接続
・クランプ①（ＳＪ）



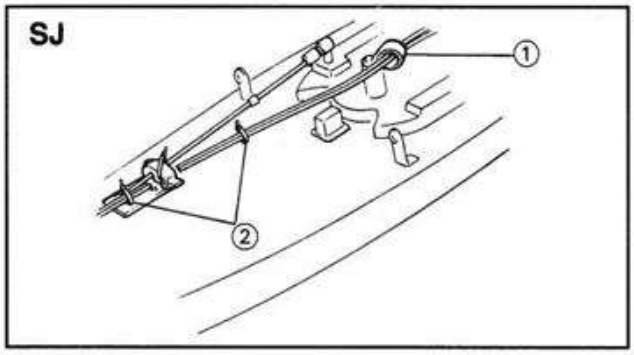
3. 組付
・クランプ①

要点

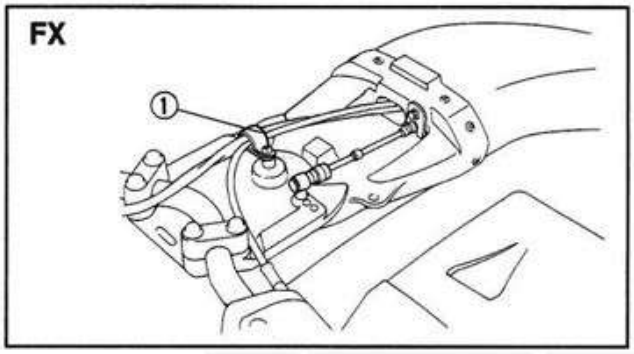
スロットルケーブルをステアリングポールの通路に通します。

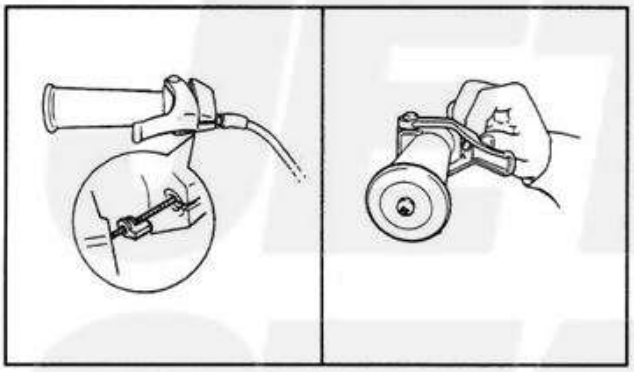


WWW.JET-STAR.JP



4. 組付
・クランプ①
・バンド②(ＳＪ)

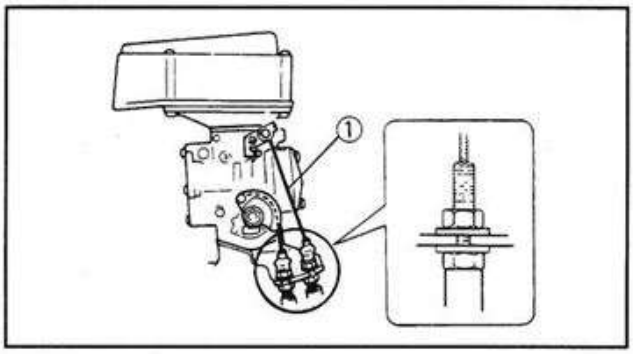




5. 接続
・スロットルケーブル

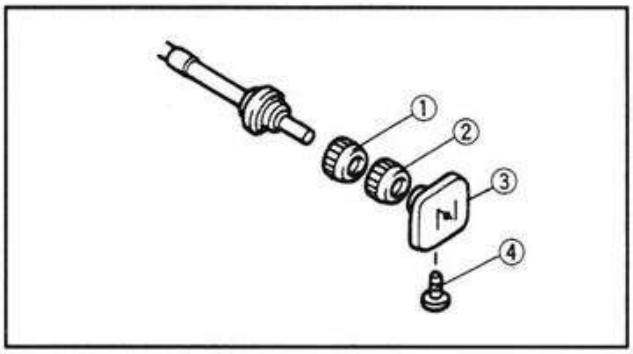
6. 調整
・スロットルレバーの遊び
3-7ページを参照。

7. 組付
・ハンドルカバー(ＦＸ)
・ステアリングパッド
8-12ページ(ＳＪ)または8-17ページ(ＦＸ)を参照。



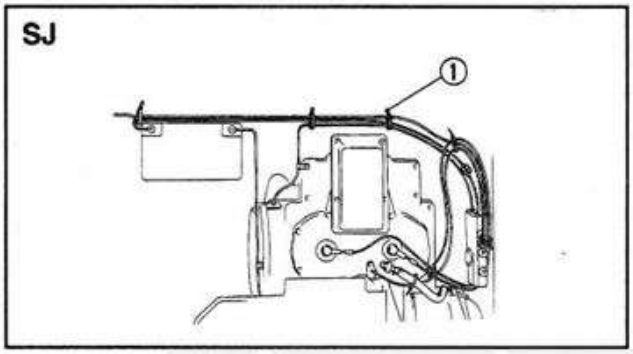
チョークケーブル
1. 組付
・チョークケーブル①
4-15ページを参照。

WWW.JET-STAR.JP



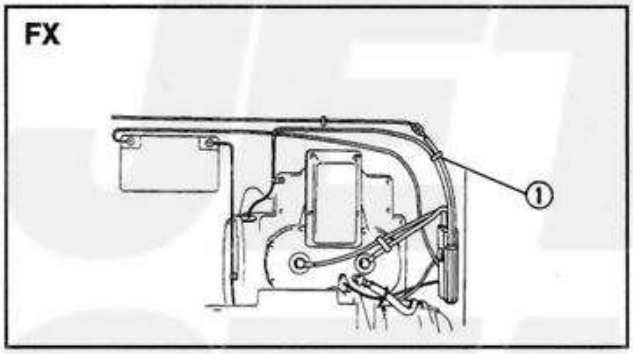
2. 組付
・ロックナット①
・アジャスタ②
・チョークノブ③
・スクリュ④

SJ



3. 接続
・クランプ①

FX



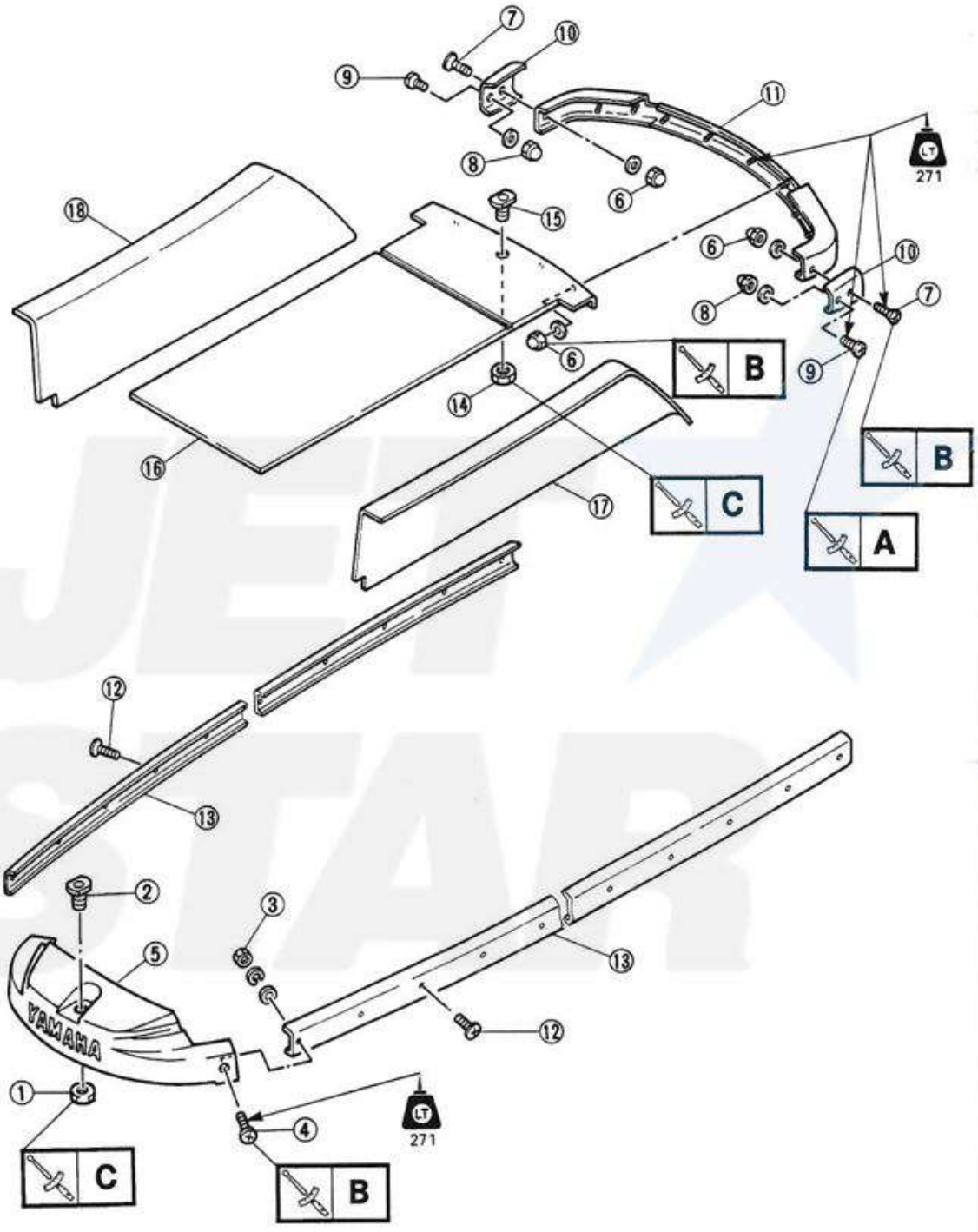
4. 調整
・チョークケーブルの遊び
3-7ページを参照。

WWW.JET-STAR.JP

4. ガンネル/マット

SJ

A	0.3kgf•m (3Nm)
B	0.5kgf•m (5Nm)
C	0.6kgf•m (6Nm)



WWW.JET-STAR.JP

ガンネル/マット

〈取外しの範囲〉①バウガンネルの取外し　②スターンガンネルの取外し
③サイドガンネルの取外し　④マットの取外し

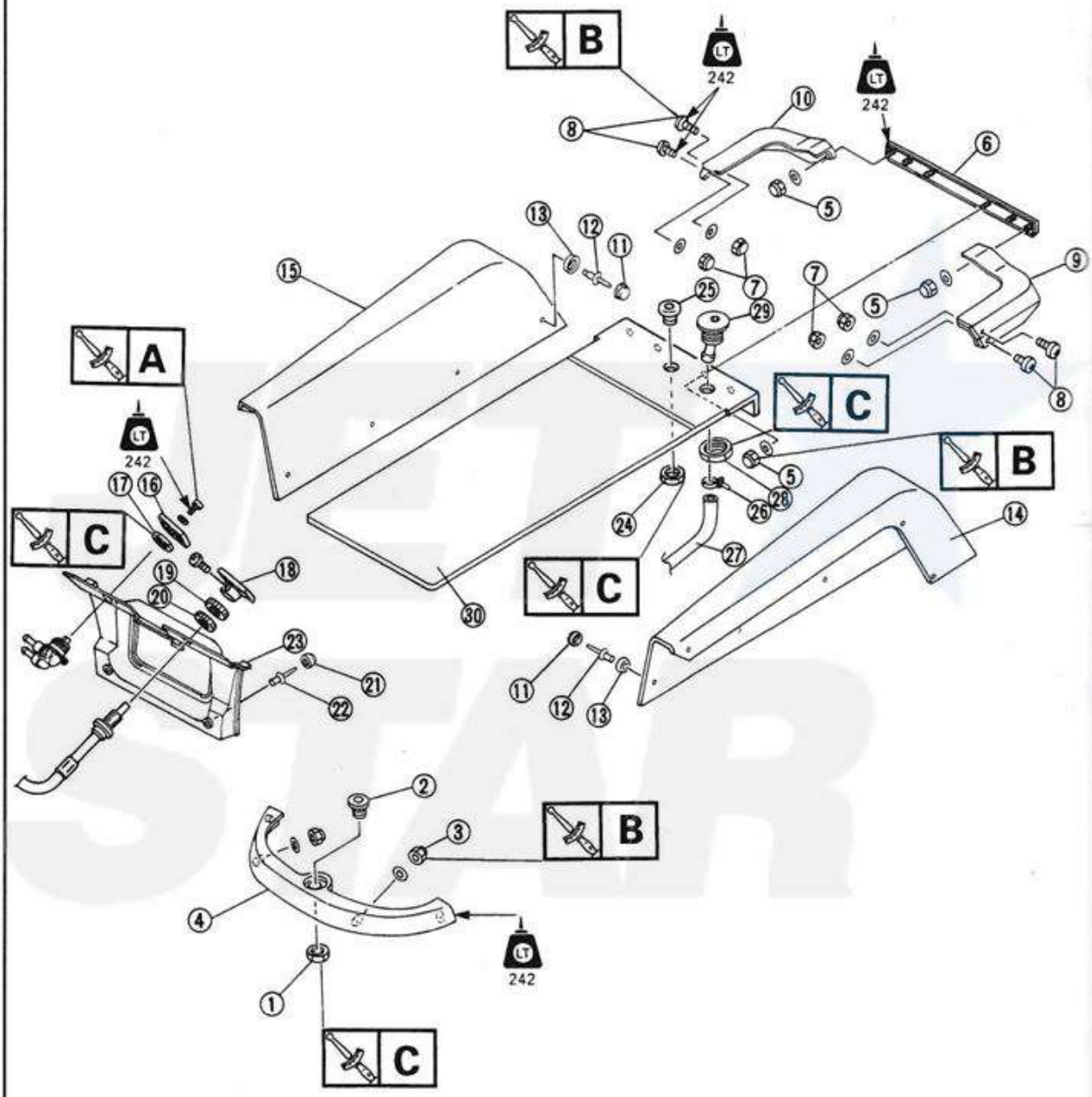
(S J)

区分	No.	部品名	個数	備考
①	1	ナット	1	
	2	ロープホールボルト	1	
	3	キャップナット	2	
③	4	スクリュ	2	
	5	バウガンネル	1	
② ③ ④	6	キャップナット	10	
	7	スクリュ	2	
	8	キャップナット	2	
	9	スクリュ	2	
	10	カバー	2	
③	11	スターンガンネル	1	
	12	スクリュ	26	
	13	サイドガンネル	2	
	14	ナット	1	
④	15	ロープホールボルト	1	
④	16	マット(下)	1	
	17	マット(左)	1	
	18	マット(右)	1	

WWW.JET-STAR.JP

FX

A	0.2kgf・m (2Nm)
B	0.5kgf・m (5Nm)
C	0.6kgf・m (6Nm)



WWW.JET-STAR.JP

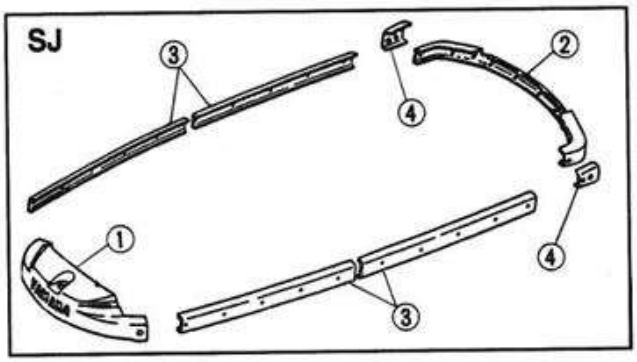
ガンネル/マット

〈取外しの範囲〉①バウガンネルの取外し　②スターンガンネルの取外し
③マットの取外し

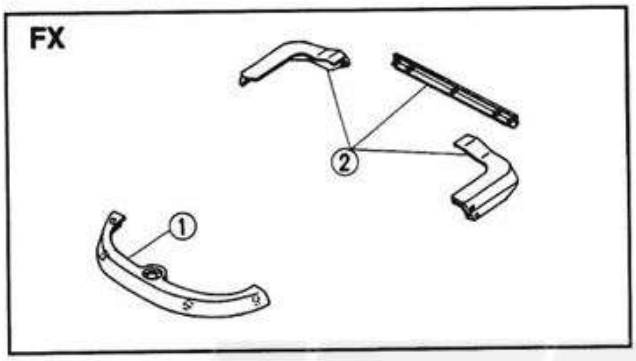
(FX)

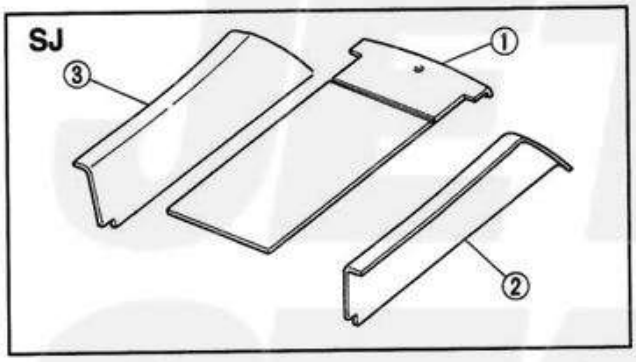
区分	No.	部品名	個数	備考
①	1	ナット	1	
	2	ロープホールボルト	1	
	3	キャップナット	4	
	4	バウガンネル	1	
	5	キャップナット	6	
②	6	スターンガンネル	1	
	7	キャップナット	4	
	8	スクリュ	4	
	9	スターンガンネル(左)	1	
	10	スターンガンネル(右)	1	
③	11	キャップ	14	
	12	リベット	14	
	13	キャップホルダ	14	
	14	マット(左)	1	
	15	マット(右)	1	
	16	フュエルコックノブ	1	
	17	ナット	1	
	18	チョークノブ	1	
	19	アジャスタ	1	
	20	ロックナット	1	
	21	キャップ	2	
	22	リベット	2	
	23	マット(前)	1	
	24	ナット	1	
	25	ロープホールボルト	1	
	26	クランプ	1	
	27	ホース	1	
	28	ナット	1	
	29	スパウト	1	
	30	マット(下)	1	

WWW.JET-STAR.JP

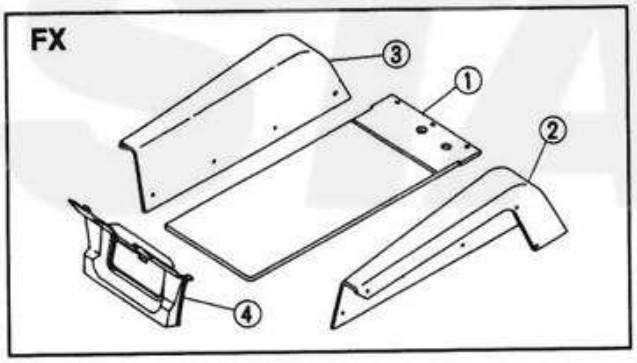


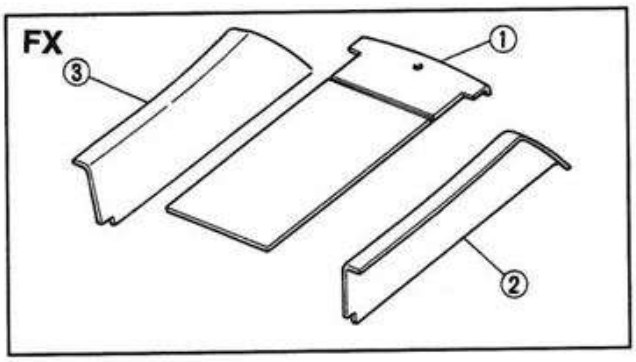
(1) 点検
1. 点検
・バウガンネル①
・スターンガンネル②
・サイドガンネル③(ＳＪ)
・カバー④(ＳＪ)
摩耗／損傷→交換。





2. 点検
・マット(下)①
・マット(左)②
・マット(右)③
・マット(前)④(ＦＸ)
摩耗／損傷→交換。

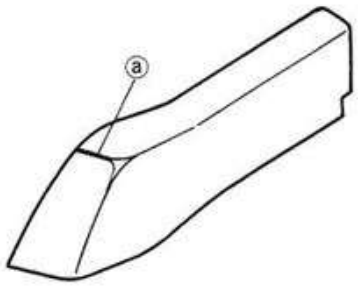




(2) 組付(ＳＪ)
1. 組付
・マット(下)①
・マット(左)②
・マット(右)③

WWW.JET-STAR.JP

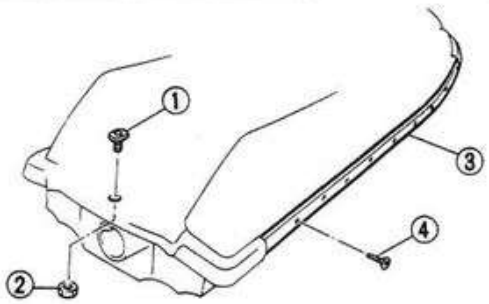
SJ



要点

- マットを取付ける前に取付面を清掃します。
- 両端の合わせ部ⓐ全周に瞬間接着剤を塗布します。

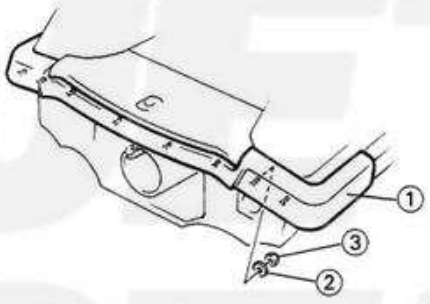
SJ



2. 組付
- ロープホールボルト①
- ナット②
- サイドガンネル③
- スクリュ④

ナット
0.6kgf・m (6Nm)

SJ



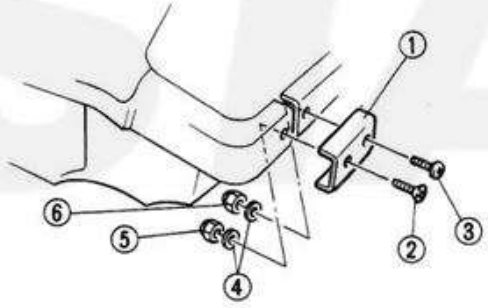
3. 組付
- スターンガンネル①
- プレートワッシャ②
- キャップナイト③

注意

ナットにロックタイトNo. 271 (赤色) を塗布します。

キャップナット
0.5kgf・m (5Nm)

SJ



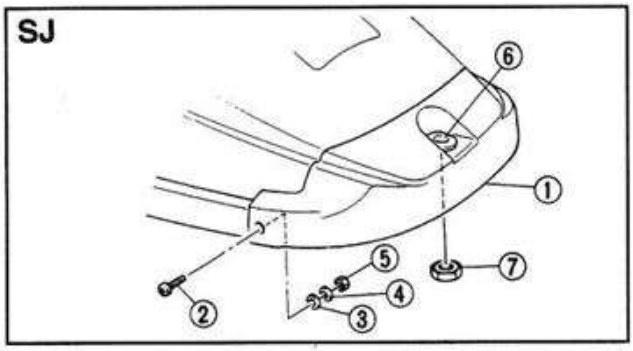
4. 組付
- カバー①
- スクリュ(M6)②
- スクリュ(M5)③
- プレートワッシャ④
- キャップナット(M6)⑤
- キャップナット(M5)⑥

注意

スクリュ(M6及びM5)にロックタイトNo. 271 (赤色) を塗布します。

スクリュ(M6)
0.5kgf・m (5Nm)
スクリュ(M5)
0.3kgf・m (3Nm)

WWW.JET-STAR.JP

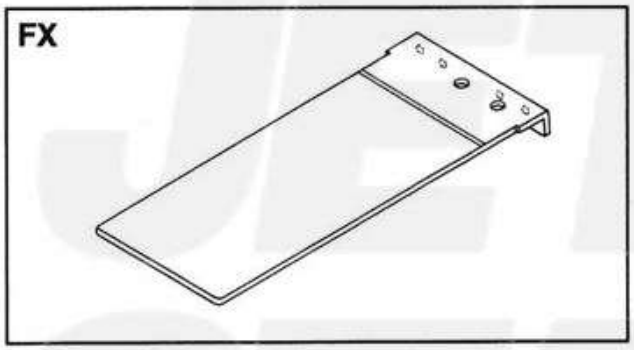


4. 組付
・バウガンネル①
・スクリュ②
・プレートワッシャ③
・スプリングワッシャ④
・キャップナット⑤
・ロープホールボルト⑥
・ナット⑦

注意

スクリュにロックタイトNo. 271 (赤色) を塗布します。

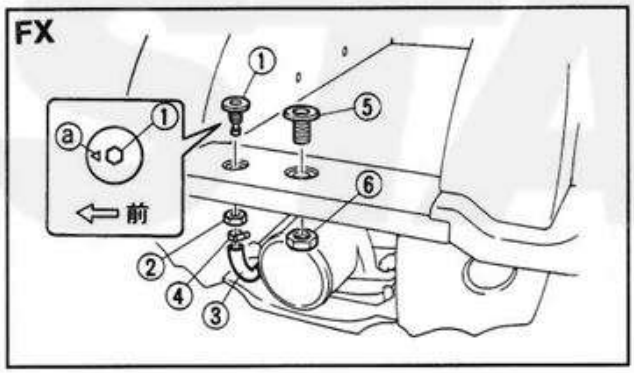
スクリュ
0. 5kgf・m (5Nm)
ナット
0. 6kgf・m (6Nm)



(3) 組付 (F X)
1. 組付
・マット (下)

要点

マットを取付ける前に、取付面を清掃します。



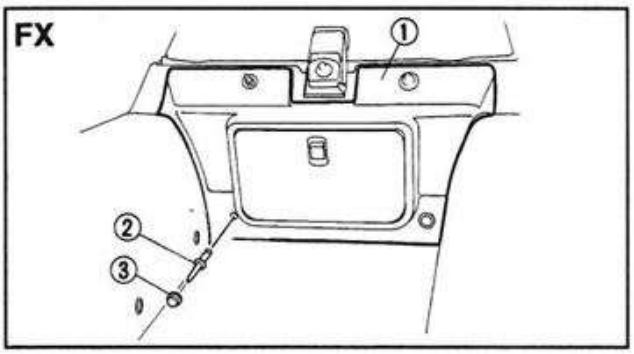
2. 組付
・スパウト①
・ナット②
・ホース③
・クランプ④
・ロープホールボルト⑤
・ナット⑥

ナット (スパウト)
0. 6kgf・m (6Nm)
ナット (ロープホールボルト)
0. 6kgf・m (6Nm)

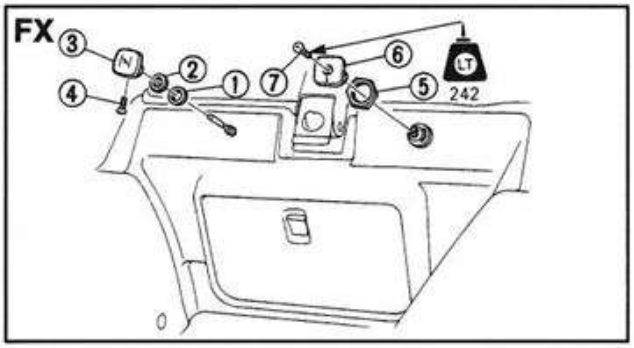
要点

スパウトは左側の孔に、矢印ⓐを前側にして組付けます。

WWW.JET-STAR.JP



3. 組付
・マット(前)①
・リベット②
・キャップ③

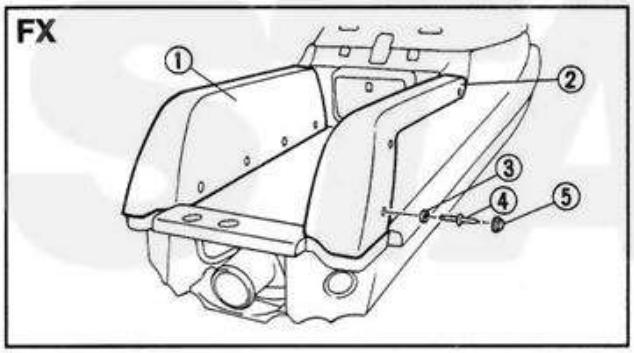


4. 組付
・ロックナット①
・アジャスタ②
・チョークノブ③
・スクリュ(チョークノブ)④
・ナット⑤
・フュエルコックノブ⑥
・スクリュ(フュエルコックノブ)⑦

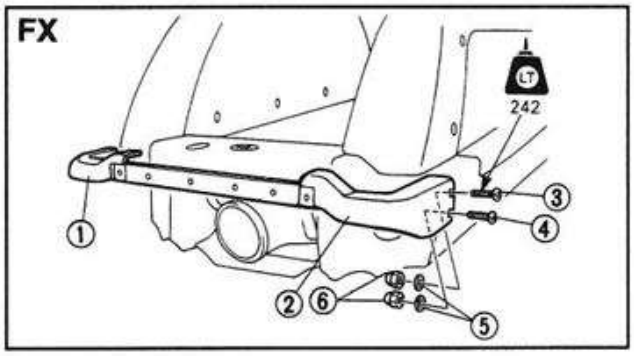
注意

スクリュにロックタイトNo. 242(青色)を塗布します。

ナット
0.6kgf・m (6Nm)
スクリュ
0.2kgf・m (2Nm)



5. 組付
・マット(左)①
・マット(右)②
・キャップホルダ③
・リベット④
・キャップ⑤



6. 組付
・スターンガンネル(左)①
・スターンガンネル(右)②
・スクリュ(L=16mm)③
・スクリュ(L=12mm)④
・プレートワッシャ⑤
・キャップナット⑥

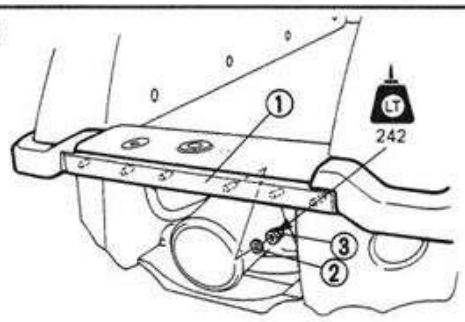
WWW.JET-STAR.JP

注意

スクリュにロックタイトNo. 242(青色)を塗布します。

スクリュ
0.5kgf・m (5Nm)

FX



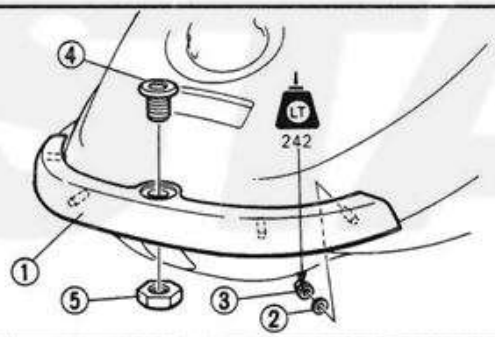
7. 組付
・スターンガンネル①
・プレートワッシャ②
・キャップナット③

注意

ナットにロックタイトNo. 242(青色)を塗布します。

キャップナット
0.5kgf・m (5Nm)

FX

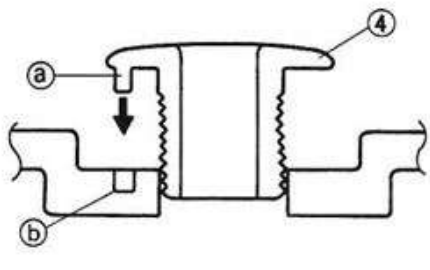


8. 組付
・バウガンネル①
・プレートワッシャ②
・キャップナット③
・ロープホールボルト④
・ナット⑤

注意

ナットにロックタイトNo. 242(青色)を塗布します。

FX



要点

ロープホールボルトの突起ⓐをスターンガンネルの孔ⓑに合わせます。

キャップナット
0.5kgf・m (5Nm)
ナット
0.6kgf・m (6Nm)

WWW.JET-STAR.JP

WWW.JET-STAR.JP

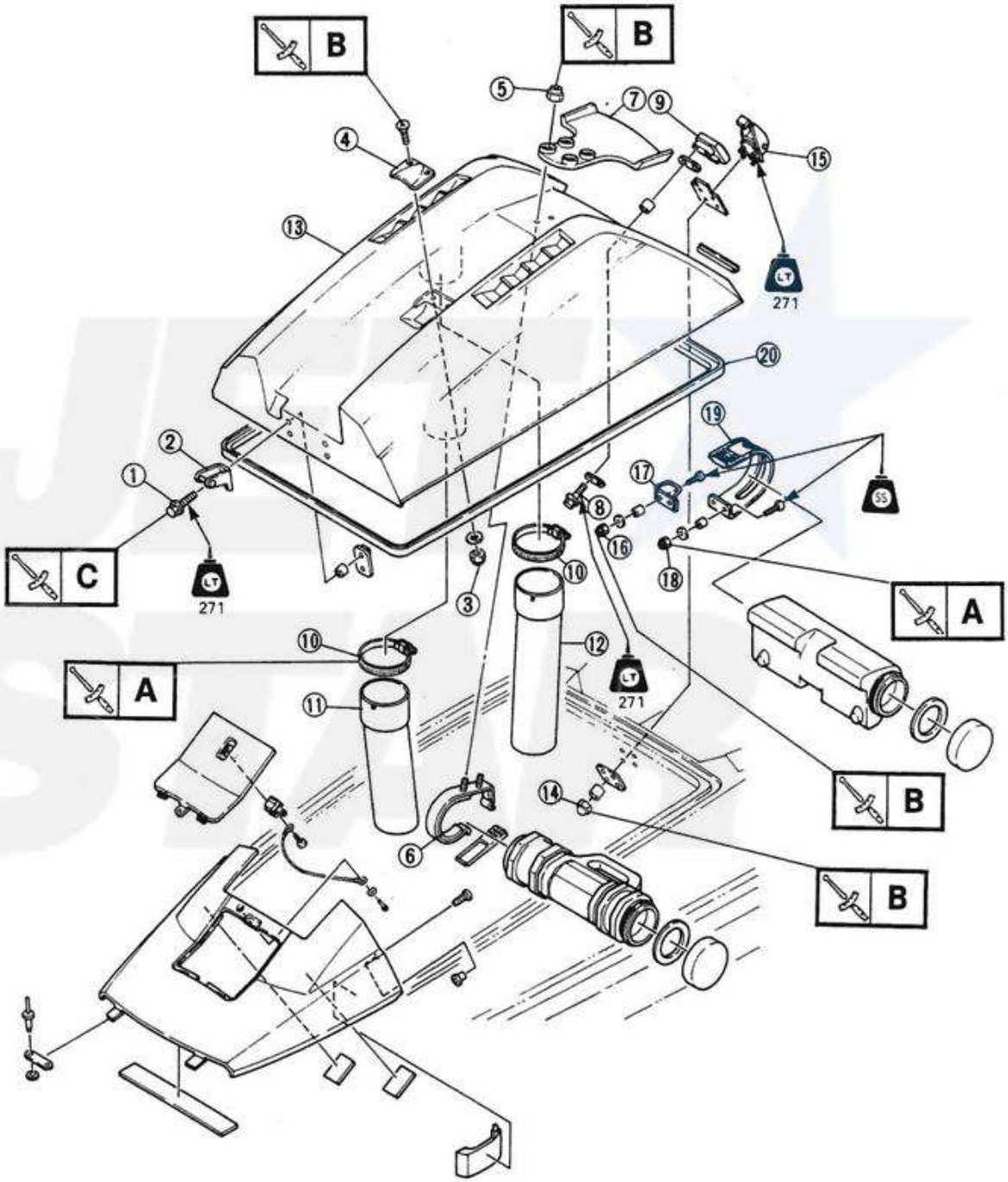
5. エンジンハッチ

(1) 取外し前の準備

・ステアリングポールを持ち上げ固定する。

SJ

A	0.1kgf・m (1Nm)
B	0.3kgf・m (3Nm)
C	0.5kgf・m (5Nm)



WWW.JET-STAR.JP

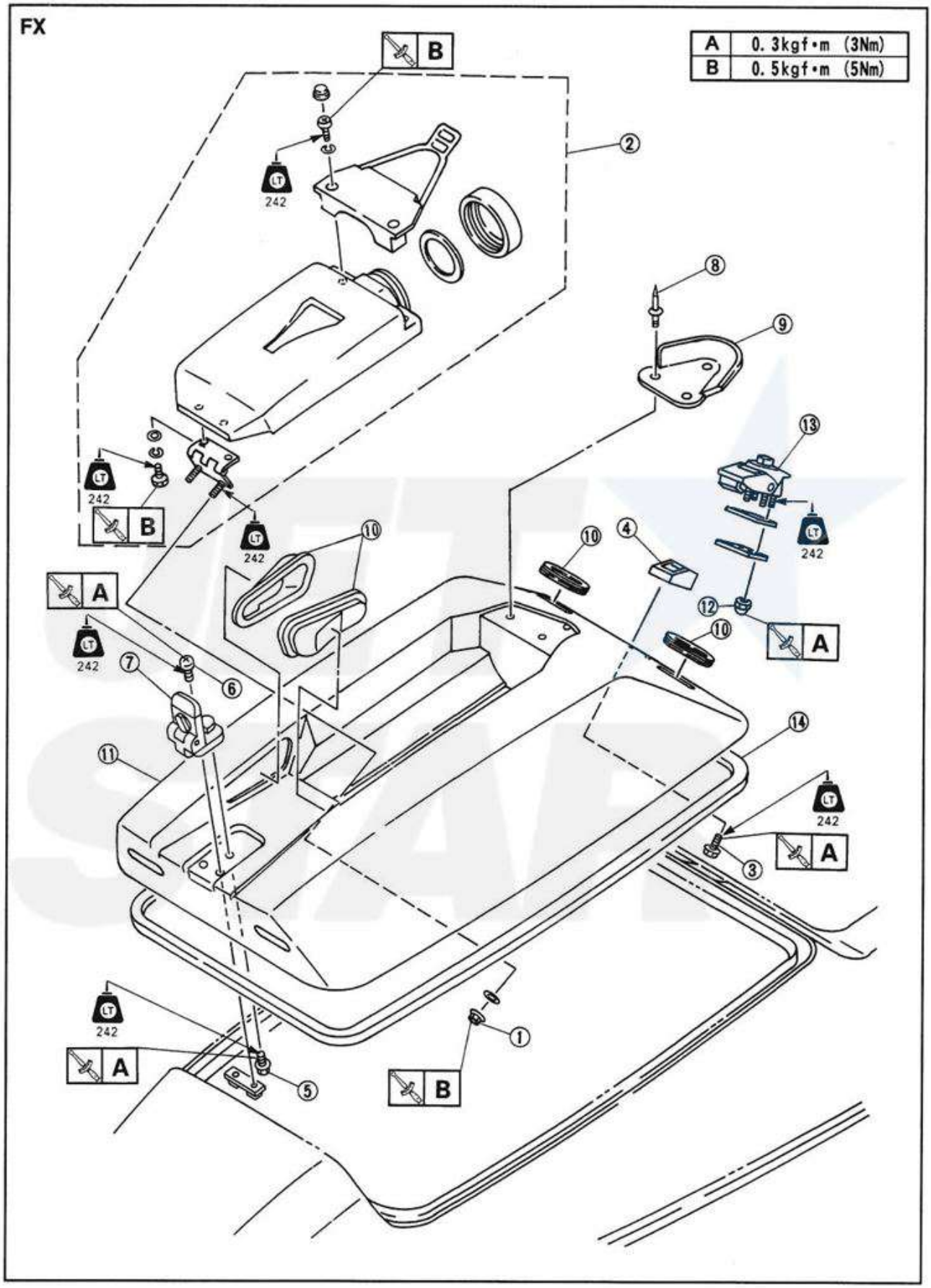
エンジンハッチ

〈取外しの範囲〉①エンジンハッチの分解　②ロックの取外し
③バンドの取外し　④シールラバーの取外し

(S J)

区　分	No.	部　品　名	個数	備　考
①	1	ボルト	4	
	2	ストッパ	2	
	3	ナット	2	
	4	プレート	1	
	5	ナット	4	
①	6	ベース	2	
	7	ダンパ	1	
	8	ボルト	2	
	9	フック	1	
	10	バンド	2	
①	11	ベンチレータホース1(短い)	1	
	12	ベンチレータホース2(長い)	1	
	13	エンジンハッチ	1	
	14	ナット	4	
②	15	ロック	1	
③	16	ナット	2	
	17	ブラケット	1	
	18	ナット	2	
	19	バンド	1	
④	20	シールラバー	1	

WWW.JET-STAR.JP



WWW.JET-STAR.JP

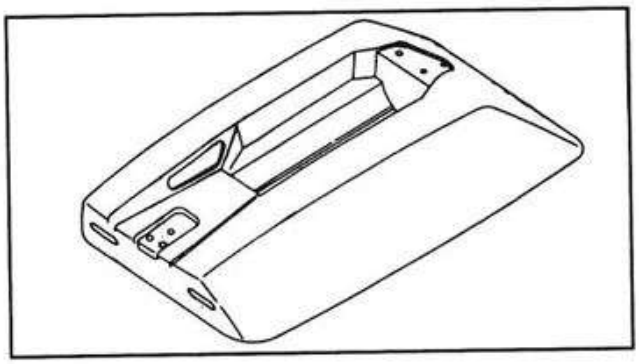
エンジンハッチ

〈取外しの範囲〉①エンジンハッチの分解　②ロックの取外し
③シールラバーの取外し

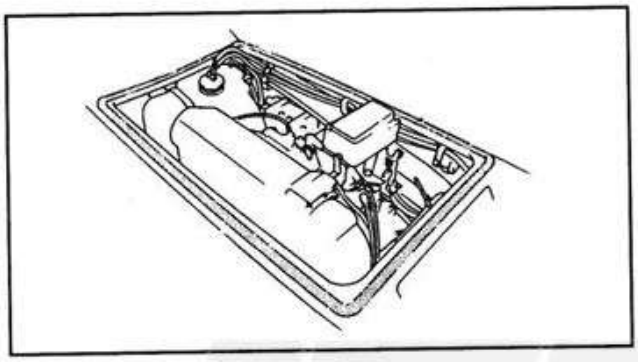
(FX)

区分	No.	部品名	個数	備考
① ②	1	ナット	2	
	2	ケース	1	
	3	ボルト	2	
	4	フック	1	
	5	ボルト	3	
① ②	6	スクリュ	2	
	7	ロック(前)	1	
	8	リベット	3	
	9	ダンパ	1	
	10	トリム	4	
① ② ③	11	エンジンハッチ	1	
	12	キャップナット	4	
	13	ロック(後)	1	
	14	シールラバー	1	

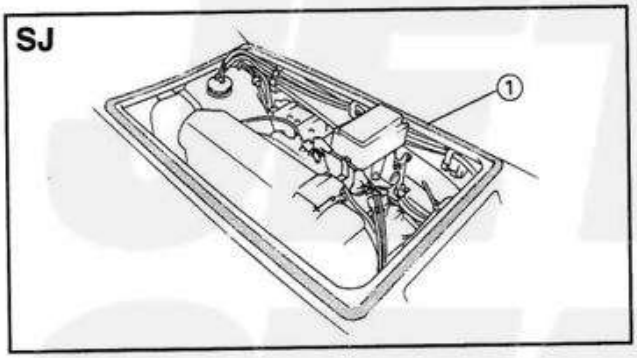
WWW.JET-STAR.JP



(2) 点検
1. 点検
・エンジンハッチ
亀裂／損傷→交換。



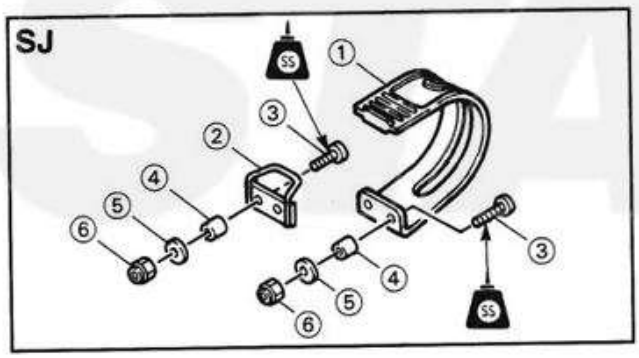
2. 点検
・シールラバー
摩耗／損傷→交換。



(3) 組付（S J）
1. 組付
・シールラバー①

要点

・デッキのシールラバー溝を清掃します。
・シールラバーに瞬間接着剤を塗布します。



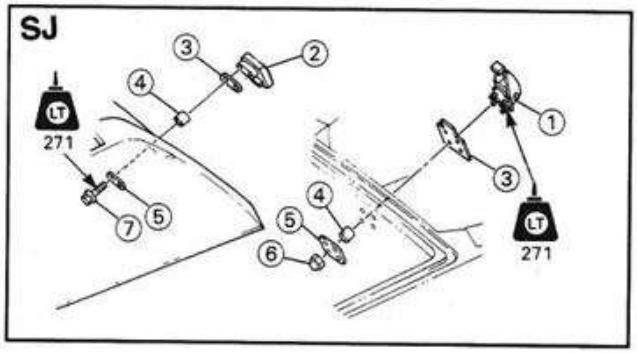
2. 組付
・バンド①
・ブラケット②
・スクリュ③
・カラー④
・ワッシャ⑤
・ナット⑥

要点

スクリュにシリコンシーラントを塗布します。

ナット（バンド）
0.1kgf・m (1Nm)
ナット（ブラケット）
0.3kgf・m (3Nm)

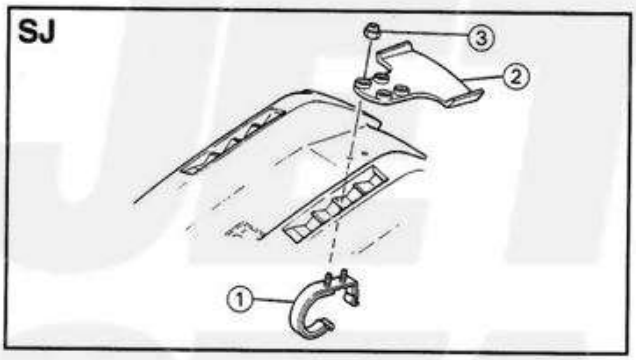
WWW.JET-STAR.JP



3. 組付
・ロック①
・フック②
・パッキン③
・カラー④
・プレート⑤
・ナット⑥
・ボルト⑦

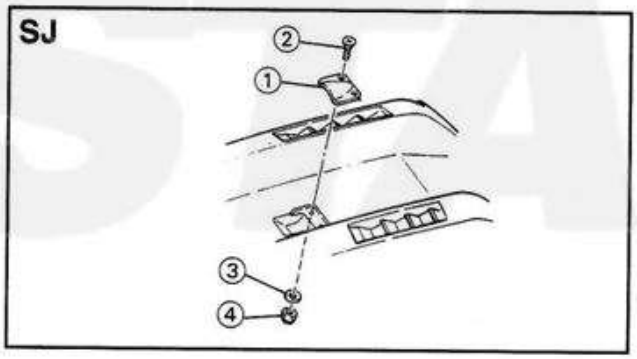
注意
ボルトにロックタイトNo. 271 (赤色) を塗布します。

ナット
0. 3kgf・m (3Nm)
ボルト
0. 3kgf・m (3Nm)



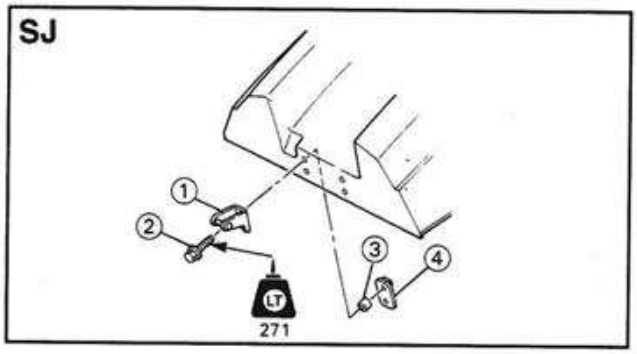
4. 組付
・ベース①
・ダンパ②
・ナット③

ナット
0. 3kgf・m (3Nm)



5. 組付
・プレート①
・スクリュ②
・ワッシャ③
・ナット④

ナット
0. 3kgf・m (3Nm)



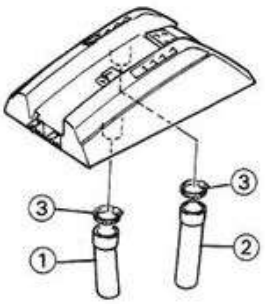
6. 組付
・ストッパ①
・ボルト②
・カラー③
・プレート④

注意
ボルトにロックタイトNo. 271 (赤色) を塗布します。

WWW.JET-STAR.JP

	ボルト 0.5kgf・m (5Nm)

SJ



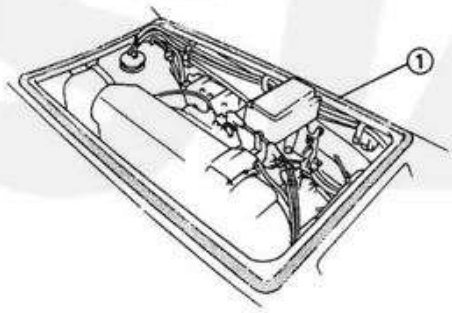
6. 組付
・ベンチレータホース1(短い)①
・ベンチレータホース2(長い)②
・クランプ③

要点

ベンチレータの合いマークをホースジョイントの合いマークに合わせます。

	クランプ 0.1kgf・m (1Nm)

FX

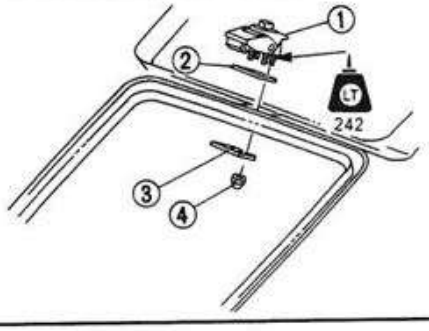


(4) 組付(FX)
1. 組付
・シールラバー①

要点

・デッキのシールラバー溝を清掃します。
・シールラバーに瞬間接着剤を塗布します。

FX



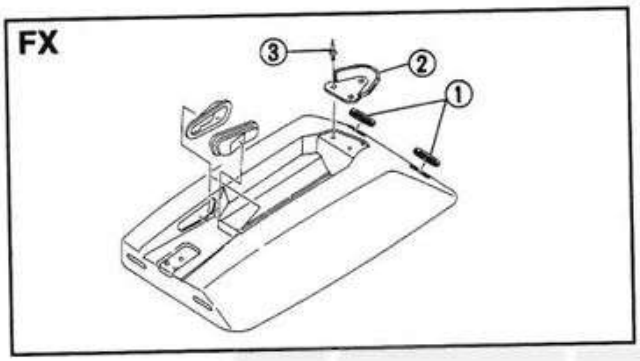
2. 組付
・ロック(後)①
・パッキン②
・プレート③
・キャップナット④

注意

ナットにロックタイトNo. 242(青色)を塗布します。

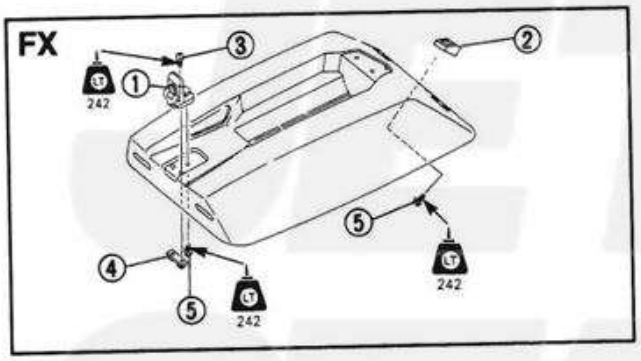
WWW.JET-STAR.JP

	キャップナット 0.3kgf・m (3Nm)



3. 組付
・トリム①
・ダンパ②
・リベット③

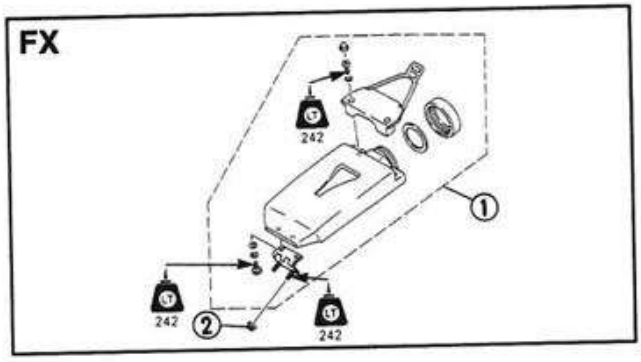
要点
トリムに瞬間接着剤を塗布します。



4. 組付
・ロック(前)①
・フック②
・スクリュ③
・プレート④
・ボルト⑤

注意
スクリュとボルトにロックタイトNo. 242(青色)を塗布します。

	スクリュ 0.3kgf・m (3Nm) ボルト 0.3kgf・m (3Nm)



5. 組付
・ケース①
・ナット②

注意
ナットにロックタイトNo. 242(青色)を塗布します。

	ナット 0.5kgf・m (5Nm)

WWW.JET-STAR.JP

JET STAR

第9章　トラブルシューティング

1．エンジンが始動しない……9-1
(1) スタータモータが回転しない……9-1
(2) スタータモータは回転する……9-1
(3) 点火しない……9-2
(4) 火花が弱い……9-2

2．エンジンの回転が不規則である、また失速する……9-3

3．エンジンが止まらない……9-5

JET STAR

WWW.JET-STAR.JP

1. エンジンが始動しない

(1) スタータモータが回転しない

電気系統

ヒューズ	溶　断	交　換
バッテリ	放　電	充電／充電回路の点検
ワイヤハーネス	接続不良	接　続
スタータスイッチ	故　障	交　換
スタータリレー	故　障	交　換
スタータモータ	故　障	交　換

(2) スタータモータは回転する

燃料系統

燃料タンク	燃料がない／少ない	給　油
	水が混入している	水抜きをする
燃料回路	燃料が来ていない	燃料供給
キャブレタ	ダイヤフラムの不良	交　換
	目詰まり	清　掃

WWW.JET-STAR.JP

エンジンが始動しない

(3) 点火しない

イグニッション

ストップスイッチ	故　障	交　換
スパークプラグ	故　障	交　換
配　線	接続不良	接　続
アース	腐食／接続不良	清掃／締付け
チャージコイル	故　障	交　換
パルサコイル	故　障	交　換
イグニッションコイル	故　障	交　換
ＣＤＩユニット	接続不良	接　続

(4) 火花が弱い

スパークプラグ	汚損／欠損	交　換
プラグキャップ	故　障	交　換
イグニッションコイル	故　障	交　換
チャージコイル	故　障	交　換
ＣＤＩユニット	不　良	交　換

WWW.JET-STAR.JP

エンジンが始動しない/エンジンの回転が不規則である、また失速する

圧縮圧力

ヘッドガスケット	気密不良	交　換
シリンダヘッド	歪　み	修正／交換
オイルシール，クランク	摩　耗	交　換
リードバルブ	損　傷	交　換
ピストン，シリンダ壁，ピストンリング	摩耗，破損，かじり	修理／交換

2．エンジンの回転が不規則である、また失速する

燃料系統

燃　料	燃料がない／燃料が古い 濁っている	給油／交換
燃料ホース	漏れ，曲がり，ねじれ	交　換
燃料フィルタ	目詰まり	交　換
キャブレタ	ダイヤフラムの不良	交　換
	目詰まり	清　掃
	アイドリング不良	調　整
	チョークシステムの欠損	修　理

WWW.JET-STAR.JP

トラブルシューティング ? エンジンの回転が不規則である、また失速する

点火系統

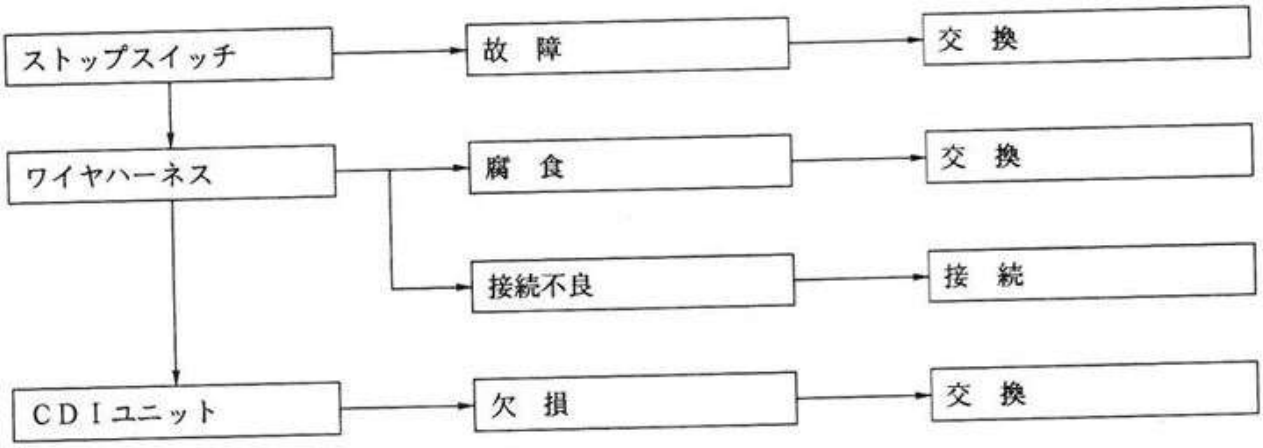
スパークプラグ	欠　損	交　換
ハイテンションコード	損　傷	イグニッションコイルの交　換
プラグキャップ	緩　み	締付け
ワイヤハーネス	緩　み	締付け
ＣＤＩユニット	不　良	交　換

圧縮圧力

シリンダヘッド	歪　み	修正／交換
ヘッドガスケット	気密不良	交　換
オイルシール	摩　耗	交　換
リードバルブ，ピストン シリンダ壁	破損，摩耗	交　換
ピストンリング	摩耗，破損	交　換
半月キー	欠　損	交　換
エンジンルーム	浸　水	排　水

WWW.JET-STAR.JP

3. エンジンが止まらない



WWW.JET-STAR.JP

JET STAR

YAMAHA

ヤマハ発動機株式会社

Printed in Japan
Jan. 1994 0.8×1E 不許複製

WWW.JET-STAR.JP